令和３年度

病　院　年　報

厚生労働省臨床研修指定病院　地域がん診療連携拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院　周産期協力病院　救急告示病院
地域医療支援病院

市　立　長　浜　病　院

理　　念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を推進します。

基 本 方 針

1．患者の権利、尊厳を重視した医療を実践します。
2．地域の医療関係者との連携を深め、地域医療の発展のためにつくします。
3．高度で良質な医療水準を確保し、安全で信頼される医療を進めます。
4．快適な療養環境の整備と、質の高いケアに努めます。
5．医学研究活動を推進し、優れた医療人を育成します。
6．職員が互いに尊重、協力してチーム医療を実現します。
7．職員が元気で働きがいのある職場づくりに努めます。

目　　次

Ⅰ　はじめに…… 1

Ⅱ　病院の沿革…… 3

Ⅲ　病院の概要
　1　施設概要
　　（1）概要…… 8
　　（2）職員状況と組織機構……14

Ⅳ　活動状況
　1　主要事業の概要
　　（1）COVID-19 への対応について ……16
　　（2）内視鏡センターの開設から１年……18
　　（3）ファシリティマネジメントの実践……19
　2　各科の活動状況
　　腎臓代謝内科／人工透析センター ……20
　　神経内科 ……21
　　消化器内科 ……22
　　呼吸器内科 ……23
　　循環器内科 ……24
　　リウマチ膠原病内科／リウマチセンター ……26
　　総合診療内科 ……28
　　緩和ケア外来こころ ……29
　　睡眠時無呼吸症候群外来 ……29
　　小児科& NICU ……30
　　外　　科 ……31
　　呼吸器外科 ……32
　　整形外科 ……33
　　形成外科 ……34
　　脳神経外科 ……34
　　心臓血管外科 ……36
　　皮 膚 科 ……37
　　泌尿器科 ……38
　　産婦人科 ……39
　　眼　　科 ……40
　　耳鼻咽喉科 ……41
　　麻 酔 科 ……42
　　ＩＣＵ・ＣＣＵセンター ……43

放射線科（治療部門）……44
放射線科（診断部門）……45
病理診断科……46
歯科・歯科口腔外科……47
療養病棟……47
感染制御部……48
救急センター……48
外来化学療法センター……49
ヘルスケア研究センター……50
開放型病棟／開放型病床……52
臨床研修医……53
中央材料室……54
中央手術室……55
薬剤局……56
医療技術局……57
栄養科……58
臨床工学技術科……59
放射線技術科……60
リハビリテーション科／リハビリテーション技術科……62
中央検査技術科……65
歯科・眼科技術室……67
看護局……68
訪問看護ステーション……73
事務局……74
総務課……74
経営企画課……75
医事課……77
患者総合支援センター／地域医療連携室……81
がん対策推進室……82
医療安全管理室……83
３　著書発表記録……86
４　論文発表記録……88
５　学会・研究発表記録……94
６　講習会／研修会への取り組み
（１）患者さんや市民を対象にしたもの……112
（２）医療従事者・地域開業医を対象にした研修……115
７　委員会の状況……116

Ⅴ　経営状況
令和３年度決算状況
（１）経営収支比較……153
（２）貸借対照表……154

（3）経営状況①、② …… 155
（4）資本的収入及び支出 …… 156

Ⅵ　各種統計資料
1　患者状況
（1）一般病棟科別入院患者数 …… 157
（2）療養病棟科別入院患者数 …… 157
（3）科別外来患者数 …… 158
（4）入院外来患者数の年次推移（一般病棟）…… 159
（5）入院地域別患者数 …… 160
（6）入院年代別患者数 …… 164
（7）外来地域別患者数 …… 168
（8）外来年代別患者数 …… 169
（9）科別月別入院退院患者数 …… 170
（10）科別月別入院患者数 …… 171
（11）科別月別外来患者数 …… 172
（12）救急患者数 …… 173
（13）救急車利用状況 …… 173
2　ＩＣＵ・ＣＣＵ業務状況 …… 174
3　手術業務状況 …… 176
4　ヘルスケア研究センター利用状況 …… 177
5　中央材料室業務状況 …… 180
6　薬剤科業務状況 …… 181
7　栄養科業務状況 …… 182
8　放射線科／放射線技術科業務状況 …… 184
9　中央検査技術科業務状況 …… 189
10　リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況 …… 191
11　訪問看護ステーション業務状況 …… 192
12　疾病分類別・転帰別　退院患者数（転科含む）…… 193
13　院内がん登録　2021 症例 …… 194
14　医療機器等購入状況 …… 195
15　死亡状況 …… 196
16　剖検症例 …… 197
17　院内保育所「あすなろ園」状況 …… 198

Ⅰ　はじめに

大きく育てよ！「人中心の医療」

市立長浜病院名誉院長・長浜市立湖北病院顧問　　野　田　秀　樹

3月31日をもって3期12年間務めた病院事業管理者を退任させていただきました。職員をはじめ関係者の方々のご支援で何とか任期を終えることができたことに感謝しています。

病院事業運営は「合理性・効率性」を第一とする合理主義者であるより夢を追い求めるチャレンジャーで有り続けたいと思ってやってきました。決して、効率・合理性を軽視したわけではありません。情報そのものが動的で相対的にしか捉えられない上、人は見たいものしか見ないし見えないというバイアスがかかった状態でしか得られないため、そこから導き出される解は思いとはかけ離れてしまうこともあり、とらわれ過ぎると夢が霞んでしまうような気がしたからです。それに同じ情報・条件下での効率・合理性の追求は、同一か相似的結果を招くことになり、多様性が求められる医療・福祉の分野では不適だと判断したことと、医療資源の乏しい我々には得られる情報の質・量の面でハンディを負うことも多く他に抜きん出るにはブルー・オーシャン戦略を執るしかないとも考えていたからです。決定事項の再検討を余儀なくされることも多くありましたが（自治体病院は決定事項の変更を最も苦手とします)、ずっと夢を追い求めることができたのは幸せでした。

これまで長寿化計画と将来構想に向けて積極的投資を行ってきました。病棟の計画的全面改修、次世代型の健診に向けたヘルスケア研究センター開設、「心不全パンデミック」をはじめ循環器系疾患への対応を担う総合医療センター化に向けた診療支援棟増築等、これらが今、本領を発揮しだしました。またロシアのウクライナ侵攻や米中経済戦争等で資材不足が顕在化し、世界中でインフレが進む中での先行投資は正解でした。

COVID-19感染、初報告から3年、第6波収束を待つことなく変異株の出現で第7波真只中にいますが、感染の収束どころかCOVID-19の出現はこれから始まるパンデミックの連鎖の序章に過ぎず、これから先エマージングウイルスに苦しめられるのではないか心配しています。これらへの備えは今を最善に考えるだけでなく、発想の転換をもって医療の在り方を考える必要があり、地域医療構想が国から重点支援区域指定を受けながら事情あって動きが止まってしまったのは結果的に良かったのかもしれません。

今回の感染拡大で分かったことは自治体や住民との関わりで自治体病院のもつ役割が再認識され存在価値が大きく見直されたことです。地域医療構想を考えるうえで私達のやってきたこと、特にCOVID-19感染拡大時にやってきたことに自信をもって、チャレンジ精神を前面に難題に挑み、病院理念「人中心の医療」を大きく育てていただきたいと思います。

令和３年度の歩み

長浜市病院事業管理者・市立長浜病院院長　髙　折　恭　一

今年度も引き続き新型コロナ感染症の感染拡大が続きましたが、市立長浜病院では、職員の総力をあげて対策を実施してきましたので、試行錯誤の連続であった以前と比較すると、感染対策のノウハウも蓄積され、冷静に対応できるようになってきたと感じています。新型コロナウイルス感染症入院病床やドライブスルー（PCR）検査センターの担当者をはじめ、職員の皆様に心から感謝したいと存じます。

一方で、当院が得意とする高度急性期医療・急性期医療にも、活気が戻ってきました。新型コロナウイルス感染症患者の診療に多くの医療スタッフを割り当てつつ、関係者の努力より一般診療をしっかりと維持できるようになったことが、大きな原因と考えます。With コロナの時代に入り、その時々のフェーズに応じた臨機応変な対応が功を奏したと言えるでしょう。このような迅速で柔軟な対応は、一般診療においても非常に重要となってきており、新型コロナウイルス感染症対策で培った対応力を広く活用していきたいと思っています。野田秀樹前病院事業管理者の指導により、令和元年度から始められた大規模病棟改修工事が竣工し、アメニティーとプライバシーを重視した一般病棟へのリフォームが完了しました。当院は、地域の急性期医療の中核を担う「地域医療支援病院」であり、「地域がん診療連携拠点病院」ですので、その使命を果たすべく、優れたハードとソフトを活用して、地域住民の皆様への医療サービスをますます充実していきたいと存じます。

国は令和７年の医療需要と病床の必要量を見据えて「地域医療構想」を策定してきました。湖北区域は令和２年１月に最初の重点支援区域の一つに指定されています。コロナ禍で地域医療構想についての協議はしばらく休止されていましたが、令和６年に実施される医師の働き方改革への対応と併せて、地域医療構想に沿った病院再編への動きが加速しつつあります。本年報には令和３年度の当院の活動状況・経営状況等を収載しておりますので、湖北区域の医療の将来を検討するうえで貴重な資料になると存じます。当院の活動と経営に、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

II　病院の沿革

沿　　革

明治19年４月	(1886)	公立大津病院を県立大津病院に改称され、長浜に出張所が設置される
明治20年８月	(1887)	北船町（現在の公園町）に県立長浜避病院が設置される
明治22年４月	(1889)	町立長浜病院が設立（西本町）
明治26年11月	(1893)	北船町（現在の朝日町）に町立長浜病院を新築移転
明治30年４月	(1897)	町立長浜病院が私立長浜病院となる
昭和19年５月	(1944)	私立長浜病院を買収。市立病院として同年６月開院 診療科：内科、外科、耳鼻科
昭和21年３月	(1946)	市立長浜病院東分院設置（東上坂町字小田976－7） 診療科：内科、小児科（医師３人、薬剤師１人、看護婦５人、その他５人）
昭和22年７月	(1947)	市立長浜病院神田診療所設置（加田町字坂村2356） 診療科：内科、小児科
昭和33年３月	(1958)	病院移転新築工事着工（八幡東町631）
昭和34年４月	(1959)	鉄筋コンクリート３階建開院 一般病棟167床、結核病棟39床、癌治療施設、看護婦寄宿舎完成
昭和34年８月	(1959)	伝染病棟（15床）増設
昭和37年11月	(1962)	一般病棟50床増設
昭和38年１月	(1963)	一般病棟29床増設、病床総数300床
昭和41年９月	(1965)	救急病院の告示
昭和42年１月	(1967)	機能回復訓練室、病床15床増設、伝染病棟15床を一般病棟へ切り替え
昭和50年７月	(1975)	結核病棟39床を廃止し、一般病棟へ切り替え、病床総数315床
昭和55年４月	(1980)	53年度から２ヵ年計画で病棟（西棟）及び放射線部門を増設。 併せて院内保育園新設、病床総数365床
昭和61年４月	(1986)	58年度から３ヵ年計画で中央棟（開放型病室32床含む）の増築整備をはかり、病床総数415床
平成４年６月	(1992)	病院移転新築基本構想策定
平成６年３月	(1994)	病院新築工事契約の締結
平成６年５月	(1994)	移転新築工事起工（長浜市大戌亥町313）
平成８年 ５月１日	(1996)	新病院開院（入院患者の移送） 病床総数520床（開放型50床）、外来診療開始（５月７日） 診療科：20科（平成９年１月１日　診療科21科）
平成９年12月５日	(1997)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
平成10年３月16日	(1998)	病院機能評価における認定証の受理 （平成10年２月９日付け一般病床種別B認定第26号） （認定期間　平成10年２月９日～平成15年２月８日）
平成11年１月 ８日	(1999)	河野良一名誉院長（昭和57年４月１日就任）が死去
平成11年３月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計予算議決
平成11年４月	(1999)	企画情報課に療養型病床群病棟開設準備担当設置
平成11年８月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計本部設置
平成13年１月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事請負契約の締結
平成13年１月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事起工

平成13年２月	(2001)	トータルオーダリングシステム等基本計画策定
平成13年３月	(2001)	秋山泰高院長(平成２年４月１日就任)が退職
平成13年３月	(2001)	臨床研修病院の指定を受ける
平成13年４月	(2001)	琴浦良彦院長就任
平成13年４月15日	(2001)	西川博文副院長(平成８年５月１日就任)が死去
平成14年３月 １日	(2002)	療養病棟の開設(156床増床)
平成14年５月	(2002)	トータルオーダリングシステム更新
平成15年２月 ６日	(2003)	全国自治体病院協議会管理者研修実施
平成15年2月26日～28日	(2003)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審(ver.4)
平成15年４月15日	(2003)	アウグスブルク市長病院視察
平成16年１月26日	(2004)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価認定証受理 (認定期間　平成15年２月９日～平成20年２月８日)
平成16年４月 １日	(2004)	市立長浜病院組織機構改革
平成16年４月 １日	(2004)	湖北地域における小児救急支援事業の開始
平成16年５月 １日	(2004)	臨床研修医制度による研修医の受け入れ開始
平成17年１月17日	(2005)	地域がん診療拠点病院の指定を受ける
平成17年12月	(2005)	長浜市と京都大学大学院医学研究科との間で「長浜市０次予防健康づくり推進事業」の計画策定に関する覚書を締結。今後１万人規模の疫学調査に積極的に参加協力。
平成18年２月 ６日	(2006)	人間ドック・健診施設機能評価機構による訪問審査
平成18年２月13日	(2006)	長浜市・浅井町・びわ町１市２町合併
平成18年３月25日	(2006)	社団法人日本病院会、日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定証受理 (認定期間　平成18年３月25日～平成23年８月31日)
平成18年 ３月	(2006)	平成16年６月の創立60周年を機に、市立長浜病院創立60周年記念誌を発刊
平成18年11月	(2006)	最新鋭の64マルチスライスCTの運用開始
平成19年 ４月	(2007)	高精度治療に対応した最新の放射線治療装置(リニアック)の導入に向けたプロジェクトチームを設置
平成19年 ６月	(2007)	がん相談支援センターの設置
平成20年 ２月	(2008)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver.5)の認定更新 (認定期間　平成20年２月９日～平成25年２月８日)
平成20年 ２月	(2008)	地域がん診療連携拠点病院認定更新
平成20年 ３月	(2008)	琴浦良彦院長(平成13年４月１日就任)が退職
平成20年 ４月	(2008)	野田秀樹院長就任
平成20年 ４月	(2008)	最新の放射線治療装置(リニアック)の稼働
平成20年 ４月	(2008)	PACS(画像ファイリングシステム)運用開始
平成20年 ６月	(2008)	医薬分業の視点から薬品の院外処方箋を発行
平成20年 ７月	(2008)	厚生労働省からDPC対象病院に指定
平成21年 ３月	(2009)	市立長浜病院改革プラン策定

平成21年 4月	(2009)	一般病棟入院基本料看護基準７対１の施設基準を取得
平成21年 4月	(2009)	長浜病院訪問看護ステーションの設置
平成22年 1月 1日	(2010)	長浜市･虎姫町･湖北町･高月町･木之本町･余呉町･西浅井町の1市6町合併
平成22年 1月	(2010)	トータルオーダリングシステム更新
平成22年 4月	(2010)	地方公営企業法全部適用へ移行
平成22年 4月	(2010)	野田秀樹院長が病院事業管理者に就任(院長兼務)
平成22年 4月 1日	(2010)	標榜科22科(呼吸器外科を新たに届出)
平成23年 3月31日	(2011)	療養病棟２階介護保険52床を廃止で変更届 総病床数(624床) 一般病棟(520床) 療養病棟(104床)うち医療保険52床､介護保険52床
平成23年 4月	(2011)	社団法人日本病院会　日本人間ドック学会による人間ドック･健診施設機能評価認定更新(認定期間　平成23年4月1日～平成28年3月31日)
平成23年 7月20日	(2011)	療養病棟２階を医療保険適応病床52床に変更届
平成24年 3月	(2012)	長浜市病院事業基本計画(中期)及び長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定
平成24年 4月	(2012)	野田秀樹院長が病院事業管理者を専任及び医療政策監に就任
平成24年 4月	(2012)	多賀俊明院長就任
平成24年 4月	(2012)	経営企画課に診療支援棟建設準備室を設置
平成24年 4月23日	(2012)	療養病棟１階人工透析室40床開設
平成24年 5月31日	(2012)	療養病棟３階介護保険52床を廃止で変更届
平成24年 6月 1日	(2012)	療養病棟３階を医療保険52床で届出 総病床数(624床) 一般病棟(520床) 療養病棟(104床)うち医療保険104床
平成24年 9月	(2012)	診療支援棟建設設計補正予算議決
平成24年10月1日～3日	(2012)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審(Ver.６)
平成24年11月	(2012)	3.0テスラMRI装置の導入
平成25年 1月	(2013)	トータルオーダリングシステム等の電子カルテ化
平成25年 2月	(2013)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver.６)の認定更新(認定期間　平成25年２月９日～平成30年２月８日)
平成25年 3月	(2013)	外来化学療法センター開設(移転増床)
平成25年 3月 1日	(2013)	療養病棟３階医療保険52床再開
平成25年 6月 1日	(2013)	回復期リハビリテーション病棟(療養病棟)の運用を開始
平成25年 8月 1日	(2013)	脳卒中ケアユニット入院医療管理料の運用を開始
平成26年 3月	(2014)	診療支援棟整備工事設計業務完了
平成26年 4月	(2014)	野田秀樹病院事業管理者が再任
平成26年 6月	(2014)	診療支援棟整備工事着工
平成26年10月 2日	(2014)	標榜科23科(病理診断科を新たに届出)
平成27年 1月 1日	(2015)	地域包括ケア病棟の運用を開始
平成27年 3月	(2015)	長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定

平成27年 4月 1日	(2015)	開設許可病床(一般病棟)8床削減
		総病床数(616床)
		一般病棟(512床)
		療養病棟(104床)うち医療保険104床
平成27年10月 4日	(2015)	診療支援棟　竣工式
平成28年 3月	(2016)	多賀俊明院長(平成24年4月1日就任)が退職
平成28年 4月	(2016)	神田雄史院長就任
平成29年 3月	(2017)	長浜市病院事業中期経営計画(新改革プラン)を策定
平成29年 4月 1日	(2017)	開設許可病床(一般病棟)16床削減
		総病床数(600床)
		一般病棟(496床)
		療養病棟(104床)うち医療保険104床
平成29年 4月	(2017)	患者総合支援センター開設
		リウマチセンター開設
平成29年10月26～27日	(2017)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審(3rdG)
平成30年 3月27日	(2018)	地域医療支援病院の承認
平成30年 4月	(2018)	野田秀樹病院事業管理者が再任
平成30年 4月	(2018)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG)
		の認定更新(認定期間　2018年2月9日～2023年2月8日)
平成31年 1月 1日	(2019)	電子カルテシステム更新
平成31年 4月	(2019)	ヘルスケア研究センター設置
平成31年 4月	(2019)	市立長浜病院組織機構改革
平成31年 4月	(2019)	市立長浜病院大規模改修工事着工
令和2年 2月	(2020)	国土交通省航空局所管
		「航空身体検査指定機関」の指定
令和2年 4月	(2020)	開設許可病床(一般病棟)13床削減
		総病床数(587床)
		一般病棟(483床)
		療養病棟(104床)うち医療保険104床
令和3年 3月	(2021)	長浜市病院事業中期経営計画(新改革プラン)一部改定
令和3年 3月	(2021)	神田雄史院長(平成28年4月1日就任)が退職
令和3年 4月	(2021)	高折恭一院長就任
令和3年 4月	(2021)	開設許可病床(一般病棟)21床削減
		総病床数(566床)
		一般病棟(462床)
		療養病棟(104床)うち医療保険104床
令和3年 5月	(2021)	内視鏡センター開設
令和3年10月	(2021)	開設許可病床(一般病棟)1床削減
		総病床数(565床)
		一般病棟(461床)
		療養病棟(104床)うち医療保険104床

令和４年 ３月	(2022)	野田秀樹病院事業管理者が退職
令和４年 ３月	(2022)	長浜市病院事業中期経営計画2022-2025(新改革プラン)を策定
令和４年 ４月	(2022)	髙折恭一病院事業管理者就任(院長兼務)
令和４年 ４月	(2022)	産前産後ケアセンター「にじいろ」開設
令和４年 9月20日～21日	(2022)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審(3rdG Ver2.0)

Ⅲ　病院の概要

Ⅲ－１　施設概要

1．概　　要

（1）施設概要

所 在 地　　滋賀県長浜市大戌亥町 313 番地
施 設 名　　市立長浜病院
開 設 者　　長浜市長　浅見宣義
長浜市病院事業管理者　髙折恭一
管 理 者　　院長　髙折恭一

敷地面積　　73,838.23㎡
建　　物　　本　　館　　鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上７階
　　高　　さ　　37.5 m
　　延床面積　　32,836.9㎡
　　別　　館　　鉄筋コンクリート造地上３階
　　延床面積　　8,212.5㎡
　　付 属 棟　　保育園、車庫、医療ガス庫、駐輪場、キャノピー
　　延床面積　　1,078.8㎡
　　診療支援棟　　鉄骨造４階　　5,333.6㎡

（2）外　　来

診療科（標榜科　23 科）
内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科

診療科（院内標榜）
心療内科、腎臓・代謝内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科

（3）病　　棟　（令和４年４月１日現在）

病床数　　565 床（一般　461 床、療養 104 床）
病　棟　　３階東病棟（29 床）　　３階西病棟（29 床）
　　３階南病棟（44 床）　　ICU　CCU（　８床）　　SCU（　６床）
　　４階東病棟（39 床）　　４階西病棟（26 床）
　　５階東病棟（51 床）　　５階西病棟（46 床）
　　６階東病棟（46 床）　　６階西病棟（46 床）
　　７階東病棟（46 床）　　７階西病棟（45 床）
　　療養２階病棟（52 床）　医療保険対応
　　回復期リハビリテーション病棟（52 床）　医療保険対応

（4）認定施設基準一覧（令和４年４月現在）

○基本診療料

初診・再診料

地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算２
歯科診療特別対応連携加算

入院基本料等

一般病棟 7:1 入院基本料
療養病棟入院基本料１

入院基本料加算

救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算１
医師事務作業補助体制加算１
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
療養病棟療養環境加算１
無菌治療室管理加算２
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算　１
医療安全対策地域連携加算１
感染対策向上加算　１
抗菌薬適正使用支援加算
患者サポート体制充実加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
呼吸ケアチーム加算
後発医薬品使用体制加算１
病棟薬剤業務実施加算１･２
データ提出加算２
入退院支援加算１　及び総合機能評価加算
認知症ケア加算２
せん妄ハイリスク患者ケア加算
地域医療体制確保加算
地域歯科診療支援病院入院加算

特定入院料

特定集中治療室管理料３
特定集中治療室管理料３の「注４」に掲げる早期離床・リハビリテーション加算
脳卒中ケアユニット入院医療管理料
小児入院医療管理料５
回復期リハビリテーション病棟入院料３
地域包括ケア病棟入院料２

○特掲診療料

外来栄養食事指導料
遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ

糖尿病透析予防指導管理料
乳腺炎重症化予防・ケア指導料
婦人科特定疾患治療管理料
二次性骨折予防継続管理料 1、2、3
救急搬送看護体制加算
外来放射線照射診療料
外来腫瘍化学療法診療料 1
連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料）
ニコチン依存症管理料
療養・就労両立支援指導料の「注 3」に掲げる相談支援加算
開放型病院共同指導料
がん治療連携計画策定料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算
医療機器安全管理料 1
医療機器安全管理料 2
歯科疾患管理料の注 1 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
在宅患者訪問看護・指導料
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
持続血糖測定器加算（連動する）（連動しない）及び皮下連続式グルコース測定
BRCA1/2 遺伝子検査
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算（Ⅳ）
遺伝カウンセリング加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
時間内歩行試験
ヘッドアップティルト試験
長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査
ロービジョン検査判断料
小児食物アレルギー負荷検査
内服・点滴誘発試験
画像診断管理加算 2
CT 撮影及び MRI 撮影
冠動脈 CT 撮影加算
心臓 MRI 撮影加算
乳房 MRI 撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算 1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
歯科口腔リハビリテーション料 2
静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）
エタノールの局所注入（甲状腺）

エタノールの局所注入（副甲状腺）
人工腎臓
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
乳がんセンチネルリンパ節加算２及びセンチネルリンパ節生検 (単独)
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
食道縫合術、内視鏡下胃十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術、小腸瘻閉鎖術、結腸瘻閉鎖術、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術、尿管腸瘻閉鎖術、膀胱腸瘻閉鎖術、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
胸腔鏡下弁形成術
胸腔鏡下弁置換術
経皮的中隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
体外衝撃波胆石破砕術
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
内視鏡的小腸ポリープ切除術
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
医科点数表第２章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
輸血管理料Ⅰ
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯周組織再生誘導手術
手術時歯根面レーザー応用加算
レーザー機器加算
麻酔管理料（Ⅰ）
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
１回線量増加加算（乳房）（前立腺）

強度変調放射線治療（IMRT）
画像誘導放射線治療加算（IGRT）
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸移動対策加算
病理診断管理加算 1
悪性腫瘍病理組織標本加算
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科矯正診断料

○入院時食事療養等の基準
入院時食事療養 I
特別の療養環境の提供
病院（200 床以上）の初診・再診
入院期間が 180 日を超える入院

（5）学会等の教育病院指定一覧　令和４年３月現在

施　設　名	施　設　名
日本内科学会認定医制度教育病院	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本血液学会認定専門医研修教育施設	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本老年医学会認定施設	日本放射線腫瘍学会認定施設
胸部外科教育施設協議会修練施設（心臓血管外科・呼吸器外科）	日本臨床腫瘍学会特別連携施設
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設	日本病理学会認定病院 B
日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本呼吸器学会認定施設	日本脳卒中学会一次脳卒中センター
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本リウマチ学会認定教育施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	胸部ステントグラフト実施施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	腹部ステントグラフト実施施設
心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設	日本腎臓学会認定教育施設
日本外科学会専門医制度修練施設	日本透析医学会教育関連施設
日本乳癌学会関連施設	マンモグラフィ検診施設画像評価認定施設
日本胆道学会指導施設	日本緩和医療学会認定研修施設
日本膵臓学会認定指導施設	日本口腔外科学会専門医制度認定准研修施設
日本肝臓学会肝臓専門医制度特別連携施設	日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ
日本整形外科学会専門医研修施設	下肢静脈瘤に対する血管内灼術の実施基準による実施施設
日本脳神経外科学会専門医連携施設	地域包括医療・ケア認定施設
日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設	日本人間ドック健診専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設	
日本周産期・新生児医学会暫定研修施設	
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	
日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設認定施設	

（6）病院配置図　令和３年５月現在

本館

<table>
<tr><td rowspan="6">病棟</td><td>病棟　７Ｆ</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>病棟　６Ｆ</td></tr>
<tr><td>病棟　５Ｆ</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>病棟　４Ｆ</td></tr>
<tr><td>病棟　３Ｆ</td><td colspan="2" rowspan="2">手術室</td></tr>
<tr><td>看護局・診療情報管理室他
看護学生室・総務課
経営企画課　２Ｆ</td></tr>
<tr><td>外来
中央検査科</td><td>中央材料室
機器センター</td><td>電気室</td></tr>
<tr><td>外来
放射線科
リハビリテーション科
内視鏡センター</td><td>栄養科・医事課
患者総合支援センター
１Ｆ</td><td>薬剤科</td><td>コンビニ</td></tr>
</table>

別館

<table>
<tr><td>病棟　３Ｆ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>病棟　２Ｆ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>ヘルスケア研究センター
人工透析センター　１Ｆ</td><td>がん対策推進室
医療安全管理室</td><td>訪問看護
ステーション</td></tr>
</table>

支援棟

<table>
<tr><td>３Ｆ　手術室、ICU・CCU</td><td>血管撮影室</td></tr>
<tr><td colspan="2">２Ｆ　医局・当直室</td></tr>
<tr><td>１Ｆ　救急センター</td><td>放射線科</td></tr>
</table>

２．職員状況と組織機構

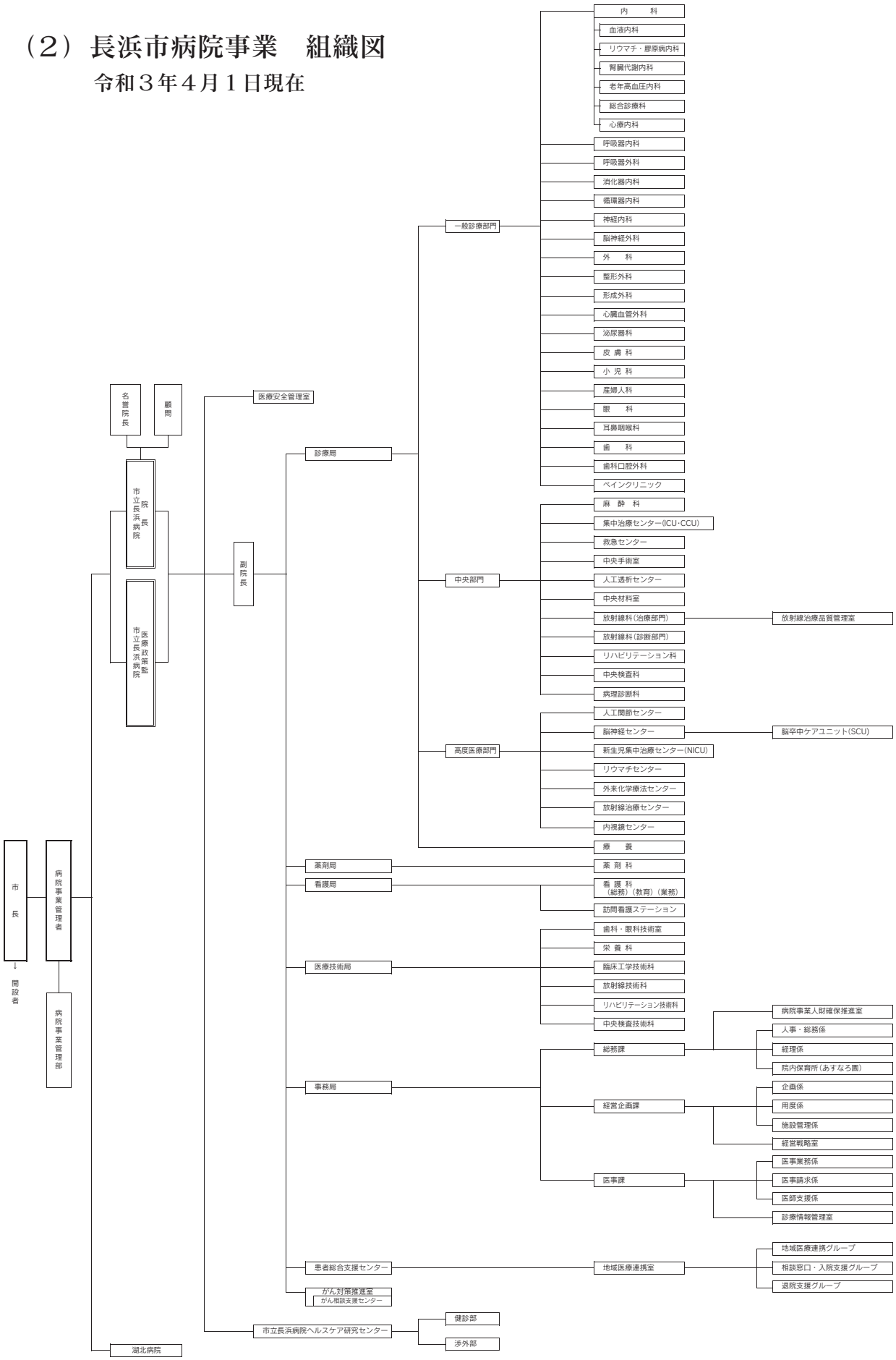
（１）職員状況

（単位：人）

	平成31年４月 (2019.4.1現在)	令和２年４月 (2020.4.1現在)	令和３年４月 (2021.4.1現在)
医師	91	95	98
歯科医師	4	4	4
薬剤師	17	17	18
看護師	492	493	505
看護助手	44	44	44
助産師	16	17	10
栄養士	9	10	11
放射線技師	23	24	24
検査技師	28	28	29
臨床工学技士	10	11	12
理学療法士	27	27	27
作業療法士	11	12	12
視能訓練士	4	4	4
歯科衛生士	5	5	5
歯科技工士	1	1	1
言語聴覚士	5	5	5
事務職	62	63	59
介護士	24	24	23
その他	121	127	129
合計	994	1,011	1,020

（2）長浜市病院事業　組織図

令和３年４月１日現在



Ⅳ　活動状況

Ⅳ－１　主要事業の概要

1．COVID-19 への対応について

以下は、令和 3 年度の COVID-19 への対応に関する主な記事です。
COVID-19 陽性患者に対応する病床は、滋賀県から確保要請のあった 26 床まで増床し、延患者数 2,636 名に対応しました。

4 月
・術前 / 検査前検査を、LAMP 法から TRC 法へ変更。
・職員に対し「まん延防止等重点措置実施区域ならびに感染拡大地域への不要不急の往来自粛」について通知文を発行。
・滋賀県の要請に応じ、患者受け入れ病床を 4 月 26 日以降 18 床から 23 床へ増床。
・原則、5 人以上の会食を禁止する方針を決定し、職員に対して通知。（家族以外）
・職員の食事場所として、会議室を開放。
・職員に対し「家族が濃厚接触者、濃厚接触者疑いになった場合の対応について」通知。

5 月
・ゴールデンウィーク中の 5 月 3 日に、地域外来・検査センターを設置運営。
・一般市民（高齢者）へのワクチン接種事業を開始。
・職員に対し「新型コロナウイルス院内感染防止対策」について再周知。
・長浜東ロータリークラブの 45 周年記念事業の一環として、軽自動車等を寄贈いただいた。

7 月
・勝町自治会の主催、六荘地域づくり協議会の後援および協賛企業により、当院への応援メッセージとして打ち上げ花火を実施いただいた。

8 月
・入院患者の面会について明文化し、院内職員に周知。医師の許可があり面会されるご家族の方へのお願いについて案内。
・滋賀県にまん延防止等重点措置等が発令。
・訪問看護ステーションによる、自宅療養者の観察業務を開始。

9 月
・抗体カクテル療法目的の入院受け入れを開始。
・滋賀県の要請に応じ、患者受け入れ病床を 9 月 3 日以降 26 床へ増床。

10 月
・外来中和抗体療法の受け入れについて協議を開始。
・六荘プチイルミ実行委員会主催による「六荘プチイルミ 2021 ～ FINAL ～」が、当院への応援メッセージとして開催された。（イルミネーション設置期間：10 月 2 日～ 10 月 15 日）

11 月
・手術・検査前 TRC 検査を唾液法へ変更。
・医療従事者の新型コロナウイルス抗体検査事業への参加を決定。
・長浜市民間保育協議会より、感謝の絵をいただいた。

12 月
・外来中和抗体療法の受け入れについて、長浜保健所と協議を開始。
・年末・年始の地域外来・検査センターの運営について協議。隔日で運営を開始。

1 月
・職員に対し「新型コロナウイルス院内感染防止対策」について再周知。
・滋賀県農業協同組合中央会から医療従事者を支援する取組として、近江米みずかがみ（2kg）210 袋をいただいた。
・滋賀県の要請に応じ、患者受け入れ病床を 1 月 1 日以降 26 床から 20 床へ減床。
・滋賀県の要請に応じ、患者受け入れ病床を 1 月 8 日以降 20 床から 26 床へ増床。

2 月
・病棟でコロナ発症事例あり。

3 月
・院内においてクラスターが発生。

このほか、市内外の方から多くの寄贈品や寄付金をいただきました。新型コロナウイルス対策等、活用させていただきます。お心遣いをいただき誠にありがとうございました。

２．内視鏡センターの開設から１年

市立長浜病院内視鏡センターが令和３年５月に新装拡大リニューアルオープンして１年半が経過しました。当センターでは年々内視鏡検査数が増加しており、患者様が安心して安全に内視鏡検査を受けていただけるようにシステムの改善を図っています。

【今後の展望】

今回のリニューアルで特に拡充したのは鎮静下内視鏡後のリカバリールームの機能と規模です。鎮静下内視鏡の検査枠を拡大し、みなさんが安心して内視鏡を受けていただけるようにリクライニングベッドを充実させ、新たに身体モニターの設備を新規導入しました。それに伴い日帰りの鎮静下内視鏡検査が可能となり、日々の鎮静下内視鏡件数は２倍以上に増加しました。

鎮静下内視鏡の拡充に伴い、健診・人間ドックにおける鎮静下内視鏡検査も導入しています。件数はまだ少ないのですが、増加傾向にあります。鎮静下でない内視鏡検査を含め、健診・人間ドックの内視鏡検査は増加傾向にあります。そのため、当センターでは午後の健診胃カメラの枠を設置して対応しています。詳細は「市立長浜病院 ヘルスケア研究センター」のホームページを参照してください。

また市立長浜病院ヘルスケア研究センターによる検診内視鏡として、長浜市が推進している「胃がん検診 (胃内視鏡検査)」も当センターで受診することが可能となりました。胃がん検診 (胃内視鏡検査）は、これまでのバリウムによる胃がん検診 (胃部 X 線検査）に加えて令和４年６月に新たに導入されたがん検診で、50 歳以上の市民を対象としています。長浜市内７か所の医療機関で受診できます。詳細は「長浜市　がん検診のご案内」のホームページを参照してください。

最後に、当センターは、日本消化器内視鏡学会の「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への消化器内視鏡診療についての提言～感染拡大下における消化器内視鏡診療の留意点～改訂第９版」にのっとり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に取りながら、安心して安全な内視鏡検査を受診していただけるよう万全を期して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

3．ファシリティマネージメントの実践

当院では、開院から 20 年以上経過した本館について、ファシリティマネージメント※の導入による大規模改修事業を実施し、老朽化の著しい入院病棟の改修、全館エレベーターや自家発電などの施設設備の更新、外壁剥離等の危険箇所の改修を行いました。

上記の改修に伴い、患者さんのより快適な通院・入院環境や、医師や看護師をはじめとする医療従事者が働きやすい職場環境の確保に努めています。

※ファシリティマネージメント:企業･団体等が組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動

1. 平成 8 年（1996 年）5 月：本館 竣工
2. 平成 14 年（2002 年）3 月：別館 竣工
3. 平成 26 年（2014 年）6 月：診療支援棟 着工

平成 27 年（2015 年）10 月：診療支援棟 竣工

＜施設内容＞

1 階 救急センター、各放射線機器（MRI、CT 等)、薬剤科

2 階 医局

3 階 ICU・CCU、血管撮影室（バイプレーン血管撮影装置 2 台)、手術室 3 室

4 階 ファシリティマネージメントスペース

4. 平成 29 年（2017 年）4 月：患者総合支援センター 開設
5. 平成 31 年（2019 年）4 月：大規模改修事業 着工

令和元年度完了事業：7 階西病棟、6 階西病棟、5 階西病棟、エレベーター 10 基更新、外壁修繕【外来棟・南病棟・講堂等（屋上防水・外壁改修)】

6. 令和 2 年（2020 年）11 月：ヘルスケア研究センター（健診センター）移転開設

令和 2 年度完了事業：4 階西病棟、3 階西病棟、3 階南病棟、自家発電設備更新

7. 令和 3 年（2021 年）5 月：内視鏡センター 移転開設

令和 3 年（2021 年）10 月：大規模改修事業 完工

令和 3 年度完了事業：7 階東病棟、6 階東病棟、ヘルスケア研究センター、内視鏡センター移転整備

＜大規模改修事業の主な内容＞

全 11 病棟のうち 8 病棟を改修し、エレベーター 10 基の更新、自家発電設備の更新等を行い、併せて、ヘルスケア研究センター（健診センター)、内視鏡センターを移転整備しました。

Ⅳ－２　各科の活動状況

腎臓代謝内科／人工透析センター

勤務医師

森田　善方	診療局長補佐兼責任部長 兼 人工透析センター長		
		平成26年4月～	日本内科学会総合内科専門医･指導医、日本内科学会認定内科医 日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医･指導医 日本糖尿病学会糖尿病専門医･指導医 日本医師会認定産業医
潮　　正輝	部　長	平成24年7月～	日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会糖尿病専門医
上田　久巳	部　長	平成25年4月～	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医･指導医 日本腎臓学会腎臓専門医、日本循環器学会循環器専門医 日本透析医学会透析専門医
島本　綾子		平成29年4月～	日本内科学会認定内科医
藤野　隆弘		令和元年4月 ～令和4年3月	
横江　遼一		令和2年4月 ～令和4年3月	
杉本　　陽		令和3年4月～	
中山　秀樹		令和3年4月～	
清水　真也(非常勤)		～令和3年9月	

今年度のトピックス

腎生検数、シャントPTA数などを維持しております。

特に腹膜透析の導入が増えました。

医師より腎代替療法を必要と告げられた保存期腎不全の患者･家族を対象に治療選択外来を透析センターにて開始しました。医師、看護師ともに患者･家族へ意思決定支援を行っています。

評　価

腎臓内科、糖尿病、内分泌科を全て融合して診療にあたっております。

地域の医院、病院のご紹介･連携により診療を進めております。

透析導入に加え、検査や治療目的の維持透析患者の受け入れなど、地域医療に貢献しています。透析患者全員に対して月2回の血液検査や、心エコー、CTなどを施行し、状態の評価を行っています。週1回のカンファレンスにて至適透析をめざして治療を進めています。よりよい透析生活につながるように患者教育、勉強会を行っています。

カンファレンス

診療カンファレンス：毎週木曜日

透析カンファレンス：毎週水曜日

神経内科

勤務医師

小川　雅文　　責任部長　平成25年4月～　日本内科学会認定医
日本神経学会神経内科専門医

非常勤　（外来のみ担当）
澤村　正典、戸嶋　麻耶、上田　潤、三橋　賢大、寺田　祐太、廣瀬　正和

今年度のトピックス

今年度も常勤は小川一人で他に非常勤医６名が外来を担当した。業務担当は神経内科外来･入院患者の診療以外に平日日勤帯の救急対応当番と若干の当直業務でこれも例年通りである。新型コロナウイルス感染蔓延のため外来入院ともに受診を控える人、通院間隔をあける人もかなりおられるため患者数は減少していると思われる。

他に小川は入院の認知症ケアについても担当している。

特にかわったことはないが、自己評価ではあるが他科との連携はまずまずと考えている。

消化器内科

勤務医師

西田　淳史　　診療局長補佐兼
　　責任部長　平成31年4月～　日本内科学会（総合内科専門医）
　　日本消化器病学会（専門医・指導医）
　　日本消化器内視鏡学会（専門医・指導医）
　　日本消化管学会（専門医・指導医）
　　日本肝臓学会（専門医）、日本膵臓病学会（指導医）
　　日本がん治療認定機構（認定医）

今枝　広丞　　内視鏡センター責任部長
　　平成30年10月～

野田　恵加　　部　長　平成18年4月～　日本内科学会（総合内科専門医）
　　日本消化器病学会（専門医）
　　日本消化器内視鏡学会（専門医）
　　日本医師会認定産業医

西野　恭平　　部　長　平成31年4月～　日本内科学会（総合内科専門医）
　　日本消化器病学会（専門医）
　　日本消化器内視鏡学会（専門医）
　　日本消化管学会（専門医）

大野　将司　　部　長　令和3年7月～　日本内科学会（総合内科専門医）
　　日本消化器病学会（専門医）
　　日本消化器内視鏡学会（専門医）

大脇　悠司　　令和2年4月～

酒井　奎太郎　　令和2年4月～

非常勤医師（外来、内視鏡）

安藤　朗、村上　善基、冨樫　弘一、塚田　良彦、藤本　剛英、内海　貴裕、熊谷　健

今年度のトピックス

現在7名の常勤医で診療を行っている。院内発症の消化器疾患に加え、外来や救急診療にも積極的に取り組んだ。それに伴い、外来患者数や内視鏡件数および内視鏡治療件数も増加している。湖北地域の消化器疾患の患者さんの要望に的確に対応し、患者さん中心の質の高い医療を目標として日々の診療に当たっている。また、貴重な症例については積極的に学会発表を行うようにしている。

診療実績

2021年度（令和3年度）　消化器内視鏡検査集計表

		上部内視鏡			胃EMR・ポリペク	胃・食道ESD	食道拡張又は食道ステント	EVL	EIS	PEG＋PEG交換	EUS	ERCP（治療含む）	小腸内視鏡（経口的・経肛門的））	小腸カプセル内視鏡	下部内視鏡		大腸EMR・ポリペク	大腸ESD	PTGBA又はPTGBD（PTCD）	計
		GIF（経口）	GIG（経鼻）	緊急GIF											CF	緊急CF				
2021年	4月	149	109	28	1	3	2	0	4	8	17	17	2	1	118	10	27	2	3	501
	5月	111	106	11	1	6	1	0	0	3	4	10	4	1	104	7	13	0	1	383
	6月	134	216	18	2	5	1	0	0	5	8	18	2	1	140	6	18	0	4	578
	7月	147	205	21	2	5	3	0	0	8	8	24	2	1	144	9	19	0	1	599
	8月	164	172	20	1	0	1	0	1	4	14	19	0	0	135	8	18	5	5	567
	9月	154	182	18	2	4	0	1	1	6	11	26	6	0	136	15	17	2	3	584
	10月	175	214	32	2	5	0	0	0	8	16	23	2	1	155	9	20	4	3	669
	11月	188	221	29	0	4	1	1	0	3	18	14	1	1	149	13	22	2	1	668
	12月	137	168	30	0	5	0	0	2	2	16	26	3	0	149	15	19	1	2	575
2022年	1月	160	149	29	0	3	4	0	3	4	6	16	7	1	112	5	27	3	1	530
	2月	99	82	13	1	3	2	0	1	2	5	7	3	1	65	3	16	1	1	305
	3月	183	134	28	0	8	3	1	1	6	10	10	2	0	137	9	26	1	1	560
計		1,801	1,958	277	12	51	18	3	13	59	133	210	34	8	1,544	109	242	21	26	6,519
		4,036													1,653					

カンファレンス等

Cancer Board　1回/週
消化器内科･外科合同症例検討会　1回/週
消化器内科 症例検討会　1回/週
消化器内科　抄読会　1回/週
消化器内科　内視鏡カンファレンス　1回/週

呼吸器内科

勤務医師

野口　哲男	責任部長	平成9年4月～	日本内科学会指導医･総合内科専門医 日本呼吸器学会指導医･専門医 日本人間ドック学会指導医･専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医
高木　順平	部　長	平成22年4月～	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医 日本人間ドック学会専門医
中川　雅登	部　長	平成25年4月～	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医
上林　憲司		平成25年4月～	

今年度のトピックス

構成員は野口、髙木、中川、上林の４名に加え、後期研修医として伊藤が加わった（ただし１年限定）。呼吸器内科は、喘息、COPD、間質性肺炎、肺炎などの一般内科的なものから、肺癌、中皮腫など腫瘍性疾患まで、守備範囲が多岐にわたる。加えて、新型コロナ感染の入院加療を一手にひきうけているため、コロナの感染状況によっては、相当な負担がかかる科である。幸い、他科の先生方、看護師の協力もあり、なんとか診療できている状況である（2022年5月現在、まだ第６波の終息宣言はでていない）。今後は、ウィズコロナとしてほとんどの感染者は外来治療、自宅療養となりつつある。病院としては、基礎疾患のある人、高齢者など、入院加療が必要な患者が適切な治療を受けられるように体制を維持していくことが求められる。ひきつづき、みなさまのご協力をよろしくお願いします。

カンファレンス等

毎週水曜日に呼吸器内科･呼吸器外科･放射線治療科合同カンファレンス実施

循環器内科

勤務医師

高島　弘行　　副院長 兼 責任部長 兼 内科責任部長
日本内科学会認定内科医・指導医
日本循環器学会認定専門医
日本心血管インターベンション治療学会
代議員・認定医・指導医
浅大腿動脈ステントグラフト実施医
植込み型除細動器（ICD）・ペーシングによる心不全治療（CRT）、研修修了証取得
着用型自動除細動器（WCD）処方医
リードレスペースメーカー植込み医
臨床研修医指導者講習会受講済み
臨床研修プログラム責任者講習会受講済み

國友　健生　　部　長　　浅大腿動脈ステントグラフト実施医

山科　　聡　　部　長 兼 医療安全管理室参事
日本内科学会総合内科専門医・認定内科医
日本循環器学会認定専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医、
浅大腿動脈ステントグラフト実施医
植込み型除細動器（ICD）・ペーシングによる心不全治療（CRT）、研修修了証取得
着用型自動除細動器（WCD）処方医
リードレスペースメーカー植込み医
ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター、日本医師会認定産業医

児玉　浩志　　部　長　　日本内科学会総合内科専門医・認定内科医
日本循環器学会認定専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
浅大腿動脈ステントグラフト実施医

小林　勇介　　部　長　　日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、浅大腿動脈ステントグラフト実施医

東谷　典史　　部　長　　日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定専門医

綿貫　正人　　非常勤　　（アブレーション・不整脈外来、治療）
日本内科学会総合内科専門医・認定内科医
日本循環器学会認定専門医
日本不整脈心電学会　評議員・不整脈専門医
植込み型除細動器（ICD）・ペーシングによる心不全治療（CRT）、研修修了証取得、着用型自動除細動器（WCD）処方医、日本医師会認定産業医

小澤　友哉　　非常勤　　（ICD・CRT 外来、治療）
日本内科学会認定内科医・指導医
日本循環器学会認定専門医
日本不整脈心電学会　評議員・不整脈専門医
植込み型除細動器（ICD）・ペーシングによる心不全治療（CRT）、研修修了証取得、着用型自動除細動器（WCD）処方医、小児慢性特定疾病指定医

野里　佳孝　　非常勤　　（ペースメーカー外来）
日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定専門医

活動状況・実績

循環器内科ではこの湖北地域で全国水準の総合的な循環器医療を提供できる様にと少しずつ整備を重ねてきました。近年はどの施設もコロナ禍による医療制限に悩まされていますが、当科では寧ろ年々症例数は増加しています。

心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患に対してはカテーテルインターベンション（PCI）年間500 症例程度と豊富な治療実績を維持しています。石灰化に対するダイアモンドバックやロータブレーター、血栓性病変に対するエキシマレーザーなどの専用デバイスを駆使して、より複雑で困難な病変にも対応出来る様に心がけています。

下肢閉塞性動脈硬化症や腎動脈狭窄、鎖骨下動脈狭窄などのいわゆる末梢動脈疾患についてもカテーテルインターベンション（EVT）は増加する一方で、2021 年度は年間 200 例にのぼりました。高齢者の多い土地柄でもあり、壊疽などの重症虚血肢がかなり増加していますが、予後と密接に関連することから出来る限り諦めずに救肢する方針で積極的に介入しています。

2019 年 12 月から不整脈についてのカテーテルアブレーションも開始しましたが、こちらも初年度から年間 120 例を突破し、年々増加傾向です。特に心房細動のアブレーションについては、心不全治療の一環と捉えて治療にあたっています。

さらに 2021 年から重症心不全に対する両室ペースメーカーによる心臓再同期療法（CRT）、難治性心室細動に対する植え込み型除細動器治療（ICD）、また ICD 植え込み前の待機時に装着する着用型自動除細動器（WCD　除細動機能のついたベスト）治療といった最新デバイス治療を開始しました。薬物療法では対応不可能な患者でも CRT を導入することにより、改善が可能となっています。

また心室細動や心室頻拍などの致死性不整脈により院外心停止を来した患者は、早期の人工心肺により全身状態を落ち着かせてから、長期的な治療方針を決定するまでの間、着用型自動除細

動器（WCD）を装着し、その後に植え込み型除細動器（ICD）による治療を行います。これまで湖北ではこれらの高度循環器診療が可能な認定施設がなく、はるばる大学病院まで移送しなければならなかったので、患者様やそのご家族には随分ご迷惑をおかけしていました。今後は当院でこれらの難治性不整脈や心不全に対するデバイス治療を行い、手術後は当院の ICD・CRT 専門外来で管理致します。

最後にストラクチャー部門ですが、高齢者に多い大動脈弁狭窄症でもいきなり開心術に持ち込むのが難しい場合は経皮的大動脈弁拡張術でブリッジすることも行っています。当院は県南部からかなり距離があり、地域完結型医療の実践を院是としていますので、心臓血管外科とタイアップしながら TAVI の導入についても整備していく方向です。

カンファレンス等

症例検討会及びカンファレンス　　毎週木曜日

リウマチ膠原病内科

勤務医師

梅原　久範	嘱託医	平成29年1月～	日本内科学会認定内科医
	兼特任部長		日本リウマチ学会リウマチ専門医･指導医
			日本シェーグレン症候群学会理事
中村　拓路	嘱託医	平成29年1月～	日本内科学会認定内科医･総合内科専門医
			日本リウマチ学会リウマチ専門医･指導医
			日本血液学会認定血液専門医･指導医
佐藤　智美	非常勤		日本内科学会認定内科医･総合内科専門医
田中　真生	非常勤		日本内科学会認定内科医･総合内科専門医･指導医
			日本リウマチ学会リウマチ専門医･指導医
森　　将人	非常勤		日本内科学会認定内科医
			日本リウマチ学会リウマチ専門医
谷口　雅司	非常勤		日本内科学会認定内科医･日本リウマチ学会リウマチ専門医
内藤　遼太	非常勤		日本内科学会認定内科医･日本リウマチ学会リウマチ専門医
中島　友也	非常勤		日本内科学会認定内科医･日本リウマチ学会リウマチ専門医

病院の概要

滋賀県唯一のリウマチ膠原病診療拠点を確立した。特に、専門医の少ない湖北においては、リウマチ膠原病診療の中核病院として、近隣の病院診療所と連携を取り、湖北の診療レベルの向上に尽くしている。また福井県南部、京都府北部地域、岐阜県からの紹介患者も受け入れ、広くリウマチ膠原病の診療サポートを行っている。

活動状況・実績

1）外来：以前から通院中の 1,020 名のリウマチ膠原病患者の診療に加え、平均 12 － 20 名 / 月のペースで新規の紹介患者を受け入れている。2）入院：重症の膠原病患者、新規のバイオ製剤導入患者を受け入れ入院治療している。現在、平均 6 － 12 名 / 月の入院数である。3）血

液疾患患者のうち、当院でフォロー可能な患者の入院治療を担当する。現在、6 － 10 名 / 月ほどである。4）京大病院での KURAMA コホートと連結し、当院でも「ながはまリウマチコホート」を実施している。現在、554 名の外来通院中患者が登録されている。ドクターアシスタント、看護師、医事課の協力を得て、順調に進行している。

昨年は COVID-19 のために Youtube での配信を余儀なくされたが、毎年「市民公開講座」を開催しリウマチ膠原病の啓蒙に努めている。当院リウマチセンター長梅原久範先生が『膠原病とステロイド』を講演し、京都大学医学部附属病院リウマチセンター特定准教授田中真生先生が『関節リウマチ病気のしくみと治療について』を講演し好評であった。

嘱託医 2 名、非常勤医 6 名体制で専門外来 2 診体制で診療中である。

リウマチ指導医 3 名、専門医 3 名で安全で密度の濃い診療に努めている。

血液疾患に関しても、非常勤医 3 名と嘱託医 1 名が協力し外来および入院患者の診療にあたっている。白血病など移植を必要とする患者については、滋賀医科大学、京都大学と連携をとっている。5）リウマチコホートに関して、看護部、医事課と協力し 10 － 20 人 / 月の登録を行う。現在では、1 日平均 30 人、年間のべ 7,500 人の患者様が当センターに通院されている。最終的には 1,000-1,500 名程度の登録と予想する。

評　価

リウマチ膠原病診療の充実とともに、実質的な患者数増加と収益の増加が期待される。さらに、ながはまリウマチコホートを介して、専門診療の充実を市民にアピールすることにより、当院の臨床的学術的秀逸性が周知されてきた。

リウマチセンター

「滋賀県で一番のリウマチ診療拠点を目指して」

滋賀県は、近畿のなかではリウマチ膠原病診療施設少ない県で、長浜・彦根・米原を含めた湖北地方には、リウマチ膠原病診療の拠点病院がございませんでした。

これまでは、京都大学病院から非常勤医師を派遣していただき、リウマチ専門外来として対応して参りました。しかし、診断や治療が難しい患者さんや重症の患者さんは、京都大学病院に転院して頂かなければなりませんでした。

このような状況の中、京都大学臨床免疫内科三森教授、当院野田事業管理者のご高配で、平成 29 年 4 月 1 日より市立長浜病院リウマチセンターが開設されました。当センターのスタッフは、整形外科廣瀬責任部長と３人のリウマチ膠原病内科医と秘書で、京都大学からも４人の非常勤医師の派遣を得て、2 診体制の外来と入院治療を担当しています。

現在では、1 日平均 30 人、年間のべ 7,500 人の患者様が当センターに通院されておられます。

全ての診療科に共通することですが、医療の進歩に伴って、治療効果の優れた高額な新薬や生物学的製剤が日常的に使われるようになりました。その分、経済的な患者さんへの負担増加や、免疫抑制による感染症発症等、注意深い配慮が必要です。

当リウマチセンターの大きな特徴は、受診して頂いた全ての患者さんに「ながはまリウマチコホート」に入って頂き、初診時からの臨床所見や検査結果をデータベースに保存し将来の解析に備えています。このコホート調査は、自分達が実施した診療が本当に正しかったのかを評価する貴重なデー

タにもなります。これからの時代は、一方的に医者が患者に施す医療ではなく、最善の結果を患者に還元できる医療が要求されてきます。

論語の中に、「学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）」という言葉がございます。いくら先進的な治療を行っても、その結果を真摯に受け止めなければ、本当に患者さんにとって良かったのかどうか解りません。

市立長浜病院リウマチセンターでは、一人一人の患者さんを大切にしていきたいと思います。

総合診療内科

勤務医師

小泉　俊三　　非常勤　　平成24年6月～　米国外科認定機構専門医、日本外科学会認定医

今年度のトピックス

高齢社会が現実のこととなり、多疾患併存患者が増え続ける中で、わが国の医療システムの中における総合診療部門の必要性はますます高まっています。平成 24 年 6 月には地域住民のニーズに応えるとともに臨床研修医の外来研修を支援することを目的として月 1 回の総合診療内科外来が開設されました。

平成 25 年 5 月からは月 2 回のペースで主として専門診療科が明確に定まらない初診患者さんや病診連携システムを通じて紹介されてきた患者さんを中心に臨床研修医とともに外来診療を行ってきました。令和 3 年度は、令和 2 年以降、新型コロナ感染症の影響で発熱患者の診療体制が別途に設けられたことや感染リスクに対する不安から患者さんが受診を控えたこともあって、令和 2 年度と同様、受診患者数の減少傾向が続きました。

そのような中でも少数例ながら以下に示すような教訓的な症例に遭遇し、臨床研修医を交えた振り返りを通じて貴重な体験を共有し、臨床研修医の学びに寄与することが出来ました。

【教訓的症例】

・健診異常 (白血球数増多) で複数の医療機関受診歴のある 20 歳台女性に精査と療養指導を行った例
・急速な認知機能の低下に対して頭部 CT 検査を再検し、慢性硬膜下血腫を診断出来た 70 歳台女性
・眼科手術後に生じた原因不明のめまいが数か月にわたる積極的傾聴によって消失した 60 歳台男性
・病診連携システムで紹介されてきた認知症を伴う 70 歳代女性の不明熱の原因が尿管腫瘍であった例

勤務実績

令和 3 年度は、計 24 回、総合診療内科外来を開設しました。新型コロナ感染症の影響で、受診患者数が前年と同様に少なかったものの、交替で総合診療内科外来を担当した臨床研修医とは、担当した症例から学んだこと以外に総合診療の意義や医師として進路に関して幅広い充実した討論が出来ました。

評　価

臨床研修医の外来研修を充実させるためにも一定の患者数があることが望ましく、何らかのかたちで午前中に受診する内科系救急患者の診療にかかわることが出来るか否か検討したいと考えています。

カンファレンス

午後２に時から研修医のための症例振り返りと臨床に直結したテーマについてのミニレクチャーを実施することを基本としていますが、各診療科における業務（研修）との兼ね合いで臨床研修医がカンファレンスに参加できないことが少なからずありました。今後、カンファレンスの時間帯も含めて検討を要すると思われます。

緩和ケア外来こころ

勤務医師

森田　幸代	非常勤	平成21年4月～	滋賀医科大学附属病院　腫瘍センター 日本臨床精神神経薬理学会指導医･専門医 日本精神神経学会専門医･指導医 精神保健指定医、日本医師会認定産業医 日本総合病院精神医学会　暫定指導医 日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士

診療：毎週火曜日（午後）

カンファレンス等

緩和ケアチーム回診　　毎週火曜午後（診療終了後）

睡眠時無呼吸症候群外来

勤務医師

上津　昌広	部　長	高齢者医療研修会　ワークショップ形式修了 高齢者医療研修会　座学形式修了 日本人間ドック学会人間ドック専門医
角谷　　寛	非常勤	日本睡眠学会認定医

診療内容

睡眠1時間あたり30回以上無呼吸や低呼吸を繰り返す重症の睡眠時無呼吸症候群を治療せずに放置すると、脳梗塞や心筋梗塞の危険が高くなります。

当院では、CPAP（持続陽圧換気療法）やマウスピース（OA）による治療を行っています。いびきや睡眠中の無呼吸が気になる場合は受診して、脳梗塞や心筋梗塞を予防しましょう。毎週火曜日･木曜日午後に完全予約制で診療中です。

小児科＆ NICU

勤務医師

多賀　俊明	顧　問	日本小児科学会専門医･指導医、日本小児神経学会専門医 日本小児心身症学会認定医、子どもの心専門医機構専門医 日本小児科医会「子供の心」相談医
原　　晃啓	非常勤	
伊藤　宏司	非常勤	
岩瀬亜紀子	非常勤	日本小児科学会専門医
松浦　　馨	非常勤	臨床心理士､公認心理師

今年度のトピックス

令和３年４月から産婦人科医師派遣の休止に伴い分娩が休止となり、NICU・GCU、新生児室が閉鎖となりました。またコロナウイルスの感染拡大に伴い、コロナ病棟を新設・稼働となり、一般病床の削減に伴い、小児科の病床数も大幅に削減されました。しばらくは外来診療をできる限り継続することになりそうです。

業務実績

外来診療：毎日の一般診療とともに午後から脳波外来、慢性疾患外来、予防接種外来、子どものこころ相談外来の各専門外来と、公認心理師によるカウンセリング外来を行っています。

評　価

一般外来の患者数はコロナウイルスの感染拡大に伴い、著しく減少しています。学校の休校や自宅待機が長引くに伴い、子どものこころ相談外来は、診療所の先生からの紹介もあり確実に増加してきています。

外　科

勤務医師

川島　和彦	責任部長兼 中央材料室長兼 患者総合支援センター長 平成28年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、マンモグラフィ読影認定医、日本静脈経腸栄養学会 NST 医師、近畿外科学会評議員、京都医科大学医学部臨床准教授、近畿外科学評議員、日本緩和医療学会緩和医療認定医
野田　秀樹	事業管理者兼 医療政策監 平成7年4月～	日本外科学会指導医・専門医認定登録医、日本消化器外科学会指導医・専門医認定登録医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、ICD 制度協議会認定 ICD、日本医師会認定産業医
髙折　恭一	院　長兼 主任部長	日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技術指導医、日本膵臓学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・一般外科）
東出　俊一	副院長兼 主任部長 平成8年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本乳がん検診制度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医師、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、京都大学臨床教授、日本膵臓学会指導医、日本医師会認定健康スポーツ医
上田　修吾	外　科	日本外科学会（専門医・指導医）、日本消化器外科学会（専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医）、日本食道学会（食道科認定医・食道外科専門医）、日本がん治療認定医機構（がん治療認定医）、近畿外科学会評議員、京都大学医学部臨床教授
笠井　洋祐	部　長	日本肝臓学会専門医、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医
吉野　健史	部　長	日本肝臓学会専門医、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・一般外科）、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定士、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医師
神田　雄史	顧　問 平成7年6月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、厚生労働省死体解剖資格認定医

西川　忠男　　嘱託医　　日本医師会認定産業医、日本外科学会認定医・専門医、日本胸部外科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本消化器病学会専門医
平成30年4月～

業務実績：今年度の手術室での主要な手術の件数

胃癌の手術	30 件	（鏡視下手術　27 件）
大腸癌の手術	66 件	（鏡視下手術　54 件）
膵疾患の手術	13 件	（鏡視下手術　5 件）
肝腫瘍の手術	11 件	（鏡視下手術　5 件）
胆嚢の手術	85 件	（鏡視下手術　72 件）
ヘルニアの手術	63 件	（鏡視下手術　47 件）
乳腺の手術	60 件	
その他	93 件	合計　421 件

カンファレンス等

毎週月曜日に病理、放射線診断、放射線治療、消化器内科、泌尿器科等と合同で Cancer Board を開いています。

毎週金曜日、病棟回診及び化学療法カンファレンス、次週の術前カンファレンスを行っています。

呼吸器外科

勤務医師

田久保康隆	診療局長兼責任部長	
	平成23年4月～	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、日本胸部外科認定医、日本外科学会専門医
奥野　翔子	平成30年4月～	日本外科学会専門医
三由　　僚	令和2年4月～	呼吸器外科専門医、日本外科学会専門医

今年度のトピックス

当院呼吸器外科スタッフの変動はなく、3 人で診療に従事しています。

業務実績

令和 3 年 1 月から令和 3 年 12 月までの 1 年間で年間全身麻酔下手術件数は 129 例であり、そのうち原発性肺がんは、63 例であった。

評　　価

引き続き湖北での呼吸器診療の中心機関としての任務を果たしていきたいと考えている。

整形外科

勤務医師

廣瀬　伸次	責任部長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医 日本リウマチ学会専門医
江藤　謹司	部　長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医 運動器リハビリテーション医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医
尾田　和広	部　長	日本整形外科学会専門医
櫻木　淳史	部　長	日本整形外科学会専門医
田中　　淳	部　長	日本整形外科学会専門医、日本骨粗鬆症学会認定医
辻本　和之		日本整形外科学会専門医
高田　　健		
滝口　陽介		
杉本　正幸		日本整形外科学会専門医、脊椎脊髄病医 運動器リハビリテーション医、 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本骨粗鬆症学会認定医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、義肢装具適合判定医 中部日本整形災害外科評議員
琴浦　良彦	非常勤	日本整形外科学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
後藤　公志	非常勤	日本整形外科学会専門医、運動器リハビリテーション医 京都大学整形外科准教授

今年度のトピックス

コロナ禍により減少していた人工関節の総数は、改善傾向に向かったが、コロナ感染者の増加やワクチン接種を優先されるため待機手術を控える傾向があり、軽度な改善にとどまった。また、人工膝関節単顆置換術の症例が増えるにつれて、骨折等の合併症も散見されたため適応見直しをせまられた。一方、人工距骨や人工足関節といった足関節治療において、内側または外側アプローチを症例に応じて使い分けて行える様になった。

脊椎手術においては、XLIF（内視鏡下腰椎側方椎体間固定術）をメインとして行ってきたが、隣接椎間障害等の再評価を行い、MED（内視鏡下椎間板摘出術）およびPED（経皮的椎間板摘出術）といった低侵襲手術を選択する症例が増えた。

外来前に大型テレビを設置して、リハビリおよび骨粗鬆症リエゾンサービス委員会の協力のもと患者さんの外来待ち時間を利用して疾患教育を開始した。

骨粗鬆症リエゾンサービス委員会では、大腿骨頚部骨折に関する患者さん向けパンフレットを作成し診療への活用を開始した。

業務実績

整形外科年間手術件数 932 例（人工股関節 122 例、人工膝関節 113 例、脊椎 144 例）
1日平均入院患者数　　62 人
1日平均外来患者数　102 人

カンファレンス等

ミニカンファレンス	月曜日　朝	手術カンファレンス	火曜日　夕
部長総回診	木曜日　午前	手術	毎日

形成外科

勤務医師

藤林　久輝	部　長	平成18年9月 ～令和3年12月	学会認定医･専門医等　日本形成外科学会専門医
前田　和彦	非常勤	令和3年4月～	

今年度のトピックス

藤林先生が令和３年 12 月まで在籍し、前田先生が引き継ぎました。

脳神経外科

勤務医師

小林　映	顧　問	平成6年4月～	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医
小室　太郎	副院長	平成23年4月～	日本脳神経外科学会専門医･指導医 日本脳卒中学会専門医･指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術指導医 京都大学医学部臨床教授
堀口　聡士	責任部長	令和1年7月～	日本脳神経外科学会専門医･指導医 日本脳神経外科学会近畿支部学術評議員 日本脳卒中学会専門医･指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術認定医 日本神経内視鏡学会技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医 京都大学医学部非常勤講師
佐藤　岳史	部　長	平成24年8月～	日本脳神経外科学会専門医･指導医 日本脳卒中学会専門医･指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本神経内視鏡学会技術認定医 日本定位機能神経外科学会技術認定医 日本リハビリテーション医学会臨床認定医
山本　優	嘱託医師	令和3年4月 ～令和3年9月	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医

日本脳神経血管内治療学会専門医

濱本　諒　　嘱託医師　令和3年12月
～令和4年3月

今年度のトピックス

山本優医師が令和３年４月から９月末まで、濱本諒医師が 12 月から令和４年３月まで勤務しました。

日本脳卒中学会により一次脳卒中センター (PSC) に認定され、急性期脳梗塞に対する t-PA 静注血栓溶解療法、血管内治療による急性期血栓回収療法が可能です。神経内科と共同で脳卒中ケアユニット (SCU) ６床を運営しています。脳卒中診療に限らず、提供できる医療を確実に行い、地域医療に貢献できるよう努力しています。急性期診療以外にも、不随意運動症、疼痛、てんかんなどを電気刺激で制御する機能脳神経外科、リハビリテーション科・地域包括ケア病棟・脳神経外科外来との協力の下で慢性期維持リハビリテーション入院や、脳血管障害後の自立のために自動車運転機能の短期入院評価も行っています。

業務実績（令和３年１月～ 12 月）

年間手術数：130 件

脳腫瘍開頭手術：10 件、経蝶形骨洞手術：５件
脳動脈瘤クリッピング術：３件、脳動脈瘤コイル塞栓術：13 件
急性期血栓回収療法：８件、頚動脈ステント留置術：７件

年間入院数：530 件

t-PA 静注血栓溶解療法：８件

評　価

入院患者数は減少しましたが、手術件数はほぼ横ばいに維持しています。破裂脳動脈瘤に対しては、脳血管内治療によるコイル塞栓術を選択する例が多くなっています。動脈瘤の部位、形状、および病状などに応じて脳動脈瘤頚部クリッピング術を含めて適切な治療を検討しています。また、頚部内頚動脈狭窄症に対しては頚動脈ステント留置術が増加しています。

各科カンファレンス状況等

医師と看護師による、脳神経外科症例カンファレンスを毎週火曜日に開催。

医師、看護師、リハビリテーション技師、薬剤師、退院支援部門による、脳神経外科症例多職種カンファレンスを毎週金曜日に開催。

心臓血管外科

勤務医師

植山　浩二	責任部長	平成31年4月～	心臓血管外科専門医認定機構専門医･修練指導医
			日本胸部外科学会指導医･認定医
			日本外科学会指導医･専門医･認定医
			日本循環器学会専門医
			腹部ステントグラフト実施医
			下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医
			京都大学医学博士
長門　久雄	部　長	令和3年4月～	心臓血管外科専門医認定機構専門医･修練指導医
			日本胸部外科学会指導医･認定医
			日本外科学会指導医･専門医･認定医
			下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医
洞井　和彦	部　長	平成19年5月～	心臓血管外科専門医認定機構専門医･修練指導医
			日本胸部外科学会認定医
			心臓血管外科国際会員
			日本外科学会指導医･専門医･認定医
			腹部ステントグラフト実施医
			下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医･指導医
			京都大学医学博士
高井　文恵	部　長	平成31年4月～	日本外科学会専門医
吉良　浩勝	部　長	平成27年1月～	心臓血管外科専門医認定機構専門医
			外科専門医
			腹部ステントグラフト実施医･指導医
			胸部ステントグラフト実施医･指導医

今年度のトピックス

心臓弁疾患に対する MICS（低侵襲心臓手術）の推進、大動脈瘤破裂における緊急ステントグラフト留置術、下肢静脈瘤における血管内治療の推進を行った。

取り組み方針

1. 患者第一、誠心誠意　　2. 地域に信頼される病院づくり　　3. 地域完結型の医療体系構築

業務実績

総手術件数　　258 例

心臓・胸部大動脈手術　　52 例 (ステントグラフト手術 4 例)

腹部大動脈手術　　33 例 (ステントグラフト手術 15 例)

末梢血管手術　　169 例

評　価

地域に真っ先に選択していただける病院とならねばなりません。

チームとして医療サービスの質の向上に努める必要があります。

カンファレンス等

毎朝　8：30 ～　全入院患者力ンファ レンス
火曜 15：30 ～　総回診
金曜 15：30 ～　術前カンファレンス

皮膚科

勤務医師

井階　幸一　　責任部長　平成26年4月～　日本皮膚科学会皮膚科専門医
澤井　孝之　　非常勤　　平成26年4月～

今年度のトピックス

とくになし

業務実績

皮膚科では、外来診療を中心とし、「日本皮膚科学会の診療ガイドライン」に準拠した皮膚疾患の標準的な診断、治療を行っています。

評　価

とくに力を入れたいと考えているのが、褥瘡、老人性湿疹、足病変、などの高齢者の皮膚トラブルです。湖北地域では、日本の将来を先取りする超高齢化社会が到達しつつあります。高齢者の増加に伴い、褥瘡や陰部の皮膚トラブル、足の病変の患者さんが急増しています。院内では褥瘡対策委員会などで適切に処理されていますが、さらに、形成外科、「皮膚･排泄ケア認定看護師（いわゆる WOC ナース）」と共同して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアに対応していきたいと思っています。現在のところ、一人医長なので、皮膚科で入院患者をとる事は困難ですが、内科などの科で入院されたときには、主治医と協力して皮膚疾患、皮膚トラブルの処理に当たりたいと考えています。今後、地域の医療機関、スタッフの方々と協力して、高齢者のスキンケア、皮膚のトラブルの処理に当たりたいと思っています。

カンファレンス等

年 1 回、長浜バイオ大学において「医療安全管理学演習　皮膚検体採取」の講義を受け持っております。

年 1 回、近畿高等看護専門学校において「疾病と治療Ⅳ　皮膚科疾患の病態及び検査、治療について」の講義を受け持っております。

毎月、第 4 木曜午後 5 時より行っておりました長浜赤十字病院皮膚科と臨床カンファランス、コロナ感染予防のため中止しておりましたが、再び、復活しています。

泌尿器科

勤務医師

村井　亮介	責任部長	令和3年4月～	日本泌尿器科学会専門医、指導医
			日本がん治療認定医機構　がん治療認定医
城　　文泰	非常勤	令和3年4月～	日本泌尿器科学会専門医

今年度のトピックス

令和３年４月より入院および手術、紹介患者の受け入れを再開しました。他科および関連医療機関のご協力を得ながら、時間外救急対応、入院診療、泌尿器科的手術を行い、外来患者数および手術症例数は増加傾向です。

業務実績

主な手術および検査件数

腹腔鏡下腎・副腎手術 5 件、経尿道的膀胱腫瘍切除術 30 件、経尿道的尿路結石手術 36 件
経尿道的前立腺手術 2 件、腹膜透析関連手術 9 件、その他 10 件
体外衝撃波結石破砕術 13 件（新規患者数）
前立腺針生検 31 件

カンファレンス等

キャンサーボード：毎週月曜日

産婦人科

勤務医師

林	嘉彦	特任部長	平成19年2月～	滋賀医科大学臨床教授 日本産科婦人科学会専門医･指導医 母体保護法指定医
久田	純江	嘱託医	令和3年４月～	日本産科婦人科学会専門医
上村	真央	非常勤	平成29年4月～	日本産科婦人科学会専門医

今年度のトピックス

2021 年４月から大学医局からの産婦人科医師の派遣が休止となり、分娩と手術は中止となり外来診療のみ行っています。国の進める医療改革・働き方改革の影響で産婦人科医師を集約化させる必要が生じたためです。ですが癌拠点病院からの産婦人科医師の撤退は影響が大きく、多くの患者様にご迷惑をおかけしています。湖北地域の産婦人科診療の減弱とならぬかと危惧しています。現在の人員では出来ることは限られますが、今後とも地域医療のため尽力するつもりです。今後とも一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

業務実績

2021 年４月より分娩・手術は中止となり外来診療のみ行っています。

令和３年度産婦人科外来患者数：6,589 名

評　価

外来診療のみ行っています。分娩・手術は中止となり残念です。

カンファレンス等

適宜外来診療スタッフでカンファレンスを行い、診療情報を共有しています。

眼　　科

勤務医師

額田　正之	責任部長	令和3年4月～	日本眼科学会専門医、京都大学医学博士、 臨床研修指導医、難病指定医 令和3年度視覚障害者用補装具適合判定医師研修会修了
西村　宗作	部　長	平成23年4月～	日本眼科学会専門医
堤　啓志郎		令和4年4月～	

今年度のトピックス

令和３年４月より額田正之医師が赴任いたしました
令和４年４月より専攻医　堤啓志郎が赴任いたしました

業務実績

総手術件数　　1,011件

主な手術件数

白内障手術	432件（単独および他の手術との併用含む）
緑内障手術	15件（白内障手術併用含む）
硝子体手術	38件（白内障手術併用含む）
経強膜網膜復位術	0件
その他	29件
硝子体内薬物注射	517件

評　　価

湖北地域の中核病院としての機能は維持できていると考えており、今後も難治性白内障、網膜硝子体疾患、緑内障治療に力を注ぎたいと思います。

カンファレンス状況

術前･術後カンファレンス　毎週月･水曜日
斜視･弱視カンファレンス　毎週金曜日

耳鼻咽喉科

勤務医師

糟谷　憲邦	責任部長　平成20年10月～	日本耳鼻咽喉科学会専門医･指導医	
		日本耳鼻咽喉科学会専門医	
原　　思織	令和元年5月～		
西口　達治			

今年度のトピックス

4月より西口達治先生が滋賀医科大学大学院に入学しました。研究との両立は大変ですが、さらなるステップアップが期待されます。

11月に原思織先生が学位を取得しました。出産、子育てとイベントが続き、落ち着いた環境ではなかったのですが、公私ともに努力されたことが実を結んだのではないかと思います。

業務実績

鼓室形成術：7例
内視鏡下鼻副鼻腔手術：21例
鼻中隔矯正術：6例
下鼻甲介骨切除術：9例
口蓋扁桃摘出術：32例
甲状腺腫瘍手術：15例
副甲状腺腫瘍手術：4例
唾液腺腫瘍手術：3例(耳下腺2例･顎下腺1例)
頚部郭清術：2例
ラリンゴマイクロ：3例
気管切開術：8例
頚部リンパ節生検術：11例

評　価

コロナ渦であったため、月毎の症例数も安定せず、1年間の手術症例数は115症例で昨年度と比べ減少しています。大きな変動はありません。

このような環境であっても、十分な安全対策･感染管理のもと、入院･手術症例、外来での紹介患者を増やし、効率よく手術枠を活用していきたいと考えております。

カンファレンス

症例検討会 (外来・手術症例) ・術前カンファレンス：毎週火曜日 第 1、3、5 金曜日

麻酔科

勤務医師

木田　英樹	責任部長　ICU･CCUセンター長	令和2年4月～	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会認定医･認定指導医 厚生労働省認定麻酔科標榜医
柳田　豊伸	部　長	令和3年4月～	日本専門医機構麻酔科専門医 厚生労働省認定麻酔科標榜医
佐々木　一真		令和3年4月 ～令和4年3月	日本麻酔科学会認定医 厚生労働省認定麻酔科標榜医
河野　匡暁		令和3年4月 ～令和4年3月	日本麻酔科学会所属

今年度のトピックス

･4月に柳田医師、佐々木医師、河野医師が赴任した。3月末で佐々木医師、河野医師が異動した。
･前年度常勤医3名＋非常勤医1～2名が常勤医4名＋非常勤医1名体制となった。
･コロナ対策でマックグラスを2つ追加、GE社製エコー、ディスポ気管支ファイバーを購入した。
･コロナ対策で中止していた救急救命士の挿管実習を再開し、1名受入れた。

業務実績

･麻酔科管理件数は1,556件で前年の1,614件より58件(3.6ポイント)減少した。
･麻酔科外来(麻酔前コンサルト)は37件で前年度より6件減少した。

評　価

･今年度もコロナ禍が継続しており、不急の手術が避けられた。その他、産婦人科の診療中止、泌尿器科が診療を再開したことが手術件数に大きく影響した。これらを総合すると麻酔管理手術件数は、前年より 3.6 ポイントの減少となった。

カンファレンス等

･中止していた毎朝の症例検討会はコロナ対策を行って再開した。
･毎週金曜日朝の症例検討会前に勉強会の時間を設け各自テーマを選び発表した。

ICU CCU センター

勤務医師

木田　英樹　　ICU･CCUセンター長　　令和2年4月～
野村　耕一郎　ICU･CCU係長

今年度のトピックス

今年度よりクリティカルケア看護認定看護師が在籍することで「早期離床･リハビリテーション加算」を取得できるようになった。

業務実績

年間の延稼働床は昨年度より 4%増加しています。それに伴い加算についても増加しました。これは単価の高い 7 日以内の患者数が 7 日以上の患者数を大幅に上回ったことが要因と考えます。平均在室日も 3.1 日と減少したのは、外科の術後及びアブレーション後の受け入れが大きく影響してると考えます。科別内訳（入室数：延患者数）は心臓血管外科例（15.8%・31.3%)、循環器内科例（33.7%・28.7%)、脳神経外科例（13.9% 13.2%)、外科例（10%・17.6%)、呼吸器外科例（2.5% 4.2%）が主だった。ところで、特に心臓血管外科・呼吸器内科が昨年度より減少した分を循環器のアブレーション後で補えたといえます。

特定集中治療室の重症度、医療・看護必要度の割合は 92.2%で基準を満たしていました。

重症患者の IABP 稼働は 24 名、ECMO 稼働は 43 名ありました。ECMO に関しては年々増加傾向にあります。CPA 蘇生後に救命できている症例が増えていることが伺えます。

ICU 満床による重症受け入れ困難時間を回避する取り組みを継続しており、今年度は 45 時間 15 分という結果でした。取り組み前と比較すると 5 分の 1 程度に減少しました。一般病棟の ICU 後方ベッドの確保体制が整ったといえます。

評　価

今年度は消化器外科手術の受入れを再開したことで延患者数と算定アップに繋がったと考えられます。アブレーション件数についても年々増加していることもあり在室に日数も短くなった。全体的にみると平均入室数が6床（前年度 5.8）であり目標の7床にしていくための工夫として、救急外来や各科医師へ積極的に入室条件などの説明が必要と考えています。また、クリティカルケア認定看護師教育課程修了者が在籍しているため次年度より早期離床リハビリ加算の取得が可能となりました。今後さらに診療報酬改訂にて早期栄養管理加算の取得を目指して ICU 看護の充実につなげていきたいと考えます。

カンファレンス等

平日毎朝　心臓血管外科症例カンファレンス&ウォーキングカンファレンス
火曜日　　心臓血管外科回診　　RST 回診
金曜日　　心臓血管外科術前カンファレンス
適宜　　主治医と看護師、必要に応じて他コメディカルとともにカンファレンス開催
　　心臓血管外科死亡症例でデスカンファレンスを 1 事例
　　倫理事例についても 5 件実施。

放射線科（治療部門）

勤務医師

小坂　恭弘	責任部長　平成31年4月～	日本医学放射線学会放射線治療専門医
	兼　放射線治療品質管理室長	日本医学放射線学会指導医
	兼　放射線治療センター長	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		日本がん治療認定医機構がん治療認定医指導責任者
安永　敏美	特任部長　令和3年4月～	日本医師会認定産業医
松尾　幸憲	非常勤　平成30年4月	日本医学放射線学会放射線治療専門医
	～令和4年3月	日本医学放射線学会指導医
		日本がん治療認定医機構がん治療認定医
		日本がん治療認定医機構がん治療認定医指導責任者

今年度のトピックス

リニアック（放射線治療機器）の更新を令和５年度前半に予定しており、それに向けて準備をすすめています。

業務実績

令和３年度実績　原発部位別照射新患数（転移の治療も原発部位で分類、再初診除く）

原発部位	脳	頭頸部	食道	肺縦隔	乳腺	肝胆膵	消化管（食道除く）	女性生殖器	泌尿器	血液	皮膚骨軟部	良性	合計
照射件数	4	7	4	81	40	10	14	0	40	8	2	0	210

脳定位照射数 13 件　体幹部定位照射数 35 件
IMRT 70 件

コロナ禍でも患者数は変わらず、高精度放射線治療の割合はむしろ増えています。

評　価

湖北地域では高精度治療である強度変調放射線治療（IMRT）と脳･体幹部定位放射線治療（SRS･SRT、SBRT）を含む放射線治療を実践している唯一の施設となっています。常勤医２名体制となってからは IMRT の適応範囲を従来の脳、頭頸部、前立腺だけではなくあらゆる部位に広げ、より多くの疾患で有害事象が少なく効果的な治療が実践できるようにしています。一度照射した部位に対する再照射も積極的に行っています。

治療法の選択においてはエビデンスや患者さんの背景・希望をふまえ、他の診療科や他施設とも相談の上、放射線治療に限らず最適な治療選択肢を提示できるように心がけております。

カンファレンス等

放射線治療科ミニミーティング	平日毎朝
放射線治療科 QA 会議	火曜日
放射線治療科画像カンファレンス	火曜日
呼吸器キャンサーボード	水曜日
腹部・骨盤キャンサーボード	月曜日

放射線科（診断部門）

勤務医師

若宮　　誠	責任部長	平成22年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医
			日本IVR学会IVR専門医
			腹部ステントグラフト指導医
			胸部ステントグラフト指導医
			検診マンモグラフィー読影認定医(A)
			日本医学放射線学会研修指導者
宮川　善浩	部　長	平成24年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医
			検診マンモグラフィー読影認定医(B)
			日本医学放射線学会研修指導者
石本　聡史	専攻医	令和3年4月～	

業務実績

読影については至急読影の依頼に対応しつつ、各科にできるだけ早く所見を返しています。他院からの紹介患者についても至急読影を行っており、患者および開業医のニーズに対応しています。IVR は腫瘍に関連した IVR のほか、外傷や出血などに対する緊急 IVR にも対応しています。心臓血管外科の大動脈ステントグラフト内挿術にも参加しています。

時間外には依頼に応じて JOIN システムを用いて診断しています。

診断件数　CT：20,222　MRI：6,747　RI：492　胸部単純写真：556　消化管造影：20
IVR　　163(血管系：154　非血管系：9)　うち緊急 IVR：9
JOIN 件数　144

評　価

CT2 台 (支援棟含め 3 台)、MRI2 台 (1.5T と 3T 各 1 台) に対して常勤医 2 人 (診断専門医 2 人) は少なく、非常勤の先生方に助けられながら朝から夕方まで間断なく業務をこなしています。画像診断管理加算 2 を維持しながら標準レベル以上の診断を保てていると考えています。

カンファレンス等

キャンサーボード　毎週月曜日

病理診断科

勤務医師

黒澤　　学	責任部長	平成25年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 死体解剖資格認定医
今　　琴	医　員	令和2年1月 ～令和3年11月	死体解剖資格認定医

今年度のトピックス

標本作製の機械化に取り組み、医療安全の向上に努めた。

業務実績

組織診断：約 3,000 件 / 年、細胞診断：約 6,000 件 / 年、病理解剖：8 件 / 年

評　価

稀な症例や興味深い症例が散見された。今後は学会発表、論文執筆などに取り組みたい。

カンファレンス等

キャンサーボード　毎週月曜日
細胞診カンファレンス　2-3 回 / 週
病院 CPC　6 回 / 年

歯科・歯科口腔外科

勤務医師

近藤　定彦	責任部長	平成30年10月～	日本口腔外科学会専門医･指導医､厚労省歯科研修指導医
佐藤　　舞		平成27年4月～	日本口腔外科学会認定医
			日本アンチエイジング歯科学会認定医
杉藤　雅孝		平成29年4月～	日本口腔外科学会認定医､日本外傷歯学会認定医
田代　千紘		令和3年4月～	
飯塚　忠彦	非常勤　火曜日のみ		日本口腔外科学会認定口腔外科専門医･指導医

今年度のトピックス

市立長浜病院に歯科が新設されたのは、1957年 11月で、歯科口腔外科は 1997年 1月に新設されました。発足当初は､歯科医師一名体制でしたが､現在は歯科医師四名で診療を行っています。これまで多くの先生方やスタッフの皆さんに支えられ、湖北地域の歯科･歯科口腔外科医療の基幹病院の一つとして診療を行ってまいりました。これからも地域の患者さまや先生方のご期待に添えるようにスタッフ一同、精進してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市立長浜病院歯科・歯科口腔外科の主な外来

歯科口腔外科外来: 初診 (火曜日以外の平日) すべての歯科口腔外科疾患(顎口腔領域の炎症･腫瘍･外傷･粘膜疾患･顎関節疾患･顎変形症など)

口腔腫瘍専門外来: 毎週火曜日

障害者歯科専門外来: 毎月第 1、3水曜日の 14: 30～ 16: 30

嚥下機能の評価および訓練: 初診 (火曜日以外の平日)、VF、VE検査(毎週月曜日、水曜日)

閉塞性睡眠時無呼吸の口腔内装置の作製: 初診 (火曜日以外の平日)

周術期口腔機能管理(口腔ケアセンター): 初診(月曜日～金曜日)

市立長浜病院のおける歯科口腔外科に関連した主な施設基準

日本口腔外科学会認定准研修施設･がん診療連携拠点病院加算･歯科外来診療環境体制加算･歯科外来診療環境体制加算歯科診療特別対応連携加算･地域歯科診療支援病院入院加算･歯科治療総合医療管理料･歯科口腔リハビリテーション料 2･上顎骨形成術、下顎骨形成術(歯科診療によるもの)･歯周組織再生誘導手術･歯科矯正診断料･歯科技工加算　など

療養病棟

勤務医師

大野　暢宏	責任部長	平成18年2月～	インフェクションコントロールドクター(ICD)
			日本医師会認定産業医
			日本呼吸器外科学会指導医
			日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医

感染制御部

勤務医師

大野　暢宏　　責任部長
療養病棟責任部長兼
医療安全管理室管理監

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医
ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター
日本呼吸器外科学会指導医
日本医師会認定産業医

ご案内

当院での感染防止対策は、感染制御チーム（ICT）及び抗菌薬適正支援チーム（AST）が担ってきました。2021年6月からは、独立したより円滑な感染防止対策の実施を目的として感染制御部が新たに設置されました。

活動内容

従来のICTおよびAST活動と変わりません。感染制御部は直接診療を行う部署ではありませんが、感染防止活動を通して、市民の皆さまが安心して診療が受けられる環境の提供を目指しています。

《主な活動内容》

1. 病棟ラウンド
2. 薬剤耐性菌サーベイランス
3. 医療関連感染症サーベイランス
4. 各種感染症患者に対する感染対策の指導
5. 抗菌薬適正使用の推進
6. 針刺し・血液体液曝露時の対応と取組
7. 職員安全衛生管理
8. 医療従事者に対する感染対策教育
9. 地域医療機関との感染対策連携
10. コロナ関連対策

救急センター

東出　俊一　　救急センター長

今年度のトピックス

①救急ミニ講座の定期開催
②ICLSコースの定期開催（年2回）　令和3年6月5日、令和3年12月5日
　ICLS指導者養成ワークショップ　令和3年12月4日

研修　救急ミニ講座の開催

期日		テーマ	講　師		参加者
第1回	7月29日	コロナ禍における災害派遣	救急センター	押谷　晴美	19
第2回	1月27日	救急で遭遇する	リウマチ･膠原病内科	梅原　久範	14
第3回	3月24日	救急現場での骨髄針の使用方法	テレフレックス メディカルジャパン 株式会社	靏田　玄海	13

業務実績　　（単位：人）

	令和２年度	令和３年度	前年対比
救急受診患者総数	8,758	10,016	1,258
救急車搬送数	2,724	2,697	-27
入院患者数	2,583	2,759	176
救急車入院数	1,202	1,307	105

外来化学療法センター

野田　恵加　　外来化学療法センター長

今年度のトピックス

①令和２年８月より連携充実加算の算定を開始し、薬剤局と門前薬局の連携を図っています。また、外来栄養食事指導料と周術期等口腔機能管理料の算定の対象となる症例を積極的にピックアップし、指導・受診につなげています。

②専門研修を受講したセンター看護師によるアピアランスケア（治療による脱毛や爪等の外見変化へのケア）をがん相談支援センターと連携を図りながら行っています。

③センター内での COVID-19 対策の検討を行い、感染対策を強化しています。

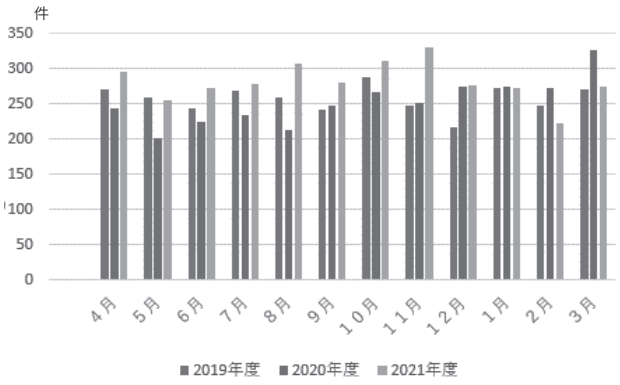
④センター内でがん患者指導管理料（イ）（ロ）（ハ）を積極的に算定しています。

⑤センター専任医師や主治医、看護師、薬剤師等との多職種カンファレンスを継続しています。

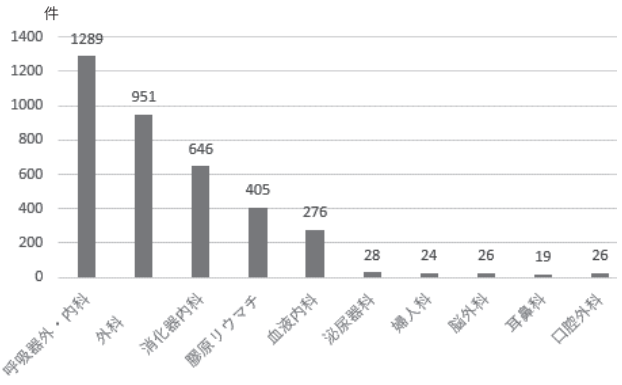
業務実績

平成 25 年３月～外来化学療法センター 13 床で開設

■年間実施延べ件数推移



■科別内訳（2021 年）



評　価

年間実施延べ件数は、昨年度と比較し増加しています。

センター内での COVID-19 対策の検討を ICN 等に相談し、入室時の健康チェック表の導入や環境整備等の感染対策を強化しました。

多職種と連携し、副作用対策や心理支援、患者指導を強化する体制を整えたことで、連携充実

加算、外来栄養食事指導料、周術期等口腔機能管理料の算定数増加に貢献できました。
　多職種カンファレンスと勉強会が定着化し、以前と同様に今後も安全にがん薬物療法を行えるように努力していきます。

ヘルスケア研究センター

石田　　均　　ヘルスケア研究センター　センター長
日本内科学会指導医･認定内科医
日本内分泌学会内分泌代謝科指導医･専門医
日本糖尿病学会研修指導医･専門医
日本肥満学会肥満症指導医･専門医
日本臨床栄養学会臨床栄養指導医
日本病態栄養学会病態栄養研修指導医･病態栄養専門医

野口　哲男　　ヘルスケア研究センター健診部長兼呼吸器内科責任部長
日本内科学会指導医･認定内科医･総合内科専門医
日本人間ドック学会　人間ドック指導医･専門医
日本呼吸器学会指導医･専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本医師会認定産業医

杉本　正幸　　ヘルスケア研究センター副センター長兼経営改善
･医事担当監兼整形外科嘱託医
日本整形外科学会整形外科専門医･認定リウマチ医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
厚生労働省義肢装具適合判定医
中部日本整形外科･災害外科学会評議員
滋賀医科大学臨床教授
京都大学臨床教授

林　　嘉彦　　ヘルスケア研究センター副センター長兼産婦人科特任部長
滋賀医科大学臨床教授
日本産科婦人科学会専門医･指導医
滋賀県医師会母体保護法指定医

小林　　映　　ヘルスケア研究センター特任部長兼地域連携担当顧問兼脳神経外科嘱託医
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医･評議員
Premium Professional Member of Stroke Council in ASA

伏木　雅人　　ヘルスケア研究センター特任部長兼がん対策担当監
兼診療局中央検査科臨床検査管理医
日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会共同認定放射線治療専門医
日本医学放射線学会研修指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

林　　優　　ヘルスケア研究センター非常勤医師
日本内科学会認定内科医･総合内科専門医
日本循環器学会循環器専門医
日本老年医学会老年病専門医
日本心血管インターベンション学会名誉専門医
日本脈管学会認定脈管専門医
日本医師会認定産業医

当センターの運営に関しまして、日頃から、診療局を始め看護局、医療技術局、事務局より、常に多大なるご協力をいただいております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

今年度のトピックス

令和３年度は、午前中の診察を全て二診体制へと拡充し、水曜日以外の午後健診も開始することとなり、多くの受診者さんに無理なく短時間で受診していただけるように体制強化いたしました。

また、従来より長浜市・米原市から委託を受け実施していた、乳がん検診・子宮頸がん検診・骨粗しょう症検診に加え、肺がん検診・胃がん検診（バリウム法）・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診を当センターにて開始し、更に生活習慣病健診・特定健診・後期高齢者健診等につきましても、当センターにて予約実施することとなりました。

内視鏡センターと協議を重ね、検査枠に制限はありますが鎮静下による胃カメラ検査も開始しており、受診者様より大変好評を得ています。

長浜市健康推進課との共同で、下表のとおり出前講座を開催いたしました。ヘルスケア研究センターのパンフレットも配布し、健康診断の必要性も皆さんに説明することが出来ました。

当センターを地域住民の皆さんに広く知ってもらうため、地域で健康づくり事業に関わる団体の皆さんを中心に、令和３年７月～ 11 月にかけて合計 11 回（参加者合計 70 名）のセンター見学会を開催いたしました。広くて天井も高いきれいな場所で受診でき、特殊なオプション検査以外は全てセンター内で完結することや、センター長の講義、InBody 検査の体験など実施し、健診の大切さが理解できたとの声があり大変好評でした。

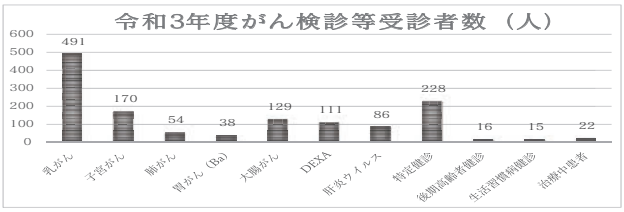
センター職員を対象に、骨粗しょう症、高血圧、認知症予防、がんの話などの基礎的な内容について、定期的な勉強会を合計９回開催し職員の知識向上につながったと考えます。

令和３年度出前講座開催集計

	日　時	依頼地区	講座内容	講　師	参加人数
1	R3/11/9	こほく朝日地区	生活習慣病予防が認知症予防につながること	石田センター長	25 人
2	R3/11/16	六荘地区	健康に活き活き長生きするために心がけること	西村理学療法士	９人
3	R3/11/17	北郷里地区	健やかに老いるためのコツ	杉本副センター長	28 人
4	R3/11/27	南郷里地区	睡眠の大切さ	伏木特任部長	44 人
5	R3/12/4	ながはま地区	コロナ禍におけるフレイル予防の必要性	杉本副センター長	38 人

業務実績

（令和３年度は市のがん検診・特定健診等含む）



（令和３年度、長浜・米原市のがん検診・特定健診等）

今後の展望

京都大学大学院医学研究科と長浜市より、市立長浜病院に対し「O次健診」をヘルスケア研究センターにて実施する旨の協力依頼を正式に受理することとなりました。そして、予防医学への寄与も視野に入れ、継続的な「O次健診」による追跡調査や、その研究成果の活用方法の確立を目指すために、従来からの「健診部」・「渉外部」に加え、令和４年４月に新たに「研究部」を立ち上げ、これらの三部体制にて長浜市民の皆さんの健康づくりへの貢献に努めて参ります。

それに先立ち、令和３年度より幾度となく京都大学、長浜市、市立長浜病院の三者によるWeb会議、実務者会議を重ね、令和４年度後半にはパイロット的に200人程度の「O次健診」をセンターにて実施する予定です。これにより改善点や問題点を精査し、令和５年度にはO次予防コホート事業第４期の１年目となるなかで、1,500人程度の「O次健診」をセンターにて実施いたします。

また、皆さんから問い合わせを多くいただいた大腸カメラ検診について、令和４年４月より曜日・人数の制限はありますが、内視鏡センターの協力の下に開始することが出来ました。

昨年度のトピックスにもありました、出前講座、センター見学会、センター職員研修会についても、引き続き令和４年度も更に充実した内容で実施したいと考えています。

地域住民の皆さんの快適な日常生活をサポートするセンターとして、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に取りながら、安心して健診を受診していただけるよう更に万全を期して参ります。

開放型病棟／開放型病床

業務実績

令和3年度の業務実績としては、入院のべ患者数はO人、開放病床利用率は0%と利用はありませんでした。

開放病床は院内の病棟で50床を確保しています。

評　価

共同指導は開放型入院の基本ですが、現状では在院日数の減少やびわ湖あさがおネットの普及による情報共有、退院支援の推進による登録医の先生方との情報交換が進むことで共同指導の機会の減少に繋がっています。

地域包括ケアシステムの推進の中でも登録医の先生方に少しでも共同診療に来院していただけるような開放病床の運営やシステムの構築が課題と考えています。

臨床研修医

研修医師

井上　遥香　　令和3年4月～
マクラケン佳世　令和3年4月～
伊原　俊之　　令和3年4月～
桂　東吾　　令和3年4月～
北脇　大督　　令和2年4月～令和4年3月
織田　裕敏　　令和2年4月～令和4年3月
澤田　克也　　令和2年4月～令和4年3月
北條　貴広　　令和2年4月～令和4年3月

令和３年度　市立長浜病院　臨床研修医　診療科ローテート表

	氏名	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
		4/1木～5/2日	5/3月～5/30日	5/31月～6/6日 6/7月～6/27日	6/28月～7/25日	7/26月～8/22日	8/23月～9/19日	9/20月～10/17日	10/18月～11/14日	11/15月～12/12日	12/13月～1/9日	1/10月～2/6日	2/7月～3/6日	3/7月～3/31木
1年目	井上　遥香	リウマチ・膠原病内科	循環器内科	・産婦人科（長浜日赤） ・循環器内科（当院）	小児科（長浜日赤）	腎臓代謝内科	呼吸器内科	放射線科（診断）	消化器内科	精神科（セフィロト）	脳神経外科	産婦人科（滋賀医科大学）	脳神経内科（滋賀医科大学）	泌尿器科
	マクラケン佳世	呼吸器内科	リウマチ・膠原病内科	消化器内科	産婦人科（長浜日赤）	小児科（長浜日赤）	腎臓代謝内科	循環器内科	精神科（セフィロト）	麻酔科	地域医療（浅井東）	放射線科（診断）	救急科（長浜日赤）	救急科（長浜日赤）
	伊原　俊之	循環器内科	産婦人科（滋賀医科大学）	リウマチ・膠原病内科	呼吸器内科	消化器内科	小児科（長浜日赤）	腎臓代謝内科	精神科（セフィロト）	放射線科（診断）	泌尿器科	麻酔科	脳神経外科	外科
	桂　東吾	消化器内科	腎臓代謝内科	整形外科	放射線科（診断）	循環器内科	循環器内科	呼吸器内科	麻酔科	精神科（セフィロト）	消化器内科	脳神経外科	産婦人科（滋医予定）	小児科（長浜日赤）

	氏名	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
		4/1木～5/2日	5/3月～5/30日	5/31月～6/27日	6/28月～7/25日	7/26月～8/22日	8/23月～9/19日	9/20月～10/17日	10/18月～11/14日	11/15月～12/12日	12/13月～1/9日	1/10月～2/6日	2/7月～3/6日	3/7月～3/31木
2年目	北脇　大督	放射線科（診断）	呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器外科	精神科（セフィロト）	耳鼻咽喉科	地域（いぶき）	形成外科（長浜日赤）	形成外科（長浜日赤）	形成外科（長浜日赤）	皮膚科（長浜日赤）	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
	織田　裕敏	地域（いぶき）	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科
	澤田　克也	腎臓代謝内科	放射線科（診断）	放射線科（診断）	放射線診断（滋賀医科大学）	放射線診断（滋賀医科大学）	消化器内科	放射線科（診断）（長浜日赤）	放射線科（診断）（長浜日赤）	放射線科（治療）	地域（いぶき）	放射線科（診断）	放射線科（診断）	放射線科（診断）
	北條　貴広	眼科（滋賀医科大学）	眼科（滋賀医科大学）	精神科（滋賀医科大学）	地域（いぶき）	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科	眼科

当院の臨床研修について

１年目は基本研修科目として、内科（6ヶ月）、救急（3ヶ月）、選択必修（3ヶ月）の研修を行います。

２年目は、湖北医療圏域の診療所を中心に研修先を選択する地域医療（1ヶ月）の他、残り11ヶ月を選択期間にしており、研修医の自主性と志向に応じた自由度の高いプログラム設定をしています。

また、週１回程度の宿日直研修を通して、プライマリケアの習得に十分配慮しており、基礎的研修項目は、厚生労働省の指針に準拠して設定した行動目標および経験目標に沿って、一般臨床医としての基本を研修し、指導医から評価を受けることとなります。

中央材料室

川島　和彦　　中央材料室部長

今年度トピックス

1．滅菌技師が１名　主任技術員昇格にて、管理体制を構築した。
2．病棟器材回収日の調整により、洗浄・滅菌業務の効率化を図った。
3．手術器械のコンテナ内容の見直し・単品器械のセット化を行い、洗浄・滅菌業務時間の短縮を図った。

業務実績

1．管理体制の構築
主任技術員により、スタッフの教育体制を調整。動画を活用した滅菌技術に関する教育と共に、新規採用者に対しては丁寧に直接指導を行い、定期的な振り返りを行い育成を図った。また、スタッフ自身が指導できるよう、知識・技術を確認しスタッフ指導を任せることで育成につなげる環境を調整した。
また、機器の不具合等早期に対応を行うことで滅菌業務に支障がないよう調整を行っている。

2．病棟器材　洗浄・滅菌体制の調整
病棟で使用する器材のディスポ化、病棟編成の変更などにより、使用器材量が減少しており、器材の回収・供給を５回 / 週から３回 / 月・水・金へ変更を行った。また、定期的に各部署の定数の見直しや追加器械の対応を実施。問題なく、円滑に運用できる体制を調整した。適宜、新規器材の滅菌や器材の管理等について協議し合い、各部署の要望に対応できる環境を調整した。
※洗浄・滅菌年間件数は、中央材料室統計一覧を参照。

3．手術器械のコンテナ内容の見直し
鏡視下手術が増加し、開腹手術件数が減少しているため、手術室と協議を行いセットコンテナ内容の見直しと滅菌定数の見直しを実施した。担当科医師とも調整を行い、使用頻度の低い器械の削除・セット定数の見直し・単品対応していた術式に対して器械のセット化を実施。実践にて評価を行い、定着することができた。
また、内容を見直したことで洗浄業務の削除・単品器械の梱包数の削減・緊急手術への対応が円滑に行える環境を調整することができた。

評　価

中央材料室は、良質な滅菌器材を提供できることを基本方針としています。より質の高い洗浄・消毒・滅菌方法を検討し、適切な治療・看護に貢献できるように努力しています。滅菌技師：主任技術員を筆頭に、各スタッフが自身の担当業務に対して責任を持って実践しています。院内機器の管理だけでなく、手術に対して借り受け器械においても、安心・安全に器械が提供できる管理を行い、手術室への提供を行っています。外部業者との協力・調整を行う事で、円滑な洗浄・滅菌を実践し各現場に提供を行うことができています。今後もスタッフの育成に努め、全スタッフが全業務を行うことができる教育・現場体制を構築していくことが課題です。

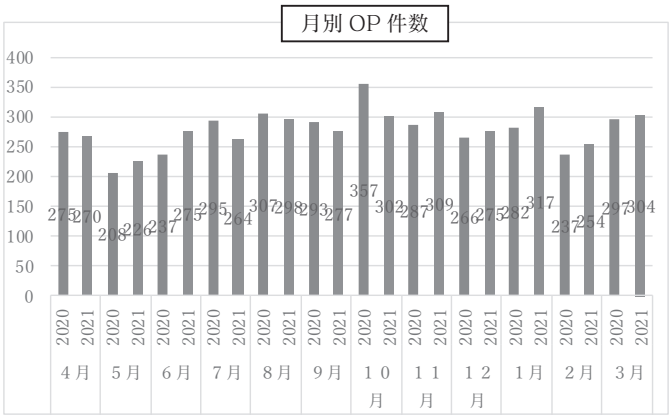
中央手術室

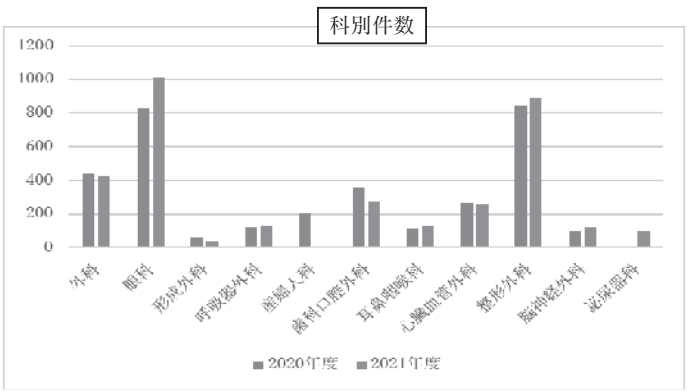
堀口　聡士　　中央手術室部長
尚永　亜希子　　中央手術室看護師長

今年度のトピックス

①手術室のゾーニングを行い、新型コロナウイルス感染症患者の手術 2 件を対応しました。
②当院での臓器提供実現に向けて、ワーキング会議を行い活動を開始。フロー作成を行いました。
③中央材料室との業務協力にて、リリーフ体制構築・借り受け器械の運用の検討を実施しました。
④患者総合支援センターでの手術室看護師による術前外来および説明動画を作成して、患者さまにわかりやすい説明の強化を図りました。
⑤材料管理専門の委託業者による診療材料管理体制を維持し、業務分担専門科に努めています。

業務実績





評　価

昨年度に引き続き、COVID-19 により入院環境に影響が出たが、手術制限を行う事なく受け入れ、軽度ではあるが増加となった。また、COVID-19 患者の手術 2 件を受け入れ実施。問題なく対応できたことは、評価に値すると考える。中央材料室との業務協力により、構成小物およびコンテナ器械の見直しを行うことができた。また、リリーフ体制構築により業務協力・機器に対する知識の向上につなげることができた。患者総合支援センターでの術前診察においては、患者・ご家族様が理解しやすい環境調整を図ることができたと考えます。

薬剤局

小室　太郎　　副院長兼薬剤局長
野渕　孝二　　副薬剤長

今年度のトピックス

・医薬品の安定供給　　・がん薬物療法　・継続した人材育成
・病院経営への積極的な関与　・タスクシフト　・医薬品安全管理強化
・保険薬局との連携

業務実績

◆医薬品の安定供給◆

一部の後発医薬品製造販売企業の製造管理及び品質管理体制不備や世界的な COVID-19 感染拡大により、医薬品が安定して供給されなくなりました。一部の医薬品では後発品から先発品へ切り替えたり代替薬へ変更するなど、診療の質を落とすことなく、治療継続が出来るように対応しています。まだ完全には解消しておらず、来年度も継続して対応していきます。

◆がん薬物療法◆

今年度も、病棟担当薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師・外来がん治療認定薬剤師・緩和薬物療法認定薬剤師が連携し、外来～終末期の緩和治療まで薬剤師が切れ目なく関われる体制を整え、チームとしてがん患者さんに関わりました。

◆継続した人材育成◆

地域がん診療連携拠点病院として、がん薬物療法に精通した薬剤師の育成を進め、次世代のがん治療に関わる認定薬剤師を育成しています。今後さらに高度化・複雑化する薬物療法に対応出来るようにするために、人材育成は重要事項であると考えています。各専門分野の学術大会、研究会への参加を推奨しており、3 演題を発表しました。認定資格の取得や専門知識をさらに向上させるべく、薬剤師全員が e- ラーニングを受講し、自己研鑽に励んでいます。

◆病院経営への積極的な関与◆

診療局のご協力とご理解を得て、積極的に後発医薬品・バイオシミラーを採用し、薬剤購入費を大幅に下げることが出来ました。併せて後発品使用率は年間平均約 92%（国の目標は 80%以上）を達成しています。4 月以降も継続して取り組んでいきます。

◆タスクシフト◆

従来より医師負担軽減のため、持参薬報告・院外処方疑義照会後の修正を行ってきました。診療局からの要望を受け、院内処方の修正を開始しました。

◆医薬品安全管理◆

・院内研修会

テーマ「インスリンについて」

院内薬剤師が講師となり、糖尿病委員会と医薬品安全管理研修会合同で実施し、医師看護

師対象に e- ラーニングを行いました。多数の医師・看護師が受講しました。
・周術期関連薬の安全対策を強化するために以下のように対応しました。
〇休薬指示表をお薬手帳に貼付出来るサイズに変更し、外来と調剤薬局と協働で患者指導を行うようにしました。
〇女性ホルモン関連薬剤服用により、術後に血栓症発症リスクを増やすと言われており、休薬を要する女性ホルモン関連製剤表を作成し院内に周知しました。
・お薬は服用すると眠気・めまい・ふらつき・目のかすみを引き起こす場合があります。
自動車運転や高所作業、危険を伴う機械を操作する可能性がある患者さんには説明する必要があります。説明する際に注意を要する医薬品をリスト化し、院内に周知を行いました。

◆保険薬局との連携◆

外来がん薬物療法における地域保険薬局との連携を強化するため、連携充実加算を取得しています。保険薬局薬剤師を対象に化学療法レジメン研修会を実施しました。保険薬局薬剤師との連携を通じて、患者さんに質の高い医療を共に提供することが出来ました。

評　価

依然として薬剤師不足は続いており、業務の効率化を図り、薬剤師にしか出来ない業務に注力しました。今年度から SPD スタッフを薬剤科に配置していただき、既存業務を縮小することなく、新規業務を開始することが出来ました。継続して人員体制を整備し、薬剤業務の質を上げていきたいです。医師の働き方改革により、今後もタスクシフトの需要は高まると予想されます。出来るだけ要望に対応しつつ、薬剤師の働き方改革も進めて行きたいと考えています。

医療技術局

古山　忠宏　　局長

医療技術局は、栄養科、中央検査技術科、放射線技術科、リハビリテーション技術科、臨床工学技術科、歯科・眼科技術室の５科１室で構成されています。各科・室では、専門の国家資格を有する技師（士）等が中心となり、院内各局と連携し専門性を活かした業務を遂行しています。令和３年度には、新たに６名の仲間を迎え入れました（増員された数ではありません）。

令和元年 12 月に中国武漢で端を発した新型コロナウイルス感染症は、令和３年度も第４波、第５波、第６波と大きなうねりを繰り返し、令和２年度に引き続き、感染者への対応、感染防止対策等に追われた１年となりました。こうした中で、当院での一般市民へのワクチン接種も始まり、正面玄関での来院者の健康チェックの対応に加え、ワクチン接種会場において、接種後の注意事項説明と健康観察の役割を担当しました。

コロナ禍において、医療技術局としての活動も３密を避けるため、絆プロジェクトや医療技術局全体の研修会の開催は断念せざるを得ませんでした。しかし、毎月技師長会議を開催し、病院、医療技術局内の情報を共有し連携を深めました。また、院内設置の自衛消防組織の存在と各担当の役割を再認識するため、医療技術局内各班長以上の職員で自衛消防組織の確認を行いました。あってはならないことですが、有事の際は迅速に行動できるよう取り組みました。

令和３年度も医療技術局の運営対し、各科・室技師長をはじめ、院内各局のご支援、ご協力を賜

りありがとうございました。新型コロナウイルス感染症につて、まだまだ予断を許さない状況ですが、今後は with コロナを見据えての取組みも検討する時期にきているのではないかとも考えられます。今後も、医療技術局と院内各局との連携を図り、そして、医療技術局内においても、さらに各科･室の連携を強化し、安全･安心･信頼の医療が提供できる医療技術局として尽力して参ります。引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

尚、各科・室の詳細については、各科・室の報告をご参照ください。

栄養科

中川　太郎　　栄養科長
赤尾　真樹子　次　長

栄養科基本方針

安心、安全でおいしい食事の提供を目指します。
思いやりの心のかよう栄養管理に努めます。

組　織（令和３年４月１日現在）

管理栄養士 10 名、調理師 16 名、事務職員１名
炊事員（食器洗浄パート職員 10 名）合計 37 名

今年度のトピックス

・当院において､食中毒･新型コロナウイルスなどの感染症の発生や､厨房の損壊･停電等が原因で、独自で患者給食を提供できない場合の給食支援について、「株式会社ミールサービスたにぐち」と患者給食支援に関する協定書を締結した。また、令和４年１月 17 日の「防災とボランティアの日」にあわせて調印式を開催した。
・夕食の献立の効率化
・真空冷却機の更新
・蒸気式蒸し器の更新
・産後ケア食の開始

業務実績　（令和３年度）詳細は各種統計資料参照

給食業務状況（患者給食延べ数）　281,199 食 / 年（256 食 /1 回平均）
栄養指導件数（個 別 指 導）　　1,450 件 / 年

評　価

今年度は、上記トピックスのとおり積極的に業務改善に取り組んだ年度でした。今後も課題解決に向けて努力いたします。

臨床工学技術科

辻　　克信　　技師長
草野　信悟　　次　長
藤田　忠夫　　専門員

今年度のトピックス

令和３年度４月に臨床工学技士１名が増員され計 12 名となりました。当科は通常の日常業務と急性血液浄化業務、心臓カテーテル治療、心臓血管手術などの緊急業務に対応しつつ、新たな業務にも対応できる柔軟性が必要なため、今回の増員は今後も拡大していく業務に対応するための長期計画の一端として大きな進歩となりました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症に対応するための数々の対策の中で人工呼吸器や呼吸補助器、人工透析治療に関係する業務を他部署と連携し実施してきました。これからも既存業務を充実させ、新たな業務の拡大に努め地域医療の発展に貢献してまいります。

業務実績

①臨床技術提供業務

血液浄化

・持続的血液濾過透析　205 回（41 症例）　・エンドトキシン吸着　３回（2 症例）
・血漿交換　26 回（5 症例）

手術室

・人工心肺装置使用手術　40 症例

その他

・経皮的心肺補助装置使用 (PCPS)　10 症例　・大動脈内バルーンパンピング (IABP)　23 症例
・腹水濾過濃縮　28 件　・カテーテルアブレーション　115 症例

②医療機器点検業務

院内定期点検

・輸液ポンプ定期点検	169 件	・シリンジポンプ定期点検	113 件
・除細動器定期点検	21 件	・電気メス定期点検	25 件

貸出回数

・輸液ポンプ	2,696 回	・シリンジポンプ	994 回
・挿管用人工呼吸器	33 回	・NPPV(V60)	163 回
・NHF	86 回	・離床センサー	280 回
・酸素濃縮器	30 回	・経皮的血液ガス分析装置	8 回
・逐次型空気圧式マッサージ器	208 回	・経腸栄養ポンプ	39 回

③教育研修

・人工呼吸器研修	3 回	参加人数	19 人
・透析、血液浄化研修	3 回	参加人数	6 人
・手術室新人研修	3 回	参加人数	3 人
・人工心肺装置研修	1 回	参加人数	8 人
・運動機能検査機研修	1 回	参加人数	4 人

令和３年度医療機器安全基礎講習会　参加人数　3 人

令和３年度医療機器安全管理研修会「生体情報モニターのアラームと安全管理」
（e ラーニング受講形式）　受講者 425 人

放射線技術科

古山　忠宏　　技師長
富田　　聡　　参　事（技師長補佐）
宮川　孝史　　技師次長　　田邉　啓太　技師次長　　佃　　義則　技師次長

今年度のトピックス

令和３度は、長浜市立湖北病院からの人事交流技師２名の内１名が長浜市立湖北病院へ戻り１名となりました。その補充として当院で１名新規採用をし、総勢 22 名の診療放射線技師数（内医学物理士１名）に変更はありませんでしたが、令和２年度に続き新たな仲間が加わっての診療放射線技師体制となりました。

新型コロナウイルス感染症は、令和３年度も第４波、第５波、第６波と大きなうねりを繰り返し、令和２年度に引き続き、感染者への対応、感染防止対策等に追われた１年となりました。こうした中で、当院での一般市民へのワクチン接種も始まり、正面玄関での来院者の健康チェックの対応に加え、ワクチン接種会場において、接種後の注意事項説明と健康観察の役割を担当しました。

医師の働き方改革、負担軽減を目的としたタスク・シフト / シェアの推進に伴い、診療放射線技師法等の一部改正が令和３年 10 月１日施行され、診療放射線技師の業務範囲が拡大されました。この新たに拡大された業務を行うにあたり、厚生労働省が指定した告示研修（令和３年度厚生労働省告示第 273 号研修）の受講が全ての診療放射線技師に課せられました。この告示研修は、厚生労働省からの委託で公益社団法人日本診療放射線技師会が受託し、令和３年度より開始されました。令和３年度は、当院で１名受講しましたが、今後も計画的に受講するよう取組む必要があると考えています。

働いておられる方にも無理なくがん検診が受診できるよう、平成 30（2018）年度から始めた日曜日の乳がん検診（マンモグラフィ撮影）について、令和３年度も年間４回実施しました。令和３年度の日曜日の乳がん検診（マンモグラフィ撮影）受診者の中で、前回の検診から５年以上経過している人、もしくは初めて受診する人の割合が 70%以上を占め、がん検診受診率向上の一助になったものと考えます。令和４年度も引き続きがん検診の受診率向上に努めて参ります。

放射線機器に関しては、令和３年度は内視鏡センターの移転拡充に伴い、内視鏡センター内に新たに X 線 TV 室が設けられ、X 線 TV 装置を導入しました。機器選定から設置、設置後の運用に至るまで、消化器内科医師、看護師等と連携し取組みました。

放射線治療部門においては、令和３年度の患者件数は昨年とほぼ変わりませんでしたが、照射回数の少ない寡分割照射や定位放射線治療の件数が増加しました。このことは照射１回あたりの単価を上げることになり、診療報酬の増加につながりました。

現在稼働している放射線治療装置 CLINAC iX（VARIAN 社製）は、平成 20 年の導入から 13 年が経過し、更新時期を迎えています。令和３年度に新装置の機器選定を行い、令和４年度には装置更新工事を開始しすることとなりました。約６ヶ月の治療停止期間を経て令和５年度初頭には新装置で放射線治療を再開する予定です。令和２年４月の診療報酬改定による定位放射線治療や強度変調放射線治療の適応拡大にも現装置で対応していますが、新装置への期待が大きくなっています。また、放射線治療診察室等の充実を図るため、放射線治療診察室等の増築に向けて医師、看護師を含めて検討を行いました。

定位放射線治療や強度変調放射線治療の高精度放射線治療に関しては、湖北、湖東医療圏で当院が

実施可能な唯一の施設として、湖北、湖東地域の放射線治療の拠点としての役割を果たしています。

業務実績

放射線診断部門においての検査件数は、令和３年度もコロナ禍ではありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きくあった令和２年度より全体的に増加傾向となりました。血管造影、DEXA（骨密度測定）においては、令和２年度に引き続き令和３年度も増加となりました。また、泌尿器科の常勤医師が赴任され、令和２年度は０件であったESWL（体外衝撃波結石破砕）が施行されるようになり、結石治療の選択肢が増え患者さんに合った治療を行うことができるようになりました。

近年、医療技術と画像診断の発展は目覚ましく、特に血管撮影部門やX線透視部門では、IVRによる治療目的の手技が多くなり、手技が高度化、複雑化してきています。これら複雑なIVRや手術をより安全に確実に行うため、CTやMRI画像を利用した3D画像やMPR画像が有用となっています。そのため、CTやMRI検査においても、高度化、複雑化し検査後の画像再構成の要求が多くあり、件数では表れていない業務量の増加があります。また、患者紹介、逆紹介において、可搬媒体による画像の添付が一般的になり、これら画像管理業務も増加傾向にあります。

放射線治療部門においては、総患者件数は令和２年度の222件から令和３年度は219件と微減しました。しかし、高精度放射線治療としては、強度変調放射線治療が令和２年度66件から令和３年度68件、定位放射線治療が同じく38件から49件と増加しました。総患者件数に対するこれら高精度放射線治療の割合が、令和２年度46.8%から令和３年度53.4%と増加しました。

各検査件数等は、別掲の放射線科 / 放射線技術科業務状況をご参照ください。

当科担当の委員会としては、医療放射線安全管理委員会、放射線安全委員会、放射線治療品質保証委員会を開催し、放射線の安全利用や職員の被ばく防止・低減、放射線治療に関する精度管理、安全管理について協議、検討を行いました。

医療放射線安全管理委員会では、令和３年12月７日に「診療用放射線の安全利用について」と題して、医療放射線安全管理責任者の若宮誠先生を講師として医療放射線安全管理研修会を開催しました。

また、院内職員と地域の開業医さんとを対象とし、医療安全管理室と合同で放射線安全研修会を令和３年１月20日に開催しました。内容は、「放射線の基礎知識と放射線検査、治療の注意点」、「放射線療法における有害事象」、「造影剤使用時なぜ同意書が必要なのか?」の３つのテーマで診療放射線技師、看護師を講師として開催しました。

これらの研修会は、感染防止対策として会場参加者を制限し、主にオンデマンドでのe -Learningでの聴講としました。

各委員会の活動報告については、別掲委員会活動報告をご参照ください。

評　価

令和３年度も「見える診療放射線技師」を目指して、院内イントラネットを利用し「Radiation Information」を年間５回発行し、放射線技術科の情報発信を行いました。

患者誤認防止として、患者さん呼び込み時には、患者さんに氏名、生年月日を名乗ってもらっていますが、同時に担当技師も名前を名乗り自己紹介し、患者さんとの接遇、コミュニケーション強化を図りました。

放射線治療装置の更新に向け関係部署と協議を重ね、更新装置の機器選定を行うと共に、放射線治療診察室等の充実を図るため放射線治療診察室等の増築に向けて検討を行いました。そして、令和４年度から工事を着工し、令和５年度初頭には新装置で放射線治療を開始する予定となりました。

また、令和２年度に更新しましたCT装置について、Rad Fan（メディカルアイ）の特集記事として令和３年１月号に掲載されましたが、令和３年度に入り寄稿したユーザーが一同に会してオンライン座談

会が開催されました。そして、その内容が令和３年10月号 Rad Fan に掲載され再度全国へ向けて発信することができました。

日進月歩の医療界に対応すべく、日本診療放射線技師学術大会、日本放射線技術学会、その他関連学会や近畿地域、県内の研修会、研究会等へ参加し、演題発表を行う等自己研鑽に励みました。コロナ禍においてインターネットを利用して開催されるイベントも多くあり、これらを積極的に活用しました。また、会場参加可能なイベントでは、可能な範囲で参加し、対面で直接交流できるメリットを活かすことができました。

画像診断部門、放射線治療部門において、他科からの要求がますます高度化、複雑化し、医師の働き方改革によるタスク・シフト / シェアが求められる中で、今後もこれらに応えられるよう優れた人材育成に努め、さらに自己研鑽にも励み、チーム医療の一員として安全・安心・信頼の医療が提供できるよう診療放射線技師としての役割を果たして行きたいと考えています。

リハビリテーション科

江藤　謹司　　部　長　　平成13年6月～　日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

業務実績

回復期リハビリテーション病棟入院患者数　249人
リハビリテーション対診患者　428件

カンファレンス等

回復期リハビリテーション病棟回診　週1回／木曜日
リハビリテーション対診患者回診　月1回

リハビリテーション技術科

北村　　淳　　技師長
三浦　富子　　参　事
田中　宏明　　次　長　　藤井三和子　　次　長　　田中　優子　　次　長
杉江加代子　　次　長

今年度のトピックス

令和２年度末に管理職２名の退職があり、令和３年度には１名の補充で技師数合計43名体制でのスタートとなりました。

今年度の科内目標

①回復期リハビリ病棟（以下、回復期病棟）の入院患者数を１日平均で38人にする

回復期病棟の入退院の状況をリハビリ内で周知することや、急性期病棟において退院調整会議を開設し、病棟との情報共有を密にすることでスムーズに回復期病棟へ転棟できるよう積極的な働きかけを行いました。また院外からの入院患者を増やすため広報活動にも力を入れるなど、科内一丸となり取り組みました。9月と2月に回復期病棟でのコロナ感染者があり、それに伴う訓練実施時間の規制や入棟制限があったことで目標を達成できませんでしたが、そんな苦境の中でも回復期病棟（入院料3）のアウトカムを表す指標である実績指数は規定実績指数を大きく上回る値を維持できており、対象患者の選定やそのタイミング、回復期病棟でのリハビリが充実していることを示せました。

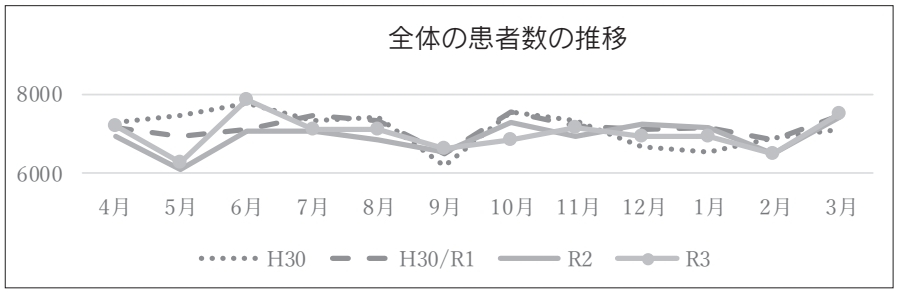
②自主トレーニングや病棟リハビリの充実を図る

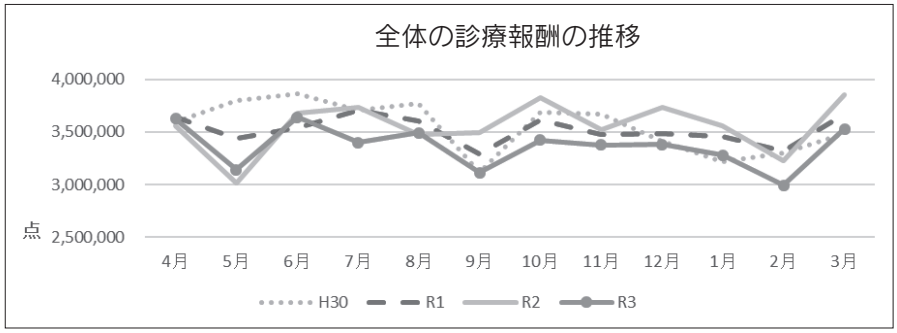
2018年より実施している科内独自の患者満足度調査により課題となっている自主トレ、病棟内での日常生活の注意点の共有を図るのため、昨年度に作成した素材を更に充実させ個別性の高いパンフレットを患者に配布し指導を行いました。監視や介助を必要とする患者に対して病棟の協力を得ながら、安全かつより実践に沿ったリハビリの実施を目指しました。取り組み期間中パンフレットを用いた指導を目標件数200件に対し399件行うことができ、大きく目標を達成しました。

③カルテ記載の充実を図る

記載内容に漏れなどがないようテンプレートの整備と活用を行い、他職種にも共有しやすい内容となるよう取り組みました。カルテの記載内容について分析や監査、集計をしながら科内にフィードバックし病院機能評価に向けた質の高いカルテを目指しました。目標であるカルテの完成度は目標完成度90%に対し、91.5%に達しました。

主な業務実績

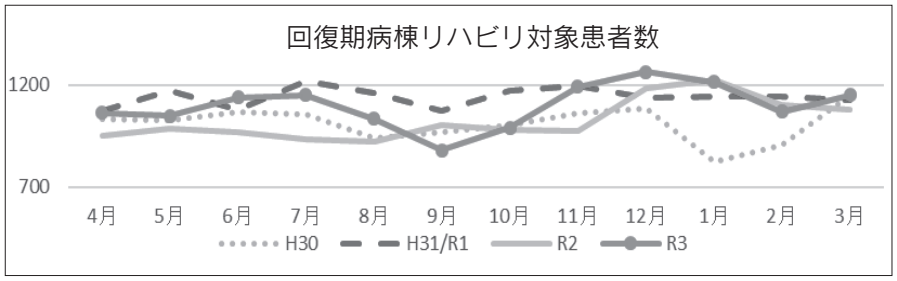




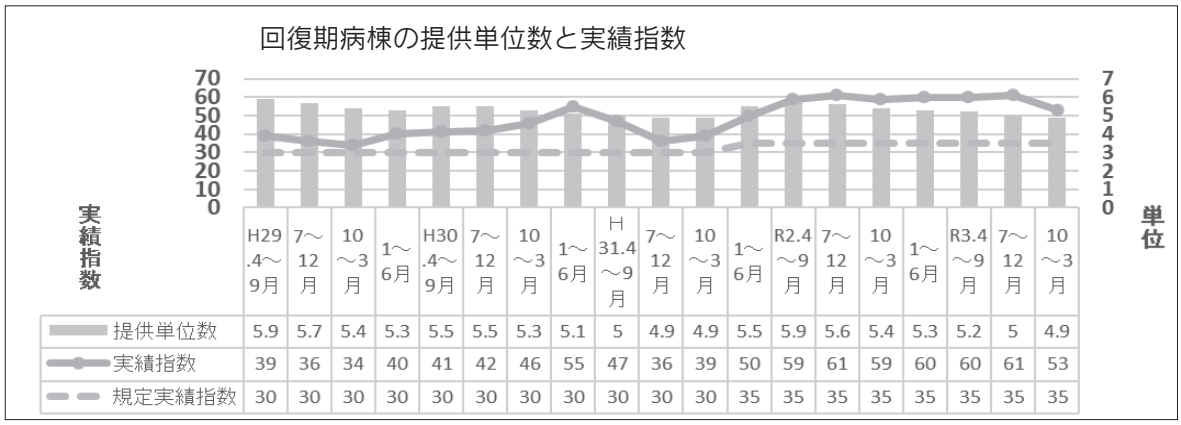
患者数前年度比は、令和2年度で98％、令和3年度で101%でした。

患者数の推移に比例して、診療報酬が推移しました。

リハビリ対象者のコロナ感染があり、9月と2月で低い値となりました。



回復期病棟の平均入院患者数は 36.3 人
11 月には急性期病棟患者増加に伴い、急性期病棟から回復期病棟への転棟が多くあり、12 月には平均 40.7 床に増加



	H29.4～9月	7～12月	10～3月	1～6月	H30.4～9月	7～12月	10～3月	1～6月	H31.4～9月	7～12月	10～3月	1～6月	R2.4～9月	7～12月	10～3月	1～6月	R3.4～9月	7～12月	10～3月
提供単位数	5.9	5.7	5.4	5.3	5.5	5.5	5.3	5.1	5	4.9	4.9	5.5	5.9	5.6	5.4	5.3	5.2	5	4.9
実績指数	39	36	34	40	41	42	46	55	47	36	39	50	59	61	59	60	60	61	53
規定実績指数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	35	35	35	35	35	35	35	35

【病棟回診への参加】

・回復期病棟部長回診（1 回／週）・廃用症候群回診（1 回／月）・心臓血管外科回診（1 回／週）
・呼吸器内科回診（1 回／週）・嚥下回診（2 回／週）・NST 回診（1 回／週）
・RST 回診（1 回／週）

【定期カンファレンスへの参加】

・整形外科レントゲンカンファレンス（1 回／週）　・脳外科カンファレンス（1 回／週）
・ICU・CCU ミーティング（毎日）　・心臓血管外科術前カンファレンス（1 回／週）
・ハートケアチームカンファレンス（1 回／週）　・骨粗鬆症リエゾンチームカンファレンス（1 回／月）
・緩和ケアチームカンファレンス（1 回／週）　・ICU・リハビリテーションカンファレンス（毎日）

【臨床実習受け入れ】

6 名　（理学療法：3 名　作業療法：2 名　言語聴覚士：1 名）

【資格・認定修得状況】

・がんリハビリテーション研修会修了者　25 名　・3 学会合同呼吸療法認定士　10 名
・心不全療法指導士　1 名　・心臓リハビリテーション指導士　4 名
・認定心理士　1 名　・日本糖尿病療養指導士　2 名
・認定理学療法士（運動器）　4 名　（脳卒中）　2 名　（循環）　1 名　（代謝）　1 名　（呼吸器）　1 名
・介護支援専門員　2 名　・福祉用具プランナー　6 名　・住環境コーディネーター 2 級　8 名
・日本救急医学会認定 ICLS コースアシスタントインストラクター　2 名　インストラクター　1 名　コース修了　18 名

・日本救急医学会認定 ISLS コース修了　1 名　　・国際側弯シュロスセラピスト　1 名
・ゴルフフィジオトレーナー・セラピスト　1 名　　・入谷式足底板上級編コース修了　1 名
・骨粗鬆症マネージャー　3 名　　・認知症ライフパートナー 1 級　3 名
・バランスボールインストラクター　1 名　　・生活行為向上マネージメント基礎研修修了　11 名
・生活行為向上マネージメント実践者研修修了　1 名　　・AMPS 認定評価者　2 名
・地域リハビリテーション人材育成研修修了　2 名　　・臨床実習指導者研修修了（理学療法士）　6 名　（作業療法士）　1 名

評　価

患者数は前年度を維持しましたが、技師数の減少やリハビリ対象者のコロナ感染、コロナ拡大予防のための病棟担当制（技師が多くの病棟を往来しない対策）としたため患者 1 人の提供単位数を減少せざるを得ない状況となりました。そのため診療報酬は伸び悩みましたが、制限がある中でも患者サービスを低下させないよう努力しました。これらの経験を活かし、どのような状況下に置かれても患者を中心とした質の高いリハビリテーションが提供できるよう、邁進していきたいと思います。

中央検査技術科

宮元　伸篤　　技師長
岡本　明子　　次　長　　橋本　里美　　次　長

今年度のトピックス

生化・免疫検査部門

・自動分析装置を cobas8000 に更新後 3 年が経過し、免疫検査結果報告時間の迅速化を実現出来ています。今年度は消化器科からの要望によりＰ型アミラーゼ検査を院内検査として新規採用をしました。今後も診療科からの要望に対して収益性を確認しながら前向きに検討します。
・日本臨床衛生検査技師会　認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師を 1 名取得。

輸血検査部門

・輸血検査自動分析装置 IH-500 を導入しました。IH-500 は近畿ブロック血液センターで採用されており、当院の不規則抗体スクリーニング検査の精度は血液センターと同等となりました。今後も輸血検査の安全性を高めていきます。
・輸血療法委員会の活動として 5 年ぶりに「輸血マニュアル」の改訂を行いました、大きな変更点は「宗教上の理由等による輸血拒否に対する当院の対応」について相対的無輸血の基本方針を明示しています。
・輸血管理料Ⅰおよび適正使用加算を今年度も取得しています。
・血液製剤の廃棄金額率は 0.84%（昨年度 1.9%）。

血液検査部門

・昨年度から、看護科の要望により、2 階採血室と中央処置室の患者振り分け割合 7：3 を継続して行っています。患者様の採血待ち時間は長くなっていますが、大きな苦情はなく、丁寧な対応を心がけています。

・検査案内を更新し、採血手順や各検査項目の提出条件等を追記し、分かりやすくしました。
・ISO15189 取得を目指し、内部精度管理の管理幅をメーカー設定値から自施設での設定値に変更して、より厳しい管理を行うようになりました。今後も、試薬や機材管理を徹底し、迅速で正確な検査結果報告に繋げていきます。

一般検査部門

・産休者や退職者が相次ぐ中、病理部門の協力を得て技師の配置人数の見直しを行いました。午前 3 名・午後 2 名であったのを。超繁忙時間帯 3 名・繁忙時間帯 2 名・閑散時間帯 1 名としました。欠員の中での見直しのため、余剰人員を生み出すことはできませんが、業務に支障をきたすことなく運用することができました。
・忙しい中ではありましたが､ISO15189取得に向けての準備も通常業務と並行して行いました。

細菌検査室部門

・令和 3 年 4 月より、新型コロナウイルスの核酸増幅検査を LAMP 法から TRC 法に変更し、感度の向上と操作の簡便化により技師の負担が軽減されました。11 月には唾液のよる TRC 法の検査も可能とし医師による検体採取の負担も軽減されたと思われます。件数は開始時よりも増加しました。
・例年通り､薬剤感受性スペクトラム表､病棟別･材料別菌検出数､厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）の還元情報を院内メールやネットフォルダに掲載し閲覧できるようにしました。また、感染対策向上加算におけるカンファレンスや感染管理委員会、感染対策担当者会議などに耐性菌等の集計データを提出し報告するほか、感染対策チーム（ICT）・抗菌薬適性使用支援チーム (AST) に所属し , 毎週のカンファレンスや院内のラウンドに参加しています。

病理・細胞診検査部門

・新規導入機器：マルチフードを導入し、有機溶剤使用時の作業環境の改善を行いました。
・新規導入項目：PD-L1（SP142）の院内検査を始めました。
・有機溶剤作業主任者の技能講習を 1 名修了しました（科内 3 人目）

生理検査部門

・8 月よりヘルスケア研究センターの超音波診断装置を持込み、Shear Wave Elastography による肝線維化の評価を開始しました。
・超音波診断装置の更新により精度の高い画像診断が行えるようになり、技師間差の減少にも繋がっていると感じています。また、近年の予約･当日緊急エコー件数増加や腎動脈超音波検査、下肢動脈超音波検査などの超音波検査の多様化に対応するため人員育成に尽力しました。

評　価

・ISO15189 取得について、今年度の当科最大の目標でしたが取得することができませんでした。次年度中には取得できるよう QMS 活動などを進めていきます。
・新型コロナウイルス対応について、術・検査前検査で使用している核酸増幅検査を、4 月から TRC（Transcription Reverse-transcription Concerted reaction）法に更新し、11 月からは唾液材料による測定も始めました。抗原定量検査は、主に院内緊急検査、地域外来・

検査センター（PCR センター）検査、保健所検査で使用していますが、院内外クラスター発生時や、職員出勤前検査などでも、各科と連携して検査を実施しました。

・収入について、コロナ禍で昨年度は検査件数・点数とも減りましたが、今年度は件数も戻りつつあり、検査点数はコロナ関連検査の影響で増加に転じています。

・年度後半には退職者があり産育休者も増え業務が逼迫した状況が続くため、各部門の業務を細分化し他部門からの応援態勢を整え全職員が協力し、ルーチン業務への影響を最小限に止めました。そのような中でもオンライン中心になった研修会には積極的に参加し、各職員が技量を上げる努力を行いました。認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師や緊急臨床検査士も各 1 名取得しています。

歯科・眼科技術室

近藤　昭仁　　技師長
新田　朋美　　次　長
歯科衛生士　4 名　　歯科技工士　1 名　　歯科助手　1 名　　視能訓練士　4 名

今年度のトピックス

眼科における白内障手術で使用される人工眼内レンズの新規採用を受けて、視能訓練士が術後屈折値の精度管理を実施しました。

業務実績

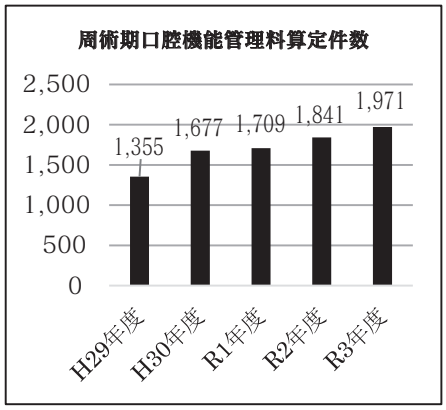
周術期口腔機能管理料件数 ･･･1,971 件
麻酔挿管時用マウスガード製作数 ･･･219 件
ロービジョンケア対応患者数 ･･･72 名
自動車運転に関わる眼科適性評価件数 ･･･18 件
航空身体検査 ･･･8 件

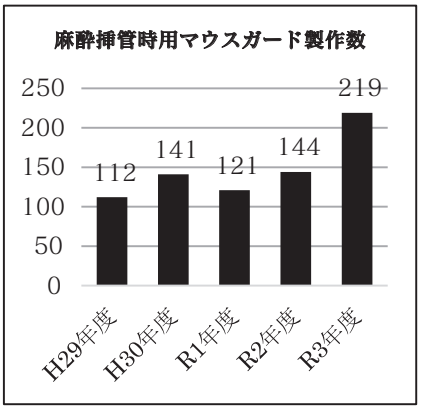
評　価

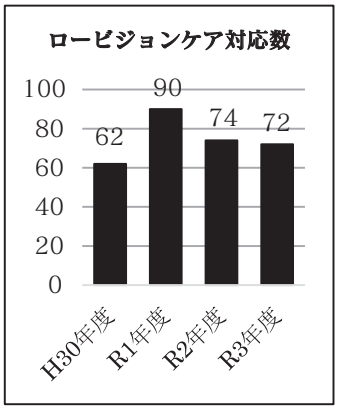
歯科衛生士と歯科技工士は、昨年度と同様に周術期口腔機能管理料の算定件数や麻酔挿管時用マウスガードの製作件数の増加に努めました。また、歯科における感染対策マニュアルの改訂に着手し、歯科助手も協働して取り組みを進めました。この機会に感染管理者とともに学習会を開催するなど、歯科口腔外科診療における感染対策の知識向上を図ることもできました。

視能訓練士は、白内障手術で使用する人工眼内レンズ（IOL）に、乱視矯正用トーリック IOL および保険適用である低加入度数分節 IOL レンティスの 2 種類が新規導入されたのを受け、術後屈折値の精度管理を実施しました。ロービジョンに関しては、昨年に引き続き日常生活の支援や視覚障害認定基準の改正に伴い情報提供を積極的に行いました。

部署の年間取り組みとしては、医療安全対策会議の定期開催を継続しており、安全な外来診療環境を提供するために、多職種の意見を交換することができました。始業時には危険要因に対する対策行動目標の唱和を実践するなど、危険感受性の向上を目指した活動を行うこともできました。







看 護 局

看護局長　　弓削　悦子
看護局理事　吉川　敬子
看護科長　　草野　美樹　　宮部　照美　　看護係長（教育）山田　みか

Ⅰ．トピックス

＜令和３年度看護局目標＞

１．つながりのある看護実践　　チームワークの強化
２．働きやすい職場づくり

目標１

個々に応じた看護展開に力を入れ実践してきたが、今年は、さらにスタッフ個と個・部署内・病棟間・病棟と外来・看護局と多職種・病院から地域へとつながりをもって、患者家族が受けたい看護を実践し、看護の質を向上させるために取り組んできた。

つながりを意識して、多職種との協働や、院内、院外への連携、リソースの活用により質向上につなげ、患者の診療・ケア・退院支援を行った。病棟・チームでの事例検討会や、部署合同での事例発表会（18 部署 web 発表）で事例を共有し他者からのフィードバックを受けることが出来た。結果として、患者に寄り添った看護を工夫し、努力した結果は、看護師の達成感の維持や、互いの看護観を理解することにつながり、チームワークの強化にもつなげることが出来たと評価する。今後も地域包括ケアシステム推進に向けて、さらに切れ目のない医療・看護が求められるため、実践の継続と体制強化に努めていく。

目標２

職員のやりがいや、満足の向上は組織力の強化につながる。そのため看護実践の意味づけを行うこと、他者から承認を受ける良好な職場作りをおこなうこと、WLB の整備、良好な人間関係を維持することで、働きやすい職場作りにつなげられるように取り組んできた。

学習と成長では、個々の内省力を高めるために、教育ラダーを活用し教育委員会や看護管理者からの支援を行った。働きやすい職場に向けての「改善活動」は、看護師確保定着委員会が中心となり、16 部署で 1 年間 PDCA を展開し実践を行い、取り組み発表を実施した。各部署の課題改善のために、接遇改善活動、時間外削減活動、環境改善活動、フィッシュ活動、看護方式「自

己完結型」や「ゾーニング方式」を取り入れた改善などに取り組み、結果を出すことで達成感につなげられた。

継続中のリリーフ体制は、勤務計画時の計画的リリーフと、突発的なリリーフに対しては毎朝の朝礼で調整し、より効率的に人的活用を実践した。他部署を理解しお互い様の精神を培うことや、新しい知識・技術を習得することも成果の 1 つであった。

看護補助者活用では、コロナ禍の面会禁止が続く中、患者の持ち物や環境を整備し、安全な搬送業務が出来るように、主任会が中心となりチェックリスト作成し教育を実践した。コロナ禍で煩雑になった業務が安全に実践出来る環境につなげられた。

添付資料：令和 3 年看護局目標管理まとめ（BSC シート）

＜ COVID-19 対策と病床管理＞

COVID-19 対策 2 年目となり、4 月から病棟立ち上げメンバーを中心とした新体制とし、感染管理認定看護師の配置や、状況に応じた応援体制を計画したが、第 5 波・6 波は、重症患者や複数の高齢者患者を受けることになり、また院内患者からの感染対応も重なり、より体制強化が必要となった。4 西病棟を改修工事後の 6 東病棟に移動し、COVID 第 2 病棟として運用することになり、5 東病棟と 2 つの病棟で役割を分担して対応を行った。そのため一般急性期の病床確保が厳しい状況となったが、当院の通常の役割を果たすために朝夕の病床調整会議を行い、退院調整・転棟調整など、各部署が協力し病床管理をすることで断らない管理につながった。

Ⅱ．看護局の組織体制

組織体制強化のため、看護局理事 1 名　看護科長 1 名、看護係長 4 名、看護主幹 8 名、看護主査 9 名が昇格した。

看護管理者育成のために、新マネジメントラダーに改訂し、マネジメントスキルを向上させるために Web 受講環境を整えた。

新採用職員は 27 名（既卒者 7 名、新人 20 名）入職した。コロナ禍の影響を受けた新人への教育として、職場体験型研修の導入（看護師の仕事の実際を客観的に体験し、職業･職場の理解につなげる。）夜勤研修期間の延期（日勤の状況で段階的に進める。）ローテーション他部署見学実習（自部署との関連部署の経験・新人の特性に合った配置の検討）を行い、部署全体で新人の支援体制を整えた。結果は問題なく育成できたが、今後も影響を受けた新人に対して、より丁寧な教育を実践していく必要がある。

各部署担当科長制は、人事評価担当病棟を決め、新人看護管理者には十分支援できるような体制をとった。看護局運営の効率化を図るために、定例会議・委員会・目標管理推進グループを設置して活動を行った。

Ⅲ．評価

昨年に続き、予定外の配置異動や病棟移動を行い、一般急性期病床縮小により、各部署間の協力が必要となったが、各管理者はじめスタッフが柔軟に対応出来たことで、1 年間の成果につながった。刻々と変化する状況の中で、病院組織の目標に向かって、各部署・委員会が取り組みを行い、結果を出すことが出来た。新任看護管理者はじめ多くの管理者は、様々な状況の中で問題解決するために管理者としてのスキルを向上させることが必要となる。今後はマネジメントラダーの活用、人材教育への環境をさらに整備していきたい。コロナ禍での多くの課題は、今までのあたりまえから、新しい発想での改革が必要となるが、その中で患者家族が受けたい看護が実践できるように取り組んでいきたい。

令和３年度　市立長浜病院看護局目標管理評価

病院理念
「人中心の医療」

看護局理念
そっと寄り添い
手の温もり心の温もりを
伝えます

優しさ・気づき・
思いやり
に基づく看護実践

「この病院に来て良かった」
「この病院で働いて良かった」

1．私達はいつも私や家族が受けたい看護＝心のこもった看護をめざします
2．私達はいつも安全・安楽を考えた看護をめざします
3．私達はいつも患者様の疑問に対して、誠意を持って説明を行います
4．私達はいつも良好な療養環境を整えることをめざします
5．私達はいつも地域と連携し継続した看護をめざします
6．私達はいつも自己研鑽し、専門職として、看護水準の向上をめざします

1．つながりのある看護の実践 ～チームワークの強化～

	目標項目	達成基準		行動計画（アクションプラン）	評価ランク	考察
	成果目標	成果指標	目標値			
財務	新入院患者の増加	新入院患者数	新入院数が昨年度より増える	各部署、毎月実績数把握	A	新入院総数はR2年度は7867：R3年度は7751と減少しているが、産婦人科入院病棟閉鎖により産婦人科+小児科で606の減少を認めたためであり、その他はほとんどの科でR2年度よりも増加している。 1日平均入院単価も、昨年度より879円アップしている。 コロナ禍ではあったが、各診療科医師と各病棟師長協力し、コロナ病棟の影響を受けながらもベッドコントロールできた。
財務	診療単価の向上	一般・療養・回復期病棟単価、外来単価	各単価が昨年度より増える	改革プラン：上半期・年度末総括評価		
財務	医業収益の増加	外来・入院収益	医業収益が昨年より増え赤字数値が減る			
患者 顧客	患者家族に選ばれる病院。患者満足度が向上する	患者満足度調査結果 意見箱投稿・メール件数（苦情件数）	患者満足度調査結果『看護師への満足度』が昨年度より向上	病院の組織文化、患者満足度調査：9月頃実施・1月頃結果評価		昨年度評価と大きな変化は見られないが、看護実践における看護の充実において60%以上の達成感を得ている者は7割以上であった。 急性期の平均在院日数が10.3（最短7.4）と短く、日々の繁雑な業務環境であっても、また、コロナ禍で患者家族と十分な情報共有が出来ない環境であっても、患者家族に寄り添った看護を提供するよう工夫・努力していることは、看護師の志気を下げずに達成感の維持につながったと考える。
職員 顧客	プロとしての成長、志気、チームワークが高まる	職員満足度調査結果	職員満足度調査『病院組織文化に関する項目』が昨年度より向上			
職員 顧客	看護実践の充実感・達成感が得られる	目標管理アンケート結果	目標管理アンケート結果が昨年度より向上	目標管理アンケート：初期（5月）最終（12月）実施、評価		
業務プロセス	カンファレンスを活用し、個々に応じた看護実践が展開できる	①初期カンファレンスの定着 ②患者家族の要望を把握した個別看護計画の立案数	①初期カンファレンス実施率：100% ②患者家族とともに看護計画立案した事例数：2事例/各チーム	・早期より必要な情報収集（家族・CM）を行い問題を抽出して初期カンファレンス（48時間以内）へ ・多職種や病棟間や病棟ー外来の連携強化（チームワーク強化） ・個別看護計画立案では、患者家族の要望を把握し、患者とともに看護計画を立案し目標を設定する ・リソースの活用：有資格者 ・院内：継続看護の事例検討（事例検討用紙使用） ・院外：継続看護の事例検討：在宅訪問、電話訪問等で確認し事例の振り返りを行う（事例検討用紙使用）	A	初期カンファレンスにおいては定着できている。 患者、家族の要望を把握した看護計画の立案においても、目標値の2事例は達成できた。
業務プロセス	部署間連携し、入院前から退院後までつながりのある看護実践ができる	事例検討数	事例検討数：5事例以上/各チーム （院内・院外の事例検討　）		A	事例検討5事例/チームの目標に対し、事例数が目標に及ばなかった部署チームもあった。しかし、多職種からなる専門チームの介入であったり、部署間の連携による効果は出てきており、多職種が協働して患者の診療・ケア・退院支援が行われている。 地域包括ケアシステム推進にあたり、さらに切れ目のない医療（看護）の実践が求められる。
学習と成長	お互いに協力しながら各々の職務を実践・評価し、チームの中で役割が発揮できる	師長・主任・固定L・サブL：職務記述書、固定L・サブL評価表	中間・最終評価を行い期限までに提出できる	・人事評価Navigator『目標（業績）』：目標項目は<u>チーム</u>で決定。達成基準・行動計画については、チームの中での各々の役割を理解して達成基準行動計画を<u>個々</u>に追加入力する。また期末評価では個々の貢献度も含めて<u>個々</u>が評価入力する ・『行動（能力）』：特に項目1・4・10について、期首：自己の成長のために何をするのかを設定、中間：行動計画の進捗把握、期末：頑張ったことできなかったことを評価 ・管理者（師長・主任）は、個人の目標が達成されるための支援を日常的に行う	A	アンケート結果からは、91%が自分自身の職務を理解できており、また、80%の者が6割以上の職務を実践している。 しかし、医療職間の連携不足やコミュニケーション不足があり、医療チームとしての機能をあげ看護の質につなげるためには、リソースの活用、また、個々の倫理観の向上等が不可欠である。
学習と成長		チーム目標達成に向け個々の役割を理解して、行動計画を立案し実施できる（全員）	期末評価で、業績〈目標達成〉の達成度が<u>T2以上</u>（正規） <u>80%以上</u>（会計年度任用）		B	
学習と成長		人事評価：行動〈能力〉評価結果（正規）	期末評価で、行動〈能力〉評価の1「患者中心」、4「チーム医療」10「部門目標貢献姿勢」が<u>B以上</u>		B	

2. 働きやすい職場作り

	成果目標	成果指標	目標値	行動計画（アクションプラン）	評価ランク	考察
財務	WLBを意識し、超過勤務時間が減少する	看護管理者、スタッフの超過勤務時間数	看護管理者（師長）、正規看護職員の月平均超過時間数が昨年度より減少	毎月の超過勤務時間データの把握	B	日勤者の就業前業務開始時間や、夜勤者の超過勤務時間は減少傾向にある。 看護管理者を含めた正規看護師の超過勤務時間の大幅な減少は見られていないが、各部署の問題に対して取組みを行っている途中である。
財務	離職が少ない	離職率	離職率が昨年度より減少	離職状況の把握	A	令和3年度の新人看護師離職率5%（1名）、全看護職員離職率4.9%であり例年と同等で増加傾向にない。ただ、20代後半の離職が全体の38%と多く、転職する傾向にある。 育児復帰者には、部分休業も取り入れ働き続ける環境が浸透している。一方で、卒5～10年看護師にありがちなモチベーションダウン時期に対してのキャリア支援は今後さらに重要であり、成功体験や承認を適切に行い満足度向上に努める。
職員 顧客	やりがいが得られ働き続けられる 自己・他者から承認を受けることで満足度が向上する	目標管理アンケート結果	目標管理アンケート結果が昨年度より向上	目標管理アンケート：初期（5月）最終（12月）実施、評価		
職員 顧客		職員満足度調査結果	職員満足度調査『業務、経営、職場環境に関する項目』が昨年度より向上	病院の組織文化、患者満足度調査：9月頃実施・1月頃結果評価		
職員 顧客		人事評価（行動評価）結果	人事評価（行動評価）：「チーム医療」「職場作り」評価がB以上が100%	人事評価：期首で動機づけ、中間で確認、最終面接で評価		
業務プロセス	看護補助者を活用（業務委譲）できる	入院環境の調整・整備の実施率（面会禁止における家族に代わっての身の回りの世話：荷物の受け渡し、個々にあった生活空間の提供等）	看護補助者による入院環境の調整・整備の実践（最終で100%）できた	看護補助者教育、看護補助者業務の見直し：主任会 ↓ （これを受け）各現場で実践	B	各部署で看護補助者の業務の見直しをおこない、委譲できた業務もある。 しかし、看護補助者の年齢や経験値・能力差があることから、効果的な補助者活用のためには、看護補助者教育について見直す必要がある。次年度は補助者ラダーの検討にとりかかる。
業務プロセス	効率的なリリーフ派遣ができる	毎朝の病床連携会議時での人員調整実施率	病床連携会議内で自主的に人員調整の実施：15日以上／月（全体で）	・勤務計画時のリリーフ計画（継続） ・突発的（急な休み、ケアや入院等業務が重積し時間内での遂行が困難な状況）：各部署間で時間単位or半日or1日のリリーフ調整を行う	A	毎月の勤務表作成時には、計画リリーフ表の提出ができており、継続している。 各師長から、人員や業務量を判断し前日に派遣要請or可能の連絡を行うことができた。また、病床連絡会議において、急な人員調整も実施した。
業務プロセス	『働きやすい職場』に向けての課題が改善する	日勤の始業前業務開始時間	日勤者のPCログイン時間が8時以降：最終で100% ㊟看護管理者除く	・始業前業務の削減活動の継続。情報収集時間の検討（日勤） ・8：30～8：45の業務見直し（申送りの廃止や情報収集時間にあてがう等）	A	日勤の始業前業務開始時間を8時以降にするため、各部署の傾向を検討し、情報収集時間を勤務内（8：30以降）に設定したり、申し送り内容を見直すことで申送り時間短縮を行うなど改善に努めた
業務プロセス		改善活動（PDCA）実施率	改善活動（PDCA）展開　1事例／年	各部署の課題の抽出（5月末まで） PDCAにて改善活動実施　　《各部署にて計画》	A	看護師定着確保検討会委員が中心となり、各部署の職場環境改善活動を実践。 2/10取組み発表を実施。 フィッシュ活動や、看護方式「自己完結型」や「ゾーニング方式」を取り入れたり、また接遇改善活動の実施など、各部署の課題を一年間を通して取り組んだ。
学習と成長	コミュニケーション能力が向上し、職員間の『ホウレンソウ』が充実する	①SBAR等を用いたコニュニケーション学習会の参加率 ②事例を用いての展開数	①研修会参加率100%：8月末まで（全看護職員） ②事例検討1事例以上／各チーム	・研修会の実施：各部署でリスクナースを中心に研修企画（内容・方法等） ・各チームで事例展開（リスクナース検討部会で方法や用紙等準備）	B	リスクナースを中心にSBARの学習会の実施、事例の共有
学習と成長	個々の内省力を高めることで、モチベーションが安定し、協調性や良好な関係性がとれた職場となる	クリニカルラダー評価表	クリニカルラダー：自己教育研究能力【内省力】行動評価が3点以上（レベルⅠB～Ⅳ）	・教育ラダー内のシートをもとに自己診断し、己を知って取り組む ・教育委員・管理者（師長・主任）は支援を行う	B	教育委員を中心に部署スタッフの課題の把握に努め、スタッフ個々に応じたラダー・評価ツールの活用を促していけたが、レベル1B～Ⅳの行動評価（内省力）が3点以上かは、把握できなかった
学習と成長	看護補助者の活用推進を理解し、業務委譲につなげる	看護補助者研修会への参加率（看護補助者） 看護補助者の研修結果の把握（看護師）	主任会にて設定	主任会にて計画	A	7/16「移乗・移送」研修会：参加者41名（欠席者1名）　研修理解度：100%、参加に意味があった：100% 9/14「食事介助」はコロナ第5波のため中止 11/18「KYT」研修：参加者28名（コロナによる人数制限あり）研修理解度：100%、参加に意味があった：100%

看護局組織機能図（2021年度）

令和3年4月

看護局職員（令和4年3月31日）

看護師長：25名、看護主任：54名、看護師396名、助産師10名、准看護師：2名、介護士：23名、看護補助者：47名、

認定看護管理者1名、専門看護師：1名、認定看護師16名、特定看護師4名

訪問看護ステーション

河野　智一　　訪問看護ステーション所長　看護主幹

訪問看護ステーションは看護師 11 名（常勤 8 名、非常勤 3 名）（常勤換算 9.7 人）と理学療法士 2 名（常勤 1 名、非常勤 1 名)、作業療法士 1 名（非常勤 1 名）が病院内と連携できる特性を活かし、医療依存度の高い中重度者のケア、在宅緩和ケア、在宅看取りの療養者の受け皿として事業を継続しています。

今年度の業務実績・トピックス

・今年度の利用状況は、延べ訪問件数 10,297 件（介護保険：7,476 件　医療保険：2,821 件）前年度に比し、235 件の減少でした。医療保険は 340 件減、介護保険は 105 件増でした。医療依存度の高い介護保険利用者の在宅看取りまでを含む看護実績から看護体制強化加算算定が可能となり、1 件あたりの訪問看護単価の増額により前年度に比し、500 万円余り増収となりました。

・在宅看取り率は 52.8%でした（前年度 57.2%)。疾患を問わず、がん、心不全、神経難病や老衰など幅広い利用者に対して、最期まで住み慣れた場所で過ごしたいとの希望を叶えるために在宅医師と密に連携をとり、在宅緩和ケアを実践することができました。

・困難ケースは、定期的に地域ケア会議に参加し多職種と連携を深め、訪問看護だけでは解決できないケースの支援を継続しています。また病院併設の特徴を活かし、院内にある専門、認定看護師に相談を行いながら訪問看護師が主体的に解決できるように取り組んでいます。医療依存度が高い利用者の医療処置や通院負担による生活の困難感に対して、看護師特定行為を積極的に用いることで困難感を改善できる事例が増えております。

・地域の在宅看護実習の受け皿としての機能を果たすため、既卒看護師やステーション管理者の実習受け入れを行いました。またリモートシステムを用いた看護学生の実習指導に対応しました。

・コロナ禍による業務への影響に対応することや効率化を目的に、訪問看護業務へスマートデバイスを導入する準備をすすめ、稼働できる体制を整えることができました。

事務局

藤居　　敏　　事務局長
伊吹　定浩　　総務課長
嶋　　吉夫　　事務局理事兼医事課長
三原　了導　　経営企画課長
三田　久容　　医事課診療情報管理室長
森　　靖　　総務課参事
久保田武次　　経営企画課経営戦略室長
伊吹　宗人　　総務課課長代理
大塚　邦生　　医事課課長代理

総務課

(1) 人事・総務係

1．医師の働き方の改革の取り組みの推進について

医師の働き方改革を推進するため、項目ごとに３つのワークキンググループで検討を行い、時間外対象業務の仕分けや出勤時間の複数勤務パターン制度、リフレッシュ宿泊助成制度の導入等を実施し、医師の負担軽減を図りました。また、令和４年度から５年度までの医師の勤務時間短縮計画を策定し、引き続き医師が働きやすい勤務環境づくりを推進してまいります。

2．診療体制強化に向けた医師の採用について

医師数が不足する診療科の医師確保が喫緊の課題となるなか、大学医局への派遣依頼等により診療体制の充実に努めました。

3．臨床研修医（初期研修）の採用について

臨床研修医の採用については、病院合同説明会への参加、医学部の学外臨床実習生や病院見学の受け入れ、ホームページや電子メールによる情報発信に取り組みました。その結果、令和４年４月採用の臨床研修医採用試験には 14 人の受験があり、６人の採用決定を行いました。

今後も指導体制の整備、症例研究に対する積極的な支援、やりたいことができる研修環境等に配慮しながら、初期研修から後期研修まで継続して当院に勤務いただける魅力ある病院づくりを目指してまいります。

4．看護師の確保について

看護師の採用は、看護配置基準７対１を維持するため、定期採用試験２回の実施により、43名を採用しました。また、確保対策としては、看護大学や専門学校の訪問、病院見学やインターンシップの受け入れ、採用内定者を対象とした国家試験対策講座の開講等を実施しました。新人看護師の養成では、院内教育や院外教育により、公務員・専門職としての自覚と責任を育むとともに、安全な看護業務を提供できるよう、教育体制やメンタルサポート体制を整え支援してきました。

また、看護師の離職率は、看護配置基準７対１の維持による看護師１人あたりの受持ち患者数の減や、負担軽減対策の実施により 8.2%に留めることができました。

今後においても看護師の確保と養成については、ワークライフバランスの推進や当院独自の創

意工夫を重ねながら、職場環境の整備に向けて継続的に取り組んでまいります。

(2) 経理係

予算編成や決算調製、議会や監査の対応等、主に病院事業の財政面において、適正な予算執行や経営改善に向けての取組を推進しました。

また、病院事業に係る出納業務を行うなかで、医療費の収入や給与費、材料費等の支出が適正に行われているかについて管理するとともに、機器購入、工事費の支出、それに伴う企業債の借入や償還にあたっても、キャッシュ・フローの側面から、特に精密な予測と管理を行い、とりわけ新型コロナウィルス感染症対策関連補助金については、最大限確保できるよう努めました。

現金収納については、医療費自動支払機を増設し、適切な運用と管理を行うとともに、患者さんに対しては丁寧な案内を心がけました。

経営企画課

(1) 企画係

令和３年度は、新公立病院改革ガイドラインや滋賀県地域医療構想を踏まえ新たに策定した「長浜市病院事業　中期経営計画」（平成 29 年度から令和３年度まで）の５年目として、設定した事業目標の進捗管理を行い、地域住民の健康保持に必要な医療の提供に取り組みました。

また、令和４年度から令和７年度を対象期間とする次期計画の検討を行い、令和４年３月に「長浜市病院事業　中期経営計画 2022-2025」を策定しました。

当院の病院医療情報システムは、平成 31 年１月から稼働しているシステムの運用・保守フェーズとして、IT 推進会議を８回開催し、定期的な状況確認、協議を行い、安定稼働に努めました。

広報業務の一貫として、例年コメディカル連絡会議を中心に「びょういんの参観日」等の事業を行ってきましたが、令和２年度に続き令和３年度も新型コロナウィルス感染対策の一環で、イベント実施を見合わせました。

また、病院ホームページによる当院の医療提供体制の紹介や公開講座･研修会開催の案内のほか、広報ながはま「お元気ですか」への寄稿などにより病院の医療機能情報について発信してきました。

病院機能評価（3rdG）では、認定から５年目を迎え、更新受審に向けて院内準備を開始しました。医療の質の向上が、間接的に経営にも貢献できるため、令和４年度の本審査に向けて準備を進めていきます。

その他、倫理委員会、医療評価委員会等の所管委員会事務、施設基準等の管理及び届出事務等、医療監視等の受審（保健所による立入検査）など、企画係が一丸となって病院の企画運営に取り組みました。

(2) 用度係

医薬品の購入に関しては、年２回の単価契約の更改にあたって、薬剤局と協調しながら、価格交渉を粘り強く実施し、経費の削減を図りました。

医療材料に関しては、令和元年度から参加している共同購入事業においてスケールメリットを活かした材料費の削減に積極的に取り組み、医師への協力依頼及び選定品への切換えを実施。また、メーカーや卸売業者とは、随時、納入価格の交渉を行いました。

医療機器に関しては、老朽化した機器を随時更新し、新型コロナウイルス感染症に対応すべく、簡易陰圧装置、生体情報モニター等の整備を図りました。また、内視鏡センター拡充を図るべくX

線透視撮影装置の導入やスコープ類を購入しました。

湖北病院との物品調達にかかる契約事務の連携については、スケールメリットを意識した効率的な購入を進める中、具体的には、PPC 用紙の一括入札を実施した他、酸素濃縮器の賃貸借業務を両院一括にて契約しました。

そのほか、医療コスト適正化事業として、コンサル業者と連携し、交渉を重ね、委託費や医療材料費の削減を図りました。

(3) 施設管理係

施設管理係は、患者さんや付き添いの方などが当院を安全で安心して利用していただけるように、建築設備の維持管理や修繕などの業務を担っています。

今年度、病棟に設置しているカード式システム機器（テレビ、洗濯機など）の更新に合わせて、患者さんなどの情報の取得及び発信の利便性の向上を図るため、病棟に入院患者用の Wi-Fi（無線 LAN）を整備しました。

また、大規模災害発生時における事業継続計画（BCP）の見直しを行うとともに災害対策アクションカードを作成したところです。

(4) 経営戦略室

中期経営計画との整合性を図りながら、経営戦略ビジョン、病院保全計画、また既に実施されている計画・事業を推進し、中長期にわたる病院最適化を行います。

【全体運営方針】

１．病院機能の強化
２．患者サービスの向上
３．経営基盤の強化

【重点取り組み事項】

■病院大規模改修事業（最終年度）

１．事業目的

本事業は、開院から 20 数年が経過した本館についてファシリティーマネージメントの導入による最適化を図るため、老朽化の著しい病棟の配管類の改修、設備機器の更新及び外壁剥離等の危険箇所の改修を行うものです。

２．事業概要

①事業名称　　市立長浜病院大規模改修事業
②事業内容　　・入院病棟改修
・自家発電機設備改修
・本棟高層棟外壁修繕
・全館エレベーター改修
・中央手術室更衣室改修
・設計、監理

３．事業期間
2018 年度（平成 30 年度）から 2021 年度（令和３年度）まで

■病棟・病床管理運営事業

１．事業目的
日々の入院患者数を把握し、他部署との横断的な対応による入院患者数の増加と適正な病棟配置、病床管理を行う。

２．事業概要
①日々の入院患者見込み数の作成発信
②病棟・病床の適正管理と運営

医事課

(1) 医事業務・請求担当

１ 診療報酬に関する事務

・コロナ禍により患者数が減少するなか、令和３年度においてもコロナ前までの状態に戻ることは難しく、施設基準や加算を取得するための取組みを推進し診療単価アップと査定の減少に努めました。

・平成 30 年４月に廃止とした保険審査委員会を再設置し、当院の請求状況や査定状況、再審査状況等を共有し、適正な診療報酬の請求について議論する場を設けることができました。

・厚生労働省臨床研修指定病院として、全職種の職員を対象とした「保険診療に関する講習会」を２回開催しました。コロナ対策として、動画やライブ配信により各端末で講習を受けていただく等の措置をとり実施しました。

２ 医事業務

・各科外来や患者総合支援センターと連携を図り、指定難病や小児慢性特定疾患、更生医療等の公費申請の手続きについて患者様に説明を行いました。
また、新型コロナウイルス感染症患者の受入れにより、感染症公費の取扱いについて対応しました。

・令和３年５月より長浜市・米原市の住民に対し、両市と連携を図りながら新型コロナウイルス感染症の予防接種を開始しました。病院事業として全部局に協力を依頼し、住民の受入から接種後の案内までスムーズに対応できるよう体制整備に努めました。接種回数は 34,562 回と年間を通じた大きな事業のひとつとなりました。

・令和３年３月に導入予定であったマイナンバーカードによるオンライン資格確認システムの稼働が延期となり、同年 10 月より開始となりました。保険証の代わりにマイナンバーカードを利用して資格確認ができるほか、保険者への限度額申請手続きがなくとも自己負担限度額が確認できるようになりました。今後は患者様の特定健診情報や薬剤情報がカルテで閲覧できるようになる等、利活用の場が拡大することが見込まれます。

３ 個人情報の開示

・個人情報の開示（カルテ開示）につきましては、令和３年度の実績として 77 件の開示を行いました。

4 未収金対策

・当院では、平成 21 年度より回収困難な案件を弁護士法人へ委託しています。
令和３年度も、未収発生から４ヵ月後の早い段階における委託を継続し、確実な未収金回収に努め、弁護士法人から支払要求通知等による催告の実施をしました。また、上記未収金の回収とあわせて、限度額適用認定証等の社会保障制度及び公費申請の周知案内に力を入れ、患者さんの個人負担額を減らすことによって、未収金を発生させない取組みにも力を入れました。

・深夜時間帯における救急外来の患者さんや、遠方患者さんの診断書料金支払等、来院による支払いが困難な場合には、コンビニ払込票による支払いサービスを利用することにより、患者さんへの利便性を図ることができました。

(2) 医師支援担当

1 医師事務作業補助業務

・令和３年４月現在、当院は医師事務作業補助体制加算 1、25 対 1 を取得していましたが、採用、派遣契約等により、令和３年 10 月より 20 対 1 を取得しました。医師事務作業補助者の増員もあり、外来におけるカルテ代行入力業務では、外科、整形外科、循環器内科、消化器内科、腎臓代謝内科（データ入力）、呼吸器内科、リウマチ科、眼科に加え、５月より内視鏡センターにも医師事務作業補助者 1 名を配置しました。
また、医療文書作成補助業務や、NCD 登録業務（外科、心臓血管外科、泌尿器科、呼吸器外科、循環器内科）、JND 登録業務（脳神経外科）を行っています。

令和３年度　NCD 登録数
外科　465 件
循環器内科（PCI、EVT）　672 件
呼吸器外科　123 件
心臓血管外科　365 件
泌尿器科　85 件

令和３年度　JND 登録数
脳神経外科　487 件

2 診断書窓口業務

・患者さんからの診断書作成依頼を受け、医師や医師事務作業補助者等との連絡調整を行い、迅速な交付の事務に努めています。
令和３年度の実績として 9,406 枚の交付を行いました。

(3) 診療情報管理室

★診療情報管理室業務として（診療情報管理士　６名、事務職　７名）

1）診療録の精度管理、監査
2）診療情報の登録、統計の作成及び情報提供等、データの管理
3）DPC 業務
4）各種学会関連の症例登録業務
5）電子カルテ帳票の管理
6）スキャンセンターの運営

7）文書・テンプレートマスタ管理
8）図書室の管理運営業務

1 診療情報管理

＊診療録管理

診療記録の保管・管理を行っています。診療録管理担当は、入院診療録の量的、質的点検業務を行い、「説明と同意」に関する同意文書や、入院診療計画書、退院時要約等の完成状況を把握し、診療録の迅速な完成の促進、精度向上に取り組んでいます。

＊診療情報

電子カルテ情報と診療情報管理システムを効率よく活用し、各種検索に対応することで、医療の質の向上と医療従事者の研究に寄与できるよう取り組んでいます。

また、DPC データに基づいたクリニカルパスの作成、システム上の編集、バリアンスの入力支援等を行うことで、業務効率の向上と医療の質の向上に取り組んでいます。

＊ DPC

診療記録に基づいて傷病名と診療行為の整合性の確認を行い、主治医に確認、相談をしながら DPC コーディングのチェック作業を行っています。また、DPC 対象病院として、厚生労働省が実施する「DPC 導入の影響評価に係る調査」に参加し、データの提出を行い、当院のホームページには､DPC データに基づく「病院情報の公表」として病院指標を毎年更新しています。

DPC 委員会では、適切なコーディングとなるよう症例を用いて検討を行い、医師をはじめ各担当者が DPC コーディングの理解を共有しています。

＊医師・看護師を対象に DPC の勉強会を開催しました。

令和 3 年度　勉強会開催実績

医師対象

開催日	診療科	開催日	診療科
6 月 30 日	呼吸器内・外科	8 月 25 日	外科・消化器内科
7 月 3 日	耳鼻咽喉科	9 月 29 日	心臓血管外科
7 月 15 日	脳神経外科	10 月 7 日	腎臓代謝内科
7 月 20 日	整形外科	10 月 20 日	循環器内科

資料提供と説明

眼科、泌尿器科

看護師対象

開催日	対象病棟	開催日	対象病棟
10 月 27 日	6 東、5 東	11 月 5 日	7 西、6 西
10 月 28 日	3 南	11 月 9 日	3 西
10 月 29 日	療養、回復リハ	11 月 10 日	7 東、5 西
11 月 2 日	ICU、SCU		

＊その他

令和２年度より引き続き、「医療の質の向上」と「経営改善」に取り組み、下記項目について各部署へデータ提供を行いました。

①薬剤管理指導料の算定率の向上
②入院栄養食事指導料の算定率の向上
③入退院支援加算の算定率の向上
④認知症ケア加算の算定率の向上
⑤周術期口腔機能管理後手術加算の算定率の向上

２ スキャンセンター

診療記録として発生した文書をスキャナーにより電子カルテ内に取り込み、原本の保管・管理を行っています。

スキャン前後にはすべての文書の確認を行い、診療録の真正性・見読性を保つ役割を担っています。

３ 図書

医療従事者の要望と実情に沿った図書の提供となるよう取り組んでいます。

・医療者用書籍、医学雑誌の購入、廃棄
・電子ジャーナルの更新、管理
・文献に関する対応（相互貸借など）
・患者図書コーナーの整備

患者総合支援センター / 地域医療連携室

川島　和彦　　患者総合支援センター長
森田　善方　　患者総合支援センター副センター長
徳田　敏子　　患者総合支援センター副センター長兼地域医療連携室長
松田　和子　　患者総合支援センター地域医療連携室担当監

患者総合支援センター　地域医療連携室は、病院理念の「地域完結型医療」の推進に向け、患者相談、病院内外の医療連携、チーム連携など、医療・保健・福祉を含めた包括的なサービスを提供しています。

令和 3 年度も地域の医療福祉機関との連携を密にすることを主眼に置き、当院の診療科の情報を掲載した「診療のご案内 2021」を発行し、地域の医療機関等に配布しました。また、院内の各部局からのトピックスや院内の最新の情報をタイムリーに関係機関へ周知するため、「地域医療連携だより」を毎月約 400 カ所に配布しました。

湖北医師会会員の医療機関からの地域外来･検査センター（PCR 検査センター）の運用は継続し、ゴールデンウィークや年末年始にも臨時的に実施しました。

1．地域医療連携グループ

前年度は COVID-19 感染拡大の影響により紹介数は減少しましたが、令和 3 年度は 6,533 件で前年度比で 366 件増加しました。

PCR 検査センターの受け入れはコロナ感染の第 5 波、6 波に合わせて紹介件数も増え、紹介元の先生方と当院職員の安全を図るとともに検査の効率を高めるため、また、スムーズな届出ができるように電話診療による紹介も可能とし、必要書類や開業医が記載する診療情報提供書を見直し、より簡略化しました。令和 3 年度の地域外来・検査センター（PCR 検査センター）の紹介数は 583 件 / 年でした。

2．入退院支援グループ

①入院支援では、安心して手術･検査が受けられるよう、入院前の早期から外来、薬剤師、手術室、医事課など多職種で連携し、入院病棟や退院支援担当者と情報を共有しました。また、入院前から地域や入院予定病棟への連携を深められるように、今年度は入院時支援加算を算定する体制を整えました。

②退院支援では、今年度は 1,215 名の患者さんに介入し、患者・家族の思いを大切に在宅や施設等の身体的・社会的事情に応じた療養場所への退院を支援しました。退院を支援する中で、独居・老老介護・生活困窮など様々な問題を抱えた患者様が多く、そのような困難な問題と向き合い、患者・家族に寄り添いながら、住み慣れた地域での療養や生活が継続出来るよう、かかりつけ医や施設・各事業所と連携を深めながら支援に務めています。

3．患者相談窓口グループ

令年度の患者相談件数は 3,896 件と毎月 300 件前後の相談に対応しています。内訳としては受診相談が 80%と最も多く、次いで案内や看護相談、医療費についての相談となっています。外来や医事課や退院支援などの専門的な内容については、院内の専門部門と連携しそれぞれの専門職員が対応を行っています。また、かかりつけ医を持っていただく事が望ましい相談者の方には、積極的にご説明を行っています。

患者支援に関わる職員で定期的にカンファレンスを実施し、相談対応の質の向上に努めています。

がん対策推進室

田久保　康隆　　がん対策推進室管理監兼がん相談支援センター長
西田　淳史　　がん対策推進室副管理監
服部　隆義　　がん対策推進室室長兼がん相談支援センター参事
新川　君代　　がん対策推進室副参事兼がん相談支援センター副参事

がん対策推進室では、湖北地域における地域がん診療連携拠点病院としての役割を担うための取り組みを進めています。令和３年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止・縮小になった事業もありますが、オンラインを活用するなど工夫しながら事業を実施しました。

８月～９月には、湖北がんフォーラム２０２１をオンラインで開催しました。「がんに負けない生活習慣」をテーマに、YouTube で動画配信を行い、617 名の視聴がありました。

緩和ケア推進事業としては、11 月に滋賀県緩和ケア研修会を開催しました。ホスピス緩和ケア週間においては、日本緩和医療学会公式 YouTube チャンネル「緩和ケアが楽しく学べるミニ講座」のリンクを病院ホームページに掲載しました。

地域へのがん啓発活動としては、市内中学校でのがん教育講演会へ講師派遣を６回実施し、がんの早期発見の大切さなどを啓発しました。がん患者、ご家族等を対象とした公開教室は中止としましたが、外来やコロナワクチン接種会場にリーフレットスタンドを設置し、がんに関する冊子やリーフレットによる情報提供を行いました。また、２月には「滋賀県がんと向き合う週間」に合わせて、院内ホスピタルストリートで展示イベントを開催するとともに、長浜図書館で開催された「がんを知ろう展示会」においても、がん治療や療養生活に関する情報の発信を行いました。

患者団体等主催のイベントへの協力支援としては、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン２０２１滋賀医科大学」がオンラインで開催されたため、当院の各部署にてルミナリエバッグ（がんで闘病中の人や亡くなった人に向けたメッセージを書いた紙袋）を作成し、正面玄関で展示後に滋賀医科大学に送付しました。

院内がん登録においては、国立がん研究センター主催の研修会等に積極的に参加し精度の向上に取り組んでいます。院内がん登録 2020 年症例の提出件数は、741 件でした。また、国立がん研究センターが行っている「QI 研究」に参加しています。

がん相談件数は 1,177 件で、相談内容では、不安・精神的苦痛に関する相談が最も多く、次いで症状・副作用・後遺症となっています。また、就労に関する相談も多く、働く世代におけるがん患者からの相談の増加によるものと考えます。滋賀産業保健総合支援センターの両立支援促進員による「治療と仕事との両立に関する個別相談会」には４名の参加、「ハローワーク長浜による就職に関する個別相談会」には 12 名の参加、「社会保険労務士による個別相談会」にも３名の参加がありました。

医療安全管理室

医療安全管理室は、院長直属の組織として医療安全と感染制御それぞれの責任者を中心に、医療安全管理者、感染管理者、医療安全担当看護師、調整監、事務職員（2 人）の 6 人の室員が「医療事故対策」「感染制御」「医療事故紛争」「患者相談」などの業務を行っています。

室内協議として、責任者（管理監）を始め、副管理監、各局長、医療安全・院内感染防止・医療機器安全・医薬品安全・医療放射線安全の各管理責任者及び室員のメンバーにより、毎週火曜日にインシデント検討会・コンフリクト調整会を開催して、タイムリーな情報共有と対応について協議を行っています。

そして、院長を始め副院長、各局長らが委員を務める医療安全管理委員会、感染管理委員会を毎月 1 回開催して、情報共有と病院としての対応について協議、方針を決定し、医療安全対策委員会、感染対策担当者会議と連携し、現場の活動推進を行っています。

＜医療安全活動＞

1　連携する他施設からの評価を受ける事により、医療安全対策における自施設の課題が明確になり、湖北圏域の医療安全の質向上を図るため、医療安全対策地域連携加算 1 を申請し、長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院と連携し、相互チェックを各病院 1 回ずつ実施した。チェック内容は、医療安全相互チェックシートに基づき、「Ⅱ　医療安全管理のための具体的方策の推進」「Ⅲ　医療事故発生時の具体的な対応」「Ⅳ　医療事故の評価と医療安全対策の反映」について取り組みの共有、評価、指摘事項の改善を図った。

2　チームコミュニケーションエラー防止のため、平成 26 年度から「SBAR」推進活動を継続しているが、今年度はコロナ禍ということで、コミュニケーション推進班と医療安全管理室が連携し、チームステップスのコンテンツの動画を作成し、e ラーニング受講を推進した。

3　インシデント報告に伴う改善事項

(1) 医療事故情報収集等事業にインシデント事象件数の報告。

(2) 救急画像診断レポートの見落とし対策として、救急センターで非常勤医師がオーダーした CT、MR の画像診断レポートの既読状況、診断記録、患者説明内容を確認し、オーダー医師、責任部長にメールをする作業を医事課担当者が実施。確認作業後に対応が必要な事象、見落とし発生時の連絡を受けての対応支援。

(3) 転倒･転落事故（頭部打撲事象）発生時対応フロー･テンプレート内容の追加修正、テンプレートを使用しての継続的な観察・記録の周知。

(4) CVC 自己抜去事象：CVC 抜去時の注意事項をナーシング・スキルに追加、周知。

(5) 休薬未実施事象：休薬指示薬の運用の追加・修正、周知。事後評価にて、院外薬局の周知、協力得られている。

(6)「アナフィラキシーショックの対応」の修正、周知。

(7) 誤配膳事象：医療安全巡視、インシデント報告データを基に、栄養科と情報共有、提案を行い、栄養科内協議にて改善策立案、実施。

(8) フィリップス社製 CPAP 装置（持続陽圧呼吸療法装置）、成人用人工呼吸器の不具合事象：関連部署協議、該当機器使用者への周知、支援。

(9) コミュニケーション推進のため、チームステップスについて動画配信し、e ラーニングの受講推進、受講状況確認。

(10) アレルギー情報入力方法の説明、再周知。
(11) マニュアル作成・更新について：肺血栓塞栓症予防マニュアル、転倒・転落防止マニュアル改訂。

4　全職員対象研修会・医療安全情報提供（新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数の制限を行い、e ラーニング受講を推進）

(1)「報告文化を醸成しよう」(Web 研修)
講師：東京医科大学病院　医療安全管理室　浦松雅史
（参加者：51 人　e ラーニング受講：801 人）

(2)「医療事故調査の目的と理念」(Web 研修)　講師：自治医科大学名誉教授　河野龍太郎
（参加者：52 人　e ラーニング受講：599 人）

(3) 令和２年度医療安全取り組み報告
（参加者：64 人　e ラーニング受講：772 人）

(4) 医療安全ニュース（院外情報）84 回、リスクめ～る（院内情報）38 回発行

＜相談業務＞

患者や患者家族から寄せられた相談・苦情について面談等を行い、関連部署と連携しつつ、安全で安心な医療を提供できるように対応しました。令和 3 年度の相談・苦情件数は 34 件で、その半数は医師・看護師等の職員の対応に関するものでした。直接または間接的に新型コロナウイルス感染症が関係した相談・苦情は、34 件中 6 件でした。

また、“メッセージボックス”の回収を毎週実施し、患者や患者家族への回答と、掲示板・HP への掲載を行いました。このメッセージボックスには、令和 3 年度 111 件の意見が寄せられました。

＜感染防止活動＞

1　職業感染対策

(1) 針刺し損傷対策について

令和 3 年度の針刺し損傷は、看護師 13 人、医師 6 人、技術局 2 人、看護補助者 2 人の合計 23 人、26 事例の事象が発生した。同じ職員による針刺し事象が 4 回発生している。発生場所では、手術室での発生が 10 人（6 事例）と多く発生している状況であり、清潔器械台上の整理整頓、縫合針の取扱いなどに対する取り組みが必要である。

(2) 結核について

結核は 7 件の発生届の提出を行い、うち 2 件の事例に対し職員の接触者健診を実施した。計 51 人の職員が接触者健診の対象となったが、二次感染事例は発生しなかった。

(3) インフルエンザについて

インフルエンザでの院内感染はなし。

2　組織的感染対策活動

感染制御チーム（ICT）・抗菌薬適正使用支援加算チーム (AST) の活動

ICT 会議は週 1 回開催し、感染対策に関連する情報共有と対策・改善の検討を実施。全部署月 1 回の環境ラウンドを行い、環境チェック、ルミテスターによる汚れの測定を実施した。また、COVID-19 クラスター対応として、ゾーニングや感染対策の実施状況確認のラウンドを行った。サーベイランス協議として、耐性菌発生状況を確認し、データ分析・評価を実施。血液培養結果の確認と評価を行い、菌血症患者の抗菌薬使用について評価した。

ASTの活動として、抗菌薬適正使用ラウンドを週2回実施し、抗菌薬使用状況の確認、担当薬剤師による主治医への助言を行った。免疫不全患者は、診療科をリウマチ科・血液内科の発熱患者に的を絞り、抗菌薬使用状況などの確認を行った。

3　他病院との合同感染防止対策活動

湖北地域3病院（長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、当院）によるカンファレンスとラウンドを、合計8回実施。うち2回のカンファレンスは、長浜保健所の感染担当者を交えて実施し、COVID-19対応などの情報共有や意見交換を行った。保健所からはCOVID-19クラスター分析などについて情報提供があった。

4　全職員対象研修会

(1) 第1回　院内感染防止対策研修会（Web研修）

日　時：令和3年7月12日～10月31日

演　題：ウィズコロナのための感染対策セミナー

「これだけは知っておきたい　コロナ時代の感染対策の基本」

講　師：森兼　啓太先生（山形大学医学部附属病院　検査部・感染制御部）

参加者：812人

(2) 第2回　院内感染対策研修会・第1回　抗菌薬適正使用研修会（Web研修）

日　時：令和4年3月3日(木)～3月31日（木）

演題と講師：「クロストリディオイデス・ディフィシル感染症（CDI)」

①クロストリディオイデス・ディフィシル感染症

診療局　感染管理委員会委員長　大野暢宏医師(ICD)

②検査から結果報告まで

医療技術局　細菌検査室　呉竹めぐみ臨床検査技師(ICT・AST)

③治療薬について

薬剤局　薬剤科　竹越靖晃薬剤師（ICT・AST）

④CDIの感染対策

看護局　ICU病棟　西脇直美感染管理認定看護師(ICT・AST)

参加者：611人

(3) 第2回　抗菌薬適正使用研修会（Web研修）

日　時：令和4年3月14日（月）～4月25日（月）

演題と講師：「令和3年度抗菌薬適正使用支援加算に係る研修」

①外来での経口抗菌薬使用について～急性気道感染症を中心に～

薬剤局　薬剤科　野洌 孝二感染制御認定薬剤師（ICT・AST）

②正しい診断は、正しい検体採取から！～検体の採取・保存について～

医療技術局　細菌検査室　呉竹めぐみ臨床検査技師(ICT・AST)

参加者：559人

Ⅳ－３　著書発表記録

総合診療内科

小泉俊三、他
総合医療論（第 4 版）【系統看護学講座：別巻】
東京　④　医学書院　⑤　2022 年 (2 月)

消化器内科

西田淳史、西野恭平、大野将司、酒井奎太郎、大脇悠司、野田恵加、今枝広丞
【胆膵領域における術後回復促進プログラム (ERAS) と栄養サポート】" 栄養サポート " とは何
胆と膵 (0388-9408)43 巻 3 号 Page195-203(2022.03)

髙橋憲一郎、安藤朗
【慢性便秘症診療の最前線】治療　慢性便秘症診療とプロバイオティクス
診断と治療 (0370-999X)110 巻 1 号 Page53-57(2022.01)

髙橋憲一郎
【広義の炎症性腸疾患 (IBD)- 重要疾患の最新知見と罹患部位による鑑別診断 -】Clostridioides(Clostridium)difficile 感染症の診断と治療
消化器内科 3 巻 9 号 Page29-35(2021.09)

ヘルスケア研究センター

石田　均 (監修)
栄養士・管理栄養士のためのなぜ？どうして？ (第 3 版)　人体の構造と機能 / 臨床栄養学②
メディックメディア , 東京 , 2021

リハビリテーション技術科

西村圭二
側弯症の理学療法　標準理学療法学　専門分野　骨関節理学療法学第 2 版
医学書院　2021 年　p 224-231

看護局

中村寛子
看護雑誌　INFECTION CONTROL 8 月号
特集 2　新型コロナウイルス対応、よく遭遇する部門別 Q & A　薬剤部門
（株）メディカ出版　2021 年 7 月発行

松田和子、山岸美紀、草野美樹、伊吹理子、横井和美
看護雑誌　人材育成
前向き看護研究の体制づくりと臨床での研究支援ノウハウ　前編
（株）日総研出版　2021 年 10 月発行

山岸美紀、草野美樹、伊吹理子、阪東美加、川瀬智代、横井和美
看護雑誌　人材育成
前向き看護研究の体制づくりと臨床での研究支援ノウハウ　後編
（株）日総研出版　2021 年 12 月発行

中村寛子
看護雑誌　オペナーシング 2022 年春季増刊号
第 1 章 機械出し看護の必須スキル&知識 17
第３章 患者さんも、自分も守る！
オペナースに必須のリスクマネジメントのスキル&知識 14
（株）メディカ出版　2022 年 2 月発行

平井義一
看護雑誌　オペナーシング 2022 年春季増刊号
第３章 患者さんも、自分も守る！
オペナースに必須のリスクマネジメントのスキル&知識 14
（株）メディカ出版　2022 年 2 月発行

北村健拡（共同研究者）
介護福祉士が展開する卓越した実践の特徴
　～ A 県介護福祉士会を対象とした自由記述回答の質的分析を通して～
実践現場のための専門誌「介護福祉士」（公）日本介護福祉士会　令和 4 年 3 月発行

中村寛子
看護雑誌　INFECTION CONTROL 第 31 巻 5 号
特集 1　理解しにくい！清潔と不潔の考え方・伝え方
（株）メディカ出版　2022 年 4 月刊行

平井義一、関泉美
看護雑誌　オペナーシング　第 37 巻
議題集め・タイミング・方式・・・みんなどうしてる？
（株）メディカ出版　2022 年 4 月発行

Ⅳ－４　論文発表記録

リウマチ膠原病内科

Umehara H, Okazaki K, Kawa S, Takahashi H, Goto H, Matsui S, et al.
:The 2020 revised comprehensive diagnostic(RCD)criteria for lgG4-RD.Mod Rheumatol.31(3):529-533,2021

梅原久範 , 岡崎和一 , 高橋裕樹 , 後藤浩 , 松井祥子 , ett al.: 特別寄稿　2020 年訂正　lgG4 関連疾患包括診断基準－ The 2020 Revised Comprehensive Diagnostic(RCD)Criteria for lgG4-RD-.　日本内科学会誌 .　110:962-969,2021

梅原久範 , 佐藤智美 , 中村拓路 :lgG4 関連疾患の診断 .　免疫臨床・アレルギー科 . 75(4):437-442,2021.

梅原久範 , 佐藤智美 , 中村拓路 :lgG4 関連疾患－解明されてきた新たな病態－ lgG4 関連疾患包括診断基準と国際 lgG4-RD 分類基準 .　医学のあゆみ .　276(2):111-115,2021.

総合診療内科

Kitazawa K, Tokuda Y, Koizumi S,
Health-care-seeking behaviours of the Japanese lay public during the COVID-19 pandemic: a cross-sectional study
J Prim Health Care. 13(4):351–358. 2021

Kurihara M, Kamata K, Nakahara S, Kitazawa K, Koizumi S, Tokuda Y,
Healthcare use and RT-PCR testing during the first wave of the COVID-19 pandemic in Japan (special article)
J Gen Fam Med. 2022;23:3–8, 2022

小泉俊三
Editorial：COVID-19 下の Choosing wisely とは
Choosing Wisely International SPRING 2021 ROUNDTABLE(Web 開催) に参加して
Choosing Wisely Japan Newsletter No. 6 p.1 ～ 2（2021 年 5 月）

小泉俊三
飛躍の年、2022 年を迎えるに当たって
COVID-19 パンデミックは私たちの医療に何をもたらしたか？
Choosing Wisely Japan Newsletter No. 7 p.1 ～ 5 (2021 年 12 月）

小泉俊三
COVID-19 パンデミックは私達の医療に何をもたらしたか？
―社会の持続可能性と健康格差の観点から
ジェネラリスト教育コンソーシアム（カイ書林）第 16 巻 p100-111（2022 年 2 月）

消化器内科

Nishida A, Nishino K, Sakai K, Owaki Y, Noda Y, Imaeda H.
Can control of gut microbiota be a future therapeutic option for inflammatory bowel disease?
World J Gastroenterol. 2021 Jun 21;27(23):3317-3326..

小児科

Two novel heterozygous variants in ATP1A3 cause movement disorders
Furukawa S, Miyamoto S, Fukumura S, Kubota K, Taga T, Nakashima M and Saitsu H
Human Genetics Variation, 2022 Feb 18;(9):7,

外科

Yamamoto S, Kawakami H, Kii T, Hara H, Kawabata R, Kawada J, Takeno A, Matsuyama J, Ueda S, Okita Y, Endo S, Kimura Y, Yanagihara K, Okuno T, Kurokawa Y, Shimokawa T, Satoh T
Randomized phase II study of docetaxel versus paclitaxel in patients with esophageal squamous cell carcinoma refractory to fluoropyrimidine- and platinum-based chemotherapy: OGSG1201
European J Cancer 154:307-315, 2021

Yoshino K, Dokmak S, Yoh T, Samir Ftériche F, Belghiti J, Soubrane O
Liver resection for octogenarians in a French center: prolonged hepatic pedicle occlusion and male sex increase major complications
Langenbecks Arch Surg 406(5):1543-1552, 2021 Aug

Kawase T, Imamura H, Gotoh M, Kimura Y, Ueda S, Matsuyama J, Nishikawa K, Sugimoto N, Fujita J, Tamura T, Fukushima N, Kawakami H, Sakai D, Kurokawa Y, Shimokawa T, Satoh T
Randomized phase II study of CPT-11 versus PTX versus each combination chemotherapy with S-1 for advanced gastric cancer that is refractory to S-1 or S-1 plus CDDP: OGSG0701
Int J Clin Oncol, 26(10):1871-1880, 2021
Epub Aug 28, 2021.

Yoshino K, Yoh T, Taura K, Seo S, MD, Ciria R, Briceño-Delgado J
A systematic review of prediction models for post-hepatectomy liver failure in patients undergoing liver surgery
HPB (Oxford) 23(9):1311-1320, 2021 Sep

Yoshino K, Taura K, Iwaisako K, Masano Y, Uemoto Y, Kimura Y, Hai Nam N, Nishino H, Ikeno Y, Okuda Y, Nishio T, Yamamoto G, Seo S, and Uemoto S
Novel mouse model for cholestasis-induced liver fibrosis resolution by

cholecystojejunostomy
J Gastroenterol Hepatol
36(9):2493-2500, 2021 Sep

Sang-Woong L, Kaji M, Uenosono Y, Kano M, Shimizu H, Noguchi T, Ueda S, Nobuoka T, Oshio A, Nakada K
Evaluation of postoperative quality of life in patients undergoing radical gastrectomy for esophagogastric junction cancer using the PGSAS-45 scale: a nationwide multi-institutional study
Surg Today, in press Epub Nov 3, 2021.

吉野健史、髙折恭一、笠井洋祐、川島和彦、西川忠男、東出俊一、神田雄史、野田秀樹
悪性予測 (切除適応) 国際診療ガイドラインと他のガイドラインとの切除適応の比較
胆と膵
41 巻臨増特大 Page1303-1306 (2020.11)

笠井洋祐、髙折恭一、吉野健史、川島和彦、東出俊一、神田雄史、野田秀樹
IAP-APA-JPS-EPC による慢性膵炎リスクファクターに関するコンセンサス
胆と膵 42(2): 151-155. 2021

髙折恭一
膵疾患研究における国際交流の意義と課題
膵臓 (0913-0071)36 巻 4 号 Page207-211 (2021.08)

髙折恭一
本邦における低侵襲膵切除術の現状と今後の課題
膵臓 (0913-0071)36 巻 5 号 Page287-292 (2021.10)

Masui T, Nagai K, Anazawa T, Sato A, Uchida Y, Nakano K, Yogo A, Kaneda A, Nakamura N, Yoshimura M, Mizowaki T, Uza N, Fukuda A, Matsumoto S, Kanai M, Isoda H, Mizumoto M, Seo S, Hata K, Taura K, Kawaguchi Y, Takaori K, Uemoto S, Hatano E.
Impact of neoadjuvant intensity-modulated radiation therapy on borderline resectable pancreatic cancer with arterial abutment; a prospective, open-label, phase II study in a single institution.
BMC Cancer. 29;22(1):119. 2022 Jan

Nagakawa Y, Nakata K, Nishino H, Ohtsuka T, Ban D, Asbun HJ, Boggi U, He J, Kendrick ML, Palanivelu C, Liu R, Wang SE, Tang CN, Takaori K, Abu Hilal M, Goh BKP, Honda G, Jang JY, Kang CM, Kooby DA, Nakamura Y, Shrikhande SV, Wolfgang CL, Yiengpruksawan A, Yoon YS, Watanabe Y, Kozono S, Ciria R, Berardi G, Garbarino GM, Higuchi R, Ikenaga N, Ishikawa Y, Maekawa A, Murase Y,

Zimmitti G, Kunzler F, Wang ZZ, Sakuma L, Takishita C, Osakabe H, Endo I, Tanaka M, Yamaue H, Tanabe M, Wakabayashi G, Tsuchida A, Nakamura M.
International expert consensus on precision anatomy for minimally invasive pancreatoduodenectomy: PAM-HBP surgery project.
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 29(1):124-135. 2022 Jan

Kasai Y, Masui T, K. Nakakura E, Nakano K, Sato A, Uchida Y, Yogo A, Nagai K, Anazawa T, A. Hope T, E. Kim G, Whitman J, K. Le B, Takaori K, K. Bergsland E, Hatano E, Uemoto S
Preoperative risk stratification of lymph node metastasis for nonfunctional pancreatic neuroendocrine neoplasm: An international
dual-institutional study
Pancreatology. 22(1):123-129. 2022 Jan

Ban D, Nishino H, Ohtsuka T, Nagakawa Y, Abu Hilal M, Asbun HJ, Boggi U, Goh BKP, He J, Honda G, Jang JY, Kang CM, Kendrick ML, Kooby DA, Liu R, Nakamura Y, Nakata K, Palanivelu C, Shrikhande SV, Takaori K, Tang CN, Wang SE, Wolfgang CL, Yiengpruksawan A, Yoon YS, Ciria R, Berardi G, Garbarino GM, Higuchi R, Ikenaga N, Ishikawa Y, Kozono S, Maekawa A, Murase Y, Watanabe Y, Zimmitti G, Kunzler F, Wang ZZ, Sakuma L, Osakabe H, Takishita C, Endo I, Tanaka M, Yamaue H, Tanabe M, Wakabayashi G, Tsuchida A, Nakamura M.
International Expert Consensus on Precision Anatomy for minimally invasive distal pancreatectomy: PAM-HBP Surgery Project.
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 29(1):161-173. 2022 Jan

川瀬和美 , 長谷川潔 , 江口晋 , 北川雄光 , 島田光生 , 高折恭一 , 吉田和彦 , 矢永勝彦 , 國土典宏
リーダーを担う女性外科医の育成　わが国の女性外科医がリーダーシップを発揮するためのヒント　アメリカ外科学会での女性外科医のリーダーシップ教育の例
日本外科学会雑誌 (0301-4894)123 巻 1 号 Page133-135(2022.01)

高折恭一 , 上田修吾 , Ljungqvist Olle
ERAS(Enhanced Recovery After Surgery) の概念
胆と膵 (0388-9408)43 巻 3 号 Page189-194 (2022.03)

吉野健史 , 笠井洋祐 , 川島和彦 , 東出俊一 , 上田修吾 , 高折恭一
膵体尾部切除術における ERAS の実際
胆と膵 (0388-9408)43 巻 3 号 Page249-253 (2022.03)

脳神経外科

Maki Y, Komuro T, Satow T, Ishibashi R, Miyamoto S.
Mixed Pial-Dural Arteriovenous Malformation in the Anterior Cranial Fossa Mimicking Dural Arteriovenous Fistula.
Asian J Neurosurg. 16(2):418-422, 2021 May 28

Fujii M, Satow T, Kodama H, Horiguchi S.
Severe hemodynamic depression after carotid artery stenting: The problem overcome with a transvenous temporary cardiac pacemaker.
Surg Neurol Int. 12:255, 2021 Jun 7

Tonomura T, Satow T, Hyuga Y, Mima T.
Use of transcranial direct current stimulation in poststroke postural imbalance.
BMJ Case Rep. 14(6):e243212, 2021 Jun 22

田中武也、佐藤岳史、岩根隆宏、杉江加代子、谷杏平、川瀬智隆、江藤謹司、堀口聡士、小室太郎、美馬達哉
経頭蓋直流電気刺激が脳卒中後慢性疼痛に有効であった症例の集積
総合リハビリテーション 50(2)、185-188、2022 年 2 月

心臓血管外科

洞井和彦、高井文恵、吉良浩勝、植山浩二
静脈性皮膚潰瘍を合併した下肢静脈瘤に対する外科的治療成績
静脈学　32:373-6,2021

産婦人科

渡辺智之、賀勢諒、上村真央、脇ノ上史朗、林嘉彦
経腹的子宮頚管縫縮術後の前置胎盤で子宮を摘出した症例
産婦人科の進歩第 74 巻 1 号 :114-119:2022

耳鼻咽喉科

Shiori Hara, Ichiro Tojima, Shino Shimizu, Hideaki Kouzaki, Takeshi Shimizu
17,18-Epoxyeicosatetraenoic acid inhibits TNF- α -induced inflammation in cultured human airway epithelium and LPS-induced murine airway inflammatio
American Journal of Rhinology & Allergy 36(1):106–114,2022

ヘルスケア研究センター

石田　均
糖尿病内科と眼科の連携―予防医療の側面での内科と眼科領域との融合と近未来型「眼科健診」実施の重要性
糖尿病合併症 35(2): 221˜222, 2021

石田　均
新型コロナウイルスと健診・人間ドック
滋賀県医師会報 73(5): 40˜41,2021

リハビリテーション技術科

田中武也、佐藤岳史、岩根隆宏、杉江加代子、谷杏平、川瀬智隆、江藤謹司、堀口聡士、小室太郎、美馬達哉
経頭蓋直流電気刺激が脳卒中後慢性疼痛に有効であった症例の集積
総合リハビリテーション　50(2):185-188,2022（令和３年２月）

外村匡康、佐藤岳史、日向裕子、美馬達哉
Use of transcranail direct current stimulation in poststroke postural i n balance
British Medical Jounmal 2022（令和３年６月 23 日）

Ⅳ－５　学会・研究発表記録

腎臓代謝内科

藤野隆弘、中山秀樹、杉本陽、横江遼一、島本綾子、上田久巳、潮正輝、森田善方、石田均
心血管疾患　化膿性心膜炎と感染性心内膜炎を合併した 1 型糖尿病性ケトアシドーシスの 1 例
第 36 回　日本糖尿病合併症学会　令和 3 年 10 月 8 日（Web 開催）

杉本陽、中山秀樹、横江遼一、藤野隆弘、島本綾子、上田久巳、潮正輝、山科聡、佐藤岳史、森田善方
新規吸着型血液浄化器を使用したコレステロール塞栓症の一例
第 42 回　滋賀腎・透析研究会　令和 3 年 11 月 12 日（大津）

横江遼一、中山秀樹、杉本陽、藤野隆弘、島本綾子、上田久巳、潮正輝、森田善方
成人 Still 病に対して高容量プレドニゾロン（PSL）とトシリズマブで寛解導入した 1 例
第 234 回　日本内科学会　近畿地方会　令和 3 年 12 月 4 日（Web 開催）

藤野隆弘、中山秀樹、杉本陽、横江遼一、島本綾子、上田久巳、潮正輝、森田善方
播種性血管内凝固症候群と血栓性微小血管症の鑑別に苦慮した ANCA 関連血管炎の 1 例
第 234 回　日本内科学会　近畿地方会　令和 3 年 12 月 4 日（Web 開催）

消化器内科

髙橋憲一郎、馬場重樹、今井隆行、安藤朗
当院クローン病患者における初回手術後経過の検討
第 107 回日本消化器病学会総会　令和 3 年 4 月 16 日　（東京）

大脇悠司
当院におけるビスコクリアの使用経験
滋賀消化管治療研究会　令和 3 年 6 月 24 日（Web 開催）

酒井奎太郎、西野恭平、大脇悠司、野田恵加、今枝広丞、西田淳史
逸脱により十二指腸壁に migration した胆管プラスチックステントを腹腔鏡観察下に安全に内視鏡的摘出し得た一例
日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 106 回 令和 3 年7月 10 日　（大阪）

大脇悠司、西田淳史、酒井奎太郎、西野恭平、野田恵加、今枝広丞、笠井洋祐、吉野健史、川島和彦
FDG-PET/CT 検査を契機に診断に至った原発性小腸癌の 1 例
日本消化器病学会近畿支部例会 115 回 令和 3 年 9 月 18 日（Web 開催）

髙橋憲一郎、馬場重樹、今井隆行、安藤朗
クローン病患者の内視鏡的寛解と長期経過
日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 107 回 令和 3 年 12 月 11 日　（神戸）

酒井奎太郎、西野恭平、大脇悠司、野田恵加、今枝広丞、黒澤学、西田淳史
急激な経過を辿った肺小細胞癌のびまん性肝転移による肝不全症例
日本消化器病学会近畿支部例会 116 回　令和 4 年 2 月 5 日（大阪）

髙橋憲一郎、馬場重樹、今井隆行、安藤朗
当院における潰瘍性大腸炎関連大腸がんの 15 例
日本消化器病学会近畿支部例会 116 回　令和 4 年 2 月 5 日（大阪）

髙橋憲一郎
炎症性腸疾患診療の現状
日本消化器病学会近畿セミナー　令和 3 年 7 月 11 日

今枝広丞
慢性便秘症の機序と治療選択
湖北薬剤師会　研修会　令和 3 年 9 月 16 日

呼吸器内科

野口哲男
タグリッソを長く続けて頂くための工夫
Lung Cancer Symposium for Pharmacist in Shiga. 令和 3 年 1 月 28 日（Web 開催）

中川雅登、上林憲司、髙木順平、三由僚、奥野翔子、田久保康隆、小坂恭弘、伏木雅人、杉山順哉、入江桃好、野口哲男
当院におけるイミフィンジ治療～ NSCLC・SCLC ～
Lung Cancer online seminar in Ohmi.　令和 3 年 2 月 8 日（Web 開催）

野口哲男
COVID-19 時代の irAE マネジメント～チーム医療におけるメディカルスタッフの役割～
irAE への取り組み～チーム医療の重要性～　令和 3 年 2 月 24 日（Web 開催）

中川雅登　パネリスト
湖東・湖北喘息治療セミナー　令和 3 年 2 月 25 日（米原　Web 配信）

高木順平
当院における生物学的製剤使用経験
湖北アトピー性皮膚炎 / 喘息連携 WEB セミナー　令和 3 年 3 月 4 日（Web 開催）

野口哲男
ICS/LABA 中用量の次の一手をどの様に考えるか？
京滋喘息ミーティング　令和 3 年 3 月 10 日（Web 開催）

中川雅登
呼吸のメカニズムと人工呼吸器の必要性
重介護・医療ケア検討部会　令和３年３月21日（長浜　Web開催）

高木順平
免疫チェックポイント阻害薬投与中におけるマネージメント～医師･薬剤師･看護師の“ONE TEAM”～
Lung Cancer Online Symposium in 滋賀 肺癌薬物療法におけるチーム医療の実践　令和３年３月25日（Web開催）

野口哲男
irAE逆引きマニュアルによるICI有害事象の早期発見～COVID-19時代のマネジメント～
知っておきたいirAEマネジメント　令和３年３月26日（Web開催）

野口哲男
COVID-19時代のirAEマネジメント～チーム医療におけるメディカルスタッフの役割～
irAEチームマネジメントセミナー　令和３年４月16日（Web開催）

中川雅登、黒川昌悟、上林憲司、髙木順平、三由僚、奥野翔子、田久保康隆、小川雅文、黒澤学、野口哲男
脊髄鉛筆状軟化により上行する脊髄障害をきたした小細胞肺癌
第61回日本呼吸器学会学術講演会　令和３年４月23日（東京）（Web含む）

野口哲男
irAE逆引きマニュアルによるICI有害事象の早期発見～COVID-19時代のマネジメント～
湘南NSCLC WEB Seminar　令和３年４月28日（Web開催）

野口哲男
irAE逆引きマニュアルによるICI有害事象の早期発見～COVID-19時代のマネジメント～
irAE management forum　令和３年５月19日（Web開催）

高木順平
First selecting the best（better) biologic for the patients with severe asthma　パネリスト　湖東・湖北喘息治療セミナー　令和３年６月２日（Web開催）

中川雅登、伊藤高範、上林憲司、髙木順平、三由僚、奥野翔子、田久保康隆、潮正輝、赤尾真樹子、安田将樹、野口哲男
当院におけるがん悪液質治療の課題
令和３年６月15日（Web開催）

高木順平
『トリプル吸入剤が適している症例とは？』繰り返す増悪抑制への期待 COPD 治療に対しての ICS への期待 各デバイスへの評価等 パネリスト
Respiratory Seminar 京滋～ Triple Therapy from Now On ～　令和 3 年 6 月 16 日（Web 開催）

野口哲男
ウィズコロナ時代の重症喘息治療～ OCS ？バイオ？実臨床における治療選択の流れ～
GSK 重症喘息 WEB SEMINAR ～重症喘息の病態と臨床実態を探る～　令和 3 年 6 月 24 日（Web 開催）

野口哲男
ウィズコロナ時代の喘息治療
八幡蒲生薬剤師会研修会　令和 3 年 6 月 26 日（Web 開催）

中川雅登、伊藤高範、上林憲司、髙木順平、三由僚、奥野翔子、田久保康隆、小坂恭弘、伏木雅人、杉山順哉、入江桃好、野口哲男
デュルバルマブ承認前後のⅢ期小細胞肺癌の治療成績
第 2 回 Web で学ぶ放射線治療最新知見　令和 3 年 7 月 6 日（Web 開催）

野口哲男
irAE 逆引きマニュアルによる ICI 有害事象の早期発見～ COVID-19 時代のマネジメント～
ニボイピ併用療法セミナー in 堺　令和 3 年 7 月 15 日（Web 開催）

野口哲男
EGFR 遺伝子変異陽性肺がんの副作用対策～早期からのチーム医療で取り組むタグリッソのマネジメント～
高齢者 EGFR 遺伝子変異陽性肺がんの治療と副作用マネジメント　令和 3 年 8 月 31 日（Web 開催）

野口哲男
実臨床におけるエナジア／アテキュラの実際 - 症例検討 -
エナジア発売一周年記念講演会　令和 3 年 9 月 2 日（Web 開催）

中川雅登　パネリスト
Severe Eosinophilic Asthma Seminer in Shiga　令和 3 年 9 月 16 日（Web 開催）

高木順平　パネリスト
テセントリク適正使用セミナー in 長浜　令和 3 年 9 月 30 日（Web 開催）

野口哲男
CAPTAIN Study から見えてきたトリプル製剤の実臨床における位置づけ
京都滋賀喘息 WEB 講演会　令和 3 年 10 月 14 日（Web 開催）

野口哲男
高齢者Ⅲ期 NSCLC に対するケモラジ→イミフィンジの経験
高齢者の切除不能Ⅲ期 NSCLC 治療を考える会 in 三重　令和 3 年 10 月 28 日（Web 開催）

野口哲男
オプジーボ ヤーボイ併用療法～実臨床での使用経験より～
非小細胞肺がん Dual-IO seminar　令和 3 年 11 月 5 日（Web 開催）

野口哲男
免疫チェックポイント阻害薬の副作用 (irAE) 対策の 3 つの柱
東区肺がん WEB セミナー　令和 3 年 11 月 9 日（Web 開催）

高木順平
患者さんの気持ちを踏まえた肺がん治療の実践
Lung Cancer Online Meeting 患者さんの気持ちに寄り添う　令和 3 年 11 月 11 日（Web 開催）

野口哲男
免疫チェックポイント阻害薬の副作用対策の 3 つの柱
第 31 回日本ケア・リハビリテーション学会　教育講演 5　令和 3 年 11 月 12 日（高松市）

野口哲男
キイトルーダの irAE 対策の Key Point ～ irAE 逆引きマニュアルの解説を含めて～
Oncology インターネット講演会　令和 3 年 11 月 17 日（Web 開催）

高木順平
新しい吸入療法～喘息を中心に～
湖北医師会学術講演会　令和 3 年 11 月 25 日（長浜市）

中川雅登、伊藤高範、上林憲司、髙木順平、三由僚、奥野翔子、入江桃好、小坂恭弘、田久保康隆、野口哲男
デュルバルマブ承認後の当院における Ⅲ 期非小細胞肺癌の治療成績
第 62 回日本肺癌学会学術講演会　令和 3 年 11 月 26 日（横浜市）

野口哲男
免疫チェックポイント阻害薬の副作用（irAE）対策の 3 つの柱
第 31 回日本乳癌検診学会学術集会イブニングセミナー　令和 3 年 11 月 26 日（京都市）

野口哲男
患者自身が使用する irAE 逆引きマニュアル ver4 ～ YouTube を活用した患者参加型プロジェクト
第 62 回日本肺癌学会学術集会　令和 3 年 11 月 27 日（横浜市）

高木順平他
当院における再発小細胞癌に対する治療の検討
第 62 回日本肺癌学会学術集会　令和 3 年 11 月 28 日（横浜市）
中川雅登、伊藤高範、上林憲司、髙木順平、三由僚、奥野翔子、田久保康隆、野口哲男
PD-L1 阻害薬承認前後の進展型小細胞肺癌の治療成績
Lung Cancer online seminar in Ohmi　令和 3 年 12 月 2 日（Web 開催）

上林憲司
当院での COVID-19 対応について（中等症患者への対応を中心に）
第 2 回 COVID-19 医療体制強化に向けた意見交換会　令和 3 年 12 月 2 日（大津市）

高木順平他
喘鳴，呼吸困難感を伴うリンゴ誤嚥による両側気管支異物を気管支鏡下に摘出した 1 例
第 110 回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会　令和 3 年 12 月 4 日（Web 開催）

野口哲男
PF-ILD におけるオフェブのトリセツ
オフェブ ILD Web Academy(m3 講演会)　令和 3 年 12 月 6 日（Web 開催）

中川雅登、伊藤高範、上林憲司、髙木順平、三由僚、奥野翔子、田久保康隆、小坂恭弘、伏木雅人、杉山順哉、入江桃好、野口哲男
デュルバルマブ承認前後のⅢ期小細胞肺癌の治療成績
Lung Cancer online Symposium in 京滋　令和 3 年 12 月 7 日（Web 開催）

高木順平他
血痰および肺門部腫瘤影にて紹介受診した多発転移を伴う悪性褐色細胞腫の 1 例
第 98 回日本呼吸器学会近畿地方会　令和 3 年 12 月 11 日（Web 開催）

野口哲男
irAE 逆引きマニュアルによる ICI 有害事象の早期発見～ COVID-19 時代のマネジメント～
免疫チェックポイント阻害薬研究会 in 広島　令和 3 年 12 月 16 日（Web 開催）

野口哲男
IO-IO の最適な対象集団～当院治療経験をふまえて～
NSCLC IO-Combo Seminar in Shiga　令和 4 年 1 月 25 日（草津市）

野口哲男
高齢者Ⅲ期 NSCLC に対するケモラジ→イミフィンジの経験
肺癌免疫治療フォーラム　令和 4 年 2 月 9 日（Web 開催）

野口哲男
がん免疫療法有害事象の対処：私の考える 3 つの柱
公立陶生病院化学療法研修会　令和 4 年 2 月 10 日（Web 開催）

野口哲男
免疫関連有害事象 (irAE) は多職種連携がキーポイント
第 58 回中信がん薬薬連携 WEB 勉強会　令和 4 年 2 月 24 日（Web 開催）

野口哲男
irAE 対策の 3 つのポイント～ irAE 逆引きマニュアルの活用～
非小細胞肺癌オプジーボ･ヤーボイ併用療法 WEB ライブセミナー　令和 4 年 2 月 28 日 (Web 開催)

野口哲男
2022 年版重症喘息に対するバイオ製剤の使い分け
Severe Eosinophilic Asthma Seminar in Shiga　令和 4 年 3 月 3 日（草津市）

リウマチ膠原病内科

梅原久範
長浜リウマチ市民公開講座　Web 配信　「膠原病とステロイド」
https://youtube/30u7uffzUORE..2020 年 3 月 30 日～ 6 月 30 日

梅原久範
「膠原病の肺病変」M3.com..CTD-ILDWeb セミナー　2021 年 5 月 31 日

H, Umehara
Management of lgG4-related disease 1st International Symposium on Castleman Disease(ISCD2021),September

梅原久範
Web. 市民公開講座「lgG4 関連疾患」
https://yab.yomiuri.co.jp/adv/lgG4_2021/index.html.
日本 lgG4 関連疾患学会事務局、厚生労働省、読売新聞西部本社共済　2021 年 12 月 4 日

総合診療内科

小泉俊三
新型コロナ禍と Choosing Wisely キャンペーンー持続可能な医療と社会の視点からー
第 71 回いのちの科学例会 (公益財団法人 体質研究会) 講演　令和 3 年 4 月 11 日（京都）

小泉俊三
COVID-19 パンデミックは私たちの医療に何をもたらしたか？ ー社会の持続可能性と健康格差の観点から―
Choosing Wisely Japan 2021 年度 On-line 年次総会 令和 3 年 8 月 22 日（遠隔）

小泉俊三
過剰な医療行為・薬物療法を考える―Choosing Wisely の活動から―
第 54 回 日本薬剤師会 学術大会 特別講演 2　令和 3 年 9 月 19 日（福岡・遠隔）

小泉俊三
職場の医療安全文化とスタッフの心理的安全性　(講演)
第 29 回 医療事故防止セミナー　一般社団法人 全国公私病院連盟
令和 3 年 10 月 7 日（京都；遠隔配信併用）

Koizumi S
How COVID-19 Pandemic Impacted Our Health Care ? ---- From the Viewpoint of Global Sustainability and Health Disparity (Keynote Lecture)
韓国医学会 (National Academy of Medicine of Korea) シンポジウム
「Choosing Wisely の発展と実装」　令和 3 年 12 月 8 日（ソウル、韓国・遠隔）

小泉俊三
過剰な医療行為について考える―Choosing Wisely の活動から―
九州大学大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座 令和 4 年 1 月 6 日（福岡・遠隔）

外科

Takaori K
Controversies in upfront surgery for potentially resectable
and borderline resectable pancreatic cancer
IX. ONCO SURGERY DAYS "Advances in HPB and GI Cancer Surgery and Systemic Treatments"
2021 年 6 月 26-27 日 完全 Web（Istaubul, Turkey）

Takaori K
Neoadjuvant Therapy for Patients with Resectable
and Borderline Resectable Pancreatic Cancer
The 2021 IASGO GI Summit
2021 年 7 月 24 日 完全 Web（Taipei, Taiwan）

増井俊彦、髙折恭一
家族性膵癌のサーベイランス : 現状と課題　日本膵臓学会家族性膵癌レジストリの現状と課題
第 52 回日本膵臓学会大会　2021 年 9 月 22-23 日 Hybrid Web（東京）

Ueda S
A long-term survivor of recurrent esophageal cancer treated with immunotherapy and chemoradiotherapy
IASGO-CME Advanced Post-Graduate Course in Nagasaki 2021
2021 年 10 月 9 日 完全 Web

Kasai Y, Yoshino K, Kawashima K, Higashide S, Takaori K
Laparoscopic mesenteric lymph node dissection for ileal neuroendocrine tumor with a proximally involving mesenteric mass
IASGO-CME Advanced Post-Graduate Course in Nagasaki 2021
2021 年 10 月 9 日 完全 Web

Yoshino K, Takaori K, Kasai Y, Kawashima K, Higaside S
A case of successful surgical resection of expansive-growth acinar cell carcinoma
IASGO-CME Advanced Post-Graduate Course in Nagasaki 2021
2021 年 10 月 9 日 完全 Web

Ueda S, Nishikawa Y, Hisano K, Yamamoto T, Kawai T, Okuchi Y, Iguchi K, Okuda Y, Kamimura R, Tanaka E, Fukuda M, and Terajima H
Good performance status as a predictive marker of nivolumab for recurrent or metastatic gastric cancer
第 59 回日本癌治療学会　2021 年 10 月 21-23 日 Hybrid Web（横浜）

Takaori K
Harmony of humanity and technology in multidisciplinary treatyments of pancreatic cancer
The 5th Annual Meeting of IASGO Egyptian Chapter and 14th Meeting of EGHHPBS
2021 年 11 月 4-5 日 Hybrid Web（Cairo, Egypt）

Takaori K
Pancreatic ductal adenocarcinoma: upfront surgery vs neoadjuvant chemotherapy.
HBPSurG Online Meeting 2021
2021 年 11 月 5-7 日 完全 Web（Lyon, France）

李相雄、加治正英、上之園芳一、加納幹浩、清水 尚、野口琢矢、上田修吾、信岡隆幸、小塩真司、中田浩二
食道胃接合部癌に対する胃全摘術と噴門側胃切除術の術後 QOL に関する比較検討
第 51 回胃外科・術後障害研究会　2021 年 11 月 11-12 日 完全 Web

Takaori K
A Newcomer's Perspective of ERAS
The 32nd Annual World Congress of International Association of Surgeons

Gastroenterologists and Oncologists
2021 年 11 月 20-22 日 Hybrid Web（Taipei, Taiwan）

Takaori K
Multi-Disciplinary Approaches to Pancreatic Cancer
The 32nd Annual World Congress of International Association of Surgeons Gastroenterologists and Oncologists
2021 年 11 月 20-22 日 Hybrid Web（Taipei, Taiwan）

Takaori K
Multidisciplinary approaches towards breakthrough treatment of pancreatic cancer
The 14 th International Congress of the Romanian Association of Hepato-Bilio-Pancreatic Surgery and Liver Transplantation
2021 年 11 月 25-28 日 Hybrid Web（Poiana Brasov, Romania）

笠井洋祐、吉野健史、川島和彦、東出俊一、髙折恭一
中枢進展を呈する腸間膜腫瘤を伴った回腸神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下腸間膜郭清
第 34 回日本内視鏡外科学会総会　2021 年 12 月 2-4 日（神戸）

Sunakawa Y, Matoba R, Takayama T, Okumura N, Sugimoto N, Miura K, Yuki S, Shindo Y, Kuramochi H, Sato S, Ogura T, Kinami S, Nagao N, Ueda S, Inoue E, Kawakami H, Muro K, Nakajima TE, Ichikawa W, Fujii M
Host-related biomarkers including gut microbiome to predict toxicities of nivolumab in advanced gastric cancer: DELIVER trial (JACCRO GC-08).
American Society of Clinical Oncology (ASCO) 2022 Gastrointestinal Cancers Symposium
2022 年 1 月 20-22 日 Hybrid Web（San Francisco, USA）

Ohta T, Yamamoto S, Kii T, Hara H, Kawabata R, Kawada J, Matsuyama J, Ueda S, Kawakami H, Okita Y, Endo S, Kimura Y, Yanagihara K, Okuno T, Kurokawa Y, Shimokawa T, Satoh T
Osaka Gastrointestinal Cancer Chemotherapy Study Group (OGSG)
Randomized phase II study of DTX vs PTX in patients with ESCC refractory to 5-FU- and platinum-based chemotherapy OGSG1201
第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会　2022 年 2 月 17-19 日 Hybrid Web（京都）

Ueda S, Nishikawa Y, Hisano K, Yamamoto T, Kawai T, Okuchi Y, Iguchi K, Okuda Y, Kamimura R, Tanaka E, Fukuda M, Terajima H
Impact of number of lymph node metastasis on survival of CY1 gastric cancer patients
第 94 回日本胃癌学会　2022 年 3 月 2-4 日 Hybrid Web（横浜）

脳神経外科

堀口聡士、佐藤岳史、山本優
滋賀県 AIS カンファレンス：市立長浜病院
滋賀県 AIS カンファレンス　令和 3 年 7 月 27 日（Web 開催）

佐藤岳史
高齢者てんかんの特徴と治療について
てんかん Web セミナー　令和 3 年 9 月 9 日（Web 開催）

小室太郎
脳卒中 明日の診療で使える話
地域で考える生活習慣病治療～健康長寿を達成するために～（湖北医師会）　令和 3 年 12 月 9 日（web 開催）

佐藤岳史、堀口聡士、木下真幸子
自己免疫機序の関与が考えられた開頭血腫除去術後てんかん重積状態の一例
第 17 回日本てんかん学会近畿地方会　令和 3 年 7 月 18 日（Web 開催）

佐藤岳史、山本優、堀口聡士、小室太郎、小林映、木下真幸子
非けいれん性てんかん重積状態に対して焦点切除を施行した 1 例
第 80 回日本脳神経外科学会総会　令和 3 年 10 月 27 日（Web 開催）

堀口聡士、山本優、佐藤岳史
機械的血栓回収療法による無効例に対しバルーンによる血管形成が奏功した 2 例
第 37 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会　令和 3 年 11 月 25 日（福岡）

堀口聡士、川内豪、佐藤岳史、小室太郎
脳血管攣縮に対する血管形成術と破裂動脈瘤塞栓術を一期的に施行した 1 例
第 37 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会　令和 3 年 11 月 25 日（福岡）

堀口聡士、佐藤岳史
経時的に拡大した内頚動脈紡錘状動脈瘤の 1 例
第 79 回滋賀脳神経外科症例検討会　令和 3 年 12 月 11 日（Web 開催）

佐藤岳史、堀口聡士、木下真幸子
ラコサミド投与下に心停止をきたした脳梗塞後急性症候性発作の一例
第 9 回全国てんかんセンター協議会総会鹿児島大会　令和 4 年 3 月 5 日（鹿児島）

田中武也、佐藤岳史
経頭蓋直流刺激を併用し脳卒中後の疼痛改善に効果があった一例
第 5 回リハビリテーション医学会秋季学術集会　令和 3 年 11 月 12 日（名古屋）

外村匡康、日向裕子、佐藤岳史
動的座位訓練経頭蓋直流電気刺激を併用し立位時間と歩行に変化を得た 1 症例
第 5 回リハビリテーション医学会秋季学術集会　令和 3 年 11 月 12 日（名古屋）

高田こずえ、佐藤岳史、木下真幸子
病因特定に約 10 年を要した、内側側頭葉脳動静脈奇形による焦点てんかん 1 症例の画像所見の検討
第 54 回日本てんかん学会学術集会　令和 3 年 9 月 23 日（名古屋）

Takada K, Satow T, Kinoshita M
Imaging features of focal epilepsy due to arteriovenous malformation in mesial temporal lobe: an etiology revealed after a decade.
13th AOEC (Asia & Oceanian Epilepsy Congress)　令和 3 年 6 月 10 日（Web 開催）

Takada K, Kinoshita M, Sato K, Satow T
Impairment of bimanual movement on the way to recovery from frontal tumor surgery.
XXV World Congress of Neurology (WCN2021)　令和 3 年 10 月 3 日(Rome、Web 開催)

Sato K, Ohara H, Satow T, Kinoshita M
Utility of scalp-recorded direct current shifts in frontal lobe seizures
American Clinical Neurophysiology Society Annual Meeting　令和 4 年 1 月 26 日 (Orland, USA)

心臓血管外科

洞井和彦、吉良浩勝、高井文恵、植山浩二
大腿深動脈瘤に対して外科的加療を行った 4 手術症例の検討
第 49 回日本血管外科学会学術総会　令和 3 年 5 月 19-21 日（Web 開催）

洞井和彦、吉良浩勝、高井文恵、植山浩二
僧帽弁逸脱に対して人工腱策を用いた僧帽弁形成術の治療成績
第 64 回関西胸部外科学会学術集会　令和 3 年 6 月 17-19 日（Web 開催）

高井文恵、植山浩二、洞井和彦、吉良浩勝、湊谷謙二
左側大動脈弓の Kommerell 憩室に生じた大動脈解離に対して、胸骨正中切開アプローチで大動脈全弓部置換術を施行した 1 例
第 64 回関西胸部外科学会学術集会　令和 3 年 6 月 17-19 日（Web 開催）

植山浩二、吉良浩勝、高井文恵、洞井和彦
発症 7 日目の A 型大動脈解離に対する手術の麻酔導入時、突然心停止を来した一例
第 64 回関西胸部外科学会学術集会　令和 3 年 6 月 17-19 日（Web 開催）

洞井和彦、高井文恵、吉良浩勝、植山浩二
下肢静脈瘤術後の残存病変に対する硬化療法
第 41 回日本静脈学会総会　令和 3 年 9 月 6 日（Web 開催）

吉良浩勝、高井文恵、洞井和彦、長門久雄、植山浩二
AVR 術後 5 日目に大動脈解離を発症した上行大動脈 40mm の症例
第 59 回京滋心臓血管外科研究会　令和 3 年 9 月 11 日（京都）

洞井和彦、長門久雄、高井文恵、吉良浩勝、植山浩二
下肢静脈瘤に対する低侵襲治療
第 52 回日本心臓血管外科学会学術総会　令和 4 年 3 月 5 日（Web 開催）

高井文恵、吉良浩勝、洞井和彦、長門久雄、植山浩二、若宮誠、石本聡史、前田清澄
孤立生腎静脈瘤に対し、経カテーテル的塞栓術を行った一治験例
第 35 回日本血管外科学会近畿地方会　令和 4 年 3 月 21 日（Web 開催）

皮膚科

井階幸一、梅原久範；Wong-type dermatomyositis の一例
日本皮膚科学会第 94 回沖縄地方会（那覇、2021 年 12 月 11 日）

泌尿器科

村井亮介、小坂恭弘、安永敏美
前立腺癌 N1 症例に対する外部放射線療法の検討
第 71 回日本泌尿器科学会中部総会　令和 3 年 10 月（名古屋）

耳鼻咽喉科

原思織、戸嶋一郎、神前英明、清水志乃、清水猛史
上気道炎症に対するω 3 脂肪酸代謝物 17,18-EpETE の抑制作用
第 122 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会　2021 年 5 月 15 日（京都）

麻酔科

佐々木一真、湯浅真由美、佐田容子、赤澤舞衣、北川裕利
巨大奇静脈瘤に対する瘤切除術の麻酔経験
日本心臓血管麻酔学会第 26 回学術集会　2021 年 9 月 17 日～ 11 月 22 日（Web 開催）

放射線科（治療部門）

小坂恭弘
原発性肺癌に対する定位放射線治療の線量分割比較
第 34 回日本放射線腫瘍学会　令和 3 年 11 月 12 日（Web 開催）

川上正邦、伊良皆拓、安永敏美、小坂恭弘
Electron Monte Carlo(eMC) アルゴリズムにおける Smoothing 処理が線量分布に及ぼす影響
第 34 回日本放射線腫瘍学会　令和 3 年 11 月 12 日（Web 開催）

中川雅登、伊藤高範、上林憲司、高木順平、三由僚、奥野翔子、入江桃好、小坂恭弘、田久保康隆、野口哲男
デュルバルマブ承認前後の当院における III 期非小細胞肺癌の治療成績
第 62 回日本肺癌学会学術集会　令和 3 年 11 月 26 日（横浜）

小坂恭弘、田久保康隆、松尾幸憲
右上葉肺腺癌術後照射後の局所再発に対して IMRT を使用した根治的化学放射線治療を施行した 1 例
第 62 回日本肺癌学会学術集会　令和 3 年 11 月 27 日（横浜）

ヘルスケア研究センター

石田均
食事のなかの炭水化物の科学的意義―健康寿命を延長するための秘訣とは？―
糖尿病ステップアップセミナー 2021　2021 年 7 月 4 日（Web 開催）

石田均
(功労賞受賞講演)　骨・ミネラル代謝異常の病態栄養学的背景に関する研究
第 75 回日本栄養・食糧学会大会　2021 年 7 月 3 日～ 4 日（Web 開催）

石田均
健康寿命を保つための食事の秘訣―がんを含めた生活習慣病の予防のために―
湖北がんフォーラム 2021「がんに負けない生活習慣」 2021 年 8 月 10 日～ 9 月 10 日（Web 開催）

石田均
生活習慣病予防が認知症予防につながること、検診受診の大切さ
健康出前講座　長浜　2021 年 11 月 9 日

石田均
市立長浜病院ヘルスケア研究センター―その社会的役割について―
長浜東ロータリークラブ例会　長浜　2021 年 11 月 26 日

石田均
炭水化物の摂取基準
第 40 回京都糖尿病医会学術講演会　2021 年 12 月 18 日（Web 開催）

薬剤科

古山英孝、野洌孝二、中村俊之、小室太郎
当院における整形外科領域の術後疼痛に対するオキシコドンの使用実態調査
第 41 回滋賀県病院薬剤師会学術大会　令和 3 年 8 月 21 日（Web 開催）

河北和馬、本郷修也、中村俊之、野洌孝二、小室太郎
当院の整形外科における腎機能低下患者への NSAIDs の適正使用調査
第 43 回日本病院薬剤師会近畿学術大会　令和 4 年 1 月 29 ～ 30 日（Web 開催）

山下大輔、本郷修也、中村俊之、野洌孝二、小室太郎
当院のがん化学療法における ペグフィルグラスチムの適正使用調査
第 43 回日本病院薬剤師会近畿学術大会　令和 4 年 1 月 29 ～ 30 日（Web 開催）

栄養科

古株陽子
個々に合わせた食事指導　～患者さんに聴いてもらえる指導を目指して～
CDE 滋賀セミナー　令和 3 年 10 月 16 日（Web 開催）

長谷川弘樹、今枝広丞、大塚邦生、新田朋美、次郎内圭子、北村文代、鳥脇富子、藤本とき江、近藤昭仁、田久保康隆
チームステップス推進活動におけるオリジナル動画を用いた視聴型研修の試み
第 16 回医療の質・安全学会学術集会　令和 3 年 11 月 27 日～ 28 日（Web 開催）

放射線技術科

清水香澄、田邉啓太、西村正明、辻雅之、川上正邦、古山忠宏
骨盤用固定具の作成方法の違いによる患者回転成分の固定精度の検討
第 35 回滋賀県診療放射線技師会学術大会　令和 3 年 5 月 30 日（守山市）

北川徹
CT 検査における AI 技術の実用の現状・将来
第 65 回近畿支部学術大会　令和 3 年 10 月 3 日（草津市）

川上正邦、伊良皆拓、安永敏美、小坂恭弘
Electron Monte Carlo(eMC) アルゴリズムにおける Smoothing 処理が線量分布に及ぼす影響
日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会　令和 3 年 11 月 12 日（Web 開催）

嶋津美和子
XLIF 術前における腰動脈の描出経験
第 37 回滋賀県 MR 研究会　令和 4 年 1 月 28 日（Web 開催）

Tsuji M, Tanabe K, Nishimura M, Maegawa R, Shimizu K, Kawakami M,
Furuyama T
To compare the patient fixation accuracy of the rotational axes between two types of Vac-Lok in pelvic radiotherapy.
56th SRTA International Conference 令和 4 年 3 月 12 日（ソウル Web 開催）

リハビリテーション技術科

西村圭二
ゴルフスイング動作時の腰背部痛に対するエクササイズ即時効果について
第 6 回 GPT 学会学術集会　令和 3 年 12 月 5 日（東近江市）

外村匡康、日向裕子、佐藤岳史
動的座位訓練と経頭蓋直流電気刺激を併用し、立位時間と歩行に変化を得た 1 症例
第 5 回リハビリテーション医学会秋季学術集会　令和 3 年 11 月 13 日（名古屋）(Web 開催)

田中武也
経頭蓋直流電気刺激を併用し脳卒中後の疼痛改善に効果があった一例
第 5 回リハビリテーション医学会秋季学術集会　令和 3 年 11 月 13 日（名古屋）(Web 開催)

歯科眼科技術室

長谷川博美
周術期口腔管理の必要性と歯科衛生士の役割
滋賀県歯科衛生士会　在宅療養支援のための歯科衛生士養成講座
令和 3 年 9 月 5 日（Web 開催）

医療安全管理室

伊藤雅子、潮正輝、守矢千春、西野克弥、中川彩子、近藤昭仁
藤本とき江、烏脇富子、田久保康隆
部署間の差をなくした安全な離床センサー活用推進を目指して
日本医療マネジメント学会第 18 回京滋支部学術集会　令和 3 年 8 月 21 日 (Web 開催)

浅見秀治、植山浩二、服部隆義、田中祐輔、池田遼太、近藤昭仁
藤本とき江、烏脇富子、田久保康隆
患者様のアレルギー情報を見落とすな！
－積極的な情報収集と効果的な登録・確認方法への取り組み－
日本医療マネジメント学会第 18 回京滋支部学術集会　令和 3 年 8 月 21 日 (Web 開催)

長谷川弘樹、今枝広丞、大塚邦生、新田朋美、次郎内圭子、近藤昭仁
藤本とき江、烏脇富子、田久保康隆
オリジナル動画による視聴型研修での TS 推進活動
日本医療マネジメント学会第 18 回京滋支部学術集会　令和 3 年 8 月 21 日 (Web 開催)

長谷川弘樹、今枝広丞、大塚邦生、新田朋美、次郎内圭子、北村文代、 烏脇富子、藤本とき江、近藤昭仁、田久保康隆
チームステップス推進活動におけるオリジナル動画を用いた視聴型研修の試み
第 16 回医療の質・安全学会学術集会　令和 3 年 11 月 27 ～ 28 日 (Web 開催)

看護局

高木陽平
当院における、薬物療法継続向上の取り組み
（株）旭化成ファーマ開催　メディカルスタッフと骨粗鬆症を考える会滋賀
2021 年 6 月 5 日　北ビワコホテルグラツエ（Web 開催）

秋吉実典
心不全リスク疾患を有する前期高齢者の進行予防に対するセルフマネジメント
第 15 回日本慢性看護学会学術集会　令和 3 年 8 月 28 日（Web 開催）

入江桃好
高齢者の切除不能Ⅲ期 NSCLC 治療を考える　”イミフェジン導入前後にできる事”
（株）アストラゼネカ主催　2021 年 10 月 28 日（長浜）

一色京子、河野智一、湧口朋子
がん性疼痛認定看護師の同行訪問から得られた効果
　～苦痛症状の緩和が図れ、在宅看取りとなった 2 事例から～
令和 3 年度訪問看護研究発表会　令和 3 年 11 月 13 日（Web 開催）

河野智一
在宅療養中の間質性肺炎患者への訪問看護師によるｴﾝﾄﾞ・ｵﾌﾞ・ﾗｲﾌからみえてきたこと
　～在宅・病院看取り事例～
令和 3 年度訪問看護研究発表会　令和 3 年 11 月 13 日（Web 開催）

津田拓郎、中川由紀、松井亜希子、高木なつみ、服部穂乃香
経管栄養投与時のポジショニングによる仙骨部の体圧の変化について
　～褥瘡を予防するために～
令和 3 年度滋賀県看護研究発表会　令和 3 年 12 月 9 日（大津）

入江桃好、杉山順哉
A 病院の乳房寡分割照射における放射線皮膚炎について
第 36 回日本がん看護学会学術集会　2022 年 2 月 19 日（神奈川）

赤星圭一、山口正博、山科雄一、藤澤くるみ、野村耕一郎
ICU 入室前訪問における患者のニーズ　～せん妄抑制につなげる術前訪問～
第 49 回日本集中治療医学会学術総会　2022 年 3 月 19 日（Web 開催）

八田頼卓、山本理恵、藤木智美、田邊和也
COVID － 19 病棟での人工呼吸器管理患者へ対する腹臥位療法の取り組み
第 123 回近畿救急医学会研究会　2022 年 3 月 26 日（京都）

Ⅳ－６　講習会／研修会への取り組み

１．患者さんや市民を対象にしたもの

広報ながはま「お元気ですか」

掲載年月	題　　名	診療科　他	医師名　他
令和3年4月	新型コロナウイルス検査について	医療技術局	新川 由基
令和3年5月	長浜から胃がん・大腸がんの撲滅をめざして	内視鏡センター	今枝 広丞
令和3年6月	泌尿器科で治療する病気について	泌尿器科	村井 亮介
令和3年7月	アピアランスケア (外見ケア) をご存じですか	がん相談支援センター	片桐 麻理子
令和3年8月	貧血について	湖北病院　内科	村頭 智
令和3年9月	骨・ミネラル代謝異常の病態栄養学的背景に関する研究（学会功労賞受賞 特別寄稿）	ヘルスケア研究センター	石田 均
令和3年10月	外来での待ち時間を安心して過ごせるように	市立長浜病院	－－
令和3年11月	過活動膀胱について	湖北病院　泌尿器科	太田 雄基
令和3年12月	飛蚊症について	眼科	額田 正之
令和4年1月	市立長浜病院の取組み～令和４年度に向けて～	院長	髙折 恭一
令和4年2月	脳卒中について	湖北病院　内科	青山 智俊
令和4年3月	最後の砦 ECMO について	臨床工学技術科	草野 信悟

がん対策推進室

＊湖北がんフォーラム２０２１（YouTube 配信）

配信期間：令和３年８月10日（火）～９月10日（金）　　視聴者：617名

テーマ：「がんに負けない生活習慣～生活習慣からがんのリスクを考える～」

内容：①開会あいさつ（市立長浜病院院長　髙折　恭一）

②講演「健康寿命を保つための食事の秘訣～がんを含めた生活習慣病の予防のために～」

講師：市立長浜病院ヘルスケア研究センター長　　石田　均

③講演「湖北地域で多いがんのお話」

講師：長浜赤十字病院　副院長（兼）第一外科部長　　塩見　尚礼先生

④講演「がんと食事にまつわるお話」

講師：長浜赤十字病院　がん病態栄養専門管理栄養士　　鈴木　真理先生

⑤閉会あいさつ（長浜赤十字病院病院長　楠井　隆先生）

主催：市立長浜病院　共催：長浜赤十字病院

＊がん教育

令和３年　７月９日（金）　長浜市立浅井中学校２年生　　150名

講師：ヘルスケア研究センター特任部長・がん対策担当監　伏木　雅人

令和３年　10月19日（火）　長浜市立南中学校２年生　　120名

講師：ヘルスケア研究センター特任部長・がん対策担当監　伏木　雅人

令和３年　10月28日（木）　長浜市立湖北中学校２年生　80名

講師：ヘルスケア研究センター特任部長・がん対策担当監　伏木　雅人

令和３年　10月29日（金）　長浜市立虎姫学園８・９年生　88名

講師：ヘルスケア研究センター特任部長・がん対策担当監　伏木　雅人

令和３年　11月４日（木）　長浜市立余呉小中学校９年生　22名

講師：ヘルスケア研究センター特任部長・がん対策担当監　伏木　雅人

令和４年　２月３日（木）　長浜市立高月中学校２年生　71名

講師：がん対策推進室管理監　田久保　康隆

＊公開教室・個別相談会

テーマ	開催回数	参加者
社会保険労務士個別相談会	年１回開催	３名
治療と仕事との両立に関する個別相談会 （主催：滋賀産業保健総合支援センター）	月１回開催	４名
就職に関する個別相談会 （主催：ハローワーク長浜）	月１～２回開催	12名

＊滋賀県がんと向き合う週間・展示イベント［滋賀県がんと向き合う週間：2/4 ～ 2/10］

令和４年　２月４日（金）～２月10日（木）（当院　ホスピタルストリート）

＊がんを知ろう展示会（主催：長浜市健康推進課）

令和４年　２月５日（土）～２月27日（日）（長浜市立長浜図書館）

＊５大がんに関する研修会（開放型病床生涯教育研修会）　Zoom 開催

令和４年１月６日（木）　参加者：56名

「胃癌・大腸癌の内視鏡的治療」

講師：消化器内科部長・内視鏡センター責任部長　今枝　広丞

＊第６回　滋賀県緩和ケア研修会　（集合研修 / 市立長浜病院会場）

令和３年11月７日（日）　企画責任者：田久保　康隆　修了者：９名

＊化学療法研修会（開放型病床生涯教育研修会）　Zoom 開催

令和３年11月11日（木）　参加者：44名

「個別化医療が進む肺がんの薬物治療」

講師：静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科医長　釼持 広知 先生

＊がん領域における症例検討会（院内看護師対象）

令和３年９月７日（火）、10月25日（月）　参加者：23名

「トータルペイン」　講師：がん放射線療法看護認定看護師　杉山　順哉

令和３年10月７日（木）、11月18日（木）　参加者：９名

「がん放射線治療における看護」 講師：がん放射線療法看護認定看護師　入江　桃好
令和３年 11 月 8 日（月）、12 月 13 日（月）　参加者：14 名
「がん薬物療法における看護」 講師：がん化学療法看護認定看護師　河野　真弓
令和３年 12 月 8 日（水）、令和４年 1 月 24 日（月）　参加者：10 名
「ACP・意思決定支援」 講師：緩和ケア認定看護師　宮﨑　恵子

＊滋賀県　ELNEC － J 研修会 市立長浜病院会場 （会場集合・オンライン中継）
令和３年　11 月 28 日（日）・12 月５日（日）　修了者：３名
「エンド・オブ・ライフ・ケア」
主催：滋賀県がん診療連携協議会　緩和ケア推進部会
講師：滋賀県内の ELNEC-J 指導者（がん分野の認定看護師・専門看護師）

＊滋賀県　がん看護研修〔基礎〕（YouTube 配信）
令和４年　２月４日（金）～３月 31 日（木）　視聴者：11 名
「がん患者の全人的理解とケア」他
主催：滋賀県がん診療連携協議会　研修推進部会　がん看護ワーキング
講師：滋賀県立総合病院　がん分野の認定看護師・専門看護師

２．医療従事者・地域開業医を対象にした研修

地域医療連携室

＊開放型病床生涯教育研修会・医療従事者研修会

催日	テーマ・講師	参加者数
令和３年 ８月５日	「当院の訪問看護の現状～コロナ禍における１年間～」 当院　訪問看護ステーション所長・がん性疼痛看護認定看護師・ 在宅慢性期領域特定看護師　河野　智一	38 名
令和３年 11 月 11 日	「個別化医療が進む肺がんの薬物治療」 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科医長兼ゲノム医療支援室部長　　釼持　広知　先生	44 名
令和４年 １月６日	「胃がん・大腸がんの内視鏡的治療」 当院　消化器内科部長・内視鏡責任部長	56 名
令和４年 ２月３日	「臨床研修医により症例報告会」 当院　研修医　北條　貴広 研修医　織田　裕敏 研修医　澤田　克也 研修医　北脇　大督	32 名
令和４年 ３月３日	「臨床研修医により症例報告会」 当院　研修医　井上　遙香 研修医　井原　俊之 研修医　桂　東吾 研修医　マクラケン　佳世	31 名

診療局　CPC

開催日時	演者	参加者数
令和４年 ３月２日	臨床研修医　伊原　俊之 「コントロール良好であった 42 歳のてんかん患者が突然死した一例」	16 名
令和４年 ３月 10 日	臨床研修医　北條　貴広 「治療抵抗性の心不全で死亡に至った皮膚筋炎と全身性強皮症のオーバーラップ症候群の一例」	14 名
令和４年 ３月 16 日	臨床研修医　桂　東吾 「胃癌に対する化学療法中、急速に進行した呼吸不全で死亡に至った症例」	15 名
令和４年 ３月 17 日	臨床研修医　マクラケン佳世 「肺小細胞癌と胃癌の重複癌により死亡に至った１症例」	14 名
令和４年 ３月 22 日	臨床研修医　井上　遥香 「血小板減少と機械的溶血をきたした、顕微鏡的多発血管炎の症例」	14 名

Ⅳ－７　委員会の状況

院内委員会組織図

令和３年度

病院事業管理部	病院事業運営調整会議	野 田 秀 樹
ヘルスケア研究センター	ヘルスケア研究センター運営委員会	石 田 均
薬剤科	薬事委員会	小 室 太 郎
	医薬品安全管理委員会	野 洌 孝 二
	レジメン登録審査委員会（がん対策：化学療法委員会）	東 出 俊 一
臨床工学技術科	医療機器安全管理委員会	辻 克 信
	呼吸ケアサポートチーム（RST 委員会）	中 川 雅 登
	透析機器安全管理委員会	森 田 善 方
栄養科	栄養委員会	森 田 善 方
	NST 委員会	潮 正 輝
放射線技術科	放射線安全委員会	小 坂 恭 弘
	放射線治療品質保証委員会	小 坂 恭 弘
	医療放射線安全管理委員会	若 宮 誠
中央検査技術科	臨床検査運営委員会	小 室 太 郎
	輸血療法委員会	吉 良 浩 勝
リハビリテーション技術科	嚥下委員会	近 藤 定 彦
歯科・歯科口腔外科	歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会	近 藤 定 彦
看護局	認知症対策委員会	小 川 雅 文
	ハートケアチーム委員会	児 玉 浩 志
	糖尿病療養指導委員会	森 田 善 方
中央手術室	手術室運営委員会	堀 口 聡 士
総務課	診療局運営会議	髙 折 恭 一
	研修医確保等推進会議	高 島 弘 行
	職員研修委員会	髙 折 恭 一
	人権対策推進委員会	髙 折 恭 一
	合同・臨床研修委員会	高 島 弘 行
	プログラム委員会	高 島 弘 行
	職員安全衛生委員会	小 室 太 郎
	集中治療室運営委員会	木 田 英 樹
	治験審査委員会	小 室 太 郎
経営企画課	病院運営会議	髙 折 恭 一
	企画運営会議	（ 休 止 中 ）
	コメディカル連絡会議	藤 居 敏
	改革プラン推進会議	髙 折 恭 一
	医療評価委員会	小 室 太 郎
	クリニカルパス・IC 専門部会	糟 谷 憲 邦
	倫理委員会	小 室 太 郎
	ＩＴ推進会議	東 出 俊 一
	情報セキュリティ専門委員会	東 出 俊 一
	長浜市病院事業改革プラン評価委員会	（外 部 委 員）
	医療機器等選定委員会	東 出 俊 一
	SPD 運営委員会	西 田 淳 史
	契約審査委員会	藤 居 敏
	放射線治療装置更新検討委員会	田 久 保 康 隆
	大規模災害等事業継続計画策定合同会議	東 出 俊 一
	医療ガス安全管理委員会	柳 田 豊 伸
	防火・防災管理委員会	廣 瀬 伸 次
	電波利用安全管理委員会	東 出 俊 一
医事課	長浜市病院事業未収金対策検討委員会	小 室 太 郎
	救急体制検討委員会	東 出 俊 一
	救急運営委員会	東 出 俊 一
	救急救命士・消防士等病院実習カリキュラム委員会	木 田 英 樹
	救急症例検討委員会	東 出 俊 一
	医師事務作業補助業務運用調整委員会	高 島 弘 行
	保険審査委員会	神 田 雄 史
	診療情報・図書室管理運営委員会	小 室 太 郎
	DPC 委員会	小 室 太 郎
医療安全管理室	医療安全管理委員会	田 久 保 康 隆
	医療安全対策委員会	田 久 保 康 隆
	感染管理委員会	大 野 暢 宏
	感染対策担当者会議	山 科 聡
	内部事故調査委員会	髙 折 恭 一
患者総合支援センター	骨粗鬆症リエゾンサービス委員会	田 中 淳
地域医療連携室	病床管理会議	-
	開放型病床運営委員会	髙 折 恭 一
	回復期リハビリテーション病棟運営委員会	江 藤 謹 司
	回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	江 藤 謹 司
	褥瘡対策委員会	藤 林 久 輝
	地域医療連携委員会	髙 折 恭 一
がん対策推進室	湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会	髙 折 恭 一
	がん対策推進委員会	田 久 保 康 隆
	緩和ケア推進委員会	田 久 保 康 隆
	化学療法委員会（小委員会は薬剤科）	東 出 俊 一
	院内がん登録委員会	西 田 淳 史

院内設置会議

会　議　名	設　置　目　的	事務局
病院事業運営調整会議	長浜市病院事業の適正かつ円滑な推進と運営を図るため	事業管理部
病院運営会議	病院運営の基本方針に係る病院事業管理者及び院長の意思決定に必要な事項の協議を行い、もって各部局間の総合的な調整と病院の円滑な運営を図るため	経企（企画）
診療局運営会議	病院の経営・運営に関する重要な事項について審議を行うとともに、診療局幹部の経営参画を促すため	総務
企画運営会議	病院の運営に関する重要な課題について審議を行うとともに、病院幹部の意思の疎通を図るため	経企（企画）
コメディカル連絡会議	院内のコメディカル間の連携を密にし、円滑な運用を図るため	経企（企画）
改革プラン推進会議	改革プランの着実な実行と進捗管理を行うため会議の開催に必要な事項を定める	経企（企画）
病床管理会議	市立長浜病院における一般病棟入院患者の療養病棟、地域包括ケア病棟又は回復期病棟への転棟、療養病棟等へのレスパイト等の入院に関して必要事項を定め、療養病棟等及び回復期病棟の活用による病床利用率の向上を図ること	地域医療
研修医確保等推進会議	研修医を確保するための取組を実施するにあたり、院内の連絡調整、並びに若手医師の指導及び教育体制の充実を図るため	総務

院内設置委員会

会　議　名	設　置　目　的	事務局
ヘルスケア研究センター運営委員会	地域住民の一人ひとりが予防医学に積極的に関わり、自身の健康状態の把握と病気の早期発見のための健康診断の受診および健診結果を踏まえた適切な保健指導、栄養指導等により、住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる社会の実現をめざし、健診事業等の適正な執行・管理を行うもの	ヘルスケア
化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法に用いる抗悪性腫瘍剤（化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療剤など）の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	がん対策
レジメン登録審査委員会	院内で実施される化学療法のレジメン（治療内容）の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	薬剤
薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため	薬剤
医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に係る安全管理体制の確保を図るため	薬剤
医療機器安全管理委員会	病院で使用される医療機器に係る安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
呼吸ケアサポートチーム(RST)委員会	市立長浜病院で使用される人工呼吸器などの呼吸療法に係る安全管理体制の確保を図るため、また、医療の質向上を図るため	臨床工学
透析機器安全管理委員会	病院で使用される透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
栄養委員会	病院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする	栄養
ＮＳＴ委員会	患者の栄養状態を管理するため、ＮＳＴ（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図るため	栄養
放射線安全委員会	職員の放射線被爆防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	放射線
放射線治療品質保証委員会	放射線治療における安全の向上、並びに品質管理及び保証また、職員の教育・研修に関する諸事情を検討し、必要な事項を企画審議するため	放射線
医療放射線安全管理委員会	診療用放射線の安全利用にかかる管理のため	放射線
臨床検査運営委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化、効率化を図る	中央検査

会　議　名	設　置　目　的	事務局
輸血療法委員会	輸血療法を安全かつ適正に遂行するため	中央検査
嚥下委員会	患者の摂食嚥下機能と栄養状態の改善を図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療の連携に貢献し、患者の QOL 向上を図ること。看護師による摂食機能療法の算定が適切に実施できるよう支援し、摂食機能療法の算定数増加を目指す	リハビリ
歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会	市立長浜病院歯科口腔外科における医療関連感染の防止等を図るため	歯科
認知症対策委員会	現状ｼｽﾃﾑを振り返り、課題や新たなニーズを整理し、今後を見据えた更なる医療・介護及び地域のネットワークの形成を図り、認知症疾患支援の充実を図る	看護局
ハートケアチーム委員会	病院から外来・在宅・地域も含めたチーム医療の推進と心疾患患者・家族への支援の充実を図るため	看護局
糖尿病療養指導委員会	糖尿病医療の進歩に伴い、継続治療への心理的支持、治療技術の指導が多様化し、指導の評価法についても各職種のもつ範囲が広がり、かつ専門性が深くなった。患者中心の医療のために、そして多様な指導内容と評価の活用に、各医療スタッフが密接な連携を保ち、専門性を生かしたチームアプローチが必要なため	看護局
手術室運営委員会	手術室の適性かつ効率的な運用を図るため	中央手術
職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、理念や基本方針に定める病院づくりを推進するため、職員に院内外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	総務
人権対策推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題を始めとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	総務
合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修を円滑かつ十分に行われること	総務
プログラム委員会	臨床研修に係る専門的事項を審議するため	総務
職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	総務
集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	総務
治験審査委員会	治験に関する厚生労働省令等に基づき、院内における治験（臨床研究･臨床試験）の実施の可否および倫理性や科学的妥当性を審査するため	総務
医療ガス安全・管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保するため	経企（施設）
防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火･防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止ををを目的とする	経企（施設）
大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて病院が採るべき災害対策に内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等事業継続計画を策定することを目的とする	経企（施設）
電波利用安全管理委員会	市立長浜病院において電波の利用に関する必要な事項を定め、医療の効率化や高度化に必要となる電波の利用を促進するとともに、院内で用いる医療機器や通信機器に対する電磁波による影響を抑制し、安全な医療の提供に資することを目的とする	経企（施設）
医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院を確保するため	経企（企画）
倫理委員会	市立長浜病院で行われる人間を対象とした医学研究、医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的、社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する	経企（企画）
ＩＴ推進会議	情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため	経企（企画）
情報セキュリティ専門委員会	情報セキュリティ対策に関する専門的事項を検討するため	経企（企画）
長浜市病院事業改革プラン評価委員会	改革プランの着実な実行と進捗管理について、評価と点検の客観性を確保するため	経企（企画）
医療機器等選定委員会	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする	経企（用度）

会　議　名	設　置　目　的	事務局
ＳＰＤ運営委員会	病院の経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、ＳＰＤシステム運用等に関し必要な事項を定める	経企（用度）
契約審査委員会	長浜市病院事業において発注する建築工事及びこれに関連する調査、測量、設計等の業務委託、物品調達（修繕）等及び委託業務の契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって長浜市病院事業の建築工事等、物品調達（修繕）等及び委託業務の適正な執行を図ることを目的とする	経企（用度）
放射線治療装置更新検討委員会	放射線治療装置の更新について総合的に推進するため	経企（用度）
長浜市病院事業未収金対策検討委員会	市立長浜病院及び市立湖北病院における未収金に関する事務の適正を図り、収入（診療費等）の不納欠損処分並びにこれらに関連する事務の適正な執行を図るため	医事
救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る	医事
医師事務作業補助業務運用調整委員会	医師事務作業補助者の配置に関する取扱規程第６条第１項の規定に基づき、医師および配置診療科のニーズを把握し、医師事務作業補助業務の円滑な運用を図るとともに、医師事務作業補助者ＤＡ（ドクターアシスタント）を適正かつ公正に配置することを目的として、医師事務作業補助業務運用調整委員会の組織、運営等に関し、必要な事項を定める	医事
保険審査委員会	市立長浜病院における保険診療の適正化と円滑な運営を図り、診療報酬を適正に確保することを目的に設置する。	医事
ＤＰＣ委員会	ＤＰＣ請求に関連する事務の適正な執行を図るため	医事（診情）
診療情報・図書室管理運営委員会	病院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	医事（診情）
医療安全管理委員会	病院における良質な医療を提供する体制の確立を図るため、医療安全、医療機器安全管理、医薬品安全管理の対策を総合的に企画、実施することを目的に設置する	医療安全
医療安全対策委員会	病院における安全管理のため、医療・医学の諸問題を検討し、基本的な基準について定める	医療安全
感染管理委員会	院内感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、院内感染が発生した場合の病院としての方針を決定するため	医療安全
感染対策担当者会議	院内における院内感染の防止対策や、啓蒙等を推進し、院内感染の防止等を図る	医療安全
内部事故調査委員会	院内で極めて重大な医療事故が発生した場合、医療事故内容を正確に把握し、原因の分析を行い、適切な対応を取るため	医療安全
骨粗鬆症リエゾンサービス委員会	骨折を機に骨粗鬆症に関する治療を開始及び継続し骨折の連鎖をくいとめ、治療・管理するだけでなく、他職種による支援を行う	患者総合
開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	地域医療
回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	地域医療
回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う	地域医療
地域医療連携委員会	地域の医師、歯科医師等からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため	地域医療
褥瘡対策委員会	院内の褥創対策を検討・立案し、その効率的な推進を図るため	地域医療
湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会	湖北保健医療圏域におけるがん予防、がん診療に携わる保健医療従事者に対する研修の実施、がん診療情報の収集および提供、関係機関への連携を進め、圏域のがん予防、がん診療の水準の向上に貢献するとともに、圏域住民へのがん予防の啓発事業等に関する協議を行うこと	がん対策
がん対策推進委員会	国の定めるがん対策推進基本計画に基づき、当院がん対策事業の推進を図ること	がん対策
緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること	がん対策
院内がん登録委員会	病院がん登録の実施に必要な事項を定め、がん登録業務の適正な企画、管理及び運用を図るため	がん対策

ヘルスケア研究センター運営委員会	地域住民の一人ひとりが予防医学に積極的に関わり、自身の健康状態の把握と病気の早期発見のための健康診断の受診および健診結果を踏まえた適切な保健指導、栄養指導等により、住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる社会の実現をめざして市立長浜病院ヘルスケア研究センター運営委員会（以下「委員会」という。）を設置し、健診事業等の適正な執行・管理を行うものとする。	
委員長 ヘルスケア研究センター センター長 石田均	**委員名** 野口哲男、林嘉彦、杉本正幸、小林映、伏木雅人、上津昌広、若宮誠、古山忠宏、山村有希、中村友佳里、吉川敬子、藤居敏、伊吹定浩、三原了導	**事務局** ヘルスケア研究センター

活動内容

【委員会の開催】

○第１回ヘルスケア研究センター運営委員会

日　　時：令和３年７月12日（月）　午後４時00分より

議事内容：1、委員長挨拶
2、委員の任免について
3、令和２年度健診部報告について
4、長浜市がん検診等について
5、令和２年度渉外部報告について
6、その他

○第２回ヘルスケア研究センター運営委員会

日　　時：令和４年１月24日（月）　午後４時00分より

議事内容：1、委員長挨拶
2、令和３年度上半期検診部報告について
3、令和３年度上半期渉外部報告について
4、その他

医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に関わる安全管理体制の確保を図るため	
委員長 野洲孝二	**委員名** 高島弘行、森田善方、植山浩二、西野恭平、北村文代、宮部照美、中川絵理奈、中村俊之	**事務局** 薬剤局

活動内容

・院内研修会

テーマ「インスリンについて」

院内薬剤師が講師となり、糖尿病委員会と医薬品安全管理研修会合同で実施し、医師看護師対象にe-ラーニングを行った。多数の医師・看護師が受講した。

・令和3年度医薬品安全管理委員会　　令和4年3月14日開催

・マニュアル整備

＊周術期に休薬を要する女性ホルモン関連製剤リストを作成し院内への周知を行った。

＊自動車運転や高所作業、危険を伴う機械を操作する際に注意を要する医薬品リスト化を作成し院内への周知を行った。

薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため。	
委員長 小室太郎	**委員名** 高島弘行、森田善方、植山浩二、西野恭平、宮部照美、西邑範明、中川絵理奈、野渕孝二、中村俊之	**事務局** 薬剤局

活動内容（簡潔に取りまとめて記入）

開催月日･協議事項など(第4回はCovid-19蔓延の為､中止､書類決裁となる)

	新規採用薬剤		中止薬剤	院外→院内	院内→院外
	院内外	院外専用			
2021年度第1回(2021年6月9日)	7	6	1	0	2
2021年度第2回(2021年8月2日)	7	4	4	1	0
2021年度第3回(2021年10月27日)	3	8	1	0	0
2021年度第4回(2022年1月31日)	書類決裁、第5回で合せて協議				
2021年度第5回(2022年3月14日)	9	2	0	3	2
緊急採用	6	4	0	0	0

医療機器安全管理委員会	院内で使用される医療機器に係る安全管理体制の確保を図るため	
委員長 辻克信	**委員名** 洞井和彦、中川雅登、西沢政隆、宮部照美、西野克弥、富田聡、草野信悟、辻賢	**事務局** 臨床工学技術科

活動内容

令和3年 4月	体内用止血クリップ販売名エンクローズIIキット自主回収案内
5月	超音波画像診断装置SC2000手術室心外手術用経食道プローブ故障についての対応
6月	新型コロナウイルス感染症患者の治療に必要な人工呼吸器無償譲渡について
6月	手術後､除細動器の使い捨てパッドの装着面が茶色に変色していた件についての対応
6月	フィリップス社製CPAP装置､人工呼吸器に関する安全通知について
8月	医療機器安全基礎講習会(第43回ME技術講習会)参加案内及び手続き
10月	2021年3月案内のアボット社製植込み型ペースメーカーの安全情報について
10月	2021年度第2回臨床工学部会オンラインセミナーについて
11月	病院停電点検についての対応
11月	医療機器安全管理研修会開催｢生体情報モニターのアラームと安全管理｣eラーニング
12月	ガスブレンダーの実測酸素濃度表示が設定より低く表示される現象についての対応
令和4年 2月	AC接続在宅向け人工呼吸器がバッテリー駆動となっていた事例についての対応
2月	新型コロナウイルスドライブスルー検査における幼児用SpO2測定器導入
3月	回復期リハビリ病棟の生体情報モニター設置依頼についての対応
3月	V60ベンチレータに関する市場安全通知についての対応

透析機器安全管理委員会	Ⅰ，透析液水質管理加算の算定基準のため ①関連学会水質基準を満たす　②透析液安全管理者の配置 ③透析機器安全管理委員会の設置 Ⅱ，透析に関係する機器・装置、透析液の安全管理	
委員長 森田善方	**委員名** 新木貴枝、辻克信、塚口昌文、西田泰人	**事務局** 臨床工学技術科

活動内容

令和3年11月19日　第1回　透析機器安全管理委員会　開催

･協議内容

令和2年度エンドトキシン･生菌数測定結果の報告説明
令和3年度エンドトキシン･生菌数測定結果の中間報告説明
前回委員会からの透析関係装置について
透析治療のインシデント･安全対策について
透析装置の更新について

市立長浜病院栄養委員会	当院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする。	
委員長 内科部長 森田善方	**委員名** 川島和彦、石田均、古山忠宏、草野美樹、嶋吉夫、 中川太郎	**事務局** 栄養科

活動内容

第1回委員会　令和3年7月14日　開催

1.報告事項
(1)令和2年度 栄養管理業務実績について
(2)食事オーダーのコメント名称等の一部変更について
･『肥満食』の食札表示名称　→エネルギー量表示のみに変更
･食事オーダー画面の栄養量表示の整備(ほぼすべての食種(遅延食ﾊﾟﾝ･遅延食粥、特別ﾒﾆｭｰ食、離乳食を除く)で栄養量(目安量)を表示)
･院内食事規約の一部変更(クローン3分食の基準主食量の変更)
2.協議事項
(1)令和3年度 第1回 嗜好調査結果について(回収率の向上対策について等)

第2回委員会　令和3年10月13日　開催

1.報告事項
(1)令和3年度 第2回 嗜好調査結果について
(2)院内食事規約の一部変更について
･低タンパクパン納入終了に伴いクロワッサンへ変更
･潰瘍全粥食の主食パン選択時の脂質量(基準値やや超過の注釈を追加予定)
･朝食の基本飲料について
2.協議事項
(1)ゼリー類用の紙スプーン配膳の廃止について
(2)糖尿食･腎臓食の食種見直しについて

第3回委員会　令和4年2月9日　開催

1.報告事項
(1)令和3年度 第3回 嗜好調査結果について(腎臓食も対象に加えた。)
(2)給食の支援協定について
(3)産後ケア食の開始について
2.協議事項
(1)非常時用の手書き食事箋の見直しについて
(2)糖尿食･腎臓食の食種見直しについて

市立長浜病院 NST 委員会	当院における患者の栄養状態を管理するため、ＮＳＴ（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図ることを目的とする。	
委員長 内科部長 潮正輝	**委員名** 井階幸一、川島和彦、北川真由美、伊藤亮子、福山史朗、上野みづき、山科雄一、安田将樹、本郷修也、吉田名緒、堀田実花、藤田亜沙美、藤田侑子、嘉瀬井和美、中川太郎、赤尾真樹子、桐畑千尋、須戸奏、田中有紀	**事務局** 栄養科

活動内容

1.委員会の開催　　合計12回開催（毎月1回を目安に第4水曜日に開催）
- ・前年度（令和2年度）の実績報告
- ・令和3年度NST委員会の取り組みについて
- ・NSTファイルの見直しについて（各職種の役割、経腸栄養スケジュール、濃厚流動食の選択例）
- ・NSTアセスメント回診記録の見直しについて
- ・栄養スクリーニング兼栄養管理計画書①の見直しについて
- ・COPD対応の濃厚流動食の検討について
- ・経腸栄養管理方法の啓発活動について
- ・早期栄養介入管理加算に係る手順書について

2.NST病棟回診の実施　　週1回（毎週水曜日）　　回診件数702件／年（詳細は各種統計資料参照）

3.NST全体研修会
- 日　時　令和3年10月29日（金）17時30分から18時
- 場　所　2階　講義室
- 演　題　高齢独居患者の自宅退院を目指した栄養介入－膵頭十二指腸切除後の患者に対するNST介入例を通して－
- 講　師　赤尾真樹子　管理栄養士

4.NST勉強会の開催　　4回／年開催

第1回　勉強会
- 日　時　令和3年8月30日（月）16時15分から16時30分
- 場　所　2階　講義室
- 演　題　検査データの見方について
- 講　師　中央検査技術科　吉田名緒

第2回　勉強会
- 日　時　令和3年10月8日（金）17時30分から18時
- 場　所　2階　講義室
- 演　題　高齢独居患者の自宅退院を目指した栄養介入－膵頭十二指腸切除後の患者に対するNST介入例を通して－（NST全体研修会と同内容）
- 講　師　栄養科　赤尾真樹子

第3回　勉強会
- 日　時　令和3年11月29日（月）16時15分から16時30分
- 場　所　2階　講義室
- 内　容　経腸栄養
- 講　師　看護科　7階西病棟　伊藤亮子

第4回　勉強会
- 日　時　令和4年1月24日（月）16時15分から16時30分
- 場　所　2階　講義室
- 演　題　経腸栄養
- 講　師　薬剤局　安田将樹

5.経腸栄養管理方法の啓発活動
- 日　時　令和4年2月7日（月）17時30分から18時
- 場　所　講義室
- 演　題　重症病態における栄養療法（ズーム）

6.NSTファイルの見直し（主な変更点）
- ① 各職種の役割
- ② 経腸栄養スケジュール
  - ・経腸栄養管理中の下痢等の腹部症状について、減速などの対応を加筆修正
- ③ 濃厚流動食の選択例の改定
  - ・GFO、ハイネックスイーゲルの商品リニューアルに伴い原材料や熱量を修正
- ④ 必要栄養量の決定
  - ・Harris-Benedict 式（欧米版）の記載追加
  - ・活動係数、ストレス係数について文言追加
  - ・非たんぱく質カロリー/窒素比(NPC/N比)の記載追加

放射線安全委員会	職員の放射線被ばく防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	
委員長 放射線科部長 小坂恭弘	**委員名** 若宮誠、古山忠宏、近藤定彦、伊吹定浩、久保田武次、西沢政隆、大橋正英、草野美樹、田邉啓太、辻雅之（事務局）	**事務局** 放射線技術科

活動内容

【委員会の開催】

○令和3年7月28日（水）　午後5時00分より6時00分まで

議事内容：令和2年度放射線安全委員会報告

・令和3年度放射線安全教育研修会の開催について

例年通りの放射線検査の注意点等は今年度も必要になってくると思われる。

（新卒、2年目など、新たに配属された人を対象としているため）

・被ばく線量測定バッチ（ルミネスバッチ）の着用について

4ヶ月以上返却されないバッジについては昨年１年間で122個あった。紛失してしまったものは仕方がないが、毎回、未返却のDrがいる

・RI規正法関連の審議事項について

令和2年3月5日（木）に定期検査、定期確認が済んでいる。

今後、原子力規制委員会による立入検査（不定期で1週間前に通知が来ることもある）に対応すべく、監査でチェックされそうな項目から業務手順を予防規定細則に定めていく。

昨年度、承認された放射線安全委員会運営規則と予防規定細則を確認した。

昨年度2回行われた放射線治療品質保証委員会で放射線治療の品質保証に特に問題はなかった。

今年度から放射線取扱主任者の正主任者を伏木Dr→小坂Drとしている。

副主任者が空いているので辻技師に任命する（国家資格あり）。

・サーベイメータ校正

リニアック室の漏えい線量測定用の電離箱式サーベイメータ2台については、今年度は滋賀県診療放射線技師会の線量計校正講習で校正することができる。

原子力災害対策用のNaIシンチレーションサーベイメータ1台とGMサーベイメータ2台については、県の予算で、校正が可能か連絡を取る必要がある。

【放射線安全研修会】

令和4年1月20日（木）　17:30～18:20

当院2階講堂（新型コロナウィルス感染防止対策のため放射線科と演者のみの参加とし、DVD動画撮影後、セーフマスターのe-learningにて全職員にe-learning受講通知）

講演

・放射線の基礎知識と放射線科検査、治療の注意点　　辻　雅之

・放射線療法における有害事象　　杉山順哉

・造影剤使用時なぜ同意書が必要なのか？　　古田裕子

参加者　13人　（看護局2人、医療技術局11人）

e-learning視聴者　601人　（診療局19人、看護局378人、医療技術局111人、薬剤科7人、事務局86人）

医療放射線安全管理委員会	診療用放射線に係る安全管理体制に関する事項について定め、診療用放射線の安全で有効な利用を確保することを目的とする	
委員長 放射線科部長 若宮誠	**委員名** 古山忠宏、富田聡、高島弘行、森田善方、今枝広丞、堀口聡士、廣瀬伸次、草野美樹、北村文代、宮川孝史、北川徹（事務局）	**事務局** 放射線技術科

活動内容

【委員会】

○第1回医療放射線安全管理委員会　　令和3年8月17日(火)　17時45分より18時20分まで

議事内容

・令和3年度診療放射線の安全利用のための研修会の開催について
例年通り年1回は必須。

・CT検査における撮影プロトコルの検討、見直しについて
昨年度の装置更新前は、診断参考レベルを超える部位もあったが、更新後は診断参考レベル以下に抑えられている。
装置導入当初は各々の装置で設定を行っていたが、現在は装置間で差が出ないように調整を行なっている。

・血管撮影、IVR等における実態把握について
Dose Manager(放射線線量管理ソフト)を用いて線量管理を行っている。
総線量が1Gを超えた場合には、アラートとして色を変化させてわかりやすくしている。
法令に伴う正当化の説明ならびに皮膚への高線量被ばく時の被験者への説明が必要。

・核医学検査の実態把握
検定時刻から投与時刻に応じた使用量を算出。RISに反映しDose Managerにて管理している。

○第2回医療放射線安全管理委員会　　令和4年3月11日(金)　17時45分より18時00分まで

議事内容

・令和3年度診療放射線の安全利用のための研修会の報告
下記参照

・CT検査の現状報告
頭部、胸部、腹部に関して診断参考レベル以上に線量が出ていた件数および内訳を報告。
頭部：Drive10件、go.Top30件、Prime134件
胸部：Drive0件、go.Top0件、Prime10件
腹部：Drive7件、go.Top25件、Prime94件

・血管撮影、IVR等の現状報告
心カテ：10Gy以上　2件
腹部　：10Gy以上　2件
頭部　：3Gy～5Gy　3件
検査中に5Gy以上超えた場合、Dr.へ報告することが決定。

・核医学検査の現状報告
RIS上にて投与日時を入力することにより、実投与量を自動的に計算して保存している。

【医療放射線安全管理研修会】

令和3年12月7日(火)　17:30～18:30
新型コロナウイルス感染防止対策のため、参加出来ない職員には、e-learningにて受講を促した。
テーマ：「診療用放射線の安全利用について」
講師：放射線科診断分門　医療放射線安全管理責任者　若宮　誠
参加者　　56人
(診療局　8人、看護局　22人、医療技術局　20人、薬剤局　0人、事務局　6人)

放射線治療 品質保証委員会	放射線治療における安全の向上 並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事項を検討し、必要な事項を企画審議するため。	
委員長 放射線科部長(治療部門) 小坂恭弘	**委員名** 古山忠宏、安永敏美、野一色真弓、岸田智恵子、 川上正邦、西村正明、辻雅之、入江桃好、杉山順哉、 前川涼、清水香澄、伊良皆拓、田辺啓太	**事務局** 放射線技術科

活動内容

【委員会の開催】

○第1回　令和3年7月29日(木)

○第2回　令和4年3月10日(木)

○議事内容:各種マニュアル、手順書の確認
安全の向上に関すること
教育、研修に関すること
その他

【QA会議の開催】

○原則毎週火曜日業務終了後に開催し、放射線治療に関する機器の精度管理、安全管理および運用等について検討した。

【研修会の開催】

○医療事故防止対策委員会、放射線安全委員会との共催

日時　令和4年1月20日(木)　17:30～18:20 (2階講堂)

当委員会と関係する内容

・「放射線の基礎知識と放射線科検査、治療の注意点」　辻　雅之

・「放射線療法における有害事象」　杉山　順哉

備考　新型コロナウィルス感染防止対策のため放射線科職員と演者のみの参加。
DVD動画撮影後、セーフマスターのe-learningにて全職員に受講通知。
参加者　13人　(看護局2人、医療技術局11人)
e-learning視聴者　601人　(診療局19人、看護局378人、医療技術局111人、薬剤科7人、事務局86人)

臨床検査運営 委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化・効率化を図る	
委員長 小室太郎	**委員名** 黒澤学、上田久巳、笠井洋祐、藤林久輝（9月まで)、 伏木雅人（10月から)、草野美樹、伊吹定浩、西沢政隆、 大塚邦生、宮元伸篤、岡本明子	**事務局** 中央検査技術科

活動内容

令和3年5月28日

協議事項:設置要綱の改正、委員の変更、新規試薬購入の承認

報告事項:令和2年度検査実績、令和2年度外部精度管理報告、新型コロナウイルス検査の運用状況、
ISO 15189取得の進捗状況、検査機器の更新、その他

以下、書面会議

令和3年　4月:新規試薬購入の承認

令和3年　9月:新規試薬購入の承認、「検査案内(一次サンプル採取マニュアル)」の更新

令和3年　9月:新規試薬購入の承認

令和3年10月:新規試薬購入の承認

輸血療法委員会	安全で適正な院内輸血の推進	
委員長 吉良浩勝	**委員名** 中村拓路、田久保康隆、高木順平、西増春佳、北村文代、尚永亜希子、赤井明美、笠井晴生、吉田名緒、堀田実花	**事務局** 中央検査技術科
活動内容 第1回:2021年 9月 1日　輸血マニュアル改訂について、血液製剤廃棄状況について 第2回:2021年12月 1日　手術室からのインシデント報告について、当院で血液型検査が未実施の場合の緊急時の血液型2回採血について　など 第3回:2022年 1月19日　HEV遡及調査について　など 第4回:2022年 2月 9日　新人看護師研修動画について、輸血後に起こった呼吸困難の副反応について　など 第5回:2022年 3月 2日　血液製剤廃棄状況について 第6回:2022年 4月20日　新型コロナウイルス感染疑いの献血者による遡及調査報告について、病院機能評価受審について　など 新人看護師対象輸血研修会　2021年11月26日		

歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会	歯科口腔外科における特殊器材使用時の医療関連感染防止を図る	
委員長 歯科口腔外科責任部長 近藤定彦	**委員名** 佐藤舞、中村寛子、長谷川博美、藤田亜沙美、近藤昭仁	**事務局** 歯科口腔外科、 歯科眼科技術室
活動内容 主な協議事項 令和3年 6月15日　・新型コロナウイルス感染症対策の現状と歯科的注意点について 令和3年11月16日　・標準予防策と感染経路別予防策について　・再使用器材の洗浄、消毒/滅菌工程について 令和4年 2月15日　・「歯科口腔外科医療関連感染防止対策マニュアル」の改定について 令和4年 3月22日　・「歯科口腔外科医療関連感染防止対策マニュアル」の改定について		

職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内・外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	
委員長 院長 髙折恭一	**委員名** 古山忠宏、弓削悦子、藤居敏、嶋吉夫、堀一郎	**事務局** 総務課 人事・総務係
活動内容 公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させ、人間性豊かで有為な人材の育成を図るため、職員に院内・院外の幅広い研修機会が提供できるように設置。 1.業務 (1)人材育成支援計画の策定等 (2)各所属の年間研修計画および年間研修実績のとりまとめ (3)研修に対する評価のとりまとめ		

治験審査委員会	院内で行われる治験等がヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び新ＧＣＰ省令等関連法規を遵守したうえで実施されるために、倫理的、科学的及び医学的見地からの妥当性を審議し、その可否を決定するため設置するもの	
委員長 副院長 小室太郎	**委員名** 中野祥子、荒木まつゑ、小川雅文、山科聡、弓削悦子、辻克信、野洌孝二、藤居敏、伊吹定浩	**事務局** 総務課 人事・総務係
活動内容 1.目的 当院の医薬品･医療機器等にかかる治験等の実施について審議し､病院全体の医療の質の向上を図る。 2.委員会の開催 第1回　　令和4年3月下旬(書面)		

集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	
委員長 ICU・CCUセンター長 木田英樹	**委員名** 田久保康隆、森田善方、今枝広丞、上田修吾、佐藤岳史、國友健生、吉良浩勝、上津昌広、藤居敏、弓削悦子、毛利由布子、吉川敬子、野村耕一郎	**事務局** 総務課 人事・総務係
活動内容 1.業務 ICUの運営について次のことを審議する。 (1)各診療科､病棟との連絡調整 (2)施設の管理および設備の整備計画 (3)業務の管理手順 (4)その他運営に関する必要事項 2.委員会の開催 第1回　　令和4年2月14日(月)		

職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 小室太郎	**委員名** 古山忠宏、藤居敏、弓削悦子、安永敏美、野洌孝二、佐藤啓子、辻雅之、大依福太朗、竹越靖晃、新木憲人	**事務局** 総務課 人事・総務係
活動内容 1.内容 (1)職場における職員の安全と健康の確保 (2)快適な作業環境の形成､健康管理事業の適正運営の確保 (3)危険防止のための基本的対策､労働災害の原因､再発防止対策 2.協議事項 (1)職場巡視　(2)時間外勤務について　(3)年次休暇･夏季休暇の取得状況について　(4)感染予防について (5)健康診断受診状況について　(6)ストレスチェックの実施　(7)メンタルヘルス対策 (8)働き方改革について　(9)年間総括 3.委員会開催年月日 4月27日､5月25日､6月22日､7月27日､8月24日､9月28日､10月26日､11月30日､12月28日､1月25日､2月22日､3月22日		

合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修が円滑かつ十分に行えるよう、臨床プログラムの管理を行う	
委員長 副院長 高島弘行	**副委員長** 梅原久範 松岡俊樹（社会福祉法人青祥会　セフィロト病院院長） **委員** 太田直也、田久保康隆、森田善方、弓削悦子、藤居敏、中村誠昌、川崎拓、松井善典、雨森正洋、畑野秀樹、橋本修、布施隆治、花戸貴司、小泉俊三	**事務局** 総務課 人事・総務係

活動内容

1.内容
(1)臨床研修修了認定について
(2)来年度のスケジュール(計画)について
(3)その他
・令和4年度の当院臨床研修医について　・研修医評価方法の変更について
会議後、内科専門医プログラム研修委員会開催。(内科専門医研修プログラムで研修中の専攻医について報告)
2.開催年月日
令和4年3月17日(木)　16時30分～
3.プログラム委員会及び研修医確保等推進会議
令和3年12月22日(水)開催

人権対策推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的に取り組むことを目的とする。	
委員長 院長 髙折恭一	**委員名** 小室太郎、高島弘行、古山忠宏、弓削悦子、藤居敏、吉川敬子、野洲孝二	**事務局** 総務課 人事・総務係

活動内容

1.内容
・人権対策推進体制を整備し、院内の人権対策について総合的に推進するための方策を検討する。
・同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を深めるための職員の研修計画の策定と推進を行う。
・人権問題解決のため市長部局や市の他の部門との積極的な連携を図る。
2.研修の実施
Webによる視聴(医療者はなぜLGBTQについて知る必要があるのか)

倫理委員会	市立長浜病院で行われる人を対象とした医学研究及び医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的かつ社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する。	
委員長 副院長 小室太郎	**委員名** 川島和彦、潮正輝、植山浩二、弓削悦子、古山忠宏、野洌孝二、藤居敏、桐山郁雄（院外）、澤崎恭子（院外）	**事務局** 経営企画課 企画係

活動内容

1.病院で行われる医学研究及び医療行為に関し、実施責任者から申請された実施計画の内容及びその成果の発表に関する事項を審議する。
2.病院における医学研究及び医療行為に関する倫理的かつ社会的配慮についての基本的な事項の調査検討を行う。
3.その他委員長が必要と認めた事項を審議する。

開催月日・協議事項など

○第1回倫理委員会（令和3年7月12日（月）　16:30～17:43　本館2階　第2会議室）
・正副委員長選出
・審議1件、報告4件
・承認案件実施状況報告

○第2回倫理委員会（令和3年11月1日（月）　16:35～19:05　別館2階　第1会議室）
・審議3件、報告12件
・規程改正について
・承認案件実施状況報告のあり方について

○第3回倫理委員会（令和4年2月28日（月）　16:30～17:20　本館2階　第2会議室他）
・審議1件、報告7件
・承認案件実施状況報告

ＩＴ推進会議	市立長浜病院の情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため IT 推進計画の策定および実施ならびに進行管理 コンピュータシステムの情報セキュリティ その他情報化施策についての重要事項	
委員長 副院長 東出俊一	**委員名** 高島弘行、森田善方、嶋吉夫、宮部照美、服部直美、杉山順哉、川畑泉、北村美幸、中村俊之、西村正明、笠井晴生、田邉信彦、古株陽子、澤田園、辻克信、三原了導、山下めぐみ、廣瀬朋子、大橋依子、宮崎恵子、北村文代、平井法恵	**事務局** 経営企画課 企画係

活動内容

○IT推進会議
・IT推進計画の策定、IT推進計画の実施及び進行管理、コンピューターシステムの情報セキュリティなどについて協議します。
○情報セキュリティ専門委員会
・コンピューターシステムのセキュリティ対策に関する基本ルール及び緊急時の対応に関することについて協議します。

開催月日・協議事項など
IT推進会議
○第1回ＩＴ推進会議（令和3年5月13日（木）　16:35～　講義室）
・患者誘導表示システムの運用スケジュールについて
・電子カルテシステムのレベルアップ後日分について
・検体管理システムの障害発生・対応結果について
・今後の予定等について（病棟移動）
○第2回ＩＴ推進会議（令和3年6月24日（木）　16:30～　第2会議室）
・患者誘導表示システム（外来表示盤）について
・患者誘導表示システムでのアプリ稼働について
・今後の予定等について（病棟移動・システムの導入等）
・その他（セキュリティ研修資料掲示）
○第3回ＩＴ推進会議（令和3年8月26日（木）　16:30～　講義室）
・電子カルテシステムのレベルアップ後日分について
・電気法定点検に伴う停電の概要について
○第4回ＩＴ推進会議（令和3年9月30日（木）　16:30～　第1会議室）
・電子カルテシステムのレベルアップ後日分について
・電気法定点検に伴う停電時のシステム対応について
・電子カルテリモート回線を利用した資源収集について
○第5回IT推進会議（令和3年11月25日（木）　16:30～　講義室）
・電子カルテシステムのレベルアップ保留分について
○第6回IT推進会議（令和4年1月25日（火）　16:30～　講義室）
・次世代医療基盤法に基づく電子カルテ情報について
・院内グループウェアの更新について
・インターネット仮想ブラウザ（IE）の更新について（報告）
・その他（入院患者用インターネットwifiの導入）
○第7回IT推進会議（令和4年2月22日（火）　16:00～　講堂）
・グループウェアの移行作業について
○第8回IT推進会議（令和4年3月10日（木）　16:30～　控室、応接室）
・サイバー攻撃に対するセキュリティについて
・診療報酬改定について

情報セキュリティ専門委員会
◎情報セキュリティに関する研修会
・情報セキュリティ研修資料のグループウェア掲示
（令和3年6月22日～8月31日）
情報セキュリティポリシーについて、院内全職員を対象に周知
新型コロナウイルス感染症対策により大規模集会は実施せず
・サイバーセキュリティに関する注意喚起掲示
（令和4年3月2日～）
医療機関等を標的にしたランサムウェアやマルウェア「Emotet」拡大に対する注意と対策等を掲示

医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院とするため	
委員長 副院長 小室太郎	**委員名** 糟谷憲邦、古山忠宏、宮元伸篤、北村淳、辻克信、中川太郎、弓削悦子、吉川敬子、三原了導、伊吹定浩、嶋吉夫、徳田敏子、服部隆義、中村寛子、野洌孝二	**事務局** 経営企画課 企画係
活動内容 委員会の業務 1.クリニカルパスの作成に関するルールづくりとその導入に関すること 2.インフォームドコンセントのルール作りに関すること 3.インフォームドコンセントの実践状況を把握すること 4.その他医療の質の向上等に関して、病院全体に影響するもので、緊急対応の必要のあるもの 開催月日・協議事項など ○第1回医療評価委員会（令和3年9月　書面開催） ・病院機能評価更新受審について ・説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」の確認について（審議） ＜クリニカルパス・IC専門部会＞ **活動内容** クリニカルパスおよび説明と同意について、円滑な運用を図ること。		

医療機器等選定委員会（長浜病院関係）	医療機器の調達（修繕）、診療材料の購入等について必要な事項を定め、医療機器等選定の適正かつ円滑な運用を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 東出俊一	**委員名** 尾田和広、高島弘行、西田淳史、弓削悦子、古山忠宏、藤居敏	**事務局** 経営企画課 用度係
活動内容 1.内容 医療機器等購入にかかる機種選定の審査ならびに協議、高額診療材料購入にかかる審議を行った。 2.開催日（全7回） 令和3年4月30日、令和3年5月18日、令和3年6月28日、令和3年7月26日、令和3年10月4日、 令和4年1月17日、令和4年2月14日		

ＳＰＤ運営委員会	経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図ることを目的とする。	
委員長 診療局責任部長 西田淳史	**委員名** 尾田和広、宮部照美、藤木智美、尚永亜希子、井上弘美、中川栄子、西堀政樹、伊吹誠子、北川徹、古山英孝、源宣彦、藤田亜沙美、田中宏明、川越ゆき、馬場貴士	**事務局** 経営企画課 用度係
活動内容 開催なし		

契約審査委員会	発注する建設工事及びこれに関連する調査、測量、設計等の業務委託、物品調達（修繕）等及び委託業務（公共団体及び公共的団体に対する委託業務等は除く。）の契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって病院事業の建設工事等、物品調達（修繕）等及び委託業務の適正な執行を図ることを目的とする。	
委員長 事務局長 藤居敏	**委員名** 桐畑善彦、堤幹広、伊吹定浩、嶋吉夫、水上憲一、 廣西裕介	**事務局** 経営企画課 用度係
活動内容 1.内容 医療機器等の購入及び建設工事等における契約方法及び指名競争入札の参加者または随意契約の相手方の選定について、審査を行った。 2.開催日（全11回） 令和3年7月29日、令和3年8月6日、令和3年8月20日、令和3年9月30日、令和3年10月15日、令和3年11月26日、令和3年12年17日、令和4年1月21日、令和4年2月18日、令和4年3月18日、令和4年3月29日		

放射線治療装置更新検討委員会	放射線治療装置の更新について総合的に推進することを目的とする。	
委員長 診療局長 田久保康隆	**委員名** 小坂恭弘、古山忠宏、野一色真弓、久保田武次、 奥長隆敏	**事務局** 放射線治療センター 経営企画課用度係
活動内容 1.内容 放射線治療装置の更新について、スケジュールの確認や更新案を病院の方針と併せ協議した。 2.開催日（全 1回） 令和 3年 6月 15日		

未収金対策検討委員会	未収金に関する事務の適正な執行を図るため	
委員長 副院長 小室太郎	**委員名** 高島弘行、藤居敏、古山忠広、弓削悦子、伊吹定浩、 三原了導、徳田敏子、嶋吉夫、長谷川隆浩(市会計管理者)	**事務局** 医事課 医事・医師支援係
活動内容 令和3年11月29日　未収金対策検討委員会開催。未収金の推移と回収実績・対策検討、診療費等債権放棄の審査について協議を行いました。		

保険審査委員会	市立長浜病院における保険診療の適正化と円滑な運営を図り、診療報酬を適正に確保することを目的とする。	
委員長 顧問 神田雄史	**委員名** 杉本正幸、高島弘行、田久保康隆、西田淳史、大橋依子 中道由起(医事委託職員)、北川いづみ(医事委託職員)、 川越美奈(医事委託職員)	**事務局** 医事課 医事・医師支援係

活動内容

1.委員会の再設置について

平成30年4月1日付で廃止とした保険審査委員会を、令和3年度に再設置した。

背景には、適時調査等に対応する体制づくりと医業収入の安定確保のため、病院全体で診療報酬請求における施設基

準要件・算定要件を把握し、当院の請求状況、査定状況並びに問題点の分析と改善策を議論し共有する必要があったからである。このことから保険審査委員会を再設置する運びとなった。

2.委員会の開催

○第1回保険審査委員会(令和3年11月30日)
- ・委員会組織について
- ・査定、返戻、再審査等月例報告

○第2回保険審査委員会(令和3年12月27日)
- ・大雪のため中止、月例報告書の配付のみ

○第3回保険審査委員会(令和4年1月28日)
- ・院内感染のため中止、月例報告書の配付のみ

○第4回保険審査委員会(令和4年2月28日)
- ・査定、返戻、再審査等月例報告
- ・社保、国保の審査情報提供事例について
- ・令和4年度診療報酬改定について

○第5回保険審査委員会(令和4年3月29日)
- ・査定、返戻、再審査等月例報告
- ・令和4年度診療報酬改定について
- ・病名登録について

救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る	
委員長 診療局理事 東出俊一	**委員名** 國友健生、中川雅登、尾田和広、木田英樹、古山忠宏、野洌孝二、宮元伸篤、弓削悦子、野一色真弓、伊吹定浩、嶋吉夫、中村寛子	**事務局** 医事課 医事・医師支援係

活動内容

【委員会の開催】

○第1回救急体制検討委員会(令和3年12月14日(火)　17:30～18:30　講堂)

・年末年始の救急診療体制について
・発熱を伴う患者の診療体制について
・時間内救急外傷患者の診療体制について
・症例検討事例
・救急ミニ講座について(実績報告)
・その他

【実施事業等】

○5月連休中、年末年始の救急における点滴患者の対応について通知(令和3年12月8日)
○救急ミニ講座開催:全3回、参加者計75人
○OLSA-ICLS長浜曳山コース実施:全2回:第26回･･･令和3年6月5日／参加者37人
:第27回･･･令和3年12月5日／参加者53人
○救急救命士病院実習(就業前実習)受入れ:令和3年5月31日～6月18日
○救急救命士病院実習(再教育実習)受入れ:令和3年9月3日～9月29日
○救急救命士病院実習(気管挿管実習)受入れ:令和4年2月7日～2月28日

医師事務作業補助業務運用調整委員会	医師及び配置診療科のニーズを把握し、医師事務作業補助業務の円滑な運用を図るとともに、医師事務作業補助者を適性かつ公正に配置することを目的とする。	
委員長 副院長 高島弘行	**委員名** 森田善方、西田淳史、川島和彦、額田正之、尾田和広、吉川敬子、岩崎まゆみ、古山忠宏、伊吹定浩、嶋吉夫	**事務局** 医事課 医事・医師支援係

活動内容

第1回
令和3年9月27日　○協議事項
①医師事務作業補助者　現状報告
(1)医師事務作業補助体制加算について
(2)配置診療科および業務内容について
(3)定期業務以外業務依頼事項について
(4)医師支援業務申請事項について
(5)医師事務作業補助者勉強会実施状況について
②医師事務作業補助者キャリアラダー(報告)

診療情報・図書室管理運営委員会	当院における診療録の管理および図書室の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	
委員長 副院長 小室太郎	**委員名** 佐藤岳史、中川雅登、辻本和之、織田裕敏、井上遙香、本郷修也、宮部照美、服部直美、川瀬智隆、伊藤志保里、西邑範明、中川絵理奈、徳田敏子、林佳織、廣部恵子、安藤美子	**事務局** 診療情報管理室

活動内容

第１回

令和3年8月18日(水)　○協議事項
①市立長浜病院診療情報管理規程及び市立長浜病院図書室管理運営規程の一部改正について
②カルテ監査(質的監査の実施)について
③図書の購入について

第2回

令和4年1月20日(木)　○協議事項
①カルテ監査について
(看護局、リハビリテーション技術科及び診療情報管理室から報告)
②2022年の図書購入予定について

DPC 委員会	当院における DPC 請求に関連する事務の適正な執行を図るため	
委員長 副院長 小室太郎	**委員名** 潮正輝、洞井和彦、川島和彦、西田淳史、山科聡、田中淳、岸本尚子、河嶋智子、赤井明美、野洌孝二、田口正信、廣瀬朋子、林佳織	**事務局** 診療情報管理室

活動内容

第１回

令和3年8月19日(木)　○協議事項
①適切なコーディングに関することについて
(1)「アテローム血栓性脳梗塞」(7日以内再入院)と「頚椎椎間板ヘルニア」
(2)「急性腎盂腎炎」と「蜂窩織炎」
②部位不明･詳細不明コードについて

第2回

令和3年10月20日(水)　○協議事項
①適切なコーディングに関することについて
(1)「直腸癌(原発巣)」と「転移性肝癌(転移巣)」
(2)「大腿骨転子部骨折」で緊急入院後の「塞栓性脳梗塞」発症
②部位不明･詳細不明コードについて

第3回

令和3年12月15日(水)　○協議事項
①適切なコーディングに関することについて
(1)「腹部大動脈瘤の術後」と「移植人工血管感染」
(2)「脳梗塞の疑い」と「てんかんの疑い」
②部位不明･詳細不明コードについて

第4回

令和4年2月16日(水)　○協議事項
①適切なコーディングに関することについて
(1)「急性閉塞性化膿性胆管炎」と「敗血症」
(2)DPC病名「慢性腎臓病ステージ4」の症例について
②部位不明･詳細不明コードについて
③令和4年4月の診療報酬改定について

感染管理委員会	医療関連感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、医療関連感染が発生した場合の病院としての方針を決定するために設置する。	
委員長 感染制御部部長 大野暢宏	**委員名** 高折恭一、大野暢宏、小室太郎、東出俊一、高島弘行、藤井敏、弓削悦子、若宮誠、近藤定彦、田久保康隆、古山忠宏、野洌孝二、辻克信、伊吹定浩、宮元伸篤、中村寛子、北村文代、烏脇富子、大橋正英	**事務局** 医療安全管理室

活動内容

1.内　容

・医療関連感染の防止対策や、院内全体の感染対策の方針について協議決定を行っています。

2.感染管理委員会開催

毎月第2木曜日開催　12回

(1)各委員会等報告

・院内感染防止対策取り組み
・耐性菌・インフルエンザの院内発生動向の報告
・特定抗菌薬の使用状況と届出の提出状況の報告
・歯科口腔外科院内感染防止対策取り組み
・研修会、3病院(長浜赤十字病院、湖北病院、当院)カンファレンスの開催報告
・COVID-19対応について
　滋賀県、院内のCOVID-19発生状況について
　院内の感染対策等対応について
　クラスター対応経過報告

(2)その他

・結核発症における接触者検診について

(3)委員会(ICT/AST)主催による研修会開催(WEB受講数を記載)

ア　第1回　院内感染防止対策研修会(WEB視聴)　視聴人数:812人
　視聴期間:令和3年7月12日～10月31日
　「これだけは知っておきたい　コロナ時代の感染対策の基本」
　　講師:森兼啓太先生(山形大学医学部附属病院　検査部・感染制御部)

イ　第2回　院内感染対策研修会／第1回　抗菌薬適正使用研修会(WEB研修)　視聴人数:611人
　視聴期間:令和4年3月3日 (木)～3月31日(木)
　テーマ:「クロストリディオイデス・ディフィシル感染症(CDI)」
　「クロストリディオイデス・ディフィシル感染症」 講師:感染管理委員会委員長　大野暢宏医師(ICD)
　「検査から結果報告まで」 講師:医療技術局　細菌検査室　呉竹めぐみ臨床検査技師(ICT・AST)
　「治療薬について」 講師:薬剤局　薬剤科　竹越靖晃薬剤師(ICT・AST)
　「CDIの感染対策」 講師:看護局　ICU病棟　西脇直美感染管理認定看護師(ICT・AST)

ウ　第2回　抗菌薬適正使用研修会(WEB研修)　視聴者数:559人
　視聴期間:令和4年3月14日(月)～4月25日(月)
　テーマ:令和3年度抗菌薬適正使用支援加算に係る研修
　「外来での経口抗菌薬使用について～急性気道感染症を中心に～」
　　講師:薬剤局　薬剤科　野洌孝二感染制御認定薬剤師(ICT・AST)
　「正しい診断は、正しい検体採取から！～検体の採取・保存について～」
　　講師:医療技術局　細菌検査室　呉竹めぐみ臨床検査技師(ICT・AST)

感染対策担当者会議	院内における医療関連感染の防止対策を推進し、啓発活動を行う。	
委員長 循環器内科部長 山科聡	**委員名** 大野暢宏、近藤定彦、髙木順平、高井文恵、小坂恭弘、呉竹めぐみ、杉江加代子、山田耕士、西田泰人、川上正邦、竹越靖晃、草野美樹、藤木智美、西脇直美、尾崎千鶴、伏木雅人、福田めぐみ、馬場貴士、中村寛子、大橋正英	**事務局** 医療安全管理室

活動内容

内　容

各感染症に対する専門知識と感染予防策の普及

標準予防策･経路別予防策に基づく院内感染防止対策の推進

･手指消毒剤の個人携帯の推進と手指衛生タイミング確認と推進

･個人防護具(アイシールド､ガウン･エプロン)の着用遵守

COVID-19対策の推進

職業感染対策の推進

感染防止対策研修会の参加推進

感染対策関連サーベイランスの実施

○感染対策担当者会議

第3木曜日開催　年4回

感染管理委員会での協議内容を説明

COVID-19対策の周知

手指消毒剤使用の推進

サーベイランス結果の協議

職業感染対策の推進

個人防護具着脱訓練

○感染制御チーム検討会(ICT)､抗菌薬適正使用支援加算チーム(AST)：週1回毎週木曜日

環境ラウンド：23回､抗菌薬適正使用ラウンド：95回(カルテラウンド含む)

COVID-19対策について情報共有と協議

抗菌薬適正使用の確認と推進

菌血症患者､血液培養結果の確認と評価

サーベイランス協議：データ分析･評価を実施

･耐性菌発生状況

職業感染対策の推進

･針刺し事象の共有と対策

･結核接触者の共有

感染防止対策加算による合同カンファレンス開催　　年8回

･湖北地域3病院(長浜赤十字病院､長浜市立湖北病院､市立長浜病院)と長浜保健所で開催

細菌検出率､抗菌薬使用状況､手指消毒薬使用量の比較検討

流行している疾患など厚生労働省や県･保健所の通知および情報収集と対策の共有

COVID-19対応や感染対策に関する情報共有

医療安全管理委員会	院内における医療安全対策、医薬品安全管理、医療機器安全管理、放射線安全管理、医療相談業務を総合的に企画実施し、また、事故対策を講じるために必要な事項を審議し、意思決定する。	
委員長 診療局長兼 呼吸器外科責任部長兼 医療安全管理責任者 田久保康隆	**委員名** 野田秀樹、髙折恭一、小室太郎、東出俊一、高島弘行、藤居敏、弓削悦子、若宮誠、古山忠宏、野洌孝二、辻克信、大野暢宏、近藤定彦、伊吹定浩、宮元伸篤、中村寛子、北村文代、大橋正英、烏脇富子	**事務局** 医療安全管理室

活動内容

1 内　容

病院全体の医療安全対策の方針について協議決定を行っています。

2 医療安全管理委員会開催

毎月第2木曜日開催　12回

(1)各委員会等報告と協議

ア　医療機器安全管理に関する事項
　関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み

イ　医薬品安全管理に関する事項
　関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み

ウ　医療放射線安全管理に関する事項
　関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み

エ　医療安全管理に関する事項
　インシデント報告事象の共有(患者誤認・レベル3b以上の事象)
　関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み

オ　各委員会活動方針の合議

カ　各委員会研修会開催報告

(2)その他

医療安全対策地域連携加算:湖北圏域の3病院が連携し、医療安全相互チェックリストに基づき巡視。
巡視結果から課題の取り組み
医療事故情報収集等事業への報告

(3)委員会主催による研修会開催

医療安全研修(新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数の制限を行い、eラーニング受講を推進)

ア　令和2年度医療安全取り組み報告会　令和3年5月20日　参加者:64人
　eラーニング受講:772人

イ　「報告文化を醸成しよう」(Web研修)　令和3年7月6日　参加者:51人
　講師:東京医科大学病院　医療安全管理室　浦松雅史　eラーニング受講:801人

ウ　「医療事故調査の目的と理念」(Web研修)　令和3年12月6日8日10日15日
　参加者:52人
　講師:自治医科大学名誉教授　河野龍太郎　eラーニング受講:599人

エ　令和3年度医療機器安全管理研修会(e-ラーニング研修)
　「生体情報モニターのアラームと安全管理」　令和3年11月16日～12月31日
　講師:日本光電工業(株)品質管理部　岩下　eラーニング受講:425人

オ　令和3年度医療放射線安全管理研修会
　「診療用放射線の安全利用について」　令和3年12月7日　参加人数56人
　講師:放射線(診断部門)責任部長　若宮　誠　eラーニング受講:577人

カ　令和3年度放射線安全・医療安全合同研修会(e-ラーニング研修)　令和4年1月21日～3月10日
　eラーニング受講:601人

キ　医薬品安全研修(e-ラーニング研修)　令和4年3月21日～4月29日
　「インスリン製剤について」　eラーニング受講:305人

ク　チームステップス動画視聴研修(2回配信)　eラーニング受講:延1,238人

3 報告事項

令和3年度医療事故報告分析結果(全体・部署別)
令和3年度各委員会活動評価
医療相談・苦情についての報告など

医療安全対策委員会	患者の安全を確保しつつ、適切、良質な医療を提供できるよう、医療安全文化の醸成を図る。①リスクマネージャーの育成を行い、各部署での取り組みが実施出来る。②チームステップスの理解と各手法の実践。③現場巡視を通して、マニュアルの啓発、業務改善に繋げる。④マニュアルの整備。	
委員長 診療局長兼 呼吸器外科責任部長兼 医療安全管理責任者 田久保康隆	**委員名** 植山浩二、若宮誠、木田英樹、佐藤岳史、中川彩子、西野万由美、西村正明、長谷川弘樹、新田朋美、押谷裕也、池田遼太、伊藤雅子、阪東美加、牧野茜、山口清香、井上実由紀、勝木陽子、吉田昌裕、柳田隆弘、西野克弥、川越ゆき、北村文代、近藤昭仁、烏脇富子	**事務局** 医療安全管理室

活動内容

内　容

1 医療安全対策委員会の開催:毎月第2木曜日開催　　11回
委員会開催毎にコードブルー発令練習実施。
リスクマネージャーの育成:各職場内の危険を察知し改善案を提案、KYTの実践をPDCAサイクルで取り組む。
事例分析の実施、部署インシデント統計分析ができるように支援する。
KYTが職場改善に活かせる(KYT演習を各部署年間3事例取り組み、内1事例をPDCAサイクルで活動)
KYT実施率:看護局、医療技術局、薬剤局、患者総合支援センター(がん対策推進含む)100%実施。
事務局は、後期RM会で1回、各部署で1回実施。
PDCA取り組み:看護局、医療技術局、薬剤局100%、事務局、ヘルスケア研究センター未実施。
(1)前期リスクマネージャー会　令和3年6月2日、4日、9日開催
内容:①医療安全管理体制について　・リスクマネージャーの役割　・令和3年度の課題
②KYT演習
(2)後期リスクマネージャー会　令和3年10月12日、20日開催
内容:①医療安全体制について・リスクマネージャーの役割　・後期リスクマネージャーの取り組み確認
②RCA分析演習:診療局、医療技術局、薬剤局、看護局、ヘルスケア研究センター
KYT演習:事務局、患者総合支援センター、がん対策推進室

2 チームステップスの理解と各手法の実践
チームステップスについて動画配信し、eラーニングの受講推進を図った。

3 医療安全対策委員会グループ活動報告:現場巡視を通し、マニュアルの啓発や業務改善に繋げる。
(1)患者誤認防止･･･患者誤認防止グループ
昨年度の活動「電話呼び出し」の手順の定着確認を実施。手順の理解はできていた。
患者からの名乗りと、ネームバンドの確認を強化週間の取り組みとして実施。強化週間後に、各部署の強化ポイントを含めた確認の巡視を実施した。強化週間後のインシデント件数は減少し、患者誤認の意識向上につながった。
(2)転倒転落防止･･･転倒転落防止グループ
院内危険箇所として、雨天時の玄関、夜間通用口の巡視を行い、床ぬれに対する改善策を提案。
転倒転落発生確認時、経時記録テンプレートの活用状況調査の実施、評価。
医療技術局職員に対し、転倒転落発生確認テンプレート入力の推進。(推進活動後5件入力実施あり)
報告書より、離床センサー、ベッドセンサー管理の検討。マニュアルの作成。
(3)アレルギー情報管理･･･アレルギー情報管理グループ
「お薬手帳の活用フローチャート」と「アレルギー情報の聞き取り補助シート」の活用状況アンケートを実施し、結果分析後研修会の開催、シートの再配布を行い、再周知を図り定着化に取り組んだ。また、アレルギーアイコン表記の確認についてポスターを作成し注意喚起を図った。
(4)医療チームによるコミュニケーションエラー防止･･･コミュニケーション推進グループ
昨年に続き、視聴型講習にてチームステップス推進活動を実施。第4回は、昨年度の活動評価のためアンケートを実施し報告。95%今後も期待するとの高評価を得た。第5回、6回はSBAR編を配信した。医療編、事務局編と対象を分け解説することにより、部署業務に沿ったSBAR実践力の習得に働きかけられた。
TEAMSTEPPS新聞を4回発行。
(5)リスクナース検討部会
毎月2事例ずつ、事例共有と検討を行い、検討内容を部署活動に反映するよう働きかけた。全部署の事例を共有することができた。年度末には、活動報告会を開催し、他部署の取り組みを共有する機会も持てた。

骨粗しょう症リエゾン委員会	骨粗鬆症治療を積極的に導入し継続率低下を防ぐ。院内スタッフに対して骨粗鬆症に関する意識を高める。医科歯科連携を図る。近隣医療機関との連携を図る。行政と共同し骨粗鬆症検査の推進と患者指導啓発の強化をする。	
委員長 整形外科部長 田中淳	**委員名** 西村圭二、塚本晃平、大塚洸希、岩根隆宏、中村友佳里、高木陽平、外村理奈、寺山正真、小野千鶴、北村美幸、岩佐由里子、松田真弓、古山英孝	**事務局** 患者総合支援センター
活動内容 1回／月（第4月曜日）委員会開催 OLSが介入した対象者（患者数）126件 委員会では主に新入院患者を対象に骨粗鬆症の治療状況やＤＥＸＡ実施の有無退院後の、治療継続の可否について検討。必要に応じて主治医への処方依頼や病棟間の情報提供・外来フォローの継続・開業医への情報提供を実施。 昨年度滋賀県下初で 国際骨粗鬆症財団（IOF）からCapture the Fracture「銀賞」に認定された。 外来部門においては骨粗鬆症啓発目的でのビデオ放映を開始しアンケートを実施中。 病棟部門においては電話訪問を実施中。今後アプリを使用して情報共有をする予定。 回復期リハビリ病棟において、骨粗鬆症体操を実施し再骨折予防に向けた活動を継続して実施している。 令和4年4月から二次性骨折予防継続加算開始に伴い、整形外科病棟・回復期リハ病棟・外来での役割分担を協議し加算がとれるよう準備を整えた。		

開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的かつ円滑に運営すること	
委員長 院長 髙折恭一	**委員名** 廣田光前、上松貞彦、湯本義一、小林清亮、華房順子、工藤寛、畑野秀樹、七里源正、雨森正洋、塚本隆弘、中村義則、澤渡新太郎、川島和彦、近藤定彦、西川忠男 **オブザーバー** 堀川佳孝、古山忠男、藤居敏、梅本範子、伊藤雅子	**事務局** 患者総合支援センター 地域医療連携室
活動内容 令和3年度の実施なし		

病床管理会議	1．一般病棟入院患者の療養型。地域包括ケア又は回復型の転棟について審査・判定する。 2．レスパイト入院（開放病床利用を含）予定患者の病棟決定について審査・判定する。	
委員長 患者総合支援センター センター長 川島和彦	**委員名** 大野暢宏、江藤謹司、吉川敬子、北川真由美、中村春美、北村淳、三田久容、徳田敏子、城弟光代、吉田昌裕	**事務局** 患者総合支援センター 地域医療連携室
活動内容 毎週火曜日に実施（47回）しました。 患者の身体的状況や医事情報などの背景から、効果的な病棟へ調整し、病床の空床状況により適宜病棟師長間での調整も行った。		

回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う。	
[運営委員会] 委員長： リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司 [運営検討部会] 部会長： リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	委員名 横山哲也、雨森正洋、中川勝、上野賢治、夏原さゆり、真壁知枝、武田庄索、雑賀正明、柴垣純子、谷口泉、中山美智子、永田かおり、藤居敏 オブザーバー 北村淳、三浦富子、北川真由美 委員名 西川忠男、堀口聡士、三浦富子、梅本範子、藤居敏、北川真由美、河嶋智子、田附容子、徳田敏子	事務局 患者総合支援センター 地域医療連携室
活動内容 [運営委員会] 令和2年度は開催なし [運営検討部会] 令和2年度は開催なし		

回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う。	
委員長 リハビリテーション部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	委員名 堀口聡士、小川雅文、西川忠男、吉川敬子、北川真由美、三浦富子、音羽幸子、田中裕子、吉田昌裕、城弟光代、大久保陽子、後藤智彦	事務局 患者総合支援センター 地域医療連携室
活動内容 令和2年4月6日に第1回目を開催。その後、毎週火曜日に（延べ54回）開催し、院内234人、院外89人、計323人の方を審査・判定した。		

地域医療連携委員会	地域の医師、歯科医師等からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行う	
委員長 院長 髙折恭一	委員名 森上直樹、樋口昌弘、大森徹也、納谷佳男、嶋村清志、福永武浩、立木ひろみ	事務局 患者総合支援センター 地域医療連携室
活動内容 令和3年12月16日　第1回地域医療連携委員会開催 6名の委員の参加あり（1名欠席） (1) 地域医療支援病院の概要について (2) 当院の実績について (3) 当院の取組について (4) その他		

がん対策推進委員会	国の定めるがん対策推進基本計画に基づき、当院のがん対策推進事業の推進を図ること	
委員長 がん対策推進室管理監 田久保康隆	**委員名** 東出俊一、西田淳史、黒澤学、川島和彦、伏木雅人、古山忠宏、藤居敏、草野美樹、野洌孝二、村上義和、大橋依子、服部隆義、新川君代、宮﨑恵子、間塚摩美、片桐麻理子、橋本祥子、神部百合子	**事務局** がん対策推進室

活動内容

【委員会の開催】(3回)

第1回　令和3年6月7日(月)

・がん対策推進委員会設置要綱の一部改正について
・PDCAサイクルの実施について
・５大がんに関する研修会の開催企画について
・湖北がんフォーラム2021について
・がん対策推進検討会の年間活動について
・その他
　滋賀県がん診療連携協議会の活動について
　地域がん診療連携拠点病院の指定状況について
　滋賀県緩和ケア研修会について
　小児･AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業について

第2回　令和3年11月17日(水)

・PDCAサイクルの中間評価について
・地域がん診療連携拠点病院の現況報告について
・湖北がんフォーラム2021の開催結果と次年度計画について
・滋賀県緩和ケア研修会の開催結果について
・その他
　リレー･フォー･ライフ･ジャパン滋賀医科大学2021について
　湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会の開催について
　5大がんに関する研修会(生涯教育研修会)の開催について

第3回　令和4年3月7日(月)

・PDCAサイクルの最終評価について
・地域がん診療連携拠点病院の指定要件の見直しについて
・放射線治療装置の更新について
・湖北がんフォーラム2022について
・5大がんに関する研修会について
・がん対策推進検討会の活動報告について

化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法に用いる抗悪性腫瘍剤（化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療薬など）の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	
委員長 外来化学療法センター副センター長 東出俊一	**委員名** 野田恵加、野口哲男、西田淳史、村井亮介、杉藤雅孝、中村俊之、久保田理恵、宮部照美、赤井明美、河野真弓、赤尾真樹子、片桐麻理子	**事務局** がん対策推進室
活動内容 1.委員会の開催(2回) 第1回　令和3年 8月24日(火) 第2回　令和4年 2月22日(火) 2.化学療法研修会(Zoom研修)の開催 令和3年11月11日(木) テーマ:「個別化医療が進む肺がんの薬物治療」 講　師:静岡県立静岡がんセンター　呼吸器内科医長　釼持広知　先生 参加者:44名(院外3名、院内41名) 3.レジメン登録審査委員会が審査したレジメンの確認 4.アブラキサン供給停止に関する院内対応		

レジメン登録審査委員会	院内で実施される化学療法のレジメン（治療内容）の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	
委員長 外来化学療法センター副センター長 東出俊一	**委員名** 野田恵加、小室太郎、野口哲男、西田淳史、糟谷憲邦、村井亮介、杉藤雅孝、中村拓路、中村俊之、久保田理恵、河野真弓、赤尾真樹子	**事務局** 薬剤局
活動内容 1.小委員会設置(化学療法委員会設置要綱第7条) 2.レジメン登録数　令和3年度　45件 4月:2件　5月:0件　6月:3件　7月:10件　8月:2件　9月:7件 10月:1件　11月:4件　12月:4件　1月:0件　2月:2件　3月:10件 うち、添付文書通りの登録　45件 患者限定　0件 倫理委員会へ申請後登録　0件		

緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること	
委員長 がん対策推進室 管理監 田久保康隆	**委員名** 西田淳史、野口哲男、江藤謹司、川島和彦、杉藤雅孝、西川忠男、伏木雅人、徳田敏子、久保田理恵、藤井三和子、長谷川博美、服部隆義、新川君代、宮﨑恵子、間塚摩美、片桐麻理子、橋本祥子 **准委員** 森田幸代、深田邦子、松浦馨	**事務局** がん対策推進室

活動内容

1.緩和ケアチーム回診の実施
　毎週月曜日：がん性疼痛 医療用麻薬使用対象者回診（入院：カルテ）
　毎週火曜日：緩和ケア看護師回診・緩和ケアチーム回診/カンファレンス
　毎週金曜日：緩和ケア看護師回診（看護師・心理師）
　・年間新規依頼件数：33件
　・がん性疼痛　クリニカルパス（入院用）完成
2.委員会の開催（1回/年）　令和3年7月17日（金）
3.滋賀県緩和ケア研修会　令和3年11月7日（日）集合研修
　参加：9名（医師4名＋歯科医師１名＋研修医3名＋歯科衛生士1名）
　受講率：69.3%
4.がんリハビリテーション：延べ単位　6,671単位

院内がん登録委員会	院内がん登録の実施に必要な事項を定め、院内がん登録業務の適正な企画、管理及び運用を図るため	
委員長 消化器内科責任部長 西田淳史	**委員名** 黒澤学、若宮誠、川島和彦、中川雅登、大橋依子、服部隆義、新川君代、神部百合子	**事務局** がん対策推進室

活動内容

【委員会の開催】（1回）
　令和4年1月19日（水）
　・院内がん登録全国集計2020年症例提出データとホームページ更新について
　・PDCA評価について
　・院内がん登録実務者育成について
　・データ活用について
　・その他
　　電子カルテ文書一覧の５大がん病期分類表について
　　院内がん登録委員会規定の変更について

褥瘡対策委員会	院内での褥瘡対策を検討・立案し、その効率的な推進を図る	
委員長 上田修吾（11月～） 藤林久輝（～10月）	**委員名** 井階幸一、安藤恵美、中川彩子、笠原みすず	**事務局** 看護局（10月～） 患者総合支援センター（～9月）
活動内容 1.褥瘡回診･カンファレンス ･第2､4木曜日　計23回　のべ241名 2.褥瘡に関するデータ集約 3.褥瘡対策備品の整備 4.看護局褥瘡対策検討会 ･年3回開催 ･スタンダードケア作成と周知		

看護局 看護管理者会	中間管理者として病院の経営・看護局方針をよく理解して業務の改善向上に努めると共に看護業務を円滑に進めていくために補佐・係長と主任間のコミュニケーションと他部門との意見調整を図る	
委員長 看護局長 弓削悦子	**委員名** 係長級以上の者	**事務局** 看護局

月	日	活動内容
4月	14日	看護局長挨拶(新年度の所感)　・昇格者挨拶7名　・今年度の抱負(全員) 議案1:2021年度看護局資料(看護局事業計画　人事評価取り決め等)説明　看護管理者ラダーについて その他:COVID-19入院関連について　感染管理から院内感染予防対策の再周知と強化について 接遇マニュアル刷新とスタッフへの周知徹底について
5月	26日	看護局長挨拶(新入職者の状況　病院経営　人材確保など他) 議案1:目標管理について、各部署戦力シートの発表(目標2、3)　議案2:会議、委員会等の今年度の活動計画の発表 その他:・新型コロナワクチン接種の介助等についての説明など　・消化器内科外来入院患者の取り決めについて ・医療安全管理室よりチームステップスについて　・昨年度の師長会会計報告　今年度白菊会会長、副会長の挨拶
6月	9日	看護局長挨拶(看護管理者会の在り方について他) 議案1:〔職務管理〕「ママさん　パンフレットの活用について」説明と意見交換　議案2:昨年度の看護局教育協力費と今年度の計画について 議案3:〔危機管理マネジメント〕事例共有と事象の対策について協議(GWと発表) 議案4:教育委員会、救急対応班より今年度の活動について説明 その他:COVID-19の感染対策について(職場での感染予防対策の現状と周知について)
6月	23日	看護局長挨拶(看護協会の事業など他) 議案1:目標管理進捗状況の報告と働きやすい職場作りに関する協議事項(GWと発表) 議案2:看護管理者マネジメントラダーの変更点について説明 その他:記録検討委員会より、看護必要度のナーシングスキル視聴について
7月	14日	看護局長挨拶(管理者の面接など他) 議案1:〔労務管理〕"労務管理の基礎知識"研修参加者からの伝達講習　議案2:協議事項(労務管理の問題からGW) 議案3:「ママさん　パンフレットの活用について」運用手順について周知
7月	28日	看護局長挨拶(COVID-19について他) 議案1:〔危機管理能力〕せん妄対策について認知症看護認定看護師から説明　議案2:〔質管理能力〕褥瘡発生率の自部署評価と褥瘡ハイリスク患者ケア加算について皮膚・排泄ケア認定看護師より説明　議案3:目標管理について協議(GWと発表、看護補助者への業務委譲について)
9月	22日	看護局長挨拶(COVID-19受け入れ2病棟の体制について他) 議案1:〔組織遂行能力〕看護サービス提供方式等について取り組み部署の発表(7西、ICU、3南)　議案2:〔危機管理能力マネージメント〕リスク事例より取り組み部署の発表(7東、ICU)　議案3:物品管理について協議(紛失に対する予防策など) その他:・持参薬処方箋について薬剤科と協議内容の周知
10月	13日	看護局長挨拶(目標管理の中間報告など他) 議案1:目標管理について、各部署中間報告の発表　議案2:目標管理、前半期取り組みデータの報告　議案3:物品管理の続き、私物の管理(物品紛失時のフロー、5S活動の定着を図るなど)　議案4:面会禁止による影響(患者・家族の思い)について、事例提供し各部署で事前に意見交換、次回の会議で共有
10月	27日	看護局長挨拶(近況の課題について他) 議案1:委員会等の取り組みの中間報告　議案2:面会禁止による影響(患者・家族の思い)について、各部署の取り組み内容の共有(GW) その他:感染担当より、消毒薬の一覧表を刷新と注意喚起、TRCの検査法の変更について説明
11月	10日	看護局長挨拶(後半期の各課題の確認について他) 議案1:〔危機管理能力〕"災害看護管理者研修"の伝達講習　議案2:〔危機管理能力〕看護協会の災害机上シュミレーションの報告 その他:・12月のICLSについて募集　・OP迎えの注意事項について
11月	24日	看護局長挨拶(近況の課題について他) 議案1:〔危機管理能力〕東日本大震災発生時の石巻赤十字病院の動画を視聴、看護管理者の災害机上シュミレーション(GWと発表)
12月	8日	看護局長挨拶(近況の課題について他) 議案1:年次休暇の適切な取り方について　議案2:次年度の病院機能評価受審(3rdG Ver2)について、前回受審時の指摘事項の確認、今後のスケジュール等 その他:伝達事項他
12月	22日	看護局長挨拶(次年度の社会情勢の動き他) 議案1:次年度の目標管理の進め方について説明　議案2:6東病棟の運用について(COVID受け入れなど)　議案3:地域連携室お知らせファイルについて説明　議案4:感染管理認定看護師より、COVUD-19オミクロン株に関する最新情報の共有と対応について その他:ヘキザック消毒薬の変更について説明
1月	12日	病院長より新年の挨拶と今後の動向について 看護局長より次年度目標管理に向けて説明(病院ブランドを高める看護組織の実現のために) 議案1:各部署担当者からの活動報告の方法について(コロナ禍のためPPに録音し、各自閲覧)※診療報酬改訂も視野に入れる
2月	9日	看護局長挨拶(目標管理について他) 議案1:目標管理、各部署のSWOT分析から課題の整理、優先度の高い課題の抽出について協議(GWと発表) その他:・転倒転落マニュアル、肺血栓塞栓予防マニュアルの改訂について、スタッフに周知、周知結果の報告 ・放射線・内視鏡センターからの検査呼び出し方法について　・院内感染予防について患者さんへもマスク着用を促す
2月	16日	看護局長挨拶(目標管理について他) 議案1:目標管理　SWOT分析からの重点目標抽出について、BSC戦略シートについて(GWと発表)
3月	9日	議案1:看護局目標達成に向けての体制案の説明　議案2:次年度新人看護職員研修について　説明

看護局 主任会	①看護実践の責任者としての資質を高め、現場の問題解決に積極的に取り組み職場の活性化を図る ②医療監査における問題抽出と解決 ③看護補助者・クラーク教育	
委員長 看護科長補佐 岸本尚子	**委員名** 沖田小百合、田中理絵、伊吹理子、浅見秀治、三枝弘美、野村規久子、中川栄子、西島好子、坪井和子、高山美佳、中川由紀、草野和美、次郎内圭子、西堀雅樹、芝田美里、井上弘美、土田由美子、河野智一	**事務局** 看護局

活動内容

1.主幹、主任のマネジメントラダーⅡ、Ⅲの項目を理解し、実践・評価し、チームの中で役割が発揮できる
2.看護補助者へ業務委譲ができる(①荷物の受け渡し②食事介助③移乗)チェックリストで合格後、実施できる
3.看護補助者研修の開催(体験学習の開催)と事例検討の実施(2－①②③を経験した中での事例検討)

委員会開催:5月18日、7月20日、9月21日、11月16日、1月18日
研修会開催:7月16日補助者研修(移乗移送)、
11月18日補助者研修、PPE着脱練習は感染管理CNに依頼し実施

コロナ渦ではあるが集合研修(一部変更した)を実施できたが、OJTに繋がるように主任が教育できるよう支援する。看護補助者業務委譲実施率:荷物受け渡し60.8%、移乗75%であった。
マネジメントラダーは実施出来ているが、主任会で指導を行うことは不可能であり各部署管理者がそれぞれの主任のキャリア支援に積極的に関わる必要がある。

今後の課題
業務をタスクシフトする前に看護補助者教育について見直し、次年度に向けて補助者ラダーを作成予定。

看護局 教育委員会	看護の質の向上をめざして、看護職員が専門職業人として生涯にわたる能力開発とキャリア開発を支援するために教育研修の企画・運営・評価を行う	
委員長 委員長 山田みか係長 副委員長 新木貴枝係長	**委員名** 辻美春、田中梨絵、杉村隆幸、渡良子、小川景子、 前川幸代、中川栄子、次郎内茂、中川友香、池田差代子、 玉井恵美、鍋島みゆき、平井義一、廣部佐太則、 畑澤留美、岡本弓子、大山直子	**事務局** 看護局

活動方針

1）スタッフが他職種と連携し、個々に応じた看護実践ができるよう、委員会活動を通して教育的支援を行うことができる。
2）教育委員は、病棟スタッフが各レベルの課題を達成できるよう、計画的な自己・他者評価、面接（他確認方法の活用）によって学や看護実践への動機づけや進捗状況の確認を行う。
3）教育委員は、クリニカルラダーに基づいた教育研修（OFFーJT／OJTの連動）の企画・運営・評価の実践により研修転移を促進させることができる。

活動内容

5月7日【全体会】教育委員会組織体制、病棟教育委員、企画委員の役割の説明、クリニカルラダー修正・変更点の説明
【企画会議】各レベル別、看護研究委員会の企画会議
6月4日【中央委員会】各レベル年間活動共有、研修企画に関する報告、看護過程（継続過誤）研修のレベル間調整、フィジカルアセスメント研修に関する調整、現場→病棟教育委員による面接（初回）開始
7月3日【全体会】各病棟の活動報告・課題共有、6月度の研修報告（OJTの依頼）、レベル別検討事項報告
【企画会議】研究委員会合同
9月4日【全体会】中間評価に向けての課題、各レベル研修事後課題やOJTで困っている事、7月研修の報告・9月研修予定、OJT依頼
【企画会議】研究委員会合同
10月1日【中央委員会】レベル別OJT実施状況の確認、課題共有、上半期の集合研修の評価/各レベルの活動中間評価、次年度クリニカルラダー・研究修正案
11月5日【全体会】9・10月研修、12月予定研修の報告、各レベル研修事後課題やOJTで困っている事、最終評価に向けた課題の共有
【企画会議】研究委員会合同
12月3日【中央委員会】OJT、他者評価状況の確認、課題共有、各レベル別研修・ラダーについての問題点の共有ラダー最終評価・ツール認定に関する調整、病棟教育委員による面接（最終）
1月7日【全体会】病棟教育委員活動に関する課題共有（最終評価・面接状況）
次年度ラダー修正・集合研修企画に向けて意見共有
【企画会議】研究委員会合同
2月4日【中央委員会】評価ツール認定会議
3月4日【中央委員会】最終評価、次年度研修・ラダー修正に関する検討

看護局 嚥下委員会	患者の摂食嚥下機能の改善と栄養状態のカイゼンを図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療連携に貢献し、患者の QOL 向上を図る。	
委員長 看護係長 田附容子	**委員名** 松井亜希子、中川詩織、中川翼、浅山太貴、齋藤美祐、上田真瑚、藤森美優、福山史郎、藤田和子、阿部瞳、伊藤亮子、井上ひとよ	**事務局** 看護局

活動内容

活動計画

1.摂食､嚥下の知識を深め嚥下障害の評価方法の習得
2.摂食機能療法の理解を深め正しい算定方法の取得
3.多職種連携し嚥下機能の改善､栄養状態の改善を行う

会議開催日:6月21日　9月29日　10月28日　1月31日
1.摂食嚥下の知識を深めるためセラピストによる摂食嚥下機能評価勉強会を開催
2.摂食嚥下加算状況用紙､加算状況マニュアルを作成しファイルに綴じ各病棟へ配布､運用を開始。
3.院内で摂食機能介入依頼時に委員にわかるようメールにて表示を行なった。

看護局 固定リーダー会	チームリーダー業務および役割を通して問題を提起し、解決を図ると共にスタッフの質の向上とリーダーの自己啓発を推進する	
委員長 看護科長補佐 中村春美	**委員名** 津田拓郎、林美希、平綱沙矢香、秋吉英市、中村和世、國友知佳、林文子、八田頼卓、高木陽平、小川泰子、斉藤友恵、小野ひとみ、柳澤いづみ、谷良美、藤井美保子、山田和幸	**事務局** 看護局

活動内容

活動方針

1.カンファレンスを活用し個々に応じた看護実践が展開ができる
2.部署間連携し､入院前から退院後までつながりのある看護実践ができる

会議開催:6月15日　7月19日　10月19日　12月21日

初期カンファレンスには定着してきている｡患者家族の要望を把握した個別看護計画の立案は初期カンファレンスの際には患者家族の意向を確認し記録に記載し看護計画の立案をするという意識が高くなってきている｡事例検討の実施数は目標達成できているが､実践での活用は十分ではない｡病棟だけでなく､外来や透析室､OP室等も自部署の特徴を活かし診療科を巻き込んでのカンファレンスの開催や､処置室との連携にて短時間の関わりでも質の高い看護の実践に結びつけることが出来ている｡多職種カンファレンスや病棟での退院カンファレンスに参加病棟でのカンファレンス参加や他部署との良い連携事例の共有にて看護を深めあうことができ､互いの部署の理解も深められた。

※2月24日主任会･固定リーダー会合同事例発表会をZOOMで開催予定であったが､コロナ感染拡大にて発表録音し視聴を依頼､ベストサービスカードにて他部署へ意見や感想等伝達する形となった。

看護局 看護師定着・確保検討会	①職員のモラル効用を目的に、身だしなみや働きやすい職場環境を改善をする。 ②職員の確保を目的に魅力ある病院を発信する。看護の日・病院見学会・ホームページ	
委員長 看護係長 野村耕一郎	**委員名** 北村健宏、東野千佳、中川由香里、金村さおり、 江原千尋、大井豊隆宮川可奈絵、新木憲人、北川翔一、 片桐麻理子、岸上さとみ津田拓郎、森鈴子、吉田智瑛、 竹原かな、江菅蒼馬、真野良基	**事務局** 看護局

活動方針

1.目標管理:重点目標2､働きやすい職場作り
2.選ばれる病院作り:接遇
3.魅力ある病院を発信する｡･病院見学会:オンラインにて開催･ホームページに看護現場の魅力を発信する

活動内容

6月10日　2021年度活動方針･計画の説明･部署での活動計画の説明
8月/12月　接遇チェックにて職場巡回
10月14日　部署での接遇改善活動の中間評価発表　　後期への課題の抽出
2月10日　各部署取り組み発表
年間を通じて各部署での接遇､環境改善活動を中心に展開し､会議では活動内容の共有を行った

その他の活動

接遇チェック　職場巡視　2回/年
ホームページ更新
2月22日　25日　3月4日　リモート病院見学会

看護局 看護基準検討会	提供する看護を一定の基準に保障するために、看護基準・看護手順の作成や見直しを行う。 また、個々の職員が活用し実践しているか監査し指導する。	
委員長 看護係長 毛利由布子	**委員名** 中島知夏、日時みゆき、伊吹誠子、若林優嘉、荒金幸恵、 五坪侑樹、岩井千尋、寺田果歩、寺山正真、岩田純香、 田中篤司、八田亜希子、吉井利香、上野博司、西尾多恵、 井益奈留美	**事務局** 看護局

活動内容

活動計画

1.クリニカルパスの活用が正しくでき､現場での運用が行える
2.ナーシングスキルの看護手順が現場指導に活かすことができ､手順の見直し･追加修正が行える

会議開催日:6月25日　10月22日　1月28日
1.各部署の特殊性を踏まえたクリニカルパスの活用を行い運用を行った
2.各部署の現場に応じた手順の見直し､標準看護計画の新規作成し運用できた。

看護局 看護記録検討会	実践した看護を記録に反映させるために、記録の書式検討や省略化を推進し、記録の有効な活用をはかる。また、基準に沿って監査し看護記録の向上を図る。	
委員長 看護科長補佐 服部直美	**委員名** 清水喜子、森一志、宮元和也、浅井加奈、山岡朋子、名内由佳、川畑泉、大森沙穂、東昌代、高山しず香、堀居祥代、中川悠紀、種田美穂、山口美奈、中川紀子、杉山順哉、北村美幸、名桐弥生	**事務局** 看護局

活動内容

活動計画

1.新記録監査用紙を用いて、２ヶ月に１回、監査し改善策を立て実施して、各委員による院内記録マニュアルの周知により質の高い看護記録ができる。
2.入院診療計画書に基づいた看護実践の記録ができ、看護の均一化、質の向上に繋げられる。
3.看護実践に即した重症度、医療・看護必要度の正しい評価方法の理解と周知をはかる。

会議開催日:5月28日　7月21日　9月25日　12月25日　2月25日(紙面会議)

記録監査結果内容は各部署で昨年同様、傾向など分析しﾁｰﾑ会や個人指導を行う取り組みができた。100%を達成した部署は3部署のみ。必要度監査表修正し対象患者には根拠を記載することを例を挙げ周知した。必要度の評価対象点数となった時に記入をする必要があるが、各部署で対象者を決定し取り組んだ。業務分担表の活用が部署間で異なり、必要性が不明。各部署の現状把握した

看護局 新人看護職員 研修委員会	新人看護職員の安全な臨床実践能力の獲得、専門職業人としての成長、生涯にわたり自己研鑽の姿勢を習得できる体制と研修評価を協議する	
顧問 看護係長　山田みか **委員長** 看護主査　川瀬智代	**委員名** 冨田悠、髙山顕士朗、村上純子、名内あつみ、久保田哲子、川瀬智代、木村亜貴江、鹿取美紀、葛城綾那	**事務局** 看護局

活動内容

4月22日:新人看護職員研修委員会の運営についての説明と担当者の決定、新人指導の状況の共有・指導上困っていることについての共有、現場研修での使用物品の説明(ラーニングルームの点検について)
5月20日:今年度の目標管理について説明、5月の中央研修について:多重課題、褥瘡ケア、ポートフォリオ、人事評価4月新人・実施指導者の状況の共有と問題について協議
6月17日:中央研修:5月報告、集合研修G:6月BLS指導案、指導上の困難点や課題について検討、記録監査表・日勤メンバーチェックリストの確認と共有、7月研修計画の共有
7月15日:6月BLS研修報告・9月研修の案を説明、指導上の困難点や課題について現状を共有、7月研修報告、3ヶ月評価ツールの共有、メンタルシートの共有
9月　指導上の困難点・課題シート入力による共有
10月21日:9月BLSシミュレーション研修報告、指導上の困難点や課題について現状を共有、6ヶ月評価ツールとメンタルシートの共有、注射テストの見直し
11月　指導上の困難点・課題シート入力による共有新卒指導進捗状況の共有
12月16日:中央研修:10月11月の研修報告、指導上の困難点や課題について現状を共有、次年度研修計画案の共有、指導者研修の報告、特殊技術の協議
1月20日:今年度の体制や取り組みの評価と次年度に向けての評価、注射テストと特殊技術の承認
2月17日:ツール評価、年間活動の報告とグループ目標と個人目標の評価

Ⅴ　経営状況

１．令和３年度決算状況

（１）経営収支比較

区分		令和３年度	令和２年度	増減	増減率
		千円	千円	千円	%
収入	１入院収益	7,555,842	7,461,520	94,322	101.3
	入院診療収入	7,388,726	7,291,108	97,618	101.3
	給食料収入	167,116	170,412	△ 3,296	98.1
	２外来収益	4,166,325	3,955,272	211,053	105.3
	３その他医業収益	213,999	191,729	22,270	111.6
	４受取利息配当金	5,596	6,636	△ 1,040	84.3
	５補助金	2,802,407	1,377,726	1,424,681	203.4
	６一般会計負担金	671,393	709,899	△ 38,506	94.6
	７院内保育所収益	3,886	3,585	301	108.4
	８訪問看護ステーション収益	96,778	92,194	4,584	105.0
	９長期前受金戻入	45,147	30,490	14,657	148.1
	10その他医業外収益	279,499	156,774	122,725	178.3
	11特別収益	0	115,073	△ 115,073	皆減
	収入合計	15,840,872	14,100,898	1,739,974	112.3
支出	12給与費	7,166,060	7,166,511	△ 451	100.0
	給料	3,420,983	3,417,871	3,112	100.1
	諸手当	2,177,631	2,113,777	63,854	103.0
	その他	1,567,446	1,634,863	△ 67,417	95.9
	13材料費	3,652,367	3,490,735	161,632	104.6
	薬品費	1,870,297	1,827,401	42,896	102.3
	診療材料費	1,665,908	1,536,454	129,454	108.4
	給食材料費	93,590	89,822	3,768	104.2
	医療消耗備品費	22,572	37,058	△ 14,486	60.9
	14経費	1,603,399	1,659,067	△ 55,668	96.6
	15支払利息及び企業債取扱諸費	150,029	171,010	△ 20,981	87.7
	16長期前払消費税償却	19,183	28,444	△ 9,261	67.4
	17院内保育所費	48,797	45,909	2,888	106.3
	18訪問看護ステーション費	100,880	111,787	△ 10,907	90.2
	19その他の支出	1,622,220	1,656,872	△ 34,652	97.9
	20特別損失	0	115,073	△ 115,073	皆減
	支出合計	14,362,935	14,445,408	△ 82,473	99.4

（2）貸借対照表

（令和４年３月３１日）

借方			貸方	
科目	金額		科目	金額
		円		円
固定資産		14,633,223,267	固定負債	11,610,388,742
有形固定資産		14,394,407,368	企業債	9,116,020,318
土地		2,964,249,675	引当金	2,494,368,424
建物	21,051,109,003		退職給付引当金	2,377,123,892
建物減価償却累計額	△ 11,589,003,903	9,462,105,100	修繕引当金	117,244,532
構築物	669,081,006		流動負債	2,583,709,504
構築物減価償却累計額	△ 426,331,283	242,749,723	企業債	1,352,219,945
器械及び備品	6,904,374,555		未払金	727,313,968
器械及び備品減価償却累計額	△ 5,187,029,041	1,717,345,514	引当金	445,439,549
車両	29,625,275		その他流動負債	58,736,042
車両減価償却累計額	△ 21,667,919	7,957,356	繰延収益	562,244,766
投資		238,815,899	長期前受金	1,513,933,065
長期貸付金		37,196,565	収益化累計額	△ 951,688,299
長期前払消費税		180,048,334	資本金	10,436,203,390
その他投資		21,571,000	剰余金	△ 3,993,808,060
流動資産		6,565,515,075	資本剰余金	69,061,152
現金預金		2,947,978,733	欠損金	△ 4,062,869,212
未収金		2,892,664,151	減債積立金	168,300,000
貸倒引当金		△ 5,500,000	建設改良積立金	1,313,000,000
有価証券		700,000,000	当年度未処理欠損金	5,544,169,212
貯蔵品		30,372,191		
合計		21,198,738,342	合計	21,198,738,342

（3）経営状況①

（単位：千円）

決算状況	令和３年度	令和２年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
総収益	15,840,872	14,100,898	13,255,952	13,035,337	12,598,221	12,568,246
経常収益	15,840,872	13,985,825	13,255,952	13,035,337	12,598,221	12,568,246
医業収益	11,936,166	11,608,521	12,232,538	11,948,730	11,480,357	11,790,257
料金収入	11,722,167	11,416,792	12,033,739	11,761,499	11,299,561	11,606,891
他会計繰入金	671,393	709,899	762,220	787,108	827,356	481,595
特別利益	0	115,073	0	0	0	0
総費用	14,362,935	14,445,408	13,638,598	13,754,354	13,651,837	13,636,784
経常費用	14,362,935	14,330,335	13,638,598	13,754,354	13,651,837	13,556,820
医業費用	13,435,662	13,272,074	12,810,276	12,881,372	12,865,366	12,696,420
職員給与費	7,166,060	7,166,511	6,864,146	7,032,799	7,001,285	6,834,349
材料費	3,652,367	3,490,735	3,478,552	3,368,310	3,287,139	3,317,606
減価償却費	983,870	918,358	910,623	799,563	1,027,568	968,225
支払利息	150,029	171,010	192,404	213,629	236,433	259,204
特別損失	0	115,073	0	0	0	79,964
純損益	1,477,937	△ 344,510	△ 382,646	△ 719,017	△ 1,053,616	△ 1,068,538
累積欠損金	5,544,169	7,022,106	6,677,596	6,294,950	5,575,933	4,522,317

経営状況②

経営指標			令和３年度	令和２年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
総収支比率％			110.29	97.62	97.19	94.77	92.28	92.16
経常収支比率％			110.29	97.60	97.19	94.77	92.28	92.71
医業収支比率％			88.84	87.47	95.49	92.76	89.23	92.86
他会計繰入金対医業収益比率％			5.62	6.12	6.23	6.59	7.21	4.08
職員給与費対医業収益比率％			60.04	61.73	56.11	58.86	60.98	57.97
材料費対医業収益比率％			30.60	30.07	28.44	28.19	28.63	28.14
病床数（年度末現在）	一般		565	587	600	600	600	616
	結核精神伝染							
	計		565	587	600	600	600	616
病床利用率％			56.6	54.0	63.7	62.7	61.5	63.9
入院患者数（人）	年延数		116,559	115,651	139,885	137,118	134,642	143,639
	1日平均		319	317	382	376	369	394
外来患者数（人）	年延数		209,110	199,552	219,061	225,436	238,871	251,136
	1日平均		864	821	909	924	979	1,033
外来入院比率％			179.40	172.55	156.60	164.41	177.41	174.84
職員1人1日当たり患者数(人)	医師	入院	3.1	3.2	3.9	4.2	4.2	4.3
		外来	8.5	8.3	9.3	10.4	11.3	11.2
	看護師	入院	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.8
		外来	1.7	1.6	1.8	1.8	1.9	2.0
患者1人1日当たり診療収入（円）	入院		64,824	64,518	57,139	58,687	56,948	55,809
	外来		19,924	19,821	18,446	16,477	15,205	14,297
100床当たり職員数（人）	医師		17.0	16.5	16.3	14.8	14.5	14.9
	看護部門		85.0	84.0	82.7	85.0	86.5	84.9
	全職員		173.8	168.5	165.5	166.5	167.5	165.9
診療収入（千円）	入院		7,555,842	7,461,520	7,992,889	8,047,043	7,667,619	8,016,335
	外来		4,166,325	3,955,272	4,040,850	3,714,456	3,631,942	3,590,556

（4）資本的収入及び支出（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

収　　入

区　　分	予算額					
	当初予算額	補正予算額	小　　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合　　計
長浜病院	円	円	円	円	円	円
第１款　資本的収入	657,471,000	29,950,000	687,421,000	0	0	1,528,321,000
第１項　企業債	79,400,000	14,900,000	94,300,000	840,900,000	0	935,200,000
第２項　出資金	574,471,000	0	574,471,000	0	0	574,471,000
第３項　固定資産売却代金	1,500,000	15,050,000	16,550,000	0	0	16,550,000
第４項　補助金	100,000	0	100,000	0	0	100,000
第５項　寄附金	2,000,000	0	2,000,000	0	0	2,000,000

決算額	予算額に比べ決算額の増減	備　　考
円	円	
1,450,506,000	△ 77,815,000	
826,600,000	△ 108,600,000	
573,552,000	△ 919,000	
46,304,000	29,754,000	
0	△ 100,000	
4,050,000	2,050,000	

（　　）は、仮払消費税

支　　出

区　　分	予算額						
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小　　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合　　計
長浜病院	円	円	円	円	円	円	円
第１款　資本的支出	1,494,874,000	30,000,000	0	1,524,874,000	841,046,000	0	2,365,920,000
第１項　建設改良費	125,880,000	30,000,000	0	155,880,000	841,046,000	0	996,926,000
第２項　企業債償還金	1,357,384,000	0	0	1,357,384,000	0	0	1,357,384,000
第３項　投資	11,600,000	0	0	11,600,000	0	0	11,600,000
第４項　補助金消費税返還金	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000

資本的収入額が資本的支出額に不足する額939,324,017円は、損益勘定留保資金で補てんした。

決算額	翌年度繰越額			不用額	備　　考
	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合　　計		
円	円	円	円	円	円
2,275,323,935	0	0	0	90,596,065	
917,409,725	0	0	0	79,516,275	(80,869,292)
1,354,642,510	0	0	0	2,741,490	
3,271,700	0	0	0	8,328,300	
0	0	0	0	10,000	

（　　）は、仮払消費税

Ⅵ　各種統計資料

1．患者状況

（1）一般病棟科別入院患者数

診療科名	令和3年度初 人	入院 人	転科増減 人	退院 人	令和3年度末 人	延患者数 人	一日平均 人	比率 %	在院日数 日
内科	0	10	-7	3	0	55	0.2	0.1	8.5
血液内科	3	99	13	106	9	2,246	6.2	2.6	21.9
腎臓代謝内科	25	752	-39	717	21	8,071	22.1	9.4	11.0
神経内科	5	83	-6	76	6	1,549	4.2	1.8	19.5
呼吸器内科	22	856	-22	832	24	9,731	26.7	11.3	11.5
消化器内科	25	1,302	-76	1,220	31	11,398	31.2	13.3	9.0
循環器内科	41	1,264	-50	1,221	34	10,979	30.1	12.8	8.8
小児科	0	8	0	8	0	26	0.1	0.0	3.3
外科	25	555	33	599	14	6,456	17.7	7.5	11.2
呼吸器外科	3	340	10	341	12	3,249	8.9	3.8	9.5
整形外科	44	713	-99	629	29	14,476	39.7	16.9	21.6
脳神経外科	18	453	-51	391	29	9,295	25.5	10.8	22.0
心臓血管外科	9	286	-5	283	7	2,873	7.9	3.4	10.1
泌尿器科	0	161	0	158	3	1,210	3.3	1.4	7.6
産婦人科	0	11	0	11	0	16	0.0	0.0	1.5
眼科	1	469	0	462	8	636	1.7	0.7	1.4
耳鼻咽喉科	4	138	-14	124	4	1,130	3.1	1.3	8.6
ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	7	52	5	59	5	2,034	5.6	2.4	36.6
歯科･歯科口腔外科	1	199	0	198	2	392	1.1	0.5	2.0
合計	233	7,751	-308	7,438	238	85,822	235.1	100	11.3

1日平均患者数は、診療日数365日で除しています。
在院日数は、延患者数/（入院＋退院）×2で算定しています。
療養病棟は、含んでいません（(2）で掲載)。

（2）療養病棟科別入院患者数

診療科名	令和3年度初 人	入院 人	転入 人	転出 人	退院 人	令和3年度末 人	延患者数 人	一日平均 人	比率 %	在院日数 日
内科	10	33	4	2	36	8	3,657	10.0	16.0	97.5
血液内科	0	0	1	0	0	1	1	0.0	0.0	2.0
腎臓代謝内科	0	0	11	1	9	1	169	0.5	0.7	16.1
神経内科	1	0	10	1	8	2	410	1.1	1.8	43.2
呼吸器内科	2	0	21	0	22	2	808	2.2	3.5	37.6
消化器内科	8	0	43	3	47	1	2,817	7.7	12.3	60.6
循環器内科	1	0	30	2	23	6	805	2.2	3.5	29.3
外科	3	0	10	0	10	3	769	2.1	3.4	76.9
呼吸器外科	1	0	5	0	5	1	277	0.8	1.2	55.4
整形外科	17	26	129	16	135	21	7,198	19.7	31.4	47.0
脳神経外科	17	38	76	16	100	15	5,609	15.4	24.5	48.8
心臓血管外科	0	0	5	0	5	0	272	0.8	1.2	54.4
泌尿器科	0	0	2	0	1	1	11	0.0	0.1	7.3
ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	0	0	2	0	1	1	101	0.3	0.4	67.3
合計	60	97	349	41	402	63	22,904	62.8	100	51.5

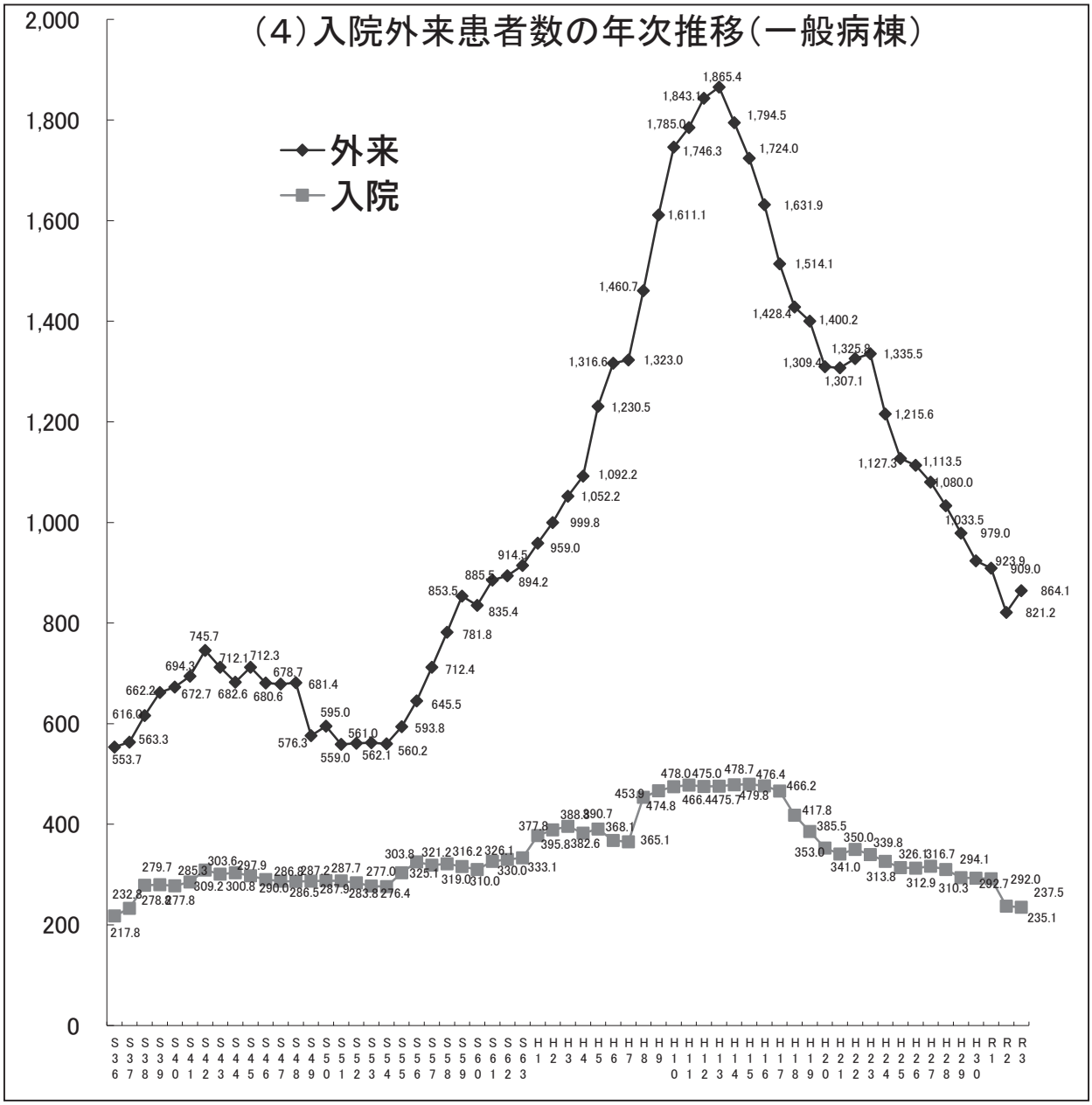
1日平均患者数は、診療日数365日で除しています。
在院日数は、延患者数/（入院＋転入＋退院＋転出）×2で算定しています。

（3）科別外来患者数

診療科名	新来患者数 人	一日平均 人	再来患者数 人	一日平均 人	延患者数 人	一日平均 人	比率 %
内科	1,891	7.8	4,654	19.2	6,545	27.0	3.1
血液内科	157	0.6	4,162	17.2	4,319	17.8	2.1
腎臓代謝内科	851	3.5	33,824	139.8	34,675	143.3	16.6
神経内科	609	2.5	3,984	16.5	4,593	19.0	2.2
呼吸器内科	1,049	4.3	9,988	41.3	11,037	45.6	5.3
消化器内科	1,877	7.8	13,734	56.8	15,611	64.5	7.5
循環器内科	860	3.6	22,112	91.4	22,972	94.9	11.0
小児科	101	0.4	1,527	6.3	1,628	6.7	0.8
外科	974	4.0	10,346	42.8	11,320	46.8	5.4
呼吸器外科	251	1.0	3,359	13.9	3,610	14.9	1.7
整形外科	1,162	4.8	26,999	111.6	28,161	116.4	13.5
形成外科	262	1.1	890	3.7	1,152	4.8	0.6
脳神経外科	674	2.8	3,929	16.2	4,603	19.0	2.2
心臓血管外科	259	2.6	3,451	34.9	3,710	37.5	1.8
皮膚科	397	1.6	1,605	6.6	2,002	8.3	1.0
泌尿器科	435	1.8	3,634	15.0	4,069	16.8	1.9
産婦人科	269	1.1	6,320	26.1	6,589	27.2	3.2
眼科	532	2.2	8,134	33.6	8,666	35.8	4.1
耳鼻咽喉科	756	3.1	9,745	40.3	10,501	43.4	5.0
放射線科	1,133	4.7	5,648	23.3	6,781	28.0	3.2
麻酔科	31	0.7	5	0.1	36	0.8	0.0
ﾘｳﾏﾁ膠原病内科	265	1.1	7,407	30.6	7,672	31.7	3.7
歯科･歯科口腔外科	1,350	3.7	7,508	31.0	8,858	36.6	4.2
救急科	305	1.3	－	－	－	－	－
合計	16,450	68.0	192,965	797.4	209,110	864.1	100

ただし、心臓血管外科は、火曜日、金曜日の外来診療日数 99 日で除しています。
麻酔科は、火曜日の外来診療日 46 日で除しています。
救急科は、診療日 365 日で除しています。
一日平均患者数は、診療日数 242 日で除しています。
新来患者数は、当該診療科を初めて受診した患者数で示しています。

（4）入院外来患者数の年次推移（一般病棟）



（5）－1　入院地域別患者数統計表（565 床）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	469	399	381	291	341	380	255	219	355	481	386	470	4,427
六荘地区	671	693	780	929	916	722	681	717	554	856	717	773	9,009
南郷里地区	477	504	540	544	410	460	483	666	551	551	599	491	6,276
神照地区	708	810	832	739	853	584	602	626	566	673	651	717	8,361
北郷里地区	261	223	165	226	291	303	368	264	176	156	232	320	2,985
西黒田地区	139	102	204	222	232	151	140	154	125	166	178	156	1,969
神田地区	124	136	177	184	93	80	92	149	177	136	86	97	1,531
旧浅井町	503	560	563	374	399	415	451	480	403	499	625	689	5,961
旧虎姫町	266	381	308	211	278	292	363	306	323	310	253	225	3,516
旧湖北町	226	409	473	488	369	362	519	550	315	314	295	305	4,625
旧びわ町	291	252	280	221	412	327	235	193	277	390	278	266	3,422
旧高月町	374	388	385	420	422	449	376	419	437	525	485	537	5,217
旧木之本町	468	456	367	388	421	470	387	288	477	371	361	430	4,884
旧余呉町	176	141	180	174	147	153	228	250	178	195	129	98	2,049
旧西浅井町	163	212	289	323	260	151	113	202	266	335	209	105	2,628
計　長浜市	5,316	5,666	5,924	5,734	5,844	5,299	5,293	5,483	5,180	5,958	5,484	5,679	66,860
(%)	58.4	62.4	63.0	63.5	62.4	60.2	60.3	61.7	59.6	63.4	61.7	61.1	61.5
旧山東町	640	569	654	708	780	637	795	704	936	750	696	751	8,620
旧伊吹町	389	283	336	224	287	345	324	445	356	520	485	384	4,378
旧米原町	825	851	840	886	768	744	818	745	787	856	808	969	9,897
旧近江町	572	668	571	519	630	678	505	561	480	456	401	490	6,531
計　米原市	2,426	2,371	2,401	2,337	2,465	2,404	2,442	2,455	2,559	2,582	2,390	2,594	29,426
(%)	26.7	26.1	25.5	25.9	26.3	27.3	27.8	27.6	29.5	27.5	26.9	27.9	27.1
彦 根 市	978	565	561	570	597	722	710	689	581	455	523	647	7,598
(%)	10.7	6.2	6.0	6.3	6.4	8.2	8.1	7.8	6.7	4.8	5.9	7.0	7.0
そ の 他	206	379	404	294	392	295	233	154	271	302	334	317	3,581
(%)	2.3	4.2	4.3	3.3	4.2	3.4	2.7	1.7	3.1	3.2	3.8	3.4	3.3
県内合計	8,926	8,981	9,290	8,935	9,298	8,720	8,678	8,781	8,591	9,297	8,731	9,237	107,465
(%)	98.1	98.8	98.8	99.0	99.3	99.1	98.8	98.8	98.9	99.0	98.2	99.4	98.8
県外合計	173	106	115	93	68	81	107	109	98	97	161	53	1,261
(%)	1.9	1.2	1.2	1.0	0.7	0.9	1.2	1.2	1.1	1.0	1.8	0.6	1.2
総 合 計	9,099	9,087	9,405	9,028	9,366	8,801	8,785	8,890	8,689	9,394	8,892	9,290	108,726
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2020年度	8,703	8,200	8,307	9,207	9,409	8,736	8,945	9,550	9,358	9,790	8,571	8,898	107,674

＊療養は含まれています。

（5）－2　入院地域別患者数統計表（461 床）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	392	299	281	195	304	322	233	199	307	432	338	432	3,734
六荘地区	522	535	645	799	722	529	503	535	357	669	558	551	6,925
南郷里地区	383	416	438	476	317	371	409	454	330	358	437	334	4,723
神照地区	534	658	600	460	597	469	505	506	442	610	594	573	6,548
北郷里地区	162	124	72	175	247	234	275	179	126	125	204	267	2,190
西黒田地区	139	102	200	136	165	115	109	107	98	166	140	104	1,581
神田地区	94	83	117	156	93	78	67	134	130	82	77	97	1,208
旧浅井町	347	409	425	315	348	388	416	396	295	373	457	500	4,669
旧虎姫町	233	350	296	194	244	219	299	247	284	263	220	192	3,041
旧湖北町	206	327	345	362	281	343	431	442	258	249	230	253	3,727
旧びわ町	171	145	208	141	252	197	173	162	190	277	139	176	2,231
旧高月町	304	326	317	337	306	305	243	289	262	346	344	420	3,799
旧木之本町	353	343	246	261	343	424	284	203	389	259	272	320	3,697
旧余呉町	117	128	180	174	147	144	203	220	143	144	71	67	1,738
旧西浅井町	130	161	208	276	245	150	99	150	183	294	182	105	2,183
計　長浜市	4,087	4,406	4,578	4,457	4,611	4,288	4,249	4,223	3,794	4,647	4,263	4,391	51,994
(%)	56.6	60.7	61.6	62.8	61.0	60.3	60.4	61.7	57.9	63.2	60.6	60.2	60.6
旧山東町	527	459	545	598	661	502	625	498	747	575	561	664	6,962
旧伊吹町	327	265	282	215	282	315	313	393	244	367	333	297	3,633
旧米原町	699	735	666	693	608	641	724	638	650	694	690	736	8,174
旧近江町	436	517	461	389	509	455	325	369	331	352	309	387	4,840
計　米原市	1,989	1,976	1,954	1,895	2,060	1,913	1,987	1,898	1,972	1,988	1,893	2,084	23,609
(%)	27.5	27.2	26.3	26.7	27.2	26.9	28.3	27.7	30.1	27.0	26.9	28.6	27.5
彦 根 市	824	458	422	412	490	599	541	555	498	376	458	549	6,182
(%)	11.4	6.3	5.7	5.8	6.5	8.4	7.7	8.1	7.6	5.1	6.5	7.5	7.2
そ の 他	168	348	374	263	361	265	176	94	225	267	291	232	3,064
(%)	2.3	4.8	5.0	3.7	4.8	3.7	2.5	1.4	3.4	3.6	4.1	3.2	3.6
県内合計	7,068	7,188	7,328	7,027	7,522	7,065	6,953	6,770	6,489	7,278	6,905	7,256	84,849
(%)	97.9	99.0	98.6	99.0	99.4	99.3	98.9	98.8	99.0	98.9	98.1	99.4	98.9
県外合計	154	75	104	68	43	51	76	79	67	80	133	43	973
(%)	2.1	1.0	1.4	1.0	0.6	0.7	1.1	1.2	1.0	1.1	1.9	0.6	1.1
総 合 計	7,222	7,263	7,432	7,095	7,565	7,116	7,029	6,849	6,556	7,358	7,038	7,299	85,822
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度 2020 年度	6,953	6,466	6,758	7,531	7,768	7,116	7,310	7,896	7,405	7,841	6,672	6,967	86,683

（5）－3　入院地域別患者数統計表（療養　104 床）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	77	100	100	96	37	58	22	20	48	49	48	38	693
六荘地区	149	158	135	130	194	193	178	182	197	187	159	222	2,084
南郷里地区	94	88	102	68	93	89	74	212	221	193	162	157	1,553
神照地区	174	152	232	279	256	115	97	120	124	63	57	144	1,813
北郷里地区	99	99	93	51	44	69	93	85	50	31	28	53	795
西黒田地区	0	0	4	86	67	36	31	47	27	0	38	52	388
神田地区	30	53	60	28	0	2	25	15	47	54	9	0	323
旧浅井町	156	151	138	59	51	27	35	84	108	126	168	189	1,292
旧虎姫町	33	31	12	17	34	73	64	59	39	47	33	33	475
旧湖北町	20	82	128	126	88	19	88	108	57	65	65	52	898
旧びわ町	120	107	72	80	160	130	62	31	87	113	139	90	1,191
旧高月町	70	62	68	83	116	144	133	130	175	179	141	117	1,418
旧木之本町	115	113	121	127	78	46	103	85	88	112	89	110	1,187
旧余呉町	59	13	0	0	0	9	25	30	35	51	58	31	311
旧西浅井町	33	51	81	47	15	1	14	52	83	41	27	0	445
計　長浜市	1,229	1,260	1,346	1,277	1,233	1,011	1,044	1,260	1,386	1,311	1,221	1,288	14,866
(%)	65.5	69.1	68.2	66.1	68.5	60.0	59.5	61.7	65.0	64.4	65.9	64.7	64.9
旧山東町	113	110	109	110	119	135	170	206	189	175	135	87	1,658
旧伊吹町	62	18	54	9	5	30	11	52	112	153	152	87	745
旧米原町	126	116	174	193	160	103	94	107	137	162	118	233	1,723
旧近江町	136	151	110	130	121	223	180	192	149	104	92	103	1,691
計　米原市	437	395	447	442	405	491	455	557	587	594	497	510	5,817
(%)	23.3	21.7	22.7	22.9	22.5	29.1	25.9	27.3	27.5	29.2	26.8	25.6	25.4
彦 根 市	154	107	139	158	107	123	169	134	83	79	65	98	1,416
(%)	8.2	5.9	7.0	8.2	5.9	7.3	9.6	6.6	3.9	3.9	3.5	4.9	6.2
そ の 他	38	31	30	31	31	30	57	60	46	35	43	85	517
(%)	2.0	1.7	1.5	1.6	1.7	1.8	3.2	2.9	2.2	1.7	2.3	4.3	2.3
県内合計	1,858	1,793	1,962	1,908	1,776	1,655	1,725	2,011	2,102	2,019	1,826	1,981	22,616
(%)	99.0	98.3	99.4	98.7	98.6	98.2	98.2	98.5	98.5	99.2	98.5	99.5	98.7
県外合計	19	31	11	25	25	30	31	30	31	17	28	10	288
(%)	1.0	1.7	0.6	1.3	1.4	1.8	1.8	1.5	1.5	0.8	1.5	0.5	1.3
総 合 計	1,877	1,824	1,973	1,933	1,801	1,685	1,756	2,041	2,133	2,036	1,854	1,991	22,904
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（5）－4　入院地域別患者数統計表（医療　52 床）

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	6	20	6	10	13	28	12	18	15	18	20	10	176
六荘地区	51	69	76	62	84	126	111	105	132	133	140	151	1,240
南郷里地区	30	31	48	36	67	60	71	141	99	83	68	78	812
神照地区	87	85	112	140	144	42	31	30	35	45	52	61	864
北郷里地区	60	62	60	51	31	30	31	35	31	31	28	31	481
西黒田地区	0	0	2	21	38	36	31	27	0	0	27	10	192
神田地区	0	0	0	0	0	0	0	0	23	31	9	0	63
旧浅井町	30	31	52	57	27	27	17	40	63	65	73	100	582
旧虎姫町	33	31	12	4	0	13	12	19	8	16	15	0	163
旧湖北町	9	9	8	29	35	9	35	20	14	34	37	19	258
旧びわ町	30	31	30	9	12	43	31	11	0	0	0	0	197
旧高月町	15	5	0	6	28	24	33	40	42	33	28	34	288
旧木之本町	67	62	60	62	36	32	31	30	35	62	41	47	565
旧余呉町	30	7	0	0	0	9	25	0	21	5	18	0	115
旧西浅井町	10	20	51	16	0	0	0	0	0	0	0	0	97
計　長浜市	458	463	517	503	515	479	471	516	518	556	556	541	6,093
(%)	58.3	60.9	62.0	64.2	67.1	60.9	61.5	60.8	59.5	67.8	69.5	66.7	63.3
旧山東町	60	53	49	37	41	48	41	70	97	61	71	34	662
旧伊吹町	7	0	28	9	0	0	8	0	0	6	49	44	151
旧米原町	70	62	85	54	31	33	50	56	54	50	28	51	624
旧近江町	83	120	95	93	93	136	90	87	77	50	28	39	991
計　米原市	220	235	257	193	165	217	189	213	228	167	176	168	2,428
(%)	28.0	30.9	30.8	24.6	21.5	27.6	24.7	25.1	26.2	20.4	22.0	20.7	25.2
彦根市	77	31	30	31	31	30	44	60	62	62	40	56	554
(%)	9.8	4.1	3.6	4.0	4.0	3.8	5.7	7.1	7.1	7.6	5.0	6.9	5.8
その他	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	46	380
(%)	3.8	4.1	3.6	4.0	4.0	3.8	4.0	3.5	3.6	3.8	3.5	5.7	3.9
県内合計	785	760	834	758	742	756	735	819	839	816	800	811	9,455
(%)	100	100	100	96.8	96.7	96.2	96.0	96.5	96.4	99.5	100	100	98.2
県外合計	0	0	0	25	25	30	31	30	31	4	0	0	176
(%)	0	0	0	3.2	3.3	3.8	4.0	3.5	3.6	0.5	0	0	1.8
総合計	785	760	834	783	767	786	766	849	870	820	800	811	9,631
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（5）－5　入院地域別患者数統計表（回復期リハビリ　52 床）

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	71	80	94	86	24	30	10	2	33	31	28	28	517
六荘地区	98	89	59	68	110	67	67	77	65	54	19	71	844
南郷里地区	64	57	54	32	26	29	3	71	122	110	94	79	741
神照地区	87	67	120	139	112	73	66	90	89	18	5	83	949
北郷里地区	39	37	33	0	13	39	62	50	19	0	0	22	314
西黒田地区	0	0	2	65	29	0	0	20	27	0	11	42	196
神田地区	30	53	60	28	0	2	25	15	24	23	0	0	260
旧浅井町	126	120	86	2	24	0	18	44	45	61	95	89	710
旧虎姫町	0	0	0	13	34	60	52	40	31	31	18	33	312
旧湖北町	11	73	120	97	53	10	53	88	43	31	28	33	640
旧びわ町	90	76	42	71	148	87	31	20	87	113	139	90	994
旧高月町	55	57	68	77	88	120	100	90	133	146	113	83	1,130
旧木之本町	48	51	61	65	42	14	72	55	53	50	48	63	622
旧余呉町	29	6	0	0	0	0	0	30	14	46	40	31	196
旧西浅井町	23	31	30	31	15	1	14	52	83	41	27	0	348
計　長浜市	771	797	829	774	718	532	573	744	868	755	665	747	8,773
(%)	70.6	74.9	72.8	67.3	69.4	59.2	57.9	62.4	68.7	62.1	63.1	63.3	66.1
旧山東町	53	57	60	73	78	87	129	136	92	114	64	53	996
旧伊吹町	55	18	26	0	5	30	3	52	112	147	103	43	594
旧米原町	56	54	89	139	129	70	44	51	83	112	90	182	1,099
旧近江町	53	31	15	37	28	87	90	105	72	54	64	64	700
計　米原市(a)	217	160	190	249	240	274	266	344	359	427	321	342	3,389
(%)	19.9	15.0	16.7	21.7	23.2	30.5	26.9	28.9	28.4	35.1	30.5	29.0	25.5
彦根市	77	76	109	127	76	93	125	74	21	17	25	42	862
(%)	7.1	7.1	9.6	11.0	7.4	10.3	12.6	6.2	1.7	1.4	2.4	3.6	6.5
その他	8	0	0	0	0	0	26	30	15	4	15	39	137
(%)	0.7	0	0	0	0	0	2.6	2.5	1.2	0.3	1.4	3.3	1.0
県内合計	1,073	1,033	1,128	1,150	1,034	899	990	1,192	1,263	1,203	1,026	1,170	13,161
(%)	98.3	97.1	99.0	100	100	100	100	100	100	98.9	97.3	99.2	99.2
県外合計	19	31	11	0	0	0	0	0	0	13	28	10	112
(%)	1.7	2.9	1.0	0	0	0	0	0	0	1.1	2.7	0.8	0.8
総合計	1,092	1,064	1,139	1,150	1,034	899	990	1,192	1,263	1,216	1,054	1,180	13,273
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（6）－1　入院年代別患者数統計表（565 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳~ 5歳	0	4	2	0	10	1	0	0	0	0	0	0	17
(%)	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0
6歳~ 9歳	0	2	0	0	4	0	0	4	0	0	0	2	12
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10歳~14歳	0	20	7	2	4	6	3	5	0	15	0	4	66
(%)	0	0.2	0.1	0	0	0.1	0	0.1	0	0.2	0	0	0.1
15歳~19歳	77	28	14	26	57	24	10	3	9	11	33	31	323
(%)	0.8	0.3	0.1	0.3	0.6	0.3	0.1	0	0.1	0.1	0.4	0.3	0.3
20歳~29歳	103	92	153	131	188	123	128	148	75	95	43	93	1,372
(%)	1.1	1.0	1.6	1.5	2.0	1.4	1.5	1.7	0.9	1.0	0.5	1.0	1.3
30歳~39歳	114	112	82	89	211	133	102	53	96	85	102	106	1,285
(%)	1.3	1.2	0.9	1.0	2.3	1.5	1.2	0.6	1.1	0.9	1.1	1.1	1.2
40歳~49歳	295	365	255	210	348	165	214	200	146	161	231	240	2,830
(%)	3.2	4.0	2.7	2.3	3.7	1.9	2.4	2.2	1.7	1.7	2.6	2.6	2.6
50歳~59歳	722	555	456	524	669	567	377	608	577	674	763	580	7,072
(%)	7.9	6.1	4.8	5.8	7.1	6.4	4.3	6.8	6.6	7.2	8.6	6.2	6.5
60歳~64歳	443	378	483	319	286	266	407	381	353	377	374	353	4,420
(%)	4.9	4.2	5.1	3.5	3.1	3.0	4.6	4.3	4.1	4.0	4.2	3.8	4.1
65歳~69歳	875	901	841	728	759	635	779	878	860	903	697	608	9,464
(%)	9.6	9.9	8.9	8.1	8.1	7.2	8.9	9.9	9.9	9.6	7.8	6.5	8.7
70歳~79歳	2,786	2,747	3,054	3,278	2,872	3,154	3,072	2,679	2,803	2,880	2,836	3,180	35,341
(%)	30.6	30.2	32.5	36.3	30.7	35.8	35.0	30.1	32.3	30.7	31.9	34.2	32.5
80歳~	3,682	3,879	4,055	3,717	3,958	3,727	3,693	3,931	3,770	4,193	3,813	4,093	46,511
(%)	40.5	42.7	43.1	41.2	42.3	42.3	42.0	44.2	43.4	44.6	42.9	44.1	42.8
合　計	9,099	9,087	9,405	9,028	9,366	8,801	8,785	8,890	8,689	9,394	8,892	9,290	108,726
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2020年度	8,703	8,200	8,307	9,207	9,409	8,736	8,945	9,550	9,371	9,821	8,571	8,898	107,718

＊療養は含まれています。

（6）－2　入院年代別患者数統計表（461 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7
(%)	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
(%)	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳~ 5歳	0	4	2	0	10	1	0	0	0	0	0	0	17
(%)	0	0.1	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0
6歳~ 9歳	0	2	0	0	4	0	0	4	0	0	0	2	12
(%)	0	0	0	0	0.1	0	0	0.1	0	0	0	0	0
10歳~14歳	0	20	7	2	4	6	3	5	0	15	0	4	66
(%)	0	0.3	0.1	0	0.1	0.1	0	0.1	0	0.2	0	0.1	0.1
15歳~19歳	77	28	14	26	57	24	10	3	9	11	33	31	323
(%)	1.1	0.4	0.2	0.4	0.8	0.3	0.1	0	0.1	0.1	0.5	0.4	0.4
20歳~29歳	103	92	147	100	160	123	128	148	75	95	43	86	1,300
(%)	1.4	1.3	2.0	1.4	2.1	1.7	1.8	2.2	1.1	1.3	0.6	1.2	1.5
30歳~39歳	114	112	82	89	161	122	71	37	96	85	102	106	1,177
(%)	1.6	1.5	1.1	1.3	2.1	1.7	1.0	0.5	1.5	1.2	1.4	1.5	1.4
40歳~49歳	214	295	219	202	342	159	204	166	140	155	225	234	2,555
(%)	3.0	4.1	2.9	2.8	4.5	2.2	2.9	2.4	2.1	2.1	3.2	3.2	3.0
50歳~59歳	470	440	359	453	605	477	331	537	439	508	617	499	5,735
(%)	6.5	6.1	4.8	6.4	8.0	6.7	4.7	7.8	6.7	6.9	8.8	6.8	6.7
60歳~64歳	358	280	400	257	249	236	349	319	314	373	360	261	3,756
(%)	5.0	3.9	5.4	3.6	3.3	3.3	5.0	4.7	4.8	5.1	5.1	3.6	4.4
65歳~69歳	737	755	737	651	671	606	708	753	655	744	585	531	8,133
(%)	10.2	10.4	9.9	9.2	8.9	8.5	10.1	11.0	10.0	10.1	8.3	7.3	9.5
70歳~79歳	2,286	2,199	2,400	2,613	2,223	2,460	2,474	2,045	2,172	2,163	2,269	2,551	27,855
(%)	31.7	30.3	32.3	36.8	29.4	34.6	35.2	29.9	33.1	29.4	32.2	34.9	32.5
80歳~	2,861	3,032	3,062	2,698	3,079	2,902	2,751	2,832	2,656	3,209	2,804	2,994	34,880
(%)	39.6	41.7	41.2	38.0	40.7	40.8	39.1	41.3	40.5	43.6	39.8	41.0	40.6
合　計	7,222	7,263	7,432	7,095	7,565	7,116	7,029	6,849	6,556	7,358	7,038	7,299	85,822
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2020年度	6,953	6,466	6,758	7,531	7,768	7,116	7,310	7,896	7,405	7,841	6,672	6,967	86,683

（6）－3　入院年代別患者数統計表（療養　104 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
20歳~29歳	0	0	6	31	28	0	0	0	0	0	0	7	72
(%)	0	0	0.3	1.6	1.6	0	0	0	0	0	0	0.4	0.3
30歳~39歳	0	0	0	0	50	11	31	16	0	0	0	0	108
(%)	0	0	0	0	2.8	0.7	1.8	0.8	0	0	0	0	0.5
40歳~49歳	81	70	36	8	6	6	10	34	6	6	6	6	275
(%)	4.3	3.8	1.8	0.4	0.3	0.4	0.6	1.7	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2
50歳~59歳	252	115	97	71	64	90	46	71	138	166	146	81	1,337
(%)	13.4	6.3	4.9	3.7	3.6	5.3	2.6	3.5	6.5	8.2	7.9	4.1	5.8
60歳~64歳	85	98	83	62	37	30	58	62	39	4	14	92	664
(%)	4.5	5.4	4.2	3.2	2.1	1.8	3.3	3.0	1.8	0.2	0.8	4.6	2.9
65歳~69歳	138	146	104	77	88	29	71	125	205	159	112	77	1,331
(%)	7.4	8.0	5.3	4.0	4.9	1.7	4.0	6.1	9.6	7.8	6.0	3.9	5.8
70歳~79歳	500	548	654	665	649	694	598	634	631	717	567	629	7,486
(%)	26.6	30.0	33.1	34.4	36.0	41.2	34.1	31.1	29.6	35.2	30.6	31.6	32.7
80歳~	821	847	993	1,019	879	825	942	1,099	1,114	984	1,009	1,099	11,631
(%)	43.7	46.4	50.3	52.7	48.8	49.0	53.6	53.8	52.2	48.3	54.4	55.2	50.8
合　計	1,877	1,824	1,973	1,933	1,801	1,685	1,756	2,041	2,133	2,036	1,854	1,991	22,904
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（6）－4　入院年代別患者数統計表（医療　52 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40歳~49歳	6	13	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	79
(%)	0.8	1.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8
50歳~59歳	30	31	30	26	0	0	0	0	4	0	0	0	121
(%)	3.8	4.1	3.6	3.3	0	0	0	0	0.5	0	0	0	1.3
60歳~64歳	30	31	30	31	31	30	31	45	39	4	14	4	320
(%)	3.8	4.1	3.6	4.0	4.0	3.8	4.0	5.3	4.5	0.5	1.8	0.5	3.3
65歳~69歳	56	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	93
(%)	7.1	2.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8	1.0
70歳~79歳	307	304	338	295	298	263	324	334	255	255	253	301	3,527
(%)	39.1	40.0	40.5	37.7	38.9	33.5	42.3	39.3	29.3	31.1	31.6	37.1	36.6
80歳~	356	359	430	425	432	487	405	464	566	555	527	485	5,491
(%)	45.4	47.2	51.6	54.3	56.3	62.0	52.9	54.7	65.1	67.7	65.9	59.8	57.0
合　計	785	760	834	783	767	786	766	849	870	820	800	811	9,631
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（6）－5　入院年代別患者数統計表（回復期リハビリ　52 床）

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
20歳~29歳	0	0	6	31	28	0	0	0	0	0	0	7	72
(%)	0	0	0.5	2.7	2.7	0	0	0	0	0	0	0.6	0.5
30歳~39歳	0	0	0	0	50	11	31	16	0	0	0	0	108
(%)	0	0	0	0	4.8	1.2	3.1	1.3	0	0	0	0	0.8
40歳~49歳	75	57	30	2	0	0	4	28	0	0	0	0	196
(%)	6.9	5.4	2.6	0.2	0	0	0.4	2.3	0	0	0	0	1.5
50歳~59歳	222	84	67	45	64	90	46	71	134	166	146	81	1,216
(%)	20.3	7.9	5.9	3.9	6.2	10.0	4.6	6.0	10.6	13.7	13.9	6.9	9.2
60歳~64歳	55	67	53	31	6	0	27	17	0	0	0	88	344
(%)	5.0	6.3	4.7	2.7	0.6	0	2.7	1.4	0	0	0	7.5	2.6
65歳~69歳	82	124	104	77	88	29	71	125	205	159	112	62	1,238
(%)	7.5	11.7	9.1	6.7	8.5	3.2	7.2	10.5	16.2	13.1	10.6	5.3	9.3
70歳~79歳	193	244	316	370	351	431	274	300	376	462	314	328	3,959
(%)	17.7	22.9	27.7	32.2	33.9	47.9	27.7	25.2	29.8	38.0	29.8	27.8	29.8
80歳~	465	488	563	594	447	338	537	635	548	429	482	614	6,140
(%)	42.6	45.9	49.4	51.7	43.2	37.6	54.2	53.3	43.4	35.3	45.7	52.0	46.3
合　計	1,092	1,064	1,139	1,150	1,034	899	990	1,192	1,263	1,216	1,054	1,180	13,273
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（7）外来地域別患者数統計表

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	729	694	783	754	807	777	831	795	766	720	703	872	9,231
六荘地区	1,720	975	1,716	1,674	1,739	1,715	1,716	1,649	1,718	1,557	1,431	1,739	19,349
南郷里地区	1,157	1,460	1,089	1,117	1,093	1,048	1,153	1,119	1,155	1,113	962	1,177	13,643
神照地区	1,615	1,465	1,646	1,706	1,711	1,672	1,627	1,521	1,715	1,541	1,377	1,739	19,335
北郷里地区	519	500	571	551	586	571	579	573	616	519	481	598	6,664
西黒田地区	335	277	342	328	317	339	351	293	304	330	291	366	3,873
神田地区	165	139	157	139	186	174	184	147	162	182	160	200	1,995
旧浅井町	1,198	995	1,138	1,136	1,141	1,218	1,213	1,092	1,149	1,049	990	1,142	13,461
旧虎姫町	610	523	567	563	538	584	526	585	557	549	493	571	6,666
旧湖北町	614	603	702	714	729	729	672	693	742	683	654	782	8,317
旧びわ町	507	471	590	528	513	541	569	502	530	485	489	594	6,319
旧高月町	817	782	887	872	879	886	813	861	919	784	701	1,008	10,209
旧木之本町	563	468	638	569	481	622	639	606	585	488	440	571	6,670
旧余呉町	275	191	242	239	218	214	187	199	223	204	171	250	2,613
旧西浅井町	278	235	290	299	247	304	288	278	280	236	238	321	3,294
計　長浜市	11,102	9,778	11,358	11,189	11,185	11,394	11,348	10,913	11,421	10,440	9,581	11,930	131,639
(%)	63.2	63.0	62.5	63.0	62.8	63.1	63.3	62.3	63.2	63.3	62.6	62.9	63.0
旧山東町	1,302	1,156	1,381	1,347	1,342	1,399	1,285	1,379	1,345	1,248	1,114	1,371	15,669
旧伊吹町	511	432	499	503	514	502	568	538	516	465	426	527	6,001
旧米原町	1,383	1,268	1,582	1,436	1,470	1,555	1,445	1,516	1,496	1,373	1,413	1,647	17,584
旧近江町	1,037	927	1,034	1,088	1,083	1,004	1,076	1,009	1,083	951	908	1,162	12,362
計　米原市	4,233	3,783	4,496	4,374	4,409	4,460	4,374	4,442	4,440	4,037	3,861	4,707	51,616
(%)	24.1	24.4	24.8	24.6	24.8	24.7	24.4	25.4	24.6	24.5	25.2	24.8	24.7
彦 根 市	1,729	1,418	1,706	1,586	1,573	1,633	1,626	1,562	1,610	1,469	1,382	1,739	19,033
(%)	9.9	9.1	9.4	8.9	8.8	9.0	9.1	8.9	8.9	8.9	9.0	9.2	9.1
そ の 他	373	428	461	459	503	437	412	454	448	411	382	455	5,223
(%)	2.1	2.8	2.5	2.6	2.8	2.4	2.3	2.6	2.5	2.5	2.5	2.4	2.5
県内合計	17,437	15,407	18,021	17,608	17,670	17,924	17,760	17,371	17,919	16,357	15,206	18,831	207,511
(%)	99.3	99.3	99.2	99.2	99.2	99.2	99.1	99.2	99.2	99.2	99.4	99.3	99.2
県外合計	116	103	138	150	135	142	159	146	152	137	94	127	1,599
(%)	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.6	0.7	0.8
総 合 計	17,553	15,510	18,159	17,758	17,805	18,066	17,919	17,517	18,071	16,494	15,300	18,958	209,110
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2020年度	16,108	13,940	16,801	17,886	16,336	17,332	18,297	15,982	17,656	16,273	14,153	18,788	199,552

＊ドックは含まれていません。

（8）外来年代別患者数統計表

（単位：人）

年　代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	32	13	32	22	12	13	8	6	13	5	7	3	166
(%)	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0	0	0.1	0	0	0	0.1
1歳	17	16	18	16	12	18	13	22	30	21	18	19	220
(%)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
2歳~ 5歳	48	48	62	98	59	44	60	39	53	41	28	62	642
(%)	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3
6歳~ 9歳	50	31	40	54	57	33	47	54	47	50	55	73	591
(%)	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3
10歳~14歳	100	102	104	98	126	99	85	80	89	98	62	105	1,148
(%)	0.6	0.7	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.4	0.6	0.5
15歳~19歳	149	130	140	153	247	150	121	118	135	149	126	184	1,802
(%)	0.8	0.8	0.8	0.9	1.4	0.8	0.7	0.7	0.7	0.9	0.8	1.0	0.9
20歳~29歳	415	359	439	440	509	418	423	440	449	453	372	461	5,178
(%)	2.4	2.3	2.4	2.5	2.9	2.3	2.4	2.5	2.5	2.7	2.4	2.4	2.5
30歳~39歳	624	579	657	697	671	775	612	647	672	634	596	666	7,830
(%)	3.6	3.7	3.6	3.9	3.8	4.3	3.4	3.7	3.7	3.8	3.9	3.5	3.7
40歳~49歳	1,350	1,219	1,399	1,420	1,413	1,531	1,344	1,314	1,394	1,230	1,137	1,431	16,182
(%)	7.7	7.9	7.7	8.0	7.9	8.5	7.5	7.5	7.7	7.5	7.4	7.5	7.7
50歳~59歳	2,038	1,880	2,235	2,123	2,097	2,187	2,168	2,190	2,263	2,121	2,046	2,335	25,683
(%)	11.6	12.1	12.3	12.0	11.8	12.1	12.1	12.5	12.5	12.9	13.4	12.3	12.3
60歳~64歳	1,397	1,164	1,376	1,434	1,387	1,402	1,394	1,276	1,336	1,220	1,129	1,366	15,881
(%)	8.0	7.5	7.6	8.1	7.8	7.8	7.8	7.3	7.4	7.4	7.4	7.2	7.6
65歳~69歳	1,805	1,637	1,976	1,865	1,819	1,921	1,903	1,948	2,025	1,804	1,624	1,984	22,311
(%)	10.3	10.6	10.9	10.5	10.2	10.6	10.6	11.1	11.2	10.9	10.6	10.5	10.7
70歳~79歳	5,656	4,871	5,668	5,381	5,580	5,463	5,577	5,551	5,468	4,904	4,767	5,870	64,756
(%)	32.2	31.4	31.2	30.3	31.3	30.2	31.1	31.7	30.3	29.7	31.2	31.0	31.0
80歳~	3,872	3,461	4,013	3,957	3,816	4,012	4,164	3,832	4,097	3,764	3,333	4,399	46,720
(%)	22.1	22.3	22.1	22.3	21.4	22.2	23.2	21.9	22.7	22.8	21.8	23.2	22.3
合　計	17,553	15,510	18,159	17,758	17,805	18,066	17,919	17,517	18,071	16,494	15,300	18,958	209,110
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
前年度2020年度	16,108	13,940	16,801	17,886	16,336	17,332	18,297	15,982	17,656	16,273	14,153	18,788	199,552

＊ドックは含まれていません。

（9）科別月別入院退院患者数

（単位：人）

科別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
内科	77	78	96	87	75	67	85	73	74	91	82	78	59	58
血液内科	10	10	10	5	12	13	10	11	8	10	14	15	3	9
腎臓代謝内科	67	68	86	82	61	54	74	62	65	80	67	63	54	49
神経内科	7	11	4	4	8	8	10	4	8	4	2	7	7	4
呼吸器内科	79	67	69	64	78	92	76	65	102	91	75	87	55	51
消化器内科	130	116	96	90	102	97	101	100	102	94	124	109	111	118
循環器内科	106	114	104	95	110	112	97	96	94	85	94	91	108	106
小児科	1	1	3	2	1	2	1	1	2	2	0	0	0	0
外科	42	55	46	44	57	64	41	48	50	46	39	44	57	58
呼吸器外科	29	24	25	26	20	25	29	29	33	31	31	28	25	31
整形外科	61	57	56	46	43	47	55	49	64	59	57	42	68	57
脳神経外科	32	30	34	32	49	32	37	30	35	37	30	32	45	36
心臓血管外科	31	33	25	23	27	26	24	24	24	25	26	26	20	25
泌尿器科	6	4	8	8	12	11	5	8	15	16	21	15	16	16
産婦人科	1	1	1	1	4	4	1	1	2	2	0	0	0	0
眼科	22	23	23	22	37	38	30	30	45	40	42	40	47	53
耳鼻咽喉科	10	9	11	8	13	12	13	14	16	14	12	11	9	8
リウマチ膠原病内科	3	7	5	5	9	6	4	7	6	5	3	4	6	2
歯科口腔外科	16	16	18	18	12	12	15	15	18	18	13	12	19	20
合計	653	646	624	575	657	655	624	594	690	660	651	626	652	643
医療R2	2	11	2	13	2	10	2	18	3	15	4	17	4	13
回リハR3	4	16	10	18	7	18	4	22	10	23	2	11	2	24
合計	6	27	12	31	9	28	6	40	13	38	6	28	6	37
総合計	659	673	636	606	666	683	630	634	703	698	657	654	658	680

科別	11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
内科	63	53	57	66	64	57	57	57	72	61	861	826
血液内科	7	6	5	11	6	4	5	9	9	3	99	106
腎臓代謝内科	55	46	52	55	57	53	52	47	62	58	752	717
神経内科	10	8	4	6	9	7	6	7	8	6	83	76
呼吸器内科	32	37	58	55	93	69	84	87	55	67	856	832
消化器内科	101	89	103	111	123	102	98	84	111	110	1,302	1,220
循環器内科	118	109	131	126	113	105	90	96	99	86	1,264	1,221
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8
外科	43	52	42	50	51	39	44	54	43	45	555	599
呼吸器外科	23	26	23	26	35	29	31	30	36	36	340	341
整形外科	76	52	63	75	64	43	54	61	52	41	713	629
脳神経外科	41	35	43	40	40	33	27	22	40	32	453	391
心臓血管外科	22	15	17	24	20	14	20	19	30	29	286	283
泌尿器科	17	19	18	20	14	15	10	10	19	16	161	158
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	11	11
眼科	49	41	38	47	52	50	33	35	51	43	469	462
耳鼻咽喉科	13	10	7	11	14	12	8	6	12	9	138	124
リウマチ膠原病内科	2	4	6	8	2	3	1	3	5	5	52	59
歯科口腔外科	14	14	18	19	19	17	15	17	22	20	199	198
合計	624	564	628	684	713	595	578	588	657	608	7,751	7,438
医療R2	2	15	2	16	3	15	2	12	3	18	31	173
回リハR3	5	14	6	24	5	19	3	16	8	24	66	229
合計	7	29	8	40	8	34	5	28	11	42	97	402
総合計	631	593	636	724	721	629	583	616	668	650	7,848	7,840

（10）科別月別入院患者数

（単位：人）

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
診療日数	30		31		30		31		31		30		31	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	897	29.9	1,120	36.1	960	32.0	1,100	35.5	870	28.1	856	28.5	743	24.0
血液内科	155	5.2	179	5.8	203	6.8	255	8.2	197	6.4	319	10.6	243	7.8
腎臓代謝内科	742	24.7	941	30.4	755	25.2	823	26.5	648	20.9	536	17.9	498	16.1
神経内科	117	3.9	58	1.9	122	4.1	115	3.7	173	5.6	90	3.0	108	3.5
呼吸器内科	827	27.6	960	31.0	851	28.4	652	21.0	1,055	34.0	980	32.7	625	20.2
消化器内科	953	31.8	828	26.7	865	28.8	908	29.3	928	29.9	984	32.8	1,107	35.7
循環器内科	1,030	34.3	922	29.7	955	31.8	705	22.7	865	27.9	805	26.8	782	25.2
小児科	2	0.1	14	0.5	3	0.1	4	0.1	3	0.1	0	0	0	0
外科	602	20.1	605	19.5	630	21.0	598	19.3	527	17.0	452	15.1	597	19.3
呼吸器外科	204	6.8	269	8.7	195	6.5	190	6.1	335	10.8	338	11.3	255	8.2
整形外科	1,271	42.4	1,044	33.7	1,069	35.6	1,127	36.4	1,149	37.1	1,163	38.8	1,365	44.0
脳神経外科	704	23.5	724	23.4	974	32.5	980	31.6	887	28.6	729	24.3	781	25.2
心臓血管外科	290	9.7	287	9.3	313	10.4	272	8.8	284	9.2	294	9.8	217	7.0
泌尿器科	55	1.8	98	3.2	78	2.6	74	2.4	80	2.6	144	4.8	112	3.6
産婦人科	5	0.2	5	0.2	2	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	21	0.7	20	0.6	56	1.9	38	1.2	47	1.5	38	1.3	48	1.5
耳鼻咽喉科	70	2.3	128	4.1	93	3.1	132	4.3	156	5.0	67	2.2	75	2.4
リウマチ膠原病内科	154	5.1	135	4.4	242	8.1	173	5.6	169	5.5	148	4.9	186	6.0
歯科口腔外科	20	0.7	46	1.5	24	0.8	27	0.9	37	1.2	28	0.9	28	0.9
合計	7,222	240.7	7,263	234.3	7,432	247.7	7,095	228.9	7,565	244.0	7,116	237.2	7,029	226.7
医療R2	785	26.2	760	24.5	834	27.8	783	25.3	767	24.7	786	26.2	766	24.7
回リハR3	1,092	36.4	1,064	34.3	1,139	38.0	1,150	37.1	1,034	33.4	899	30.0	990	31.9
合計	1,877	62.6	1,824	58.8	1,973	65.8	1,933	62.4	1,801	58.1	1,685	56.2	1,756	56.6
総合計	9,099	303.3	9,087	293.1	9,405	313.5	9,028	291.2	9,366	302.1	8,801	293.4	8,785	283.4

月	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	30		31		31		28		31		365		90	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	704	23.5	677	21.8	782	25.2	772	27.6	891	28.7	10,372	28.4	2,445	27.2
血液内科	178	5.9	119	3.8	110	3.5	133	4.8	155	5.0	2,246	6.2	398	4.4
腎臓代謝内科	525	17.5	558	18.0	671	21.6	639	22.8	735	23.7	8,071	22.1	2,045	22.7
神経内科	178	5.9	140	4.5	153	4.9	104	3.7	191	6.2	1,549	4.2	448	5.0
呼吸器内科	490	16.3	452	14.6	945	30.5	996	35.6	898	29.0	9,731	26.7	2,839	31.5
消化器内科	920	30.7	861	27.8	991	32.0	959	34.3	1,094	35.3	11,398	31.2	3,044	33.8
循環器内科	850	28.3	1,043	33.6	1,202	38.8	927	33.1	893	28.8	10,979	30.1	3,022	33.6
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0.1	0	0
外科	469	15.6	449	14.5	501	16.2	590	21.1	436	14.1	6,456	17.7	1,527	17.0
呼吸器外科	276	9.2	182	5.9	330	10.6	355	12.7	320	10.3	3,249	8.9	1,005	11.2
整形外科	1,412	47.1	1,416	45.7	1,179	38.0	1,133	40.5	1,148	37.0	14,476	39.7	3,460	38.4
脳神経外科	813	27.1	636	20.5	671	21.6	685	24.5	711	22.9	9,295	25.5	2,067	23.0
心臓血管外科	190	6.3	197	6.4	142	4.6	148	5.3	239	7.7	2,873	7.9	529	5.9
泌尿器科	137	4.6	156	5.0	79	2.5	71	2.5	126	4.1	1,210	3.3	276	3.1
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.1	16	0	4	0
眼科	81	2.7	77	2.5	73	2.4	46	1.6	91	2.9	636	1.7	210	2.3
耳鼻咽喉科	111	3.7	50	1.6	104	3.4	63	2.3	81	2.6	1,130	3.1	248	2.8
リウマチ膠原病内科	179	6.0	171	5.5	177	5.7	162	5.8	138	4.5	2,034	5.6	477	5.3
歯科口腔外科	39	1.3	49	1.6	29	0.9	27	1.0	38	1.2	392	1.1	94	1.0
合計	6,849	228.3	6,556	211.5	7,358	237.4	7,038	251.4	7,299	235.5	85,822	235.1	21,695	241.1
医療R2	849	28.3	870	28.1	820	26.5	800	28.6	811	26.2	9,631	26.4	2,431	27.0
回リハR3	1,192	39.7	1,263	40.7	1,216	39.2	1,054	37.6	1,180	38.1	13,273	36.4	3,450	38.3
合計	2,041	68.0	2,133	68.8	2,036	65.7	1,854	66.2	1,991	64.2	22,904	62.8	5,881	65.3
総合計	8,890	296.3	8,689	280.3	9,394	303.0	8,892	317.6	9,290	299.7	108,726	297.9	27,576	306.4

（11）科別月別外来患者数

（単位：人）

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
診療日数	21		18		22		20		21		20		21	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	3,880	184.8	3,604	200.2	3,910	177.7	3,872	193.6	3,909	186.1	3,876	193.8	3,680	175.2
血液内科	239	11.4	212	11.8	233	10.6	226	11.3	238	11.3	246	12.3	237	11.3
腎臓代謝内科	1,697	80.8	1,444	80.2	1,681	76.4	1,571	78.6	1,545	73.6	1,531	76.6	1,572	74.9
透析内科	1,422	67.7	1,405	78.1	1,472	66.9	1,559	78.0	1,483	70.6	1,441	72.1	1,422	67.7
心療内科	30	1.4	34	1.9	26	1.2	33	1.7	31	1.5	38	1.9	29	1.4
神経内科	356	17.0	321	17.8	387	17.6	420	21.0	407	19.4	403	20.2	398	19.0
呼吸器内科	937	44.6	796	44.2	1,013	46.0	955	47.8	905	43.1	965	48.3	959	45.7
消化器内科	1,194	56.9	977	54.3	1,319	60.0	1,292	64.6	1,281	61.0	1,347	67.4	1,470	70.0
循環器内科	1,983	94.4	1,654	91.9	2,062	93.7	1,859	93.0	1,979	94.2	1,925	96.3	1,951	92.9
小児科	147	7.0	108	6.0	155	7.0	162	8.1	156	7.4	127	6.4	126	6.0
外科	936	44.6	855	47.5	913	41.5	954	47.7	990	47.1	1,009	50.5	940	44.8
呼吸器外科	309	14.7	265	14.7	315	14.3	276	13.8	270	12.9	333	16.7	310	14.8
整形外科	2,413	114.9	2,134	118.6	2,346	106.6	2,437	121.9	2,363	112.5	2,367	118.4	2,446	116.5
形成外科	107	5.1	140	7.8	120	5.5	127	6.4	87	4.1	125	6.3	147	7.0
脳神経外科	412	19.6	326	18.1	393	17.9	392	19.6	392	18.7	371	18.6	383	18.2
心臓血管外科	392	43.6	286	40.9	348	38.7	343	42.9	244	27.1	329	41.1	340	37.8
皮膚科	154	7.3	139	7.7	161	7.3	180	9.0	210	10.0	200	10.0	166	7.9
泌尿器科	209	10.0	223	12.4	265	12.0	287	14.4	389	18.5	374	18.7	349	16.6
産婦人科	546	26.0	499	27.7	610	27.7	554	27.7	498	23.7	651	32.6	608	29.0
眼科	669	31.9	621	34.5	722	32.8	730	36.5	733	34.9	811	40.6	759	36.1
耳鼻咽喉科	871	41.5	816	45.3	954	43.4	831	41.6	920	43.8	864	43.2	851	40.5
放射線診断科	162	7.7	171	9.5	176	8.0	176	8.8	168	8.0	174	8.7	196	9.3
麻酔・ペイン	2	0.5	4	1.0	3	0.8	2	0.5	4	1.0	4	1.3	2	0.5
リウマチ膠原病内科	648	30.9	594	33.0	708	32.2	645	32.3	616	29.3	674	33.7	670	31.9
放射線治療科	411	19.6	294	16.3	459	20.9	529	26.5	511	24.3	366	18.3	427	20.3
歯科口腔外科	815	38.8	683	37.9	820	37.3	735	36.8	773	36.8	771	38.6	741	35.3
合計	17,553	835.9	15,510	861.7	18,159	825.4	17,758	887.9	17,805	847.9	18,066	903.3	17,919	853.3
ヘルスケア研究センター	246	11.7	273	15.2	489	22.2	558	27.9	445	21.2	473	23.7	555	26.4
総合計	17,799	847.6	15,783	876.8	18,648	847.6	18,316	915.8	18,250	869.0	18,539	927.0	18,474	879.7

月	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	20		20		19		18		22		242		59	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	3,529	176.5	3,874	193.7	3,793	199.6	3,489	193.8	4,123	187.4	45,539	188.2	11,405	193.3
血液内科	229	11.5	262	13.1	217	11.4	236	13.1	1,744	79.3	4,319	17.8	2,197	37.2
腎臓代謝内科	1,516	75.8	1,725	86.3	1,446	76.1	1,354	75.2	233	10.6	17,315	71.5	3,033	51.4
透析内科	1,428	71.4	1,491	74.6	1,448	76.2	1,296	72.0	1,493	67.9	17,360	71.7	4,237	71.8
心療内科	29	1.5	32	1.6	24	1.3	31	1.7	38	1.7	375	1.5	93	1.6
神経内科	419	21.0	383	19.2	348	18.3	337	18.7	414	18.8	4,593	19.0	1,099	18.6
呼吸器内科	889	44.5	953	47.7	836	44.0	813	45.2	1,016	46.2	11,037	45.6	2,665	45.2
消化器内科	1,470	73.5	1,454	72.7	1,271	66.9	1,152	64.0	1,384	62.9	15,611	64.5	3,807	64.5
循環器内科	1,893	94.7	2,102	105.1	1,825	96.1	1,680	93.3	2,059	93.6	22,972	94.9	5,564	94.3
小児科	126	6.3	159	8.0	108	5.7	103	5.7	151	6.9	1,628	6.7	362	6.1
外科	968	48.4	974	48.7	934	49.2	794	44.1	1,053	47.9	11,320	46.8	2,781	47.1
呼吸器外科	319	16.0	332	16.6	287	15.1	249	13.8	345	15.7	3,610	14.9	881	14.9
整形外科	2,419	121.0	2,337	116.9	2,238	117.8	2,051	113.9	2,610	118.6	28,161	116.4	6,899	116.9
形成外科	85	4.3	66	3.3	45	2.4	44	2.4	59	2.7	1,152	4.8	148	2.5
脳神経外科	425	21.3	419	21.0	362	19.1	320	17.8	408	18.5	4,603	19.0	1,090	18.5
心臓血管外科	299	37.4	291	36.4	262	32.8	237	33.9	339	37.7	3,710	37.5	838	36.4
皮膚科	152	7.6	174	8.7	145	7.6	143	7.9	178	8.1	2,002	8.3	466	7.9
泌尿器科	388	19.4	414	20.7	364	19.2	378	63.0	429	47.7	4,069	16.8	1,171	19.8
産婦人科	587	29.4	623	31.2	449	23.6	404	22.4	560	25.5	6,589	27.2	1,413	23.9
眼科	730	36.5	730	36.5	740	38.9	642	35.7	779	35.4	8,666	35.8	2,161	36.6
耳鼻咽喉科	919	46.0	914	45.7	796	41.9	783	43.5	982	44.6	10,501	43.4	2,561	43.4
放射線診断科	152	7.6	145	7.3	125	6.6	127	7.1	157	7.1	1,929	8.0	409	6.9
麻酔・ペイン	4	0.8	3	0.8	2	0.7	2	0.5	4	0.8	36	0.8	8	0.8
リウマチ膠原病内科	597	29.9	649	32.5	599	31.5	539	29.9	733	33.3	7,672	31.7	1,871	31.7
放射線治療科	360	18.0	335	16.8	309	16.3	407	22.6	444	20.2	4,852	20.0	1,160	19.7
歯科口腔外科	787	39.4	740	37.0	656	34.5	606	33.7	731	33.2	8,858	36.6	1,993	33.8
合計	17,517	875.9	18,071	903.6	16,494	868.1	15,300	850.0	18,958	861.7	209,110	864.1	50,752	860.2
ヘルスケア研究センター	545	27.3	385	19.3	357	18.8	348	19.3	349	15.9	5,023	20.8	1,054	17.9
総合計	18,062	903.1	18,456	922.8	16,851	886.9	15,648	869.3	19,307	877.6	214,133	884.8	51,806	878.1

（12）救急患者数

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救急外来受診者数	時間内	251	183	288	241	295	253	265	252	253	352	295	287	3,215
	時間外	447	561	489	697	669	549	493	499	532	610	478	331	6,355
	総数	698	744	777	938	964	802	758	751	785	962	773	618	9,570
救急車搬入数	時間内	84	56	84	70	82	73	78	81	88	81	98	83	958
	時間外	116	140	127	158	148	121	124	122	156	179	129	103	1,623
	総数	200	196	211	228	230	194	202	203	244	260	227	186	2,581
救急室から入院数	時間内	109	82	93	75	100	102	96	77	101	136	95	114	1,180
	時間外	115	136	108	126	150	117	116	100	126	146	121	101	1,462
	総数	224	218	201	201	250	219	212	177	227	282	216	215	2,642

（13）救急車利用状況（病院救急車による患者搬送状況）

搬送数	件数	搬送エリア			診療科																				時間外送搬件数		患者費用負担件数
		長浜市内	滋賀県内	滋賀県外	外科	脳外	整形	呼吸内	神内	消器内	泌尿器	眼科	心外	内科	腎内	循環内	血内	リウマチ	小児科(NICU)	産婦	耳鼻	救急	精神	時外	休日	
4月	3	2	1						1	1			1													
5月	1	1											1													
6月	5	2	3							1			3	1												
7月	0																									
8月	2	1	1										2													
9月	1		1										1													
10月	3	1	2				1						2													
11月	2	2														1							1			
12月	2		2										1			1										
1月	1	1													1											
2月	0																									
3月	1		1										1													
計	21	10	11	0	0	0	1	0	1	2	0	0	12	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

（搬送先医療機関）

長浜市内・・・長浜市立湖北病院・長浜赤十字病院

滋賀県内・・・滋賀医科大学医学部附属病院・草津総合病院・彦根市立病院・彦根中央病院

2．ICU・CCU 業務状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総数
延稼働床		175	137	192	169	191	168	174	173	189	217	197	200	2182
入院		13	12	16	15	9	20	16	21	29	24	19	19	213
転入		32	35	38	38	32	45	31	45	32	29	32	45	434
退院		2	3	2	4	3	4	2	6	4	3	3	5	41
転出		43	40	50	51	46	62	49	54	59	48	49	58	609
平均患者数		5.8	4.5	6.4	5.5	6.2	5.6	5.6	5.7	6.1	7.0	7.0	6.5	6.0
在室日数		3.8	2.7	3.0	2.7	3.4	2.3	2.8	2.8	3.0	4.2	3.8	3.1	3.1
占床率		72.5	55.7	79.6	68.6	77.0	70.0	70.6	72.1	76.2	87.5	87.9	74.8	74.4
稼動率		562.5	587.5	687.5	712.5	487.5	825.0	600.0	800.0	762.5	662.5	637.5	800.0	677.1
科名	入院内訳													
心臓血管外科	入室患者数	10	9	7	7	8	11	8	10	7	5	8	12	102
	延患者数	72	51	69	61	91	56	47	56	46	56	30	48	683
循環器内科	入室患者数	18	12	19	16	16	21	15	15	24	26	14	22	218
	延患者数	57	28	40	27	39	42	33	25	67	105	96	68	627
脳神経外科	入室患者数	7	9	10	6	5	4	11	11	6	7	5	9	90
	延患者数	30	28	37	17	30	16	54	32	6	12	11	15	288
呼吸器外科	入室患者数	3	2	3	8	4	8	2	5	4	2	1	4	46
	延患者数	3	2	3	9	5	8	2	5	4	3	2	10	56
呼吸器内科	入室患者数	2	1	0	3	0	0	0	0	1	2	5	2	16
	延患者数	2	4	0	10	12	0	0	0	1	6	23	33	91
腎臓代謝内科	入室患者数	0	4	3	3	1	4	1	6	3	3	2	3	33
	延患者数	0	9	8	20	1	11	0	13	21	11	18	11	123
整形外科	入室患者数	1	1	2	2	1	3	2	0	3	2	2	3	22
	延患者数	1	1	18	6	3	3	14	0	8	1	1	5	61
外科	入室患者数	3	7	10	11	7	15	11	14	8	9	10	9	114
	延患者数	9	9	17	18	10	32	25	34	28	15	13	8	218
消化器内科	入室患者数	1	1	0	0	0	1	0	4	5	1	2	1	16
	延患者数	1	3	0	0	0	1	0	8	7	8	2	1	31
泌尿器科	入室患者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	延患者数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
耳鼻咽喉科	入室患者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	延患者数	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
予定術後		15	21	18	23	21	26	20	23	19	12	22	24	244
緊急手術		5	2	7	6	5	12	6	10	8	5	1	3	70
入院		13	12	16	15	9	19	16	20	26	20	18	16	200
転入		32	35	38	38	32	45	31	37	27	28	36	38	417
緊急入室		5	6	3	2	3	5	0	11	6	8	0	7	56
心カテ総数		13	10	16	15	11	16	13	13	20	18	10	14	169
緊急カテ数		3	2	4	5	3	5	2	3	8	10	4	5	54
予定カテ数		13	9	14	11	8	12	13	11	12	9	6	12	130
必要度の割合		94.3%	89.1%	90.6%	87.0%	96.3%	95.8%	80.5%	86.5%	89.9%	89.4%	97.0%	95.0%	92.2%
加算対象者数	総数	124	132	154	121	137	169	174	169	182	183	153	190	1888
	7日以内	116	120	120	111	121	154	153	151	140	154	118	163	1621
	8～14日	26	15	34	10	16	15	21	18	42	29	35	27	288
早期リハビリ算定者数														
重症受け入れ困難	回数	0	0	0	0									
	総時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22:00	15:45	7:50	45:15:00

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総数
予定術後入室		28	29	33	34	33	36	31	33	26	21	30	38	372
心外科		7	8	5	4	7	6	7	4	4	2	8	7	69
脳外科		3	5	5	3	3	2	2	5	2	10	3	4	47
循環器内科		12	6	13	10	11	13	10	8	8	1	6	12	110
呼吸器外科		3	2	3	8	2	7	2	5	4	2	0	3	41
整形外科		1	1	1	1	2	2	1	0	1	6	2	3	21
外科		1	7	6	8	8	6	9	11	7	0	11	8	82
泌尿科		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
緊急入室		5	6	4	4	4	9	2	11	6	9	2	8	70
心外科		0	1	0	0	1	0	0	2	0	2	0	2	8
脳外科		1	2	1	0	2	0	0	1	1	4	0	0	12
循環器内科		4	3	1	1	1	2	0	3	2	0	2	2	21
腎臓代謝内科		0	0	1	1	0	1	0	2	1	0	0	2	8
外科		0	0	1	0	0	5	2	1	0	2	0	0	11
呼吸器内科		0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	4
その他		0	0	0	1	0	1	0	2	2		0	0	6
入院		13	12	16	15	9	19	16	16	16	16	16	15	179
心外科		2	0	3	2	2	4	1	4	3	3	1	3	28
脳外科		3	4	3	1	1	2	8	6	3	12	1	2	46
循環器内科		3	2	6	5	5	6	4	3	9	3	6	7	59
腎臓代謝内科		0	4	2	2	1	3	1	3	2	0	2	1	21
呼吸器内科		2	1	0	2	0	0	0	0	1	2	6	0	14
外科		2	0	2	3	0	3	1	2	2	0	0	0	15
その他		1	1	0	0	0	1	1	2	7		0	2	15
緊急手術件数		3	1	6	7	5	12	5	10	8	5	1	3	66
心外科		2	0	0	1	4	2	2	4	2	1	1	1	20
脳外科		0	1	1	2	1	1	2	4	2	4	0	1	19
外科		1	0	4	2	0	7	1	2	2	0	0	1	20
整形外科		0	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	5
その他		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
特殊治療														
CHDF		1	5	6	3	1	4	3	4	5	9	3	5	49
CHDF延日数		10	5	29	26	9	12	11	8	36	57	40	34	277
IHDF		0	13	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	17
IHDF延日数		0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	9	0	14
HD		3	1	1	3	3	6	5	8	5	3	0	1	39
HD延日数		10	6	4	9	10	12	15	15	13	16	2	1	113
血漿交換		0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
血漿交換延日数		0	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0	0	8
PMX		0	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	6
PMX延日数		0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	5
IABP		2	1	1	2	2	1	3	0	6	2	3	1	24
IABP延日数		16	1	7	6	16	2	12	0	16	15	9	1	101
PCPS		3	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	11
PCPS延日数		12	1	6	0	8	0	6	0	1	6	2	1	43
体外式ペースメーカ		4	0	3	3	4	4	5	2	3	4	3	4	39
体外式ペースメーカ延日数		30	0	37	41	35	5	18	2	15	19	9	22	233
低体温療法		0	16	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	18
低体温療法延日数		0	3	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	8
人工呼吸器		16	3	7	8	11	7	7	8	7	6	8	3	91
人工呼吸器延日数		52	6	63	57	85	23	25	20	34	67	65	11	508
NPPV		3	2	6	4	7	12	6	6	9	14	9	12	90
NPPV延日数		7	0	20	15	26	20	12	10	11	22	22	30	195
NHF		4	2	4	2	5	9	0	5	2	1	3	4	41
NHF延日数		14	0	19	15	30	22	0	15	10	1	6	19	151
NO療法		2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
NO療法延日数		12	0	30	31	31	1	0	0	0	0	0	0	105

3．手術業務状況

（1）各科別手術実施件数（中央手術室実施分）

（単位：上段　件／下段　%）

前年度比		外科		眼科		形成外科		呼吸器外科		産婦人科		歯科口腔外科		耳鼻咽喉科		心臓血管外科		整形外科		脳神経外科		泌尿器科		総数	
		2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
4月	件数	42	36	71	67	1	6	10	8	16	0	36	26	10	10	16	31	65	76	8	7	0	3	275	270
	前年比	86%		94%		600%		80%		0%		72%		100%		194%		117%		88%		0%		98%	
5月	件数	27	32	84	64	2	6	4	8	15	0	1	21	4	5	14	16	50	61	7	9	0	4	208	226
	前年比	119%		76%		300%		200%		0%		2100%		125%		114%		122%		129%		0%		109%	
6月	件数	33	38	68	90	6	2	7	9	17	0	11	17	6	13	23	25	57	62	9	11	0	8	237	275
	前年比	115%		132%		33%		129%		0%		155%		217%		109%		109%		122%		0%		116%	
7月	件数	34	35	69	80	3	1	9	12	15	0	32	23	12	14	21	22	91	66	9	10	0	1	295	264
	前年比	103%		116%		33%		133%		0%		72%		117%		105%		73%		111%		0%		89%	
8月	件数	47	39	75	96	6	1	14	10	17	0	42	28	15	13	20	21	63	68	8	11	0	11	307	298
	前年比	83%		128%		17%		71%		0%		67%		87%		105%		108%		138%		0%		97%	
9月	件数	39	41	44	82	7	3	15	12	21	0	44	24	9	8	28	19	77	68	9	8	0	12	293	277
	前年比	105%		186%		43%		80%		0%		55%		89%		68%		88%		89%		0%		95%	
10月	件数	46	35	97	94	11	5	14	11	22	0	42	26	10	6	27	23	78	86	10	9	0	7	357	302
	前年比	76%		97%		45%		79%		0%		62%		60%		85%		110%		90%		0%		85%	
11月	件数	31	39	67	83	3	5	8	13	23	0	29	20	13	10	25	20	75	92	13	3	0	14	287	309
	前年比	126%		124%		167%		163%		0%		69%		77%		80%		123%		10%		0%		108%	
12月	件数	39	31	56	77	3	3	10	12	19	0	30	22	5	7	29	19	68	81	7	12	0	11	266	275
	前年比	79%		138%		100%		120%		0%		73%		140%		66%		119%		171%		0%		103%	
1月	件数	36	35	72	111	2	3	9	11	22	0	27	21	13	15	16	14	78	86	7	12	0	9	282	317
	前年比	97%		154%		150%		122%		0%		78%		115%		88%		110%		171%		0%		112%	
2月	件数	28	37	53	62	8	3	14	7	14	0	29	19	12	12	16	24	60	76	3	8	0	6	237	254
	前年比	132%		117%		38%		50%		0%		66%		100%		150%		127%		267%		0%		107%	
3月	件数	40	32	72	104	8	2	6	12	5	0	32	23	10	12	29	24	83	73	12	12	0	10	297	304
	前年比	80%		144%		25%		200%		0%		72%		120%		83%		88%		100%		0%		102%	
合計	件数	442	430	828	1010	60	40	12	125	206	0	355	270	119	125	264	258	845	895	102	122	0	96	3341	3371
	前年比	97%		122%		67%		104%		0%		76%		105%		98%		106%		120%		120%		101%	

（2）外来手術件数（入院中外来は含まない）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	11	10	12	14	13	13	5	12	20	10	12	11	143
整形外科	20	13	22	24	19	12	26	29	26	32	29	25	277
産婦人科	6	4	1	3	2	2	1	2	2	2	2	2	29
耳鼻咽喉科	11	6	7	5	4	5	4	3	8	3	9	6	71
泌尿器科	2	1	1	7	5	6	6	2	6	6	11	5	58
眼科	11	23	23	19	24	30	21	23	8	11	9	7	209
脳神経外科	12	8	11	10	8	12	12	17	5	9	8	4	116
歯科口腔外科	57	57	84	72	82	70	92	103	82	56	62	82	899
呼吸器外科	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
形成外科	20	23	11	24	13	17	23	18	6	10	4	6	175
心臓血管外科	3	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	9
皮膚科	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	6
その他	34	39	53	53	53	47	55	56	63	49	50	49	601
計	188	186	225	232	225	217	245	267	227	189	197	198	2,596

（3）その他内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
神経内科	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4
呼吸器内科	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
循環器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
消化器科	33	39	51	51	51	47	55	55	62	47	49	48	588
血液内科	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
リウマチ科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計	34	39	53	53	53	47	55	56	63	49	50	49	601

4．ヘルスケア研究センター利用状況

1．稼動日数　　半日コース（健診・日帰りドック）　242 日（月～金曜日）
　　宿泊ドック　　190 日（月～木曜日）

2．受診者人数

（1）月　別

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般健診(協会)	79	144	226	227	142	184	199	177	89	89	69	41	1,666
一般健診	1	6	14	27	16	24	30	28	21	8	8	5	188
子宮がん健診(協会)		3	7	5		4	4	1				1	25
日帰りドック	44	49	107	138	160	134	147	162	128	134	133	189	1,525
1泊ドック	3	1	1	1	1				2	1	1	2	13
脳ドック			1	1	2	1	2	2	3		1	1	14
1泊+脳ドック	1	1		6	6	4	6	4	2	3	2	1	36
石綿･じん肺	9		12		7	1	11		11	1	6		58
航空身体検査					2	1	2	1		1		1	8
企業健診	42	25	24	22	23	22	16	22	13	30	43	47	329
市町健診	55	41	93	121	69	86	118	139	105	82	77	47	1,033
特定保健指導	8	2	1	2	9	6	12	4	2	6	3	9	64
その他の健診									1				1
合　　計	242	272	486	550	437	467	547	540	377	355	343	344	4,960

（2）男女別受診者数・件数・要精密検査者数

		男性	女性	合計
一般健診（協会）	人数	782	884	1,666
	要精密検査者数	500	522	1,022
	精密検査受診者数	66	104	170
一般健診	人数	43	134	177
	要精密検査者数	27	78	105
	精密検査受診者数	1	16	17
日帰りドック	人数	993	532	1,525
	要精密検査者数	754	420	1,174
	精密検査受診者数	147	94	241
1泊人間ドック	人数	10	3	13
	要精密検査者数	7	3	10
	精密検査受診者数	1	1	2
脳ドック	人数	8	6	14
	要精密検査者数	3	3	6
	精密検査受診者数	0	1	1
1泊+脳ドック	人数	29	7	36
	要精密検査者数	25	7	32
	精密検査受診者数	6	3	9
子宮がん検診(協会)	人数		25	25
	要精密検査者数		0	0
	精密検査受診者数		0	0
特定保健指導	人数	37	27	64
	件数	116	69	185

※航空身体検査、石綿健診、企業健診は判定から除外

３．二次検査受診状況（当院での二次検査について）

(1) 二次検査対象者　2,368 人／健診センター受診者　3,598 人

└→ドック・健診・オプション検査で精密検査を要する (判定 4.5 の) 方

(2) 受診科別人数

受診科		男性	女性	合計
外科	二次検診対象者数	0	102	102
	内　受診者数	0	71	71
	受診率	－	69.6%	69.6%
耳鼻咽喉科	二次検診対象者数	277	69	346
	内　受診者数	12	5	17
	受診率	4.3%	7.2%	4.9%
産婦人科	二次検診対象者数	0	64	64
	内　受診者数	0	25	25
	受診率	－	39.1%	39.1%
眼科	二次検診対象者数	533	426	959
	内　受診者数	26	5	31
	受診率	4.9%	1.2%	3.2%
泌尿器科	二次検診対象者数	140	283	423
	内　受診者数	24	26	50
	受診率	17.1%	9.2%	11.8%
脳神経外科	二次検診対象者数	9	16	25
	内　受診者数	2	9	11
	受診率	22.2%	56.3%	44.0%
呼吸器科	二次検診対象者数	111	38	149
	内　受診者数	36	13	49
	受診率	32.4%	34.2%	32.9%
循環器科	二次検診対象者数	159	110	269
	内　受診者数	18	16	34
	受診率	11.3%	14.5%	12.6%
消化器科	二次検診対象者数	626	305	931
	内　受診者数	148	77	225
	受診率	23.6%	25.2%	24.2%
腎臓内科	二次検診対象者数	30	4	34
	内　受診者数	4	1	5
	受診率	13.3%	25.0%	14.7%
代謝内科	二次検診対象者数	206	119	325
	内　受診者数	4	5	9
	受診率	1.9%	4.2%	2.8%
血液内科	二次検診対象者数	106	131	237
	内　受診者数	2	2	4
	受診率	1.9%	1.5%	1.7%
整形外科	二次検診対象者数	4	30	34
	内　受診者数	0	2	2
	受診率	0%	6.7%	5.9%
リウマチ科	二次検診対象者数	0	2	2
	内　受診者数	0	1	1
	受診率	－	50%	50%

４．市町村健診（検診）受診者数

		男性	女性	合計
乳がん検診	人数	-	491	491
	要精密検査者数	-	62	62
	精密検査受診者数（率）	-	58(93.5%)	58(93.5%)
子宮頚がん検診	人数	-	170	170
	要精密検査者数	-	4	4
	精密検査受診者数（率）	-	4(100%)	4(100%)
大腸がん検診	人数	35	94	129
	要精密検査者数	2	9	11
	精密検査受診者数（率）	2(100%)	5(55.6%)	7(63.6%)
骨粗しょう症検診	人数	-	111	111
	要精密検査者数	-	28	28
	精密検査受診者数（率）	-	18(64.3%)	18(64.3%)
肺がん検診	人数	26	28	54
	要精密検査者数	0	1	1
	精密検査受診者数（率）	-	1(100%)	1(100%)
胃がん検診（バリウム法）	人数	21	17	38
	要精密検査者数	6	1	7
	精密検査受診者数（率）	6(100%)	1(100%)	7(100%)
肝炎ウイルス検査	人数	15	71	86
	要精密検査者数	0	1	1
	精密検査受診者数（率）	0	1(100%)	1(100%)
生活習慣病健診	人数	3	12	15
特定健診（治療中患者含む）	人数	109	141	250
後期高齢者健診	人数	9	7	16
合計件数		218	1,142	1,360

5．中央材料室業務状況

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
滅菌回数		蒸気滅菌（回）	146	142	168	155	163	155	172	172	163	158	159	179
		手術器械（台）	91	89	107	104	106	97	113	114	103	107	105	112
		カート（台）	44	39	44	41	44	42	48	43	41	39	39	46
		プリオン対策（台）	11	11	17	10	13	16	11	17	19	15	15	21
		ガス滅菌（回）	27	23	28	26	27	32	26	29	31	27	27	34
		中央手術室（回）	13	11.5	14.5	21.2	16.1	14.1	13.6	14.6	14.7	12.3	10.7	19.1
		中央材料室（回）	14	11.5	13.5	10.8	10.9	17.9	12.4	14.4	16.3	14.7	16.3	14.9
		プラズマ滅菌（回）	33	25	31	30	32	32	27	36	28	26	23	41
		減圧沸騰式洗浄器（回）	48	32	32	23	30	33	36	31	30	31	23	36
滅菌物	手術関係	手術器械セット（組）	764	720	797	764	836	844	886	926	856	835	833	835
		単品器材（組）	2,613	1,923	2,491	2,422	2,591	2,391	2,946	2,775	2,740	2,556	2,532	2,919
		ガス滅菌物（組）	384	384	369	384	482	349	409	383	433	425	251	513
		プラズマ滅菌物（組）	241	174	205	212	255	326	254	286	228	240	211	230
	外来	ガス滅菌物（個）	141	125	157	142	138	158	155	111	188	145	132	146
		減圧沸騰式洗浄器（個）	2,572	1,887	2,458	2,184	2,226	2,265	2,135	2,055	2,295	1,781	1,964	2,176
	病棟	ガス滅菌物（個）	18	13	15	18	21	9	5	2	4	30	4	20
		減圧沸騰式洗浄器（個）	365	120	287	323	341	233	266	275	470	462	455	372
	合計	ガス滅菌物（個）	159	138	172	160	159	167	160	113	192	175	136	166
		減圧沸騰式洗浄器（個）	2,937	2,007	2,745	2,507	2,567	2,498	2,401	2,330	2,765	2,243	2,419	2,548
手術	予定・緊急手術	外科（件）	35	32	40	35	39	39	36	39	33	36	37	32
		整形外科（件）	76	61	62	67	69	70	86	92	82	87	76	73
		脳神経外科（件）	6	10	9	10	11	6	9	13	12	12	8	12
		呼吸器外科（件）	8	7	9	13	10	12	11	13	12	10	8	12
		心臓血管外科（件）	30	18	26	22	21	20	22	20	19	13	23	24
		産婦人科（件）												
		泌尿器科（件）	3	5	8	1	11	10	7	14	11	9	6	10
		眼科（件）	68	64	92	81	97	94	94	83	77	112	62	105
		耳鼻咽喉科（件）	10	5	13	13	13	8	6	10	7	15	12	12
		歯科口腔外科（件）	26	21	17	23	27	22	26	20	22	21	19	23
		形成外科（件）	6	6	2	1	1	3	5	5	3	3	3	2
		麻酔科（件）									1			
		手術件数	268	229	278	266	299	284	302	309	279	318	254	305
	手術変更（件）		22	25	30	34	37	34	35	36	43	40	37	29

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
カートセット台数（台）			43	41	44	41	44	42	49	43	41	38	38	44
洗浄業務	手術器械洗浄（件）		257	208	264	247	282	253	274	276	256.5	302	239	276
	病棟カート回収器材洗浄数（個）		1,436	1,272	1,306	1,290	1,464	1,098	982	897	1,039	1,104	954	966
	外来カート回収器材洗浄数（個）		8,458	7,397	10,032	8,653	9,134	9,071	8,718	7,960	8,251	7,639	6,705	8,190
	洗浄器回数	手術器械（回）	172	140.5	153	155	180	182.5	207	175.5	161.5	163	160	171.5
		病棟カート回収器材（回）	8	8.6	9	10	8.5	8	8	8.5	11	7	8	7.5
		外来カート回収器材（回）	34	27.9	34	30	33.5	30.5	31	28.5	31.5	28.5	26	34
		超音波洗浄（回）	173	163	189	161	189	191	220	220	167	161	147	195
		減圧沸騰式洗浄器	28	20	12	12	10	17	16	14	14	15	12	13
		手術室洗浄器・回数（回）	5	6	11	9	6	15	22	18	4	8	3	10

6．薬剤科業務状況

（1）薬剤管理指導件数

診療科	管理指導 1 (380 点)		管理指導 2 (325 点)		合計 (指導 1+2)		退院時 (90 点)		麻薬加算 (50 点)		総合計
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	点数
01 内科	12	4,560	10	3,250	22	7,810	1	90	7	350	8,250
02 小児科	0	0	3	975	3	975	0	0	0	0	975
03 外科	66	25,080	399	129,675	465	154,755	112	10,080	15	750	165,585
04 耳鼻咽喉科	8	3,040	128	41,600	136	44,640	32	2,880	1	50	47,570
05 産婦人科	0	0	3	975	3	975	3	270	0	0	1,245
06 眼科	1	380	448	145,600	449	145,980	3	270	0	0	146,250
07 整形外科	93	35,340	1,239	402,675	1,332	438,015	354	31,860	49	2,450	472,325
08 泌尿器科	16	6,080	70	22,750	86	28,830	34	3,060	0	0	31,890
09 皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 脳神経外科	178	67,640	157	51,025	335	118,665	92	8,280	1	50	126,995
11 歯科口腔外科	4	1,520	154	50,050	158	51,570	12	1,080	0	0	52,650
12 神経内科	49	18,620	59	19,175	108	37,795	37	3,330	0	0	41,125
13 心臓血管外科	68	25,840	158	51,350	226	77,190	131	11,790	0	0	88,980
14 形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 循環器内科	465	176,700	311	101,075	776	277,775	414	37,260	0	0	315,035
17 消化器内科	185	70,300	476	154,700	661	225,000	238	21,420	50	2,500	248,920
24 呼吸器内科	148	56,240	219	71,175	367	127,415	121	10,890	19	950	139,255
25 呼吸器外科	96	36,480	196	63,700	292	100,180	88	7,920	6	300	108,400
32 腎臓代謝内科	199	75,620	253	82,225	452	157,845	174	15,660	1	50	173,555
33 血液内科	97	36,860	79	25,675	176	62,535	44	3,960	0	0	66,495
40 膠原病・リウマチ	61	23,180	30	9,750	91	32,930	22	1,980	4	200	35,110
合計	1,746	663,480	4,392	1,427,400	3,111	2,090,880	1,912	172,080	153	7,650	2,270,610

がん患者指導管理料ハ (200 点)	
件数	点数
198	39,600

薬剤総合評価調整加算 (250 点)	
件数	点数
28	7,000

7．栄養科業務状況

（1）給食業務状況（本館と別館）

分類		食種名 ／ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間食数
一般食		普通食	5,239	4,713	5,642	5,808	7,139	6,071	6,126	5,763	5,789	5,742	4,812	5,535	68,379
		産後食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		軟菜食	2,928	2,857	2,177	2,073	2,653	2,535	2,665	2,924	2,706	2,784	2,503	2,942	31,747
		極軟菜食	828	1,222	1,433	1,018	1,646	1,196	1,037	743	933	1,201	1,239	1,496	13,992
		五分食	262	145	231	137	175	238	383	168	209	279	181	237	2,645
		三分食・流動食	175	160	80	116	133	195	142	102	73	118	216	200	1,710
		離乳食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		嚥下食	2,483	3,042	3,420	3,396	3,059	2,834	2,212	2,974	2,853	2,936	2,716	3,402	35,327
		食不振対応食(ハーフ食・口内炎食)	1,681	1,151	1,553	1,623	1,101	1,292	1,333	1,885	1,615	1,598	1,778	1,788	18,398
		つわり食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		遅延食	3	0	6	0	1	0	0	0	2	3	1	0	16
		濃厚流動食	1,245	982	1,436	1,626	1,606	1,231	1,373	955	854	806	1,048	1,197	14,359
		小計（一般食）	14,844	14,272	15,978	15,797	17,513	15,592	15,271	15,514	15,034	15,467	14,494	16,797	186,573
特別治療食	非加算食	高血圧食	391	310	251	424	399	312	538	385	307	464	497	328	4,606
		肥満食	0	36	10	0	25	0	32	62	81	108	190	11	555
		その他	25	36	178	150	0	3	8	84	68	2	0	1	555
		小計（非加算食）	416	382	439	574	424	315	578	531	456	574	687	340	5,716
	加算食	腎臓食	1,257	1,542	1,388	1,341	1,245	1,713	1,576	1,127	1,125	1,318	1,869	1,472	16,973
		心臓食	2,817	2,681	3,038	2,422	2,288	1,854	2,288	2,311	2,617	2,731	2,715	2,265	30,027
		嚥下食(塩制・En制)	708	1,075	881	525	505	384	385	460	647	858	730	982	8,140
		ハーフ食(塩制・En制)	555	484	694	704	542	508	736	754	600	1,027	773	498	7,875
		糖尿食	1,632	1,537	1,329	1,529	1,197	1,441	1,464	1,758	1,381	1,310	1,376	1,100	17,054
		高脂血症食	32	0	58	6	24	23	36	16	0	4	29	0	228
		肥満食	78	17	0	49	39	55	0	0	20	75	175	103	611
		妊娠高血圧食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		肝臓食	26	36	57	196	134	182	49	60	73	102	71	39	1,025
		膵臓食	418	190	306	297	190	212	302	187	195	331	187	206	3,021
		潰瘍食	278	138	108	178	86	60	174	150	125	79	180	185	1,741
		マーゲン食	70	118	160	123	166	86	41	113	255	72	64	62	1,330
		潰瘍性大腸炎・クローン食	0	15	25	0	0	34	79	1	24	14	25	0	217
		貧血食	12	43	14	0	45	90	129	57	0	0	15	7	412
		塩分制限遅延食	40	30	27	13	25	12	12	8	21	18	25	25	256
		小計（加算食）	7,923	7,906	8,085	7,383	6,486	6,654	7,271	7,002	7,083	7,939	8,234	6,944	88,910
患者給食数計			23,183	22,560	24,502	23,754	24,423	22,561	23,120	23,047	22,573	23,980	23,415	24,081	281,199
特別治療食（加算）割合			34.2%	35.0%	33.0%	31.1%	26.6%	29.5%	31.4%	30.4%	31.4%	33.1%	35.2%	28.8%	31.6%
患者外給食(産後ケア食)計												0	0	12	12

（2）栄養指導件数

※令和３年度はコロナ禍で集団指導実施せず

指導内容				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集団指導	算定可	糖尿病教室		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		体験型集団教室		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人指導	算定可	腎臓病	塩分6g未満	25	15	16	18	20	19	21	8	24	17	15	17	215
		心臓疾患	塩分6g未満	20	13	14	10	13	13	13	13	13	12	13	18	165
		高血圧	塩分6g未満	3	6	5	2	2	4	6	6	5	0	4	3	46
		妊娠高血圧症候群	塩分7～8g未満	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
		肝臓病		0	1	2	1	2	1	1	0	1	2	0	0	11
		糖尿病		41	30	19	33	30	26	28	21	22	18	25	29	322
		肥満症	BMI 30以上 or 肥満度 40以上	4	1	3	1	3	3	2	5	4	4	2	3	35
		脂質異常症	LDL140mg/dl以上 or TG150mg/dl以上 or HDL40mg/dl未満	4	1	4	2	1	3	3	2	2	4	3	3	32
		胃潰瘍・十二指腸潰瘍		8	11	7	6	4	3	6	7	8	4	4	8	76
		鉄欠乏性貧血	Hb10g/dl以下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		膵臓疾患		0	0	2	0	2	0	0	1	1	1	0	1	8
		高尿酸血症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		潰瘍性大腸炎・クローン氏病		1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
		小児アレルギー・先天性代謝異常症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		嚥下困難		0	1	1	0	1	0	2	1	1	0	0	1	8
		癌		17	17	33	27	35	40	44	40	28	22	34	37	374
		低栄養	Alb3.0mg/dl以下 or 医師から栄養改善が必要であると認められた者	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	小計			123	97	106	102	113	113	127	106	109	85	100	121	1,302
	不算定可	病名不適合		4	0	4	5	4	3	2	6	3	0	2	4	37
		他条件不適合	対象外病棟、時間不足など	13	9	10	6	5	10	11	13	11	6	5	12	111
	小計			17	9	14	11	9	13	13	19	14	6	7	16	148
総合計				140	106	120	113	122	126	140	125	123	91	107	137	1,450

入院患者への栄養介入件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特別な栄養管理の必要性：有の患者介入件数	387	376	378	384	390	373	351	349	370	414	294	397	4,463
上記以外の病棟訪問件数	42	42	47	34	30	34	36	39	46	30	17	26	423
合計	429	418	425	418	420	407	387	388	416	444	311	423	4,886

糖尿病透析予防指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病透析予防指導件数	7	9	7	5	11	5	6	7	6	6	5	12	86

特定保健指導件数

※令和２年度７月から開始

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
積極的支援・動機づけ支援・情報提供件数	28	28	27	28	33	33	33	25	17	39	20	19	330

（3）NST 病棟回診

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
リウマチ膠原病科	1	0	0	7	8	8	0	3	4	2	0	0	33	4.7
腎臓代謝内科	12	13	23	17	12	12	17	2	11	21	18	29	187	26.6
呼吸器内科	0	0	3	5	0	1	6	0	1	3	2	11	32	4.6
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器内科	6	3	10	8	2	19	18	13	18	21	18	16	152	21.7
循環器内科	12	3	8	2	4	3	1	9	6	13	9	14	84	12.0
老年高血圧内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	5	3	11	4	0	0	1	1	0	1	6	0	32	4.6
整形外科	0	1	2	0	7	9	4	9	8	5	0	0	45	6.4
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	12	9	16	10	8	2	6	9	8	14	9	8	111	15.8
神経内科	1	0	0	0	0	0	4	3	2	0	0	0	10	1.4
心臓血管外科	2	0	4	3	4	1	0	0	0	2	0	0	16	2.3
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科・口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回診件数	51	32	77	56	45	55	57	49	58	82	62	78	702	100

8．放射線科／放射線技術科業務状況

（1）検査別利用状況

一般撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	23	14	12	19	13	15	21	17	23	10	11	12	190
頸部	2	1	1	2	0	0	3	0	0	0	0	1	10
胸部	2,112	1,900	2,143	2,218	2,160	2,099	2,054	1,999	2,007	1,996	1,846	2,092	24,626
腹部	167	156	149	157	193	188	190	187	202	207	187	257	2,240
胸郭・肩	127	105	120	100	124	106	126	122	120	130	108	129	1,417
骨盤	370	322	372	350	330	327	390	401	335	333	293	431	4,254
脊椎	417	393	418	396	423	386	474	466	446	414	364	471	5,068
上肢	194	176	231	222	212	207	185	216	229	248	231	222	2,573
下肢	424	435	442	488	457	485	498	496	418	377	375	539	5,434
乳房	79	62	94	91	85	114	110	110	120	83	62	101	1,111
パノラマ	105	68	91	94	87	74	91	95	78	72	75	88	1,018
合計	4,020	3,632	4,073	4,137	4,084	4,001	4,142	4,109	3,978	3,870	3,552	4,343	47,941
1日平均	191.4	201.8	185.1	206.9	194.5	200.1	197.2	205.5	189.4	203.7	197.3	197.4	198.1

病棟ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
胸部	408	373	443	333	471	416	264	294	365	446	437	426	4,676
腹部	69	37	35	30	60	52	72	61	81	97	62	85	741
胸郭・肩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨盤	1	0	1	1	0	0	2	1	0	2	0	0	8
脊椎	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
上肢	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
下肢	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	6
合計	478	411	481	364	533	470	338	356	446	547	500	513	5,437

OP 室ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸部	49	41	53	50	45	55	52	58	46	48	49	52	598
腹部	33	31	38	32	31	36	35	35	22	30	34	31	388
胸郭・肩	3	2	5	2	0	2	2	2	4	0	0	3	25
骨盤	18	23	21	16	22	20	32	28	23	22	22	20	267
脊椎・頭	11	7	11	7	10	14	14	13	7	6	10	15	125
上肢	9	9	9	11	13	9	9	10	14	14	17	5	129
下肢	18	17	6	19	11	18	17	21	24	30	14	17	212
合計	141	130	143	137	132	154	161	167	140	150	146	143	1,744

ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	619	541	624	501	665	624	499	523	586	697	646	656	7,181
1日平均	29.5	30.1	28.4	25.1	31.7	31.2	23.8	26.2	27.9	36.7	35.9	29.8	29.7

造影撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
泌尿器･婦人科系	9	7	8	9	6	6	11	17	7	9	8	5	102
その他造影撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	7	8	9	6	6	11	17	7	9	8	5	102
1日平均	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3	0.5	0.9	0.3	0.5	0.4	0.2	0.4

TV 室検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食道・胃	27	13	18	11	18	20	19	19	12	18	6	18	199
注腸	3	0	4	4	2	5	1	1	0	1	1	3	25
気管支ファイバー	4	10	14	7	8	12	7	4	10	5	8	7	96
大腸ファイバー	9	8	6	4	5	21	5	11	7	3	0	4	83
その他透視・造影	91	61	88	83	88	106	75	65	59	46	50	43	855
合計	134	92	130	109	121	164	107	100	88	73	65	75	1,258
1日平均	6.4	5.1	5.9	5.5	5.8	8.2	5.1	5.0	4.2	3.8	3.6	3.4	5.2

※大腸ファイバーは、TV室において実施された件数で、内視鏡室実施の検査は含まれていません。

内視鏡 TV

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部	0	0	0	0	0	0	1	0	19	37	41	44	142
下部	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11	10	12	38
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	6	4	15
合計	0	0	0	0	0	0	2	0	25	51	57	60	195
1日平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.2	2.7	3.2	2.7	0.8
TV合計	134	92	130	109	121	164	109	100	113	124	122	135	1,453
1日平均	6.4	5.1	5.9	5.5	5.8	8.2	5.2	5.0	5.4	6.5	6.8	6.1	6.0

血管造影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心カテ	113	91	126	100	100	104	132	116	121	106	83	93	1,285
その他	59	54	72	51	43	49	52	60	74	47	39	55	655
合計	172	145	198	151	143	153	184	176	195	153	122	148	1,940
1日平均	8.2	8.1	9.0	7.6	6.8	7.7	8.8	8.8	9.3	8.1	6.8	6.7	8.0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CT	1,714	1,596	1,768	1,651	1,720	1,703	1,781	1,668	1,749	1,728	1,509	1,872	20,459
1日平均	81.6	88.7	80.4	82.6	81.9	85.2	84.8	83.4	83.3	90.9	83.8	85.1	84.5
MR	555	487	603	583	606	560	616	587	556	501	471	624	6,749
1日平均	26.4	27.1	27.4	29.2	28.9	28.0	29.3	29.4	26.5	26.4	26.2	28.4	27.9
RI	48	47	66	62	56	52	46	54	35	34	39	55	594
1日平均	2.3	2.6	3.0	3.1	2.7	2.6	2.2	2.7	1.7	1.8	2.2	2.5	2.5
DEXA	190	175	164	202	174	200	225	242	193	189	174	240	2,368
1日平均	9.0	9.7	7.5	10.1	8.3	10.0	10.7	12.1	9.2	9.9	9.7	10.9	9.8
ESWL	0	0	2	2	1	0	2	2	5	4	3	4	25
1日平均	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
放射線治療	325	251	384	466	424	242	397	361	246	304	349	397	4,146
1日平均	15.5	13.9	17.5	23.3	20.2	12.1	18.9	18.1	11.7	16.0	19.4	18.0	17.1

健診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	1	1	1	7	8	5	8	6	5	3	3	2	50
頸椎	1	1	1	7	8	5	8	6	5	3	3	2	50
胸部	160	209	368	417	354	362	417	393	273	265	256	271	3,745
腹部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パノラマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房	84	79	148	129	106	128	171	142	101	65	65	59	1,277
胃透視	46	85	146	151	103	122	142	139	85	87	90	93	1,289
注腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨塩定量	6	2	24	32	29	25	34	20	8	2	6	6	194
MR	12	10	24	46	56	30	41	37	23	20	17	14	330
CT	7	6	12	19	23	11	15	11	16	9	11	3	143
合計	317	393	724	808	687	688	836	754	516	454	451	450	7,078

（2）検査別前年比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単純撮影													
令和２年度	3,453	3,116	3,923	4,062	3,636	4,041	4,101	3,681	3,954	3,744	3,051	4,376	45,138
令和３年度	4,020	3,632	4,073	4,137	4,084	4,001	4,142	4,109	3,978	3,870	3,552	4,343	47,941
前年比 (%)	116.4	116.6	103.8	101.8	112.3	99.0	101.0	111.6	100.6	103.4	116.4	99.2	106.2
血管造影													
令和２年度	144	85	122	186	154	146	188	183	172	157	159	197	1,893
令和３年度	172	145	198	151	143	153	184	176	195	153	122	148	1,940
前年比 (%)	119.4	170.6	162.3	81.2	92.9	104.8	97.9	96.2	113.4	97.5	76.7	75.1	102.5
ＣＴ													
令和２年度	1,478	1,385	1,745	1,723	1,553	1,709	1,807	1,646	1,618	1,605	1,279	1,807	19,355
令和３年度	1,714	1,596	1,768	1,651	1,720	1,703	1,781	1,668	1,749	1,728	1,509	1,872	20,459
前年比 (%)	116.0	115.2	101.3	95.8	110.8	99.6	98.6	101.3	108.1	107.7	118.0	103.6	105.7
ＭＲ													
令和２年度	502	453	552	586	599	541	635	550	563	506	449	641	6,577
令和３年度	555	487	603	583	606	560	616	587	556	501	471	624	6,749
前年比 (%)	110.6	107.5	109.2	99.5	101.2	103.5	97.0	106.7	98.8	99.0	104.9	97.3	102.6
ＲＩ													
令和２年度	25	23	44	53	56	40	53	44	63	42	38	50	531
令和３年度	48	47	66	62	56	52	46	54	35	34	39	55	594
前年比 (%)	192.0	204.3	150.0	117.0	100.0	130.0	86.8	122.7	55.6	81.0	102.6	110.0	111.9
ＤＥＸＡ(骨塩定量)													
令和２年度	141	141	201	209	183	215	206	167	183	201	129	220	2,196
令和３年度	190	175	164	202	174	200	225	242	193	189	174	240	2,368
前年比 (%)	134.8	124.1	81.6	96.7	95.1	93.0	109.2	144.9	105.5	94.0	134.9	109.1	107.8
ＥＳＷＬ(体外衝撃波結石破砕)													
令和２年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和３年度	0	0	2	2	1	0	2	2	5	4	3	4	25
前年比 (%)	0.0	0.0	200.0	200.0	100.0	0.0	200.0	200.0	500.0	400.0	300.0	400.0	2,500.0
放射線治療													
令和２年度	408	286	271	401	393	438	476	419	454	292	327	360	4,525
令和３年度	325	251	384	466	424	242	397	361	246	304	349	397	4,146
前年比 (%)	79.7	87.8	141.7	116.2	107.9	55.3	83.4	86.2	54.2	104.1	106.7	110.3	91.6
ポータブル撮影													
令和２年度	556	479	484	533	535	529	628	536	554	706	492	614	6,646
令和３年度	619	541	624	501	665	624	499	523	586	697	646	656	7,181
前年比 (%)	111.3	112.9	128.9	94.0	124.3	118.0	79.5	97.6	105.8	98.7	131.3	106.8	108.0
外来患者数													
令和２年度	4,703	4,164	5,472	5,739	5,212	5,739	6,027	5,035	5,468	4,981	4,089	5,946	62,575
令和３年度	5,473	4,893	5,946	5,960	5,804	5,653	5,974	5,755	5,550	5,251	4,836	6,078	67,173
前年比 (%)	116.4	117.5	108.7	103.9	111.4	98.5	99.1	114.3	101.5	105.4	118.3	102.2	107.3
入院患者数													
令和２年度	1,488	1,346	1,485	1,601	1,598	1,635	1,749	1,733	1,702	1,899	1,591	1,740	19,567
令和３年度	1,671	1,575	1,717	1,564	1,760	1,684	1,566	1,619	1,575	1,796	1,700	1,741	19,968
前年比 (%)	112.3	117.0	115.6	97.7	110.1	103.0	89.5	93.4	92.5	94.6	106.9	100.1	102.0
外来入院合計患者数													
令和２年度	6,191	5,510	6,957	7,340	6,810	7,374	7,776	6,768	7,170	6,880	5,680	7,686	82,142
令和３年度	7,144	6,468	7,663	7,524	7,564	7,337	7,540	7,374	7,125	7,047	6,536	7,819	87,141
前年比 (%)	115.4	117.4	110.1	102.5	111.1	99.5	97.0	109.0	99.4	102.4	115.1	101.7	106.1
フィルム使用枚数													
令和２年度	39	20	58	86	40	41	67	43	46	43	29	45	557
令和３年度	53	43	27	47	42	28	73	48	47	50	31	47	536
前年比 (%)	135.9	215.0	46.6	54.7	105.0	68.3	109.0	111.6	102.2	116.3	106.9	104.4	96.2

（3）科別利用件数（外来）

（単位：件）

外来	単純撮影	造影撮影	TV	内視鏡TV	泌尿器・婦人科系	ESWL	DEXA	CT	MR	血管造影	RI	放射線治療	健診センター	病棟ポータブル	OP室ポータブル	合計
内科	1,710	0	10	2	0	0	0	2,514	233	8	0	0	0	2	0	4,479
小児	74	0	0	0	0	0	0	2	16	0	0	0	0	0	0	92
外科	2,525	0	25	1	0	0	336	1,407	199	10	45	0	491	0	8	5,047
耳鼻	277	0	7	0	0	0	1	386	117	0	12	0	0	0	0	800
産婦	5	0	0	0	2	0	8	118	101	0	0	0	0	0	0	234
眼科	320	0	0	0	0	0	0	58	19	0	0	0	0	0	0	397
整形	15,789	0	269	0	0	0	1,390	1,024	1,199	0	1	0	110	0	97	19,879
泌尿	553	0	0	0	56	20	1	460	97	0	49	0	0	0	0	1,236
皮膚	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳外	413	0	1	0	0	0	0	1,144	1,109	0	4	0	0	0	0	2,671
歯科	963	0	0	0	0	0	0	238	16	0	0	0	0	0	0	1,217
神内	89	0	0	2	0	0	5	391	432	0	86	0	0	0	0	1,005
心外	1,107	0	0	0	0	0	0	1,091	71	0	0	0	0	0	0	2,269
形成	37	0	0	0	0	0	0	15	3	0	0	0	0	0	0	55
呼内	6,062	0	1	0	0	0	21	2,240	132	0	47	0	0	0	0	8,503
呼外	2,149	0	0	0	0	0	0	796	172	0	71	0	0	0	0	3,188
循内	5,424	0	3	0	0	0	0	984	133	27	149	0	0	0	0	6,720
消内	725	0	75	27	0	0	7	2,083	619	0	11	0	0	0	0	3,547
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,427	0	0	6,427
放診	24	0	11	0	0	0	0	905	997	1	45	0	0	0	0	1,983
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎内	455	0	0	0	0	0	66	489	254	2	8	0	0	0	0	1,274
血内	47	0	0	0	0	0	0	256	9	0	0	0	0	0	0	312
心内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ﾘｳﾏﾁ	1,093	0	0	0	0	0	136	216	44	0	0	0	0	0	0	1,489
放治	121	0	0	0	0	0	0	367	74	0	2	3,391	0	0	0	3,955
救急	51	0	1	1	0	0	0	21	4	0	0	0	0	0	0	78
透内	206	0	0	0	0	0	197	128	11	3	0	0	0	2	0	547
総合診	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5
合計	40,223	0	403	33	58	20	2,168	17,336	6,061	51	530	3,391	7,028	4	105	77,411

（4）科別利用件数（入院）

（単位：件）

入院	単純撮影	造影撮影	TV	内視鏡TV	泌尿器・婦人科系	ESWL	DEXA	CT	MR	血管造影	RI	放射線治療	健診センター	病棟ポータブル	OP室ポータブル	合計
内科	52	0	17	11	0	0	1	27	7	15	0	0	0	58	1	189
小児	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
外科	569	0	93	4	1	0	1	177	19	21	1	0	0	466	645	1,997
耳鼻	12	0	53	0	0	0	0	13	7	1	0	0	0	10	4	100
産婦	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4
眼科	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
整形	2,357	0	14	0	0	0	145	209	73	5	1	0	0	73	764	3,641
泌尿	78	0	0	0	35	5	0	24	9	0	1	0	0	24	48	224
皮膚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外	237	0	10	0	0	0	0	906	249	70	23	0	0	524	10	2,029
歯科	91	0	19	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	2	123
神内	23	0	0	0	0	0	4	25	20	0	4	0	0	29	0	105
心外	436	0	2	0	0	0	0	185	10	40	0	0	0	901	119	1,693
形成	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
呼内	983	0	92	0	0	0	2	273	23	14	4	0	0	1,179	9	2,579
呼外	994	0	13	0	0	0	1	57	6	1	2	0	0	439	120	1,633
循内	718	0	19	0	2	0	0	225	49	1,551	26	0	0	1,103	9	3,702
消内	457	0	499	147	1	0	1	623	140	52	4	0	0	242	41	2,207
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放診	0	0	10	0	0	0	0	2	0	8	0	0	0	0	0	20
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎内	472	0	13	0	5	0	35	172	50	47	0	0	0	321	5	1,120
血内	38	0	1	0	0	0	4	90	1	3	0	0	0	6	2	145
心内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ﾘｳﾏﾁ	76	0	0	0	0	0	6	60	16	5	0	0	0	23	0	186
放治	7	0	0	0	0	0	0	40	4	0	0	755	0	0	0	806
救急	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
透内	112	0	0	0	0	0	0	2	3	54	0	0	0	33	0	204
総合診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7,718	0	856	162	44	5	200	3,123	688	1,889	66	755	0	5,431	1,787	22,724

（5）月別利用患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者数(人)	5,473	4,893	5,946	5,960	5,804	5,653	5,974	5,755	5,550	5,251	4,836	6,078	67,173
入院患者数(人)	1,671	1,575	1,717	1,564	1,760	1,684	1,566	1,619	1,575	1,796	1,700	1,741	19,968
合　計(人)	7,144	6,468	7,663	7,524	7,564	7,337	7,540	7,374	7,125	7,047	6,536	7,819	87,141
1日平均(人)	340.2	359.3	348.3	376.2	360.2	366.9	359.0	368.7	339.3	370.9	363.1	355.4	360.1
ﾌｨﾙﾑ使用枚数(枚)	53	43	27	47	42	28	73	48	47	50	31	47	536
1日平均(枚)	2.5	2.4	1.2	2.4	2.0	1.4	3.5	2.4	2.2	2.6	1.7	2.1	2.2

９．中央検査技術科業務状況

（１）院内部門別件数

	一 般	血 液	化 学	免 疫	輸 血	細 菌	生 理	聴 力	病 理	令和3年度合計	対前年度比	令和2年度合計
４月	31,110	52,343	151,244	8,351	582	1,544	3,367	140	824	249,505	118.5%	210,641
５月	29,784	48,438	138,920	7,823	557	1,725	3,048	142	739	231,176	122.8%	188,270
６月	36,462	56,283	159,899	8,834	546	2,074	3,883	161	1,160	269,302	115.9%	232,340
７月	35,875	53,368	152,868	8,359	624	1,958	3,846	114	967	257,979	106.1%	243,224
８月	33,988	54,475	154,640	8,976	651	1,893	3,724	196	924	259,467	109.9%	236,124
９月	33,806	53,548	150,577	8,839	542	1,909	3,634	144	1,108	254,107	104.3%	243,585
10月	35,688	53,523	153,500	9,410	707	1,578	3,850	129	1,088	259,473	102.8%	252,509
11月	35,462	51,664	149,226	8,802	696	1,698	3,775	174	1,073	252,570	110.8%	227,934
12月	35,933	52,946	151,935	8,419	637	1,859	3,672	140	1,120	256,661	103.1%	249,001
１月	33,230	51,794	149,704	9,015	643	1,824	3,423	108	867	250,608	102.2%	245,238
２月	30,563	48,397	137,495	8,265	608	1,624	3,104	115	756	230,927	109.2%	211,392
３月	36,339	55,554	159,185	9,654	663	1,633	3,987	154	1,014	268,183	101.0%	265,613
合計	408,240	632,333	1,809,193	104,747	7,456	21,319	43,313	1,717	11,640	3,039,958	108.3%	2,805,871

（２）院内・委託件数比率

	院内検査〔件〕	委託検査〔件〕	A社〔件〕	B社〔件〕	C社〔件〕	院内検査〔%〕	委託検査〔%〕
４月	249,505	3,121	2,388	708	25	98.75	1.25
５月	231,176	2,791	2,110	659	22	98.79	1.21
６月	269,302	3,253	2,587	645	21	98.79	1.21
７月	257,979	3,227	2,557	650	20	98.75	1.25
８月	259,467	2,969	2,392	563	14	98.86	1.14
９月	254,107	2,914	2,365	531	18	98.85	1.15
10月	259,473	3,347	2,695	634	18	98.71	1.29
11月	252,570	2,823	2,234	571	18	98.88	1.12
12月	256,661	3,083	2,422	639	22	98.80	1.20
１月	250,608	2,686	2,205	468	13	98.93	1.07
２月	230,927	2,485	1,964	501	20	98.92	1.08
３月	268,183	3,070	2,458	591	21	98.86	1.14
合計	3,039,958	35,769	28,377	7,160	232	98.82	1.18

（３）委託先別件数

	A社			B社			C社		
	令和２年度	令和３年度	対前年度比	令和２年度	令和３年度	対前年度比	令和２年度	令和３年度	対前年度比
４月	2,195 件	2,388 件	108.8%	621 件	708 件	114.0%	13 件	25 件	192.3%
５月	1,633 件	2,110 件	129.2%	455 件	659 件	144.8%	15 件	22 件	146.7%
６月	2,616 件	2,587 件	98.9%	670 件	645 件	96.3%	22 件	21 件	95.5%
７月	2,392 件	2,557 件	106.9%	612 件	650 件	106.2%	24 件	20 件	83.3%
８月	2,312 件	2,392 件	103.5%	560 件	563 件	100.5%	20 件	14 件	70.0%
９月	2,344 件	2,365 件	100.9%	550 件	531 件	96.5%	12 件	18 件	150.0%
10月	2,523 件	2,695 件	106.8%	703 件	634 件	90.2%	12 件	18 件	150.0%
11月	2,185 件	2,234 件	102.2%	578 件	571 件	98.8%	16 件	18 件	112.5%
12月	2,430 件	2,422 件	99.7%	711 件	639 件	89.9%	22 件	22 件	100.0%
１月	2,324 件	2,205 件	94.9%	547 件	468 件	85.6%	14 件	13 件	92.9%
２月	1,980 件	1,964 件	99.2%	510 件	501 件	98.2%	17 件	20 件	117.6%
３月	2,854 件	2,458 件	86.1%	684 件	591 件	86.4%	21 件	21 件	100.0%
合計	27,788 件	28,377 件	102.1%	7,201 件	7,160 件	99.4%	208 件	232 件	111.5%

	令和２年度				令和３年度				対前年度比
	A 社	B 社	C 社	小計	A 社	B 社	C 社	小計	
４月	2,195 件	621 件	13 件	2,829 件	2,388 件	708 件	25 件	3,121 件	110.3%
５月	1,633 件	455 件	15 件	2,103 件	2,110 件	659 件	22 件	2,791 件	132.7%
６月	2,616 件	670 件	22 件	3,308 件	2,587 件	645 件	21 件	3,253 件	98.3%
７月	2,392 件	612 件	24 件	3,028 件	2,557 件	650 件	20 件	3,227 件	106.6%
８月	2,312 件	560 件	20 件	2,892 件	2,392 件	563 件	14 件	2,969 件	102.7%
９月	2,344 件	550 件	12 件	2,906 件	2,365 件	531 件	18 件	2,914 件	100.3%
10月	2,523 件	703 件	12 件	3,238 件	2,695 件	634 件	18 件	3,347 件	103.4%
11月	2,185 件	578 件	16 件	2,779 件	2,234 件	571 件	18 件	2,823 件	101.6%
12月	2,430 件	711 件	22 件	3,163 件	2,422 件	639 件	22 件	3,083 件	97.5%
１月	2,324 件	547 件	14 件	2,885 件	2,205 件	468 件	13 件	2,686 件	93.1%
２月	1,980 件	510 件	17 件	2,507 件	1,964 件	501 件	20 件	2,485 件	99.1%
３月	2,854 件	684 件	21 件	3,559 件	2,458 件	591 件	21 件	3,070 件	86.3%
合計	27,788 件	7,201 件	208 件	35,197 件	28,377 件	7,160 件	232 件	35,769 件	101.6%

（4）生理検査種別年度比

	心電図			ホルター心電図			トレッドミル			脳波		
	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比
外来合計	17,672	19,022	107.6%	320	348	108.8%	14	12	85.7%	105	113	107.6%
入院合計	2,455	2,375	96.7%	77	49	63.6%	1	1	0.0%	136	174	127.9%
総合計	20,127	21,397	106.3%	397	397	100.0%	15	13	86.7%	241	287	119.1%
	ＵＣＧ			頸動脈エコー			腹部エコー			肺機能		
	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比
外来合計	3,723	4,143	111.3%	656	728	111.0%	2,411	2,732	113.3%	2,276	2,642	116.1%
入院合計	1,155	1,150	99.6%	263	264	100.4%	80	84	105.0%	39	36	92.3%
総合計	4,878	5,293	108.5%	919	992	107.9%	2,491	2,816	113.0%	2,315	2,678	115.7%
	ＡＢＲ			ＡＢＩ			筋電図			下枝静脈エコー		
	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比	R2	R3	対前年度比
外来合計	14	6	42.9%	2,747	3,491	127.1%	184	210	114.1%	763	914	119.8%
入院合計	5	1	20.0%	400	386	96.5%	48	32	66.7%	283	303	107.1%
総合計	19	7	36.8%	3,147	3,877	123.2%	232	242	104.3%	1,046	1,217	116.3%

	総　計		
	R2	R3	対前年度比
外来合計	30,885	34,361	111.3%
入院合計	4,942	4,855	98.2%
総合計	35,827	39,216	109.5%

（5）コロナ検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内	SARS-CoV-2（抗原定量検査）	413	282	299	290	559	613	312	256	282	891	678	619	5,494
	SARS-CoV-2（院内 TRC・鼻腔）	199	205	219	195	229	249	283	19	6	21	8	25	1,658
	SARS-CoV-2（院内 TRC・唾液）	0	0	0	0	0	0	0	271	238	254	248	266	1,277
	SARS-CoV-2（妊婦分娩前検査）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	SARS-CoV-2（外注・鼻腔ぬぐい液）	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
外注	１　日　平　均（枚）	2.5	2.4	1.2	2.4	2.0	1.4	3.5	2.4	2.2	2.6	1.7	2.1	2.2

10. リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況

（1）理学療法患者数

（単位：件）　　(%)

	外　来	入　院	合　計	増　減	前年比
令和3年4月	453	3,920	4,373	416	111
5月	397	3,408	3,805	347	110
6月	392	4,246	4,638	536	113
7月	379	3,843	4,222	55	101
8月	361	3,828	4,189	156	104
9月	302	3,623	3,925	-14	100
10月	329	3,764	4,093	-264	94
11月	336	3,944	4,280	87	102
12月	306	3,826	4,132	-147	97
令和4年1月	297	3,774	4,071	-109	97
2月	246	3,581	3,827	-63	98
3月	356	4,172	4,528	0	100
計	4,154	45,929	50,083	1,000	102

（2）作業療法患者数

	外　来	入　院	合　計	増　減	前年比
令和3年4月	61	1,835	1,896	28	101
5月	46	1,600	1,646	-68	96
6月	47	2,063	2,110	164	108
7月	46	1,812	1,858	-128	94
8月	38	1,851	1,889	3	100
9月	42	1,681	1,723	-56	97
10月	45	1,796	1,841	-94	95
11月	50	1,855	1,905	63	103
12月	38	1,834	1,872	-36	98
令和4年1月	42	1,829	1,871	-56	97
2月	34	1,758	1,792	91	105
3月	48	1,866	1,914	34	102
計	537	21,780	22,317	-55	100

（3）言語聴覚療法患者数

	外　来	入　院	合　計	増　減	前年比
令和3年4月	30	924	954	-173	85
5月	24	810	834	-107	89
6月	22	1,110	1,132	111	111
7月	20	1,036	1,056	129	114
8月	15	1,042	1,057	132	114
9月	17	979	996	164	120
10月	17	904	921	-71	93
11月	14	973	987	79	109
12月	16	938	954	-129	88
令和4年1月	19	976	995	-50	95
2月	16	858	874	-60	94
3月	20	1,064	1,084	56	105
計	230	11,614	11,844	81	101

11. 訪問看護ステーション業務状況

◆訪問回数

延べ訪問回数	介護保険	7,476	72.00%
	医療保険	2,821	28.00%
	計	10,297	

◆利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入	7	3	10	8	9	5	6	7	6	4	3	5	73
新規受入（院内）	2	2	5	5	6	3	1	3	0	3	3	3	36
新規受入（院外）	5	1	5	3	3	2	5	4	6	1	0	2	37
利用者実数計	148	145	149	147	148	141	140	143	147	147	141	142	1,738

◆終了状況

死亡内訳	在宅	在宅外（病院・施設）	その他（転居・転院・中止）
総数	28	25	14
がん	14	13	
心疾患	3	4	
脳血管障害	1	2	
呼吸器	1	2	
神経難病	4	2	
腎疾患	1	1	
その他	4	1	

＊在宅看取り 52.8%

◆疾患別患者数

疾病名	利用者数
循環器系疾患	28
癌	47
神経系疾患	17
脳血管系疾患	30
内分泌系疾患	12
精神疾患	5
筋骨格系疾患	17
呼吸器系疾患	28
血液・免疫機能系疾患	4
腎泌尿器系疾患	13
消化器系疾患	4
先天性奇形	3
皮膚及び皮下組織系疾患	5
計	213

◆年齢別患者数

年齢層	人数
0 ～ 10	0
11 ～ 20	1
21 ～ 30	1
31 ～ 40	3
41 ～ 50	3
51 ～ 60	7
61 ～ 70	34
71 ～ 80	54
81 ～ 90	83
91 ～ 100	26
101 以上	1

◆緊急対応（夜間･休日）

電話のみ	244 件
出動	447 件

◆介護区分別患者数

介護度	人数
要支援1	7
要支援2	7
要介護1	26
要介護2	46
要介護3	31
要介護4	20
要介護5	21

男女人数	人数
男性	125
女性	88

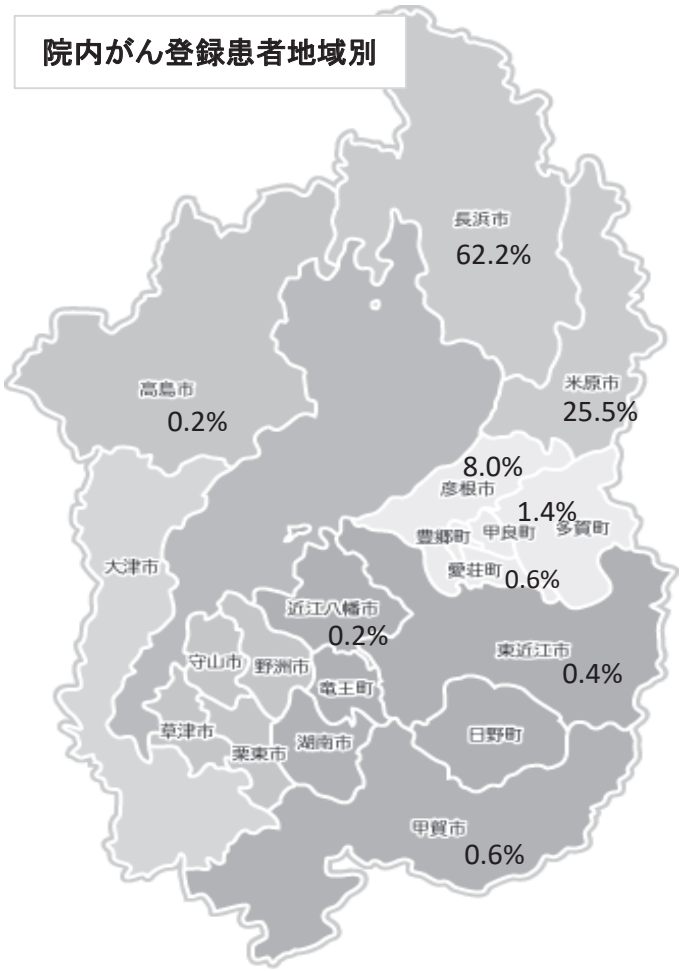
12. 疾病分類別・転帰別　退院患者数（転科含む）

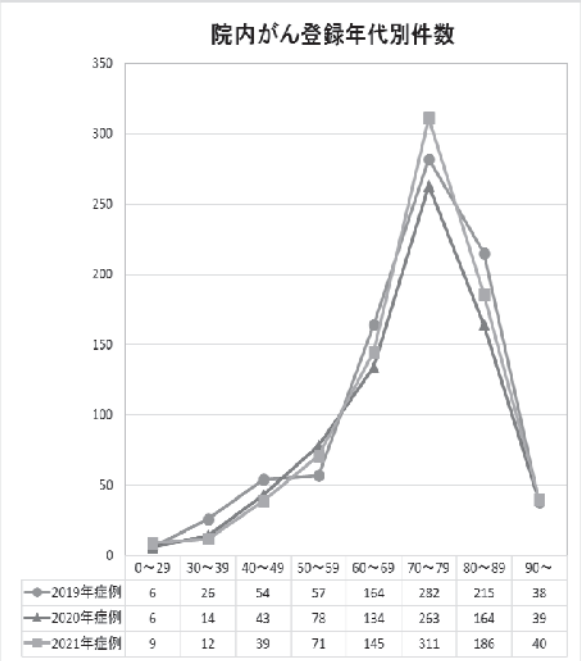
国際疾病分類	性別	転帰								総計
		1. 治癒	2. 軽快	3. 寛解(白血病など)	4. 不変	5. 増悪	6. 死亡	7. 外死亡(主病名以外の死因)	9. 転科	
感染症及び寄生虫症	男	1	33	0	9	0	5	1	8	57
	女	4	34	1	3	0	2	0	6	50
	合計	5	67	1	12	0	7	1	14	107
新生物	男	4	540	3	366	2	84	9	39	1,047
	女	1	371	2	164	1	45	4	20	608
	合計	5	911	5	530	3	129	13	59	1,655
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	男	0	22	0	0	0	1	0	3	26
	女	0	20	0	3	0	0	1	5	29
	合計	0	42	0	3	0	1	1	8	55
内分泌、栄養及び代謝疾患	男	4	85	1	12	0	0	3	5	110
	女	3	67	0	18	0	0	4	15	107
	合計	7	152	1	30	0	0	7	20	217
精神及び行動の障害	男	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	合計	0	2	0	1	0	0	0	0	3
神経系の疾患	男	1	51	0	21	0	2	0	6	81
	女	1	48	0	17	0	0	0	2	68
	合計	2	99	0	38	0	2	0	8	149
眼及び付属器の疾患	男	0	229	0	2	0	0	0	0	231
	女	0	229	0	1	0	0	0	0	230
	合計	0	458	0	3	0	0	0	0	461
耳及び乳様突起の疾患	男	0	18	0	1	0	0	0	0	19
	女	0	18	0	0	0	0	0	0	18
	合計	0	36	0	1	0	0	0	0	37
循環器系の疾患	男	13	955	5	100	1	28	12	28	1,142
	女	10	575	3	77	1	14	10	36	726
	合計	23	1,530	8	177	2	42	22	64	1,868
呼吸器系の疾患	男	23	256	0	22	1	39	10	49	400
	女	11	144	0	7	0	17	4	19	202
	合計	34	400	0	29	1	56	14	68	602
消化器系の疾患	男	3	556	0	15	0	9	4	38	625
	女	7	400	0	15	0	4	2	22	450
	合計	10	956	0	30	0	13	6	60	1,075
皮膚及び皮下組織の疾患	男	1	23	0	0	1	0	0	1	26
	女	0	21	0	0	0	2	0	1	24
	合計	1	44	0	0	1	2	0	2	50
筋骨格系及び結合組織の疾患	男	0	159	0	8	0	1	2	10	180
	女	2	284	1	6	0	3	0	7	303
	合計	2	443	1	14	0	4	2	17	483
腎尿路生殖器系の疾患	男	8	152	1	60	0	3	2	14	240
	女	19	156	1	63	0	3	3	10	255
	合計	27	308	2	123	0	6	5	24	495
妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	女	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	合計	0	3	0	0	0	0	0	0	3
周産期に発生した病態	男									0
	女									0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天奇形、変形及び染色体異常	男	0	3	0	2	0	0	0	0	5
	女	0	10	0	0	0	0	0	0	10
	合計	0	13	0	2	0	0	0	0	15
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	0	26	0	3	0	2	2	2	35
	女	0	22	0	0	0	3	1	2	28
	合計	0	48	0	3	0	5	3	4	63
損傷、中毒及びその他の外因の影響	男	4	254	0	11	0	0	2	12	283
	女	3	300	1	2	0	1	4	11	322
	合計	7	554	1	13	0	1	6	23	605
健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	男	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	女	0	9	0	0	0	0	0	0	9
	合計	0	12	0	0	0	0	0	0	12
特殊目的用コード	男	32	94	1	4	2	0	2	11	146
	女	25	83	0	7	0	1	2	6	124
	合計	57	177	1	11	2	1	4	17	270
総　　計	男	94	3,460	11	636	7	174	49	226	4,657
	女	86	2,795	9	384	2	95	35	162	3,568
	合計	180	6,255	20	1,020	9	269	84	388	8,225

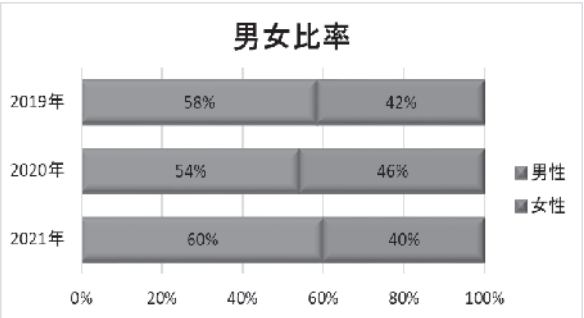
13. 院内がん登録　2021 年症例

算出条件
・重複がんを含む
・2021年症例（2021年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n＝813
・2020年症例（2020年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n＝741
・2019年症例（2019年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n＝842

院内がん登録患者地域別







県外	湖北		湖東			東近江		甲賀	湖西
	長浜市	米原市	彦根市	犬上郡	愛荘町	東近江市	近江八幡市	甲賀市	高島市
0.9%	62.2%	25.5%	8.0%	1.4%	0.6%	0.4%	0.2%	0.6%	0.2%

2019年～2021年症例　自施設診断・初回治療開始状況

	2019	2020	2021
自施設診断	85.3%	80.7%	80.6%
初回治療開始	85.2%	81.9%	78.5%

自施設診断・初回治療開始状況から、約80%のがん患者さんが、当院で治療を開始されている状況がわかります。
当院は地域に根ざした医療を目指しています。

14. 医療機器等購入状況

部　　署	品　　名	取 得 年 月
消化器内科	ダブルバルーン内視鏡	令和３年４月
中央検査技術科	全自動輸血検査装置	
消化器内科	大腸・上部消化管ビデオスコープ	
消化器内科	超音波ガストロビデオスコープ	
消化器内科	電源コラム付モニターアーム	
消化器内科	内視鏡室向けＬＥＤ照明	令和３年５月
消化器内科	内視鏡用ベッド	
消化器内科	内視鏡保管庫	
７階東病棟	ベッドパンウォッシャー	
中央手術室	経食道プローブ	
臨床工学技術科	生体情報モニター	令和３年６月
ＩＣＵ	体外式ペースメーカ	
泌尿器科	ヘイワフレックスレトラクター	
３階西病棟	薬品保管庫	令和３年７月
中央検査技術科	マルチフード	
消化器内科	内視鏡用送水ポンプ	
ＳＣＵ	心電計	令和３年８月
呼吸器内科	一酸化窒素ガス分析装置	
脳神経外科	カルヴァイン・エンドペン	
中央手術室	シリンジポンプ	
中央検査技術科	薬用冷蔵ショーケース	
眼科	自動視野計	令和３年９月
救急外来	救急カート	
内視鏡センター	Ｘ線透視撮影装置	令和３年 10 月
中央検査技術科	フロア型冷却遠心機	
中央手術室	シリンジポンプ	
消化器内科	生体情報モニター	令和３年 11 月
心臓血管外科	遮断クランプ	令和３年 12 月
看護局	気道管理トレーナー	
３階南病棟	薬用冷蔵ショーケース	令和４年１月
腎臓代謝内科	電子コンベックス探触子	令和４年２月
臨床工学技術科	血液凝固測定装置	
消化器内科	内視鏡用送水ポンプ	
歯科口腔外科	歯科技工用成形器	令和４年３月
麻酔科	筋弛緩モニタリング装置	
臨床工学技術科	簡易陰圧装置	
消化器内科	経鼻内視鏡スコープ	

15. 死亡者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	5	8	7	6	12	9	7	11	8	13	10	14	110
小児													0
外科	5		4	2	1	1	3	3	2		2	2	25
耳鼻							1						1
産婦													0
眼科													0
整形	2				1	1	1		1				6
泌尿器			1						1		2		4
皮膚													0
脳外	3	4	1	3	3	2	4	4	2	4	2		32
歯科													0
神内									1				1
心外		1				2	1						4
形成													0
呼吸器	7	10	12	12	6	11	5	9	5	11	11	11	110
循環器	4	5	3	2		5	1	4	1	6	3	6	40
消化器	4	10	5	14	7	7	9	5	7	5	4	9	86
死産													0
合計	30	38	33	39	30	38	32	36	28	39	34	42	419

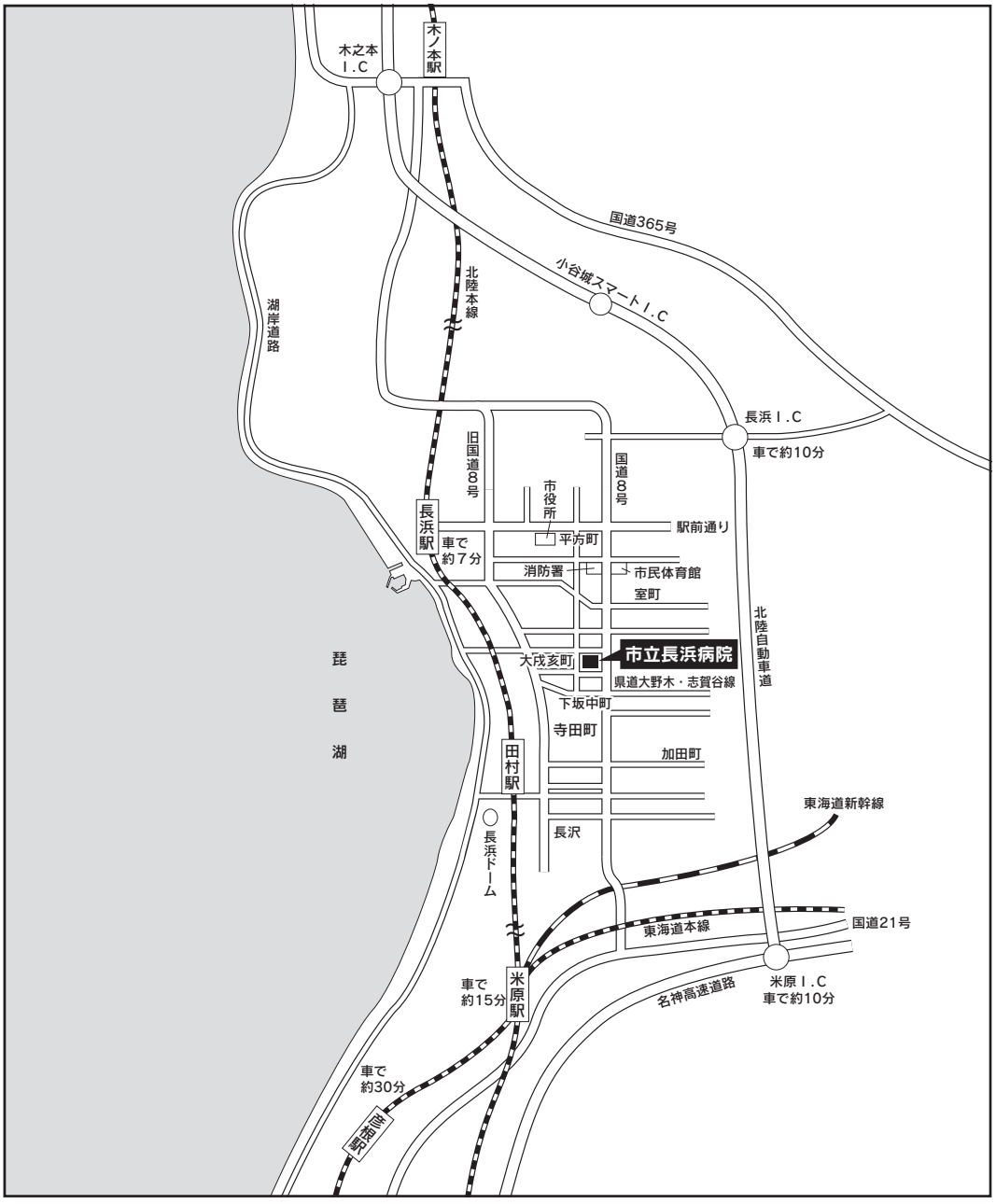
16. 剖検症例

剖検番号	年齢	性別	臨床診断	出所	検索部位	病理診断
A00644	79	F	肺炎疑い	呼吸内	胸腹部	急性気管支肺炎
A00645	72	M	強皮症・皮膚筋炎	呼吸内	胸腹部	強皮症、皮膚筋炎
A00646	88	M	顕微鏡的多発血管炎	腎内	胸腹部	顕微鏡的多発血管炎
A00647	42	M	心肺停止	呼吸内	胸腹部	急性肺血栓塞栓症
A00648	82	M	前立腺癌	呼吸内	胸腹部	前立腺癌
A00649	78	M	新型コロナウイルス感染症	呼吸内	胸腹部	びまん性肺線維化
A00650	71	M	肺癌	呼吸内	胸腹部	肺扁平上皮癌

17. 院内保育所「あすなろ園」状況

月	性別	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	一時保育児	計
4 月	男	0	1	6	0	5	12
	女	0	1	3	0	2	6
	計	0	2	9	0	7	18
5 月	男	1	2	6	0	0	9
	女	1	2	3	0	1	7
	計	2	4	9	0	1	16
6 月	男	2	3	6	0	0	11
	女	1	3	3	0	0	7
	計	3	6	9	0	0	18
7 月	男	2	3	6	0	0	11
	女	1	3	3	0	0	7
	計	3	6	9	0	0	18
8 月	男	3	4	6	0	0	13
	女	3	3	3	0	0	9
	計	6	7	9	0	0	22
9 月	男	3	4	6	0	0	13
	女	4	4	3	0	0	11
	計	7	8	9	0	0	24
10 月	男	3	5	6	0	0	14
	女	6	5	3	0	1	15
	計	9	10	9	0	1	29
11 月	男	3	5	6	0	0	14
	女	7	5	3	0	1	16
	計	10	10	9	0	1	30
12 月	男	3	5	5	0	0	13
	女	7	5	3	0	1	16
	計	10	10	8	0	1	29
1 月	男	3	5	6	0	0	14
	女	7	3	2	0	1	13
	計	10	8	8	0	1	27
2 月	男	4	5	7	0	0	16
	女	7	4	3	0	1	15
	計	11	9	10	0	1	31
3 月	男	5	6	7	0	0	18
	女	7	4	3	0	1	15
	計	12	10	10	0	1	33
年間合計	男	32	48	73	0	5	158
	女	51	42	35	0	9	137
	計	83	90	108	0	14	295
月平均	男	2.67	4	6.08	0	0.42	13.17
	女	4.25	3.5	2.92	0	0.75	11.42
	計	6.92	7.5	9	0	1.17	24.59

※合計には一時保育は含まない。


木之本
I.C
木ノ本駅
国道365号
小谷城スマートI.C
北陸本線
湖岸道路
長浜I.C
車で約10分
旧国道8号
国道8号
市役所
駅前通り
長浜駅
車で
約7分
平方町
消防署
市民体育館
室町
北陸自動車道
琵
琶
湖
市立長浜病院
大戌亥町
県道大野木・志賀谷線
下坂中町
寺田町
加田町
田村駅
東海道新幹線
長沢
長浜ドーム
国道21号
東海道本線
車で
約15分
米原駅
名神高速道路
米原I.C
車で約10分
車で
約30分
関ヶ原

令和４年 11 月発行

令和３年度　市立長浜病院年報

編集・発行　市立長浜病院
院長　髙 折 恭 一
滋賀県長浜市大戌亥(おおいぬい)町313番地
TEL　0749－68－2300
FAX　0749－65－1259